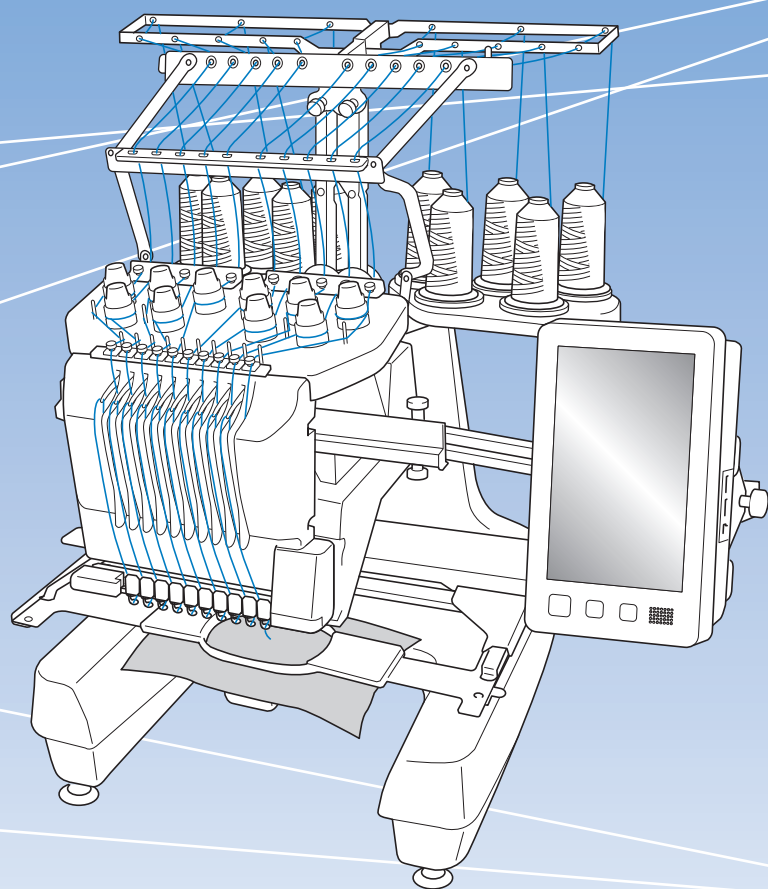


取扱説明書

職業用刺しゅうマシン
PRT15/T16 シリーズ



- ご使用になる前に必ず本書をお読みにになり、正しくお使いください。
- 本書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。
- 最新の取扱説明書ならびに、追加の説明書（Web 別冊説明書や新機能に関するインサージョン）は、ブラザーのサポートサイト（<https://s.brother/cmbaj/>）でご覧いただけます。

<https://s.brother/cmbaj/>

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、取扱説明書で機能や正しい使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。また取扱説明書は、読み終わったあとも、いつでもご覧になれるところに保管してください。

安全にお使いいただくために

人への危害や損害を未然に防ぐために、必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれのある」内容です。



注意

「傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある」内容です。



警告

火災・感電・故障を さけるために



一般家庭用電源 AC100V の電源で使う



次の場合は電源を切り、プラグを抜く

- ミシンの使用後や、そばを離れるとき
- 使用中に停電したとき
- 接触不良などで正常に動作しないとき
- 雷が鳴りはじめたとき



異常・故障時は...

すぐにプラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡を！

(または PR/VR 専用ダイヤルへ)

異常などの例：

- 煙が出た、異臭や異常音がする
- ミシンを落とした
- 電源コードやプラグの破損
- 本体に水が入った

■ お守りいただく内容を区分して説明しています。



「してはいけない」内容です。



「実行しなければならない」内容です。



注意

けが・針折れなどを さけるために

針や周辺部品



● 縫製中は次のことをしない

- 針やプーリー、キャリッジ、針棒ケース、針棒ケース周辺の動いている部品に手を近づける
- 針の下などに指を入れる
- 布地を無理に引っ張ったり、押したりする
- 曲がった針は使わない

● リッパーで穴をあける方向に、手や指を置かない (すべったときにけがのおそれがあります)



● 針の交換時は、電源を切る

(誤ってスイッチを押すと、ミシンが作動するおそれがあります)

● 上糸や下糸などに関する操作は、本書に従って正しく行う

(誤ると、糸がらみなどが発生し、針の折れや曲がりのおそれがあります)

⚠ 注意

けが・故障 をさけるために

持ち運び



- 急激または、不用意に持ち上げない
(ミシン本体の重さは約 41.8kg あります。)



- 底部の指定箇所を持って運ぶ
(他の部分では、こわれたり、すべて落とすおそれがあります)

火災・発熱・感電 を

さけるために

電源コードやプラグ



- 次のようなことをしない

- ・ たこ足配線
- ・ 濡れた手でプラグの抜き差し
- ・ 電源を切らずにプラグを抜く
- ・ ゆるんだコンセントに差し込む
- ・ 電源コードを引っ張って抜く

- 電源コードは、次のような扱いをしない

- ・ 無理に曲げる
- ・ ねじる
- ・ たばねたまま使う
- ・ 重い物を載せる など



- プラグは根元まで確実に差し込む

火災・感電・けが・故障・事故などを

さけるために

設置・保管場所



- 次の場所に設置や保管をしない

- ・ 著しく高温や低温になる
(使用環境温度は 5 ~ 40 °C)
- ・ 急激に温度が変化する
- ・ 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い
(火のついたたばこやろうそく、アイロン、ストーブなど)
- ・ スプレー (布用スプレーなど) を使う部屋
- ・ 湿気や湯気が多い
- ・ 屋外や、直射日光が当たる
- ・ ほこりや油煙が多い
- ・ 不安定な場所 (ぐらつく、傾くなど)

- 換気口に糸くずやほこりをためない

- 換気口をふさがない

取り扱い



- 換気口や内部にドライバーなどを差し込んだり、異物を入れない
(高電圧部に触れるおそれがあります)

- 修理や分解、改造は行わない



- 付属品、別売品は純正品を使う

ブラザー純正品または推奨品以外の部品使用による故障は、保証期間中でも有償修理となります。

※ その他のものが必ず不具合を起こすわけではありません。

- 本書に記載の整備は、プラグを抜いてから行う

- 本機が入っていた袋は、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄する

(かぶって遊ぶと、窒息のおそれがあります)

🔗 お願い

- このミシンは日本国内向け、職業用です。日本国外では使用できません。
This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらお買い上げの販売店または「PR/VR 専用ダイヤル」にご連絡ください。
- 本機をご使用になる方 (お子様を含む) が、身体/知覚/精神的能力になんらかの障がいを持つ場合、あるいは経験や知識が十分でない場合には安全を保証できる責任者の監視の下でのみ本機を使用してください。
- お子様を使用するときは、玩具として使用しないよう、十分な監視の下で使用してください。

利用規約

重要！！ よくお読み下さい：

この利用規約（以下、「本規約」といいます）は、お客様が弊社のマシンまたはクラフト製品（以下、「弊社製品」といいます）をご利用になる際にインストールまたは使用される本ソフトウェアについて、お客様とブラザー工業株式会社（以下、「弊社」といいます）が締結する契約です。「本ソフトウェア」とは、すべてのコンテンツデータ、デザインデータ、データフォーマット、弊社製品におけるファームウェア、PC アプリケーション、またはモバイルアプリケーションを指すものとしします。

本ソフトウェアおよび弊社製品をお客様がご利用になることにより、お客様は本規約の各条項に従うことに同意したものとみなされます。お客様が本規約に同意されない場合、弊社は本ソフトウェアをお客様にライセンスすることができず、お客様は本ソフトウェアの使用を許諾されません。なお、本規約への修正または追補が本ソフトウェアになれる場合があります。

企業を代理して本規約に同意する個人は、その企業における法的拘束力のある契約を締結する権限を有していることを表明します。

使用許諾条件：

1 使用許諾

- 1.1 本規約に基づき、弊社はお客様に対し、弊社製品をご利用になる範囲に限り、本ソフトウェアにおける非独占的、譲渡不能かつ取消不能のライセンスを許諾します。
- 1.2 お客様に認められた本ソフトウェアの使用に関する権利は、本規約のもとでのお客様の本ソフトウェアのご使用に関しライセンスされるものであり、譲渡されるものではありません。弊社は、本ソフトウェアに含まれる知的財産権に限らず、すべての権利、権原および利益を保持します。

2 制限

- 2.1 本規約に明示的に記載されている場合、または、各国の法令によって要求される場合を除き、お客様は以下の条件に従います。
 - 2.1.1 分解、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、翻訳、または他の方法により、本ソフトウェアのソースコード（弊社製品またはコンテンツ編集アプリケーションソフトウェアを使用してお客様が作成したデータまたはコンテンツを含むものとし、以下、第2条において同様に適用します。）を取得しないこと。
 - 2.1.2 本ソフトウェアの全部または一部に基づく派生物を製作しないこと。
 - 2.1.3 弊社からの書面により事前の承諾なく、本ソフトウェアの全部または一部を、いかなる形態であれ他者に配布、提供、利用させないこと。
 - 2.1.4 本ソフトウェアを弊社製品上での通常の使用に付す場合、またはバックアップや運用上の安全のために必要な場合を除き、本ソフトウェアを複製しないこと。
 - 2.1.5 本ソフトウェアの全部または一部の譲渡、賃貸借、リース、サブライセンス、貸付、翻訳、結合、翻案、変更、改造、改変を行ってはならないこと、

また本ソフトウェアまたはその一部に他のプログラムを結合させたり、組み込んだりしてはならないこと。

- 2.1.6 本ソフトウェアの全部または一部の複製物においても、弊社の著作権表示およびこの利用規約を含めておくこと。
- 2.1.7 本規約の第1条に規定する以外の目的（弊社製品以外マシンまたはクラフト製品もしくはソフトウェアの使用を含むがこれに限定されません）において、本ソフトウェアを使用しないこと。

3 無保証

適用される法令にて許容される範囲において、本ソフトウェアは、明示的または黙示的にかかわらず、口頭または書面によるいかなる種類の保証または条件なく、“現状有姿”にて提供されます。弊社は、本ソフトウェアにおける商品性、品質の完全性、非侵害性または特定の目的への適合性について、いかなる黙示的な保証もいたしません。

4 責任制限

- 4.1 弊社は、お客様、最終使用者、または、その他の事業者が生じる、いかなる利益または収益の損失、データの損失、使用の中断、または派生的、偶発的、特別、懲罰的または間接的な損害について、規約上の行為または不法行為のいずれであっても、また、たとえ弊社が本規約によるサポートサービスなどで本ソフトウェアに関連して起因する損害に関する可能性についてお知らせしていた場合であっても、いかなる責任も負わないものとしします。これらの制限は、救済措置を限定するという本質的な目的にかかわらず、適用される法令で認められる最大限の範囲に適用されます。
- 4.2 本規約第3条または第4.1条にかかわらず、本規約は、死亡または人身傷害に対する過失または消費者を保護する法的権利に基づく弊社の責任を、排除または制限する目的はありません。

5 解除

- 5.1 お客様が本規約における重大な違反をし、弊社による請求に基づきその違反を直ちに是正しない場合、弊社はいつでも本規約を解約する権利を有するものとしします。
- 5.2 本規約に基づきお客様に付与されたすべての権利が終了した場合、お客様は本規約により許可されたすべての活動を終了し、所有するすべてのコンピュータ機器から本ソフトウェアを直ちに消去または削除し、また、お客様の所有する本ソフトウェアのすべての複製物もしくはその派生物を削除または破棄します。上記に加えて、お客様は所有する弊社製品によりお客様が作成したコンテンツまたはデザインデータを削除するものとしします。

6 一般条項

- 6.1 お客様は、適用される法律または規則に違反して、本ソフトウェアまたはそのコピーもしくはその改変物を輸出または再輸出してはなりません。
- 6.2 お客様は、本規約における権利または義務の全部または一部を、事前の書面による同意なしに、第三者またはその関係者に譲渡してはなりません。合併、資産または株式の売却に

- 伴う支配または再編成の変更は、本規約の譲渡であるとみなします。
- 6.3 お客様は、本規約の違反が、金銭的損害賠償が適切な救済策ではなく、弊社に回復不能な損害を引き起こすものであることに同意し、弊社は、本規約または法令に基づく救済に加えて、保証金、その他の担保、または損害額の証明なく、衡平法上の救済を求める資格を有するものとしします。
- 6.4 本規約のいずれかの条項が管轄権を有する裁判所によって無効または執行不能と宣言または決定された場合、その条項は本規約の他の条項と切り離して独立し、その他の条項および規約全体の有効性はこれによる影響を受けるものではありません。
- 6.5 本規約は、ここに添付されているすべての書類とともに、本件の主題に関する当事者間の完全な合意を構成し、この件に関する当事者間の口頭および書面によるすべての提案に優先します。
- 6.6 弊社が、本規約に基づく義務の履行をお客様に求めなかった場合、または弊社がお客様に対して何らかの権利の行使をしない場合、もしくは弊社がこれらを遅延する場合があったとしても、弊社はお客様に対する権利を放棄するものではなく、また、お客様がそれらの義務を遵守する必要があるということを意味するものではありません。弊社がお客様の不履行に関する請求権を放棄する場合、弊社は書面でのみこれを行うものとし、また、これはお客様によるその後の不履行を自動的に放棄することを意味するものではありません。
- 6.7 お客様が居住する州または国（もし事業者の場合、主たる事業所が置かれている場所）の法律が、本ソフトウェアまたは本規約に関するすべての請求および紛争に適用されます。

規格について

無線 LAN ご使用時のご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用周波数を変更するため、速やかに無線 LAN の使用チャンネルか内線用の通信チャンネルを変更するか、または電波の発射を停止した上、PR/VR 専用ダイヤルへお問い合わせください。
3. その他、製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りことが起きたときは、PR/VR 専用ダイヤルへお問い合わせください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

- 無線 LAN では、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
- その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ・ ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
 - ・ メールの内容
- などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- ・ コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

- 本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
- セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

2.4 DS4/OF4

- 「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。
「DS」：変調方式が DS-SS 方式であることを表す。
(IEEE802.11b のとき)
「OF」：変調方式が OFDM 方式であることを表す。
(IEEE802.11g/n のとき)
「4」：想定される干渉距離が 40m 以下であることを表す。
「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線モジュール内蔵について

この製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

ライセンス契約書

重要！：必ずお読みください

本製品に含まれている刺しゅうデータ（以下、「刺しゅうデータ」）に関する著作権は、ブラザー工業株式会社（以下、「ブラザー」）もしくはそのライセンサーが保有しています。ブラザーは、下記契約条件に従い、お客様に刺しゅうデータの使用を許諾致します。

なお、お客様は、刺しゅうデータを使用することにより、下記契約条件に同意されたものとみなされます。

1. ブラザーはお客様に対し、お客様が保有する一台の刺しゅうマシン上で、刺しゅうデータを使用して刺しゅうを縫製する権利を許諾致します。なお、お客様は、一度に複数台の刺しゅうマシン上で刺しゅうデータを使用することはできません。
2. お客様は、別途ブラザーから許諾を受けない限り、刺しゅうデータについて以下を行うことはできません。
 - ・ バックアップ目的以外の目的のために複製すること。
 - ・ ネットワークサーバーにアップロードすること。その他第三者に提供、貸与等すること。
 - ・ 逆コンパイル、逆アセンブルその他リバースエンジニアリングすること。
 - ・ 営利目的で改変すること。
 - ・ ブラザー以外の者が著作権者として表示されている刺しゅうデータ（例：©Disney）を使用して創作された刺しゅう製品を販売等すること。

お客様は、本契約に基づき刺しゅうデータを使用する権利を取得しますが、刺しゅうデータに関する著作権そのものを取得するものではありません。

本契約は日本国法を準拠法とします。

本契約に関する問い合わせは郵便にて直接お送り願います。

〒467-8562 名古屋市瑞穂区河岸 1 丁目 1-1

ブラザー工業株式会社

パーソナル・アンド・ホーム事業 営業企画部

取り扱い上の注意

著作権について

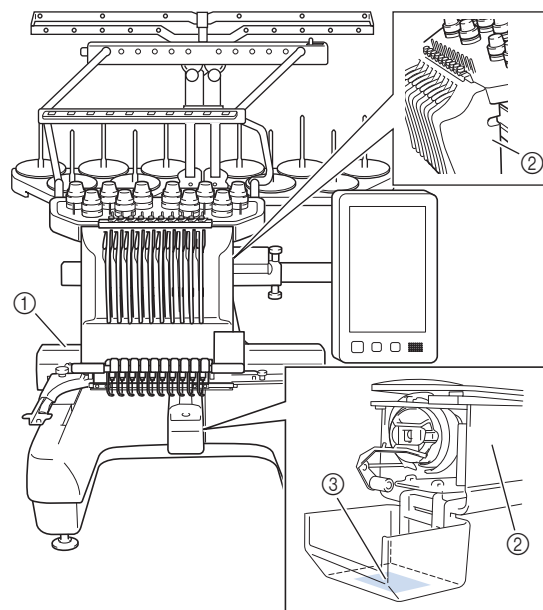
ミシンまたは別売の刺しゅうカードに内蔵されている刺しゅうデータのうち、当社が著作権を有するもの（「© Disney」等の他社著作権表示が付されているものを除きます）については、これらのデータを用いて縫製された刺しゅう模様を一般家庭用としてのみならず、営利用または業務用としても、自由にご利用（販売・譲渡等を含みます）いただけます。ただし、これら刺しゅうデータ自体に関する著作権は弊社が留保し、（縫製された刺しゅうではなく）このデータ自体を、複製・改変・譲渡・公衆送信・送信可能化することは許諾いたしません。また、当社以外の第三者の著作権表示が付されたもの（特に人気キャラクター）については、営利用または業務用としてご利用いただくことはできません。ご注意ください。

さらに、有名ブランド品の図案、ロゴ、名称、マーク等については、無許諾での複製は法律上罰せられます。これらについては、勝手に複製、縫製しないようご注意ください。

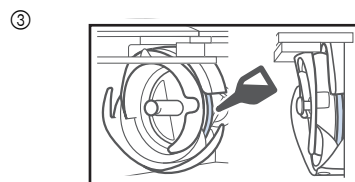
警告ラベルについて

ミシンには下記の警告ラベルが表示されています。各警告ラベルの内容を十分理解し、記載事項を守って作業を行ってください。また、警告ラベルは、はがれたり、傷ついたりしないよう十分注意してください。万が一ラベルがはがれていたり、読みとれなくなった場合は速やかに弊社にご連絡ください。

ラベルの場所



①	⚠️ VOORZICHTIG	⚠️ ATTENZIONE	⚠️ ОСТОРОЖНО!	⚠️ 注意	⚠️ 注意
	De borduurarm kan verwondingen veroorzaken. Houdt uw handen buiten bereik van de borduurarm.	Il carrello potrebbe ferirvi. Non appoggiate la mano nel percorso del carrello.	Движущаяся каретка может быть причиной травмы. Не кладите руки на пути движения каретки.	刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう針が動いているときに、手や物を近づけないでください。 ケガの原因になります。	在绣花机的导轨或绣花框移动时，为避免造成伤害，请不要将手或物品靠近。



毎日1回、釜のレース面に注油をしてからお使いください。

商標について

IBM は International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。

WPA™、WPA2™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。

SD は、SD-3C, LLC の登録商標または商標です。

CompactFlash (コンパクトフラッシュ) は SanDisk 社の登録商標または商標です。

メモリースティックはソニー株式会社の登録商標または商標です。

スマートメディアは、株式会社東芝の登録商標または商標です。

マルチメディアカード (MMC) は、Infineon Technologies 社の登録商標または商標です。

XD ピクチャーカード (xD-Picture Card) は富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

Android、Google Play は、Google LLC の商標です。

App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。

本取扱説明書に記載されているアプリケーションは、各社によってソフトウェアライセンスの所有・管理がされています。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名および商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

オープンソースライセンス公開

オープンソースライセンスに関する記述は、ブラザーのサポートサイト (<http://s.brother/cpbah/>) の製品マニュアルをご覧ください。

無線 LAN 接続に関するご注意

本製品の無線 LAN インターフェースは、電気通信事業者 (移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等) の通信回線 (公衆無線 LAN を含む) に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

目次

第1章 ミシンの準備 11

各部の名称	11
付属品	12
下糸巻き装置と付属品	14
別売品	15
ミシンの設置のしかた	17
設置・移動に関する注意	17
設置に適した場所	17
ミシンを据え付ける	18
固定板を外す	18
操作パネルの位置を調整する	18
糸案内を準備する	19
糸立台を準備する	20
台枠をセットする	20
電源の入れ方	21
液晶画面	23
設定キーを使う	24
ミシンヘルプキーを使う	27
無線 LAN 接続機能	28
無線 LAN 接続設定を有効にする	28
無線 LAN 接続をセットアップする	29
その他の機能	31
USB マウスを使う	31
モニタリングアプリ	31

第2章 使ってみましょう 33

基本手順	33
下糸をセットする	33
ボビンケースを取り出す	33
下糸巻き装置の準備	34
電源と接続する	35
下糸を巻く	35
ボビンをセットする	37
ボビンケースをセットする	38
模様を選ぶ	39
基本的な模様の選び方	39
刺しゅう模様を選ぶ	39
枠模様を選ぶ	40
実用刺しゅう模様／ボタンホール模様を選ぶ	41
モノグラムと枠デザインを選ぶ	41
文字模様を選ぶ	43
装飾アルファベットを選ぶ	45
模様を組み合わせる	46
模様の編集	47
編集画面の見方	47
模様の大きさと糸密度を変更する	50
文字間で糸を切る	50
文字模様を結合する	50
糸密度を変える	51
模様を整列する	51
繰り返し模様（ボーダー模様）を作る	52
色を編集する	56
一文字ずつ色を変える	56
模様の色を変える	56
カラーシャッフル機能を使って、新しい配色を設定する	58

液晶画面上で糸色を交換する	60
各針棒の糸色を選択する／管理する （手動糸色割付）	61
手動糸色割付の利便性	61
手動糸色割付モードにする	61
手動糸色割付を使う	61
手動糸色割付の注意点	62
仕上がりイメージを確認する	62
仕上がりイメージの見方	62
布地を準備する	63
布地に接着芯を貼る	63
布／接着芯の適合表	63
布地の張り方	64
刺しゅう枠をミシンにセットする	67
刺しゅう枠のセットのしかた	67
刺しゅう枠を上手に使うには	68
縫製設定	71
縫製設定画面の見方	71
自動止めぬい設定	73
糸色並べ替え	74
模様の位置を確認する	75
布地を表示して縫製位置を合わせる	75
内蔵カメラを使う	77
付属の刺しゅう位置合わせシールを使う	80
刺しゅう模様の確認	81
上糸をセットする	83
針棒と糸色を確認する	83
上糸をかける	84
糸を針穴に通す	87
刺しゅうをぬう	89
ミシンをスタートする	89
途中でミシンをストップするには	90
縫製画面の見方	91
刺しゅう枠を外す	92
11色以上の模様をぬうときは	93
糸こま交換が必要かどうかを確認するには	93
糸こま交換を指示されたときは	94
糸こま交換表示について	94
簡単な糸こま交換のしかた	94
刺しゅう時の調整	95
途中で糸が切れた／下糸がなくなったときは	95
始めまたは途中からぬいたいときは	97
停止後、途中からぬうときは	99

第3章 いろいろな機能 101

さまざまな刺しゅうの機能	101
刺しゅうのしつけぬい	101
アップリケ模様のぬい方	102
アップリケピースを作る	103
枠模様を使ってアップリケをするには	105
スティップリングやエコーキルトを自動的に作る	106
キルトサッシ	106
カメラを使って模様をつなぐ	110
3つの模様をつなげる	110
位置合わせシールの位置を変更する	115
レジューム機能	117

刺しゅうに関する設定の調整	118
下糸の調子を調整する	118
上糸の調子を調整する	119
糸替え時停止設定	120
一時的針棒設定	121
手動針棒／縫製速度設定	122
ガイド表示を切り替える	124
糸色表示を切り替える	124
渡り糸切り／DST 設定	124
小ピッチのステッチを削除する	125
糸残り量を設定する	125
刺しゅうしつけ距離を変更する	126
縫製スキップ設定	126
ぬい始め／終わり位置設定	128
刺しゅう模様の記憶	131
模様を記憶させる	131
模様を呼び出す	132
USB コードクランプを使用して USB 接続する	132
Link 機能～パソコンからミシンへ刺しゅうデータ を転送する～	133
Link 機能を使ってできる操作	133
Link 機能を使って刺しゅうする	134
Link 機能を解除する	136
ネーム刺しゅうをする（ネームモード）	137
1 色の糸でネーム刺しゅうする	137
2 色以上の糸を使ってネーム刺しゅうする	140
ネームモードを解除する	141
刺しゅうの応用	141
分割模様をぬう	141
付属のワイドテーブルを取り付ける	143
ワイドテーブルの取り外し方	145
別売のジャンボ枠で刺しゅうする	146

第 4 章 マイデザインセンター 149

マイデザインセンターについて	149
ドロー画面について	149
模様を作る前に	151
線を描く	151
模様を塗る	152
スタンプキーの使い方	154
消しゴムキーの使い方	154
選択キーの使い方	155
ステッチ設定画面	156
それぞれの模様にぬい方を設定する	156
一括でぬい方を設定する	158
マイデザインセンターでスキャンする	158
別売のスキャン枠を取り付ける	158
スキャンして取り込んだ下絵をなぞる	160
ラインデザイン	162
スキャン枠でラインデザインする線画を 取り込む	162
イラストデザイン	164
スキャン枠でイラストデザインするイラストを 取り込む	164

スティップリング	165
マイデザインセンターで基本的な スティップリングをする	165
スキャンした線画からスティップリング 模様を作る	167
布をスキャンしてスティップリングする	170
刺しゅう模様の周りに飾りぬいをする (キルト機能)	172

第 5 章 付録 175

お手入れの仕方	175
画面の汚れの掃除	175
本体表面の掃除	175
釜の掃除	175
針板まわりの掃除	176
ボビンケースの掃除	177
上糸の糸道の掃除	177
針を交換する	178
ミシンに注油する	180
メンテナンスメッセージについて	181
困ったとき	182
トラブルチェック	182
エラーメッセージ	187
キーを押しても反応しないときは	191
仕様	192
ミシンのソフトウェアをアップグレード する	194
USB メディアを使用したアップグレード 手順	194
索引	196

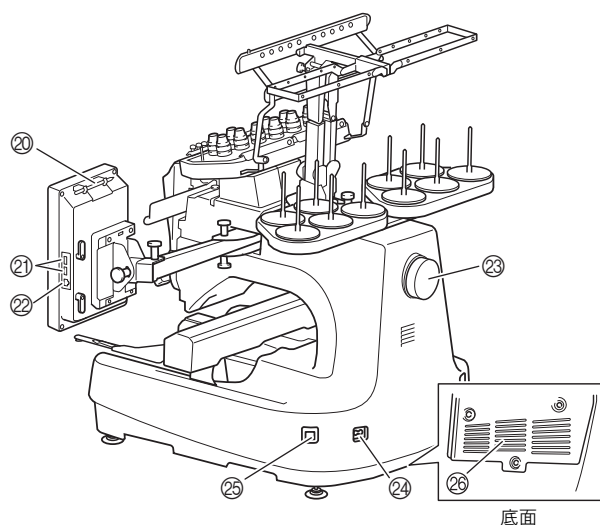
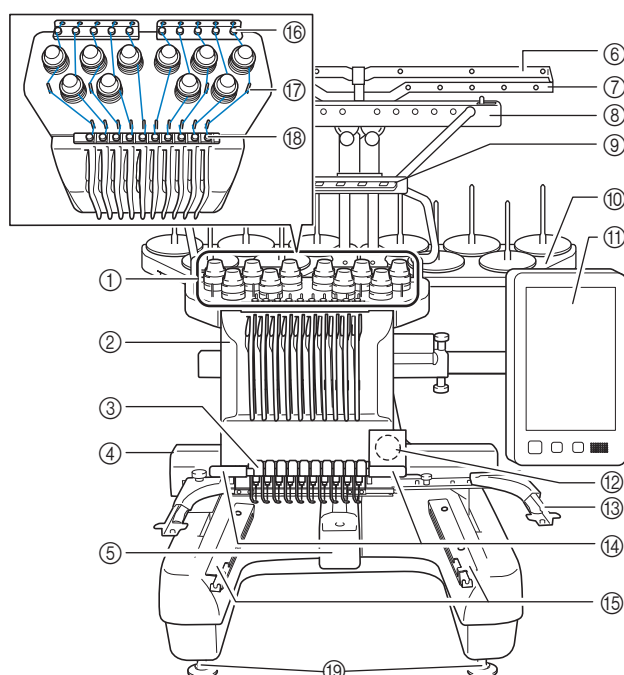
第1章 ミシンの準備

❖ お願い

- 必ず最新のソフトウェアをインストールしてください。
詳細は P.194 「ミシンのソフトウェアをアップグレードする」を参照してください。
<http://s.brother/cubai/>

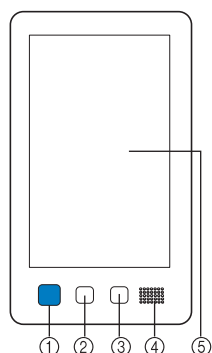
各部の名称

■ 主要部



- ① 糸調子つまみ (P. 119)
- ② 針棒ケース
左右に動いて、針を縫製位置に移動します。
- ③ 下糸案内
- ④ キャリッジ
ここに刺しゅう枠をセットします。電源を入れたときや縫製中、左右前後に動きます。
- ⑤ 釜力バー／釜 (P. 33)
- ⑥ 糸案内 A (P. 85)
- ⑦ 糸案内 B (P. 85)
- ⑧ 糸案内 C (P. 85)
- ⑨ 糸案内 D (P. 85)
- ⑩ 糸立台 (P. 20)
- ⑪ 操作パネル (P. 12)
- ⑫ 内蔵カメラ (P. 75)
- ⑬ 台枠 (P. 20)
- ⑭ 針もととライト
設定画面で針もととライトの明るさを調整できます。
- ⑮ ワイドテーブル支え板 (P. 143)
- ⑯ 糸道上 (P. 85)
- ⑰ 糸案内ピン (P. 86)
- ⑱ 糸道中 (P. 86)
- ⑲ レベル座 (P. 18)
- ⑳ タッチペンホルダー
タッチペンを使用していないときは、タッチペンホルダーに収納してください。
- ㉑ USB メディアポート (P. 31、P. 131)
USB メディアを USB ポートに差し込んで、刺しゅう模様データをやりとりできます。
Ⓜマークのある USB ポートに USB マウスを差し込みます。
- ㉒ パソコン接続用 USB ポート (P. 131)
USB ケーブルを USB ポートに差し込み、ミシンとパソコン間での刺しゅう模様データのやりとりが可能です。
- ㉓ プーリー
回すと針が上下に動きます。プーリーは操作パネルの方向に回してください。
- ㉔ 電源コードジャック (P. 21)
- ㉕ 電源スイッチ (P. 21)
電源を切った後はすぐに電源を入れないでください。5 秒待ってから電源を入れてください。
- ㉖ 換気口
モーターの換気用の穴です。ミシンを使用しているときはふさがないでください。

■ 操作パネル



① スタート/ストップスイッチ

ミシンをスタートまたは停止します。ミシンの状態によって、スイッチの状態・色が変わります。

- 赤色の点灯 : スタート不可能な状態のとき
- 緑色の点滅 : スタート可能な状態のとき
- 緑色の点灯 : 縫製中
- オレンジ色の点滅 : 糸切り可能な状態のとき
- 消灯 : 電源が入っていないとき

② 糸切りスイッチ

上糸と下糸を切るときに押します。

③ 自動針穴糸通しスイッチ

針に糸を通すときに押します。

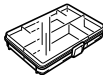
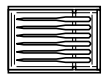
④ スピーカー

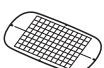
⑤ 液晶画面 (タッチパネル)

ここに表示されるキーを押して模様選択、編集をしたり、情報の確認をします。

付属品

箱を開けたら、まず以下の付属品が揃っているか確認してください。不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

	部品名
1. 	付属品ケース
2. 	ミシン針セット (2 セット)
3. 	使い捨てボビン (6 個)
4. 	糸こまネット (10 個)
5. 	リッパー
6. 	糸切りはさみ
7. 	ピンセット
8. 	タッチペン
9. 	糸通し
10. 	針交換ツール
11. 	針板カバー
12. 	針板スペーサー (ミシンに取り付けてあります)
13. 	プラスドライバー
14. 	小型ドライバー
15. 	針交換ドライバー
16. 	3ウェイドライバー

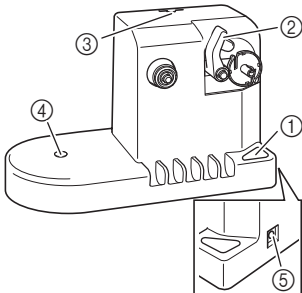
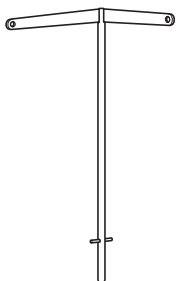
	部品名
17. 	スパナ
18. 	油差し
19. 	ミシンブラシ
20. 	下糸おもり (L タイプ)
21. 	USB コードクランプ (2 個)
22. 	糸こまフェルト (10 個)
23. 	糸こま押え (10 個)
24. 	USB ケーブル
25. 	刺しゅう枠 (特大枠) ヨコ 360mm× タテ 200mm
26. 	刺しゅう枠 (L 枠) ヨコ 180mm× タテ 130mm
27. 	刺しゅう枠 (M 枠) ヨコ 100mm× タテ 100mm
28. 	刺しゅう枠 (S 枠) ヨコ 60mm× タテ 40mm
29. 	刺しゅうシート (特大) ヨコ 360mm× タテ 200mm
30. 	刺しゅうシート (L) ヨコ 180mm× タテ 130mm
31. 	刺しゅうシート (M) ヨコ 100mm× タテ 100mm
32. 	刺しゅうシート (S) ヨコ 60mm× タテ 40mm

	部品名
33. 	刺しゅう位置合わせシール (4 シート)
34. 	台枠 A (白いカバー付)
35. 	台枠 B (薄いグレーのカバー付)
36. 	取扱説明書
37. 	操作早見表
38. 	模様一覧
39. 	ワイドテーブル
40. 	ミシン本体用フェライトコア付き電源コード
41. 	ボビンケース (ミシンに取り付けてあります)

お知らせ

- 付属のタッチペンは、操作パネルの裏側上部にあるタッチペンホルダーに収納できます。(P. 11)

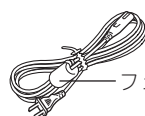
下糸巻き装置と付属品

42.	部品名
42-1.  ① 電源スイッチ ② ボビン押え ③ 糸案内用穴 ④ 糸立棒用穴 ⑤ DC 入力端子	下糸巻き装置
42-2. 	下糸立棒
42-3. 	糸こまクッション
42-4. 	糸案内
42-5. 	AC アダプター
42-6. 	下糸巻き装置用電源コード
42-7. 	金属ボビン (5 個)
42-8. 	糸こま押え

42-9.		下糸おもり (L タイプ)
42-10.		下糸おもり (S タイプ)

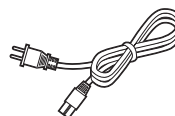
⚠ 注意

- 下糸巻き装置に付属している電源コードは、下糸巻き装置専用です。ミシン本体に使用しないでください。誤って、ミシン本体に下糸巻き装置用の電源コードを使用すると、ミシンが誤動作したり、他の機器の動作に影響を及ぼしたりするおそれがあります。



フェライトコア

ミシン本体用フェライトコア付き電源コード（フェライトコアは電磁波ノイズを抑制するための部品です。）



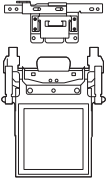
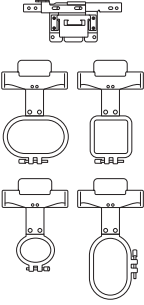
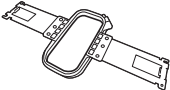
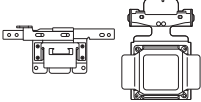
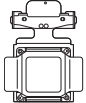
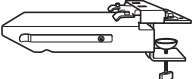
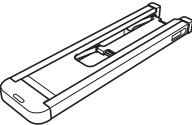
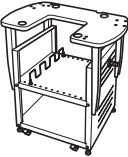
下糸巻き装置用電源コード

別売品

別売品として、以下の製品を用意しています。

	部品名 モデル名
1. 	帽子枠 F セット PRCF5AP
2. 	帽子枠 F ヨコ 130mm× タテ 60mm PRCFH5AP
3. 	ワイド帽子枠セット PRPCF1
4. 	ワイド帽子枠 ヨコ 360mm× タテ 60mm PRPCFH4
5. 	帽子枠 2 セット PRCF3J
6. 	帽子枠 2 ヨコ 130mm× タテ 60mm PRCFH3J
7. 	シリンダー枠セット PRCL1J
8. 	シリンダー枠 ヨコ 90mm× タテ 80mm PRCLH1J
9. 	マグネット原反枠 ヨコ 360mm× タテ 200mm PRMS360AP

	部品名 モデル名
10. 	キルト枠 ヨコ 200mm× タテ 200mm PRPQF200
11. 	ボーダー枠 ヨコ 300mm× タテ 100mm PRPBF1
12. 	ジャンボ枠 ヨコ 360mm× タテ 360mm PRPJF360
13. 	丸枠セット PRPRFK1
14. 	丸枠 (100mm 径) PRPRF100
15. 	丸枠 (130mm 径) PRPRF130
16. 	丸枠 (160mm 径) PRPRF160
17. 	台枠 C (濃いグレーのカバー付) PRPARMC
18. 	平枠 ヨコ 300mm× タテ 200mm PRF300J
19. 	刺しゅう枠 (LL 枠) ヨコ 300mm× タテ 200mm PRH300
20. 	クランプ枠キット 1 PRCLP45B
21. 	クランプ枠キット 2 PRCLP45LR

	部品名 モデル名
22. 	クランプ枠セット M PRCLPM1AP
23. 	ネーム枠キット PRHCK1AP ネーム枠と台枠 E は単品でもご購入頂けます。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
24. 	縦長枠 PRHSL200AP
25. 	マグネット枠セット PRMFA50AP
26. 	マグネット枠 PRMF50AP
27. 	筒物用枠張りジグ PRMFJ1AP
28. 	筒物用テーブル PRTT1AP
29. 	金属ボビン MBN:5 個入り B013:1 個
30. 	専用スタンド VRPRNSTD
31. 	下糸おもり (S タイプ) XC6631-051

	部品名 モデル名
32. 	刺しゅう位置合わせシール (8 シート) EPS2
33. 	PR マイデザインセンターキット PRSCANFKIT1AP
34.	刺しゅうデータ作成ソフトウェア 「刺しゅう PRO」 —
35.	ネーム刺しゅうソフトウェア 「ネーム PRO」 —

お知らせ

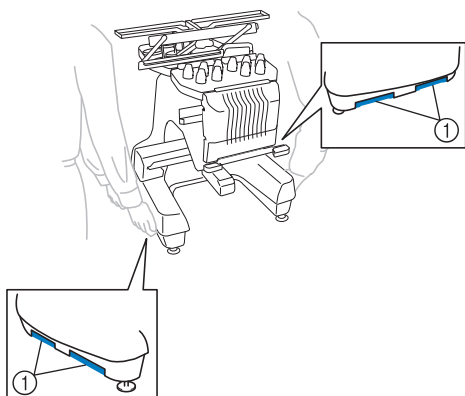
- 別売品については、モデル名をご確認の上、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 付属品や別売品は、指定のもの以外は使用しないでください。
- 仕様は、改良のために予告無く変更することがあります。

ミシンの設置のしかた

設置・移動に関する注意

⚠ 注意

- ミシンの使用温度は5～40℃です。低温や高温はミシンの誤動作の原因となります。
- 直射日光の当たらない環境で使用してください。直射日光はミシンの誤動作の原因となります。
- しっかりとした机や台の上にレベル座を接地させて、マシンがガタつかないように設置してください。
- ミシンの下に物を入れて、マシン底面後方の換気口をふさがないでください。また、換気口に糸くずやほこりがたまらないようにしてください。マシン内部の温度が上がると故障・火災の原因となります。
- ミシン本体の重さは約41.8kgあります。運搬や設置は、必ず2人以上で行ってください。
- ミシンを持ち運ぶ際は、必ず底部の指定箇所(①)を持ってください。他の部分を持つとこわれたり、手がすべって落ちたりして、けがの原因となります。

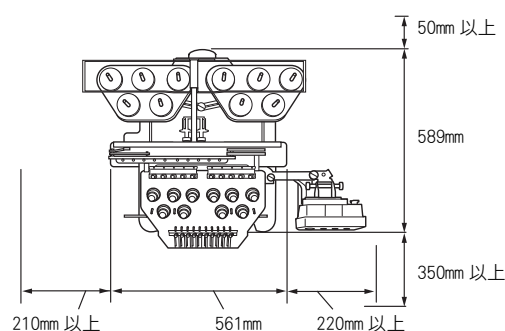
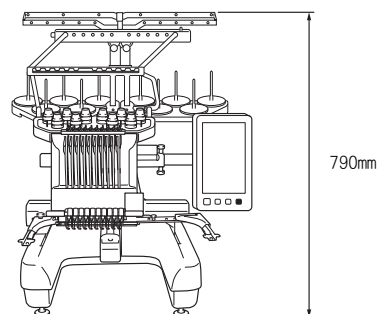


- 雷が発生しているときは電源を切り、電源プラグを抜いてください。雷はミシンの誤動作・故障の原因となります。
- 設置が完了するまで、電源プラグを接続しないでください。誤ってスタート/ストップスイッチを押すと、マシンが作動してけがの原因となります。
- 潤滑油やグリスを扱うときは、保護眼鏡や保護手袋などを使用し、目や皮膚に付かないようにしてください。炎症を起こす原因となります。また潤滑油やグリスを飲んだり食べたりしないでください。下痢・おう吐することがあります。お子様の手の届かないところに置いてください。
- 刺しゅう枠や付属品の取り付け、取り外し時や、ミシンのお手入れ時は、ミシンの可動部品に物が当たらないよう注意して行ってください。

設置に適した場所

ミシンは、次のような場所に設置してください。

- 本体と壁の間に 50mm 以上のすき間をあける
- ミシン本体が十分置けるスペースのある場所
- 刺しゅう枠の稼動範囲には物を置かない
- コンセントから直接電源をとれる場所
- 机や台の上など、水平で安定した場所
- ミシン本体の重さ（約 41.8kg）に耐えられる場所
- 底面後方の換気口をふさがない



⚠ 注意

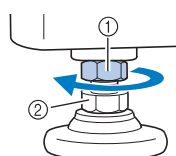
- 誤動作や故障の原因となるため、次のような場所には設置しないでください。
 - ・ 水などの液体のかかる場所
 - ・ ほこりの多い場所
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 極端に高温または低温になる場所（使用環境は 5℃ から 40℃ の間に限られます）
 - ・ 十分なスペースがない場所
 - ・ 刺しゅう枠の稼動範囲に物が置いてある
 - ・ 底面後方の換気口をふさいでいる
 - ・ ぐらついた台
- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。



ミシンを据え付ける

脚を調節し、ガタつかないようにミシン本体を据え付けます。

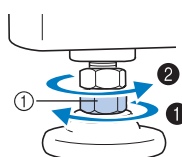
- 1 ミシンに取り付けられている保護テープや保護材が、すべて取り外されていることを確認します。
- 2 設置スペースを確保して、ミシンを設置します。
設置スペースについて詳しくは、P. 17 を参照してください。
- 3 ガタつかないように脚を調節します。
調整したい脚のナットを、付属のスパナでゆるめます。



- ① ナット
② レベル座のナット

→ レベル座が回るようになります。

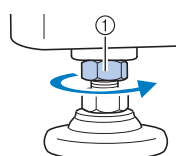
- 4 レベル座のナットを、付属のスパナで回します。
脚は、① の方向に回すと伸び、② の方向に回すと縮みます。



- ① レベル座のナット

- 4 本の脚のレベル座がしっかりと接地し、ミシンが水平になるように調節します。

- 5 脚の長さが調節できたら、ナットを付属のスパナでしめます。



- ① ナット

- 6 角を押してみて、ガタつきがないか確認します。
ガタつくときは、再度手順 ③ から ⑤ を行い、脚を調整します。

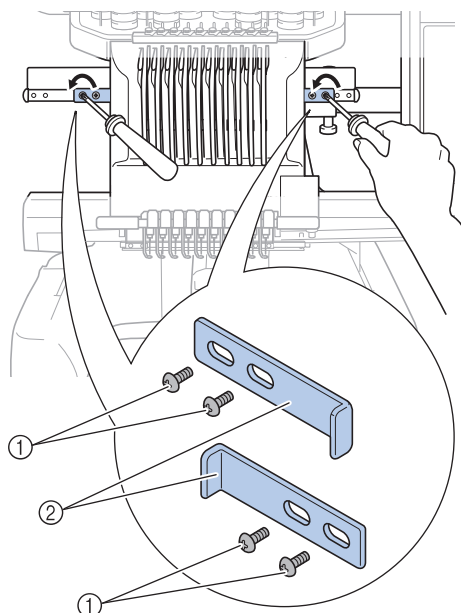
固定板を外す

⚠ 注意



- ミシンの電源を入れる前に、固定板を外してください。固定板が取り付けられたまま電源を入れると、故障の原因になります。

- 1 付属のプラスドライバーを使って、固定板の 4 本のネジを外します。



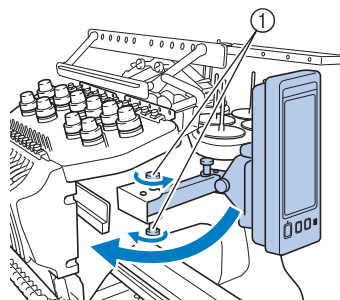
- ① ネジ
② 固定板

📖 お知らせ

- 固定板とネジはミシンの輸送時に使用しますので、廃棄せずに保管してください。輸送時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

操作パネルの位置を調整する

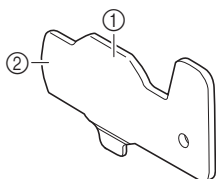
- 1 上下 2 本のつまみボルトをゆるめて、操作パネルを手前に引き寄せます。



- ① つまみボルト

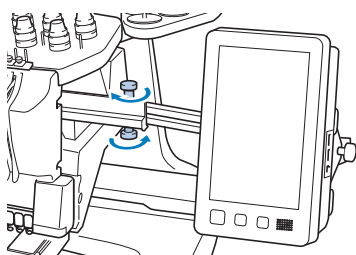
お願い

- つまみボルトをゆるめたり、しっかりしめたりするときは、付属の3ウェイドライバーを使用してください。

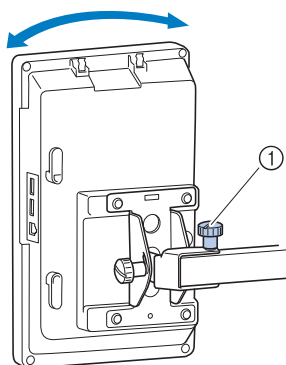


- ① 上下のつまみボルトにはこの部分を使用します。
② 左右のつまみボルトにはこの部分を使用します。

- 2** 使いやすい位置に操作パネルを合わせたら、つまみボルトをしめます。

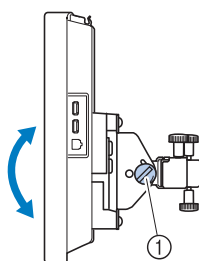


- 3** 向きを調整します。
つまみボルトをゆるめて使いやすい向きに調整し、つまみボルトをしめます。

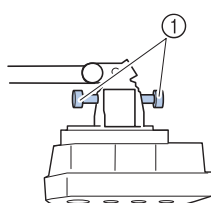


- ① つまみボルト

- 4** 角度を調整します。
左右のつまみボルトをゆるめて使いやすい角度にし、つまみボルトをしめ付けます。



側面



上面

- ① つまみボルト

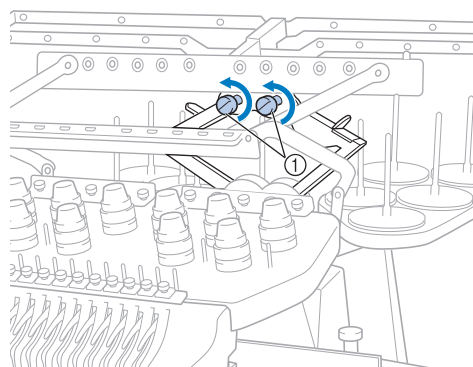
糸案内を準備する

注意

- 次回から糸案内を立てるときは、6番針棒を縫製位置に移動してから行ってください。他の針棒が縫製位置にあると、故障の原因となります。(針棒の移動については、P.88「糸通しをする針棒を縫製位置に移動する」を参照してください。)

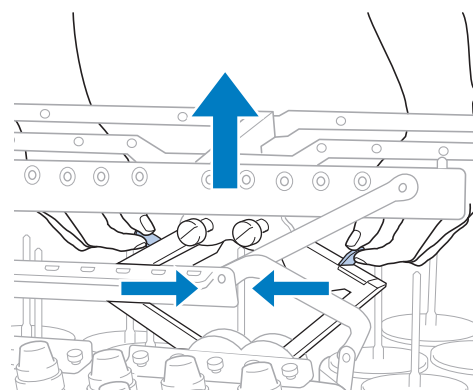


- 1** 糸案内支持棒上部の2本のつまみボルトをゆるめます。

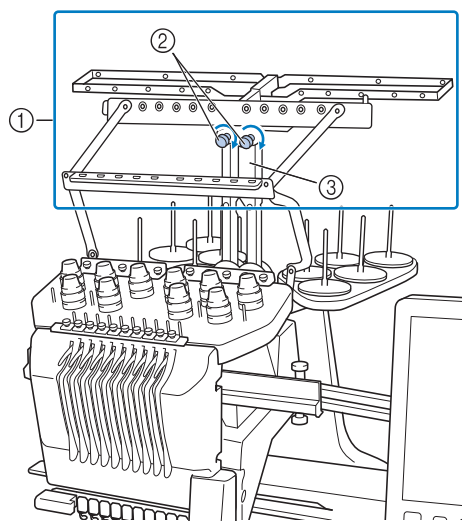


- ① つまみボルトを3～4回、左に回してゆるめます。

- 2** 糸案内支持棒のグリップを持ち、中心方向に押しします。



- ③ 糸案内支持棒を伸ばし、糸案内が最上位置に上がった
ら、2本のつまみボルトをしめ、糸案内を固定しま
す。



- ① 糸案内
② つまみボルト
③ 糸案内支持棒

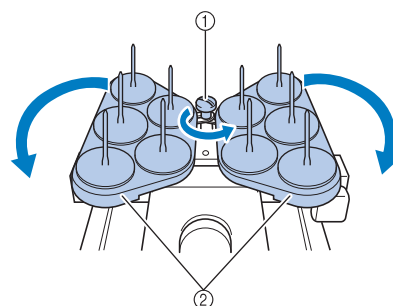
💡 お願い

- 各つまみボルトのゆるめ方が弱いと、糸案内支持棒を動かすことができません。無理に動かさないで、つまみボルトを十分ゆるめてから動かしてください。
- 各つまみボルトをしめるときは、糸案内支持棒が固定されるよう、確実にしめてください。

糸立台を準備する

- ① つまみボルトを2～3回、回してゆるめ、糸立台を外
側に開きます。

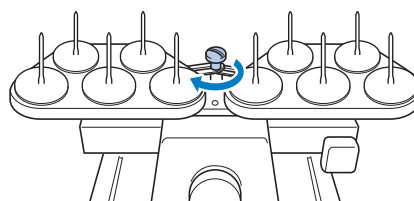
* 後ろから見た図



- ① つまみボルト
② 糸立台

- ② いっぱいまで開いたら、つまみボルトをしめ付けま
す。

* 後ろから見た図

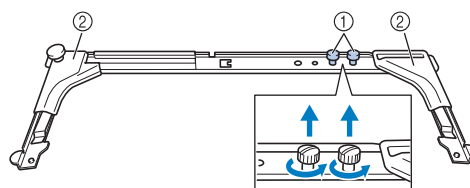


→ 糸立台が開いた状態で固定されます。

台枠をセットする

- ① 使用する刺しゅう枠用の台枠を用意します。(P. 68 ~
P. 70)

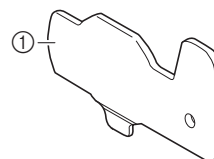
- ② 台枠の2本のつまみボルトを外します。



- ① つまみボルト
② カバー

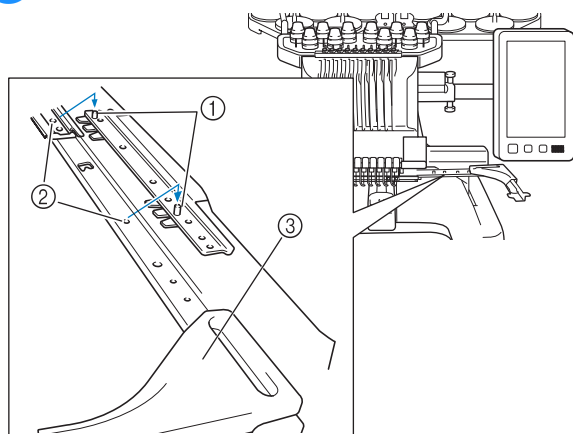
💡 お願い

- つまみボルトをゆるめたり、しっかりしめたり
するときは、付属の3ウェイドライバーを使用
してください。



① 台枠のつまみボルトにはこの部分を使用します。

3 台枠の穴を X キャリッジのピンに差し込みます。

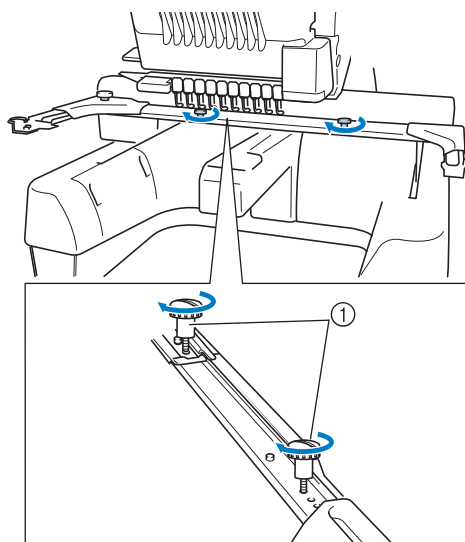


- ① X キャリッジのピン
② 台枠の穴
③ カバー

💡 お願い

- 各台枠は、カバーの色が異なります。
台枠 A: 白
台枠 B: 薄いグレー
台枠 C (別売): 濃いグレー

4 手順 2 で外したつまみボルトを使用し、台枠を固定します。



- ① つまみボルト

💡 お願い

- 本製品には、2 種類の台枠が付属されています。付属の 4 つの刺しゅう枠を使用するときは、台枠 A を使用してください。(P. 68)
- 台枠 B や他の台枠 (別売) については、P. 69 を参照してください。

これで、ミシンの準備は完了しました。

電源の入れ方

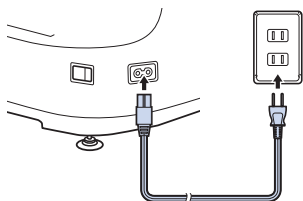
⚠ 警告

- 一般家庭用 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電源プラグは、コンセントやミシンの電源ジャックにしっかりと差し込んでください。火災・感電・故障の原因となります。
- コンセントが壊れていたり、ぬれているなど、問題がある場合は、電源プラグを差さないでください。
- 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。
 - ・ ミシンのそばを離れるとき
 - ・ ミシンを使用したあと
 - ・ 使用中に停電したとき
 - ・ 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
 - ・ 雷が鳴りはじめたとき

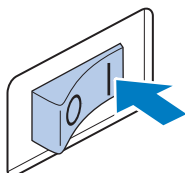
⚠ 注意

- 必ず、付属のミシン本体用フェライトコア付き電源コードを使用してください。
- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お買い上げの販売店または「PR/VR 専用ダイヤル」にご連絡ください。
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。

- 1 電源コードを電源コードジャックに差し込み、電源プラグを家庭用電源コンセント（AC100V）に差し込みます。



- 2 本体右側面の電源スイッチの右側（I側）を押します。



→ 液晶画面が点灯します。

- 3 液晶画面にオープニング画面が表示されたら、液晶画面を押してください。液晶画面のどこを押しても、次の画面に変わります。

- 4 **OK** を押します。



→ 模様選択画面が表示され、スタート/ストップスイッチが赤く点灯します。

- 5 キャリッジが初期設定の位置に移動します。

- 1 番針棒が縫製位置にない場合は、針棒ケースが動いて、1 番針棒が縫製位置に移動します。



！ 注意

- キャリッジに手や物を近づけないでください。けがの原因となります。

- 6 ミシンの電源を切るには、電源スイッチの左側（O側）を押します。

📖 お知らせ

- このミシンは、縫製途中で中断し電源を切っても、次に電源を入れたときに続きからぬうことができます。その場合は電源を入れたとき、続きをぬうか、新しく操作を始めるかを選択できます。（P. 99）

■ ミシンを初めて使うとき

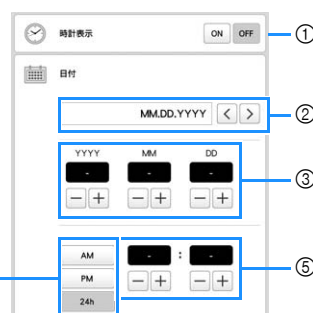
初めて本機の電源を入れたときは、言語と日時を設定してください。以下の手順に従って設定を行ってください。

- 1 **<**と**>**を押して、言語を設定し、**OK**を押します。



→ キャリッジが初期設定の位置に移動します。

- 2 日時設定を行うかどうかを確認するメッセージが表示されるので、**OK**を押します。



- ① [ON] にすると、日時が画面に表示されます。
- ② **<**または**>**で日付の表示方法を選択します。
- ③ 年 (YYYY)、月 (MM)、日 (DD) を設定します。
- ④ 24 時間表示 / 12 時間表示を選択します。
- ⑤ 現在の時刻を設定します。

- 3 **OK** を押してミシンをスタートします。

→ 時計は設定した時計の 0 秒から始まります。

💡 お願い

- 長期間ミシンを使用しなかった場合は、設定した日時がクリアされます。
- 時刻設定は、液晶画面の右下にある  を押してもできます。

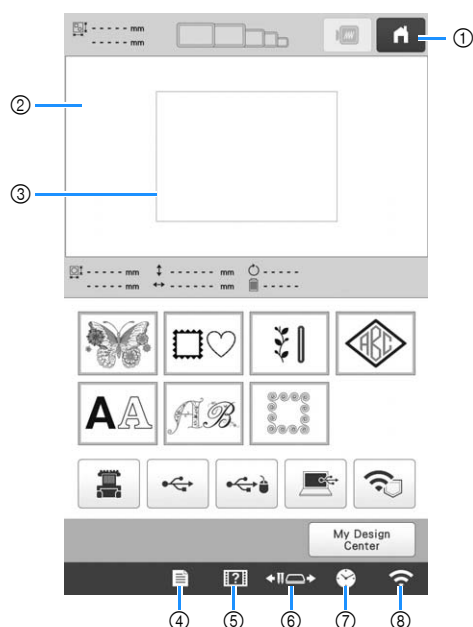
液晶画面

画面やキーは必ず指または付属のタッチペンで押し、機能を選択してください。

！ 注意

- 画面は指、または付属のタッチペンで押してください。シャープペンシル、ドライバーなど先のとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。
- 周囲の温度や環境によっては、画面全体または一部が暗く、もしくは明るく見えることがあります。故障ではありません。画面が見にくいときは、明るさを調整してください。

■ 模様選択画面



番号	画面表示	説明	参照ページ
	名称		
①	 ホームキー	今までの作業を取り消し、最初の模様選択画面に戻るときに押します。	—
②	— 模様表示エリア	選択した模様が表示されます。	P. 124
③	— 刺しゅう範囲表示	装着している刺しゅう枠の縫製範囲を示します。刺しゅう枠の表示やグリッドライン、その他のディスプレイの設定をミシンの設定画面で設定できます。	P. 124

番号	画面表示	説明	参照ページ
	名称		
④	 設定キー	ミシンの設定を変更するときには押します。	P. 24
⑤	 ミシンの 使い方キー	使い方を確認するときには押します。	P. 27
⑥	 針棒／枠移動 キー	選択した針棒を移動し、糸通しするときには押します。 また、刺しゅう枠の取り付け、取り外しがしやすくなるよう、キャリッジを移動するときや、注油をするときにも押します。	P. 68、 88
⑦	 時計キー	時刻を設定するときには押します。	P. 22
⑧	 無線 LAN 設定 キー	無線 LAN の設定を変更するときには押します。また、無線 LAN の信号強度を示しています。	P. 26

* ここで説明しているキーは、これから説明する画面で常に表示され、その機能を使うことができます。

設定キーを使う

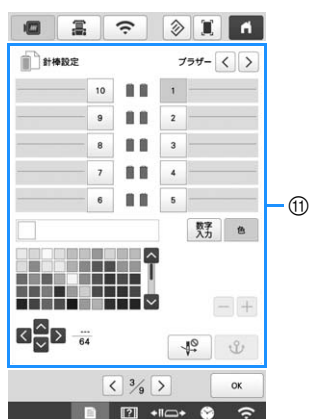
を押すと、明るさ、音量、オープニング画面など、ミシンの標準設定を変えることができます。

“刺しゅうの設定” 、“ミシン本体の設定” 、“無線 LAN の設定” を押すと、機能ごとの画面が表示されます。

お知らせ

- 初期設定値はハイライトされます。
- < または > を押すと、別の設定画面が表示されます。

■ 刺しゅうの設定



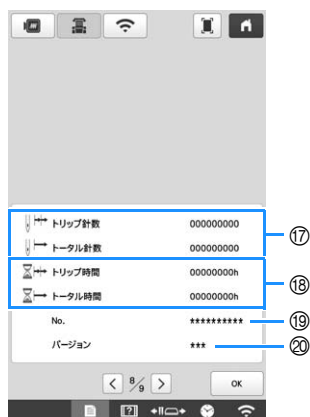
- ① このキーのあるページの設定項目を工場出荷時の内容に戻します。
- ② USB メディアに現在の設定画面を画像として保存できます。
- ③ 模様表示エリアのガイド（中心表示（針位置）、グリッド）表示を設定できます。（P. 124）
- ④ ぬい順表示や糸替え表示、糸色順表示の色情報は、糸名、糸ブランドおよび糸番号または縫製時間に切り替えることができます。（P. 124）
- ⑤ 刺しゅうの色に応じて、縫製エリアおよび模様キーの表示色を変更すると、より見やすく、選びやすくなる場合があります。
- ⑥ 渡り糸の糸切りする／しないを設定できます。また、渡り糸の長さも設定できます。タジマフォーマット (.dst) の刺しゅうデータを使う場合は、ジャンプコード数の指定により糸切りする／しないを設定できます。（P. 124）
- ⑦ 小ピッチのステッチを削除するときの、ピッチの長さを設定できます。（P. 125）
- ⑧ 糸切り後に針穴に残る（針穴から出ている）上糸の長さを設定できます。（P. 125）
- ⑨ 模様としつけぬいとの距離を指定します。（P. 126）
- ⑩ ミシンがぬい始めてから最高速度に到達するまでの速度を切り替えることができます。

お知らせ

- ⑥DST 設定および ⑦ 小ピッチ削除は、新たに設定を変更した場合、それが適用されるのは次の刺しゅうからになります。

- ⑪ 特定の針棒に任意の糸色を設定できます。設定された針棒は、解除するまで設定された糸色が割り当てられます。また、特定の針棒に縫製最高速度と、糸通し禁止を設定できます。この機能は縫製画面からは設定できません。（P. 122）
- ⑫ 背景に布地を表示する／しないを設定できます。（P. 75）
- ⑬ 布地をスキャンして背景画像として表示するとき、厚手の布地を使う場合に、カメラが布地を正しく認識できるように布地の厚さを確認します。（P. 76）
- ⑭ 布地をスキャンして模様の背景画像として表示する場合や、内蔵カメラを用いて布地をカメラ画像画面に表示する場合に、テーブルの取り付け状況の設定項目をあらかじめ設定します。（P. 76）
- ⑮ 縫製設定画面で、カメラに表示される範囲を青い枠で示します。
- ⑯ カメラ画面にグリッド線を表示します。模様の角度を調整するのに便利です。

■ ミシン本体の設定



⚠ 注意



- [糸センサー] が [OFF] のときは、ミシンが絡まった上糸を検知することができません。糸が絡まったまま縫製を続けると、故障の原因となります。

- ① ミシンの電源を入れたときにオープニング画面を表示するかしないか ([ON] / [OFF]) を設定できます。
- ② エコモードまたは電源オフサポートモードを設定します。(P. 26)
- ③ スクリーンセーバーに切り替わるまでの時間を選びます。
- ④ スクリーンセーバーの画像を変更します。(P. 26)
- ⑤ 液晶画面の明るさが調整できます。
- ⑥ 針もとライトの明るさを調整ができます。
- ⑦ 糸こま交換時やエラーが起きたときに、針もとライトの照明効果でお知らせする明るさを設定できます。
- ⑧ 操作音の音量を調節できます。設定値が高いときは音量が大きくなり、低いときは音量が小さくなります。
- ⑨ エラー通知音の音量を調節できます。設定値が高いときは音量が大きくなり、低いときは音量が小さくなります。
- ⑩ 刺しゅうの表示単位を設定できます (mm / inch)。
- ⑪ 表示言語を設定できます。指定した言語でキーやメッセージが表示されます。
- ⑫ Link (リンク) モードの [ON] / [OFF] が設定できます。また、USB ケーブル接続または無線 LAN 接続を選びます。(P. 134)
- ⑬ ネームモードの [ON] / [OFF] が設定できます。(P. 137)
- ⑭ 手動糸色割付機能の [ON] / [OFF] が設定できます。(P. 61)
- ⑮ 上糸・下糸センサーの [ON] / [OFF] が設定できます。[OFF] にすると、上糸を通さないでミシンを動かすことができます。
- ⑯ USB マウスを使用している場合は、ポインターの形を変更します。
- ⑰ トータル針数カウンターは、ぬわれた針数の総数を示し、トリップ針数カウンターは、前回のメンテナンス以降にミシンでぬわれた針数を示します。
- ⑱ トータル時間カウンターは、ミシンがこれまでに使用された総時間を示し、トリップ時間カウンターは、前回のメンテナンス以降にミシンが使用された時間を示します。
- * ⑰、⑱ のカウンター数値は、ミシンの定期メンテナンスを受けられる時期の目安としてご利用ください。
- ⑲ このミシンの番号です。
- ⑳ このミシンにインストールされているソフトウェアのバージョンを示します。

💡 お願い

- 最新のソフトウェアをインストールしてください。ミシンのアップデートについては、「PR/VR 専用ダイヤル」にお問い合わせいただくか、「<http://s.brother/cubai/>」をご覧ください。(P. 194)

■ 無線 LAN の設定



- ① 無線 LAN 機能を有効または無効にします。
- ② 接続する SSID を表示します。
- ③ ミシンを無線 LAN 機能へ接続する設定をします。
- ④ 無線 LAN 機能で使用する本機の名前です。本機から刺しゅう編集ソフト（刺しゅう PRO 11 およびそれ以降のバージョン）にファイルを転送するときに、この名前が表示されます。
- ⑤ 無線 LAN 機能で使用する本機の名前を変更します。
- ⑥ 無線 LAN の状態を表示します。
- ⑦ その他の設定を表示します。
- ⑧ ネットワーク操作をリセットします。
- ⑨ 専用アプリへの案内を表示します。

■ [エコモード] または [電源オフサポートモード] を設定する

[エコモード] または [電源オフサポートモード] を設定すると、ミシンの電力を節約することができます。特定の時間、本機を使用しないでいると、次のいずれかのモードに入ります。

[エコモード]：

スリープモードに入ります。刺しゅうを続けるには、画面に触れるか、スタート/ストップスイッチを押します。

[電源オフサポートモード]：

一定期間後に電源が切れます。刺しゅうを再開するには、一度電源を切り、再度電源を入れます。

 を押して、[エコモード]、[電源オフサポートモード] を表示してください。（P. 25）

💡 お願い

- ミシンが [エコモード] または [電源オフサポートモード] に入っている間に電源を切った場合は、約 5 秒待ってから再度電源を入れてください。

■ スクリーンセーバーの画像を変更する

ミシンのスクリーンセーバーに、あらかじめ設定されている画像の代わりにお好みの画像を使用することができます。

スクリーンセーバー画像を変更する前に、パソコンか USB メディアにその画像を保存してください。

対応している画像ファイルについて詳しくは、P.192 「仕様」を参照してください。

- 1  を押し、 を押します。
→ ミシン本体設定画面が表示されます。

- 2 ミシン本体設定画面の [スクリーンセーバー] を表示します。

- 3  を押します。

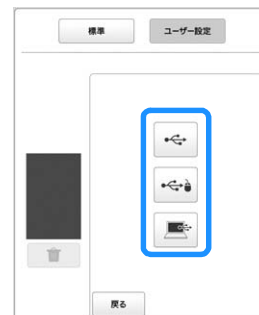


- 4  を押します。

- 5 画像が保存されている USB メディアまたはパソコン（USB ケーブルを使用）をミシンの USB ポートに接続します。

- 6  を押し、最初の画像を選びます。

- 7 接続されているデバイスを選びます。



→ 画面に画像の一覧が表示されます。

-  を押すと、選んだ画像を削除します。
-  を押すと、前画面に戻ります。

- 8 ファイル名を押して画像を選んでから  を押します。

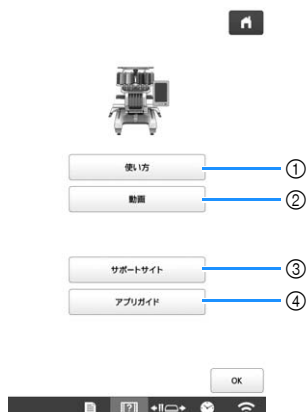
→ 選択された画像がミシンに記憶されます。

- 9 手順 ⑥ から ⑧ を繰り返して、残りの画像を選びます。

- 10  を押すと、元の画面に戻ります。

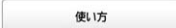
ミシンヘルプキーを使う

を押すと、ミシンヘルプキー画面が表示されます。下の画面から機能を使用できます。



- ① 上糸通し、下糸セット、刺しゅうの準備など、ミシンの使い方についての説明を見るときに押します。(P. 27)
- ② ミシンの使い方動画やUSBメディアからMPEG-4 (MP4) 動画を見るときに押します。(P. 27、P. 28)
- ③ ブラザーのサポートサイトのリンク情報を表示します。
- ④ 専用アプリの情報を表示します。

■ 操作ガイド機能を使う

を押すと、次の画面が表示されます。画面上段に項目が表示されます。詳しい内容を知りたい項目のキーを押します。操作によっては、動画による説明もあります。動画で詳しい操作方法を見ることができる操作もありますので、参考にしてください。



- ① ミシンの重要な部品とそれぞれのはたらきを表示して説明します。
- ② 基本的な糸かけおよび枠張りの操作方法などを図示します。
- ③ 問題解決のための基本的なガイドです。
- ④ ミシンのメンテナンス方法を示します。

■ 使い方動画を再生する

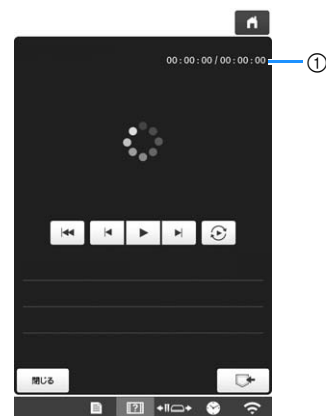
本機でミシンの使い方動画を見ることができます。

- 1 を押します。
- 2 を押します。
- 3 カテゴリーを選択し、見たい動画を選択します。



- ① カテゴリー
 - ② 使い方動画
- 選択した動画が再生されます。

- 4 動画を再生します。



- ① 経過秒数/トータル秒数

操作キー

	再生
	一旦停止
	10 秒戻る
	10 秒送る
	はじめに戻る
	繰り返し
	ビデオ削除 (ミシン本体から再生している場合)
	ミシンに保存 (USB メディアから再生している場合)

📖 お知らせ

- よく見るビデオは、ミシンの  (お気に入り) に保存し、そこから再生することができます。

- 5 動画の再生が終わったら、を押します。

■ MPEG-4 (MP4) 動画を再生する

ご自分の MP4 動画を、USB メディアから再生できます。また、例えば、作品づくりの参考になる MP4 動画をミシンに保存し、見たいときに再生することもできます。再生可能な動画について詳しくは、P.192「仕様」を参照してください。

お知らせ

- MP4 ファイルの種類によっては、再生できないことがあります。

1 を押します。

2 を押します。

3 動画が保存されているデバイスを選択します。



- : 操作説明の動画を再生します。
- : ミシンに保存した動画（お気に入り）を再生します。
- : USBポートに接続したUSBメディアから動画を再生します。
- : マウス用USBポートに接続したUSBメディアから動画を再生します。

4 再生したい動画を選択します。

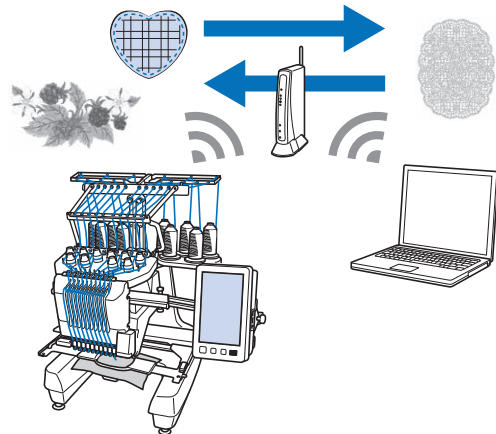
5 動画を再生します。

* 操作キーの使い方は、P. 27「使い方動画を再生する」を参照してください。

6 動画の再生が終わったら、 を押します。

無線 LAN 接続機能

本機は無線 LAN 接続に対応しています。この機能を使うと、無線転送機能で、刺しゅう編集ソフトウェア（刺しゅう PRO 11 およびそれ以降のバージョン）で編集された刺しゅう模様を、パソコンから本機に転送することができます。また、刺しゅう模様を本機から刺しゅう編集ソフトウェア（刺しゅう PRO 11 およびそれ以降のバージョン）に転送することができます。本機とパソコンは同じネットワークに接続する必要があります。詳細な手順については、刺しゅう編集ソフトウェアのマニュアルを参照してください。



無線 LAN 接続設定を有効にする

本機はお使いの無線 LAN に接続することができます。

1 を押し、 を押します。

2 [無線 LAN 有効] を [ON] にします。



→ ミシンが無線接続の準備をします。

■ 無線 LAN 接続要件

本機の無線 LAN 接続は IEEE 802.11n/g/b 規格に準拠し、2.4 GHz 帯に対応しています。

📖 お知らせ

- WPA/WPA2 エンタープライズの無線 LAN 接続はできません。

無線 LAN 接続をセットアップする

無線 LAN のセットアップにはいくつかの方法がありますが、本書では本機のウィザードを使った方法を推奨しています。

■ ウィザードで無線 LAN 接続をセットアップする

- 1 本機を無線 LAN に接続するには、無線 LAN のセキュリティ情報（SSID と認証キー）が必要となります。認証キーはパスワードやセキュリティキー、暗号キーなどになります。お使いのセキュリティ情報を確認し、以下に書きとめます。

SSID	認証キー（パスワード）

📖 お知らせ

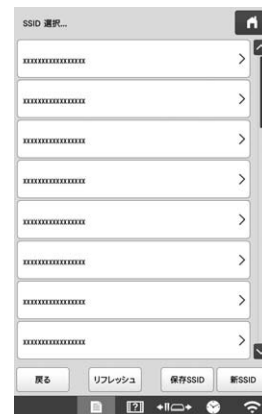
- セキュリティ情報がない場合、無線 LAN 接続を設定することはできません。
- セキュリティ情報を見つける方法
 - ① お使いの無線 LAN の説明書を確認してください。
 - ② 初期設定時の SSID は、メーカー名やモデル名の場合があります。
 - ③ セキュリティ情報がわからないときは、ルーターの製造元やネットワーク管理者、インターネットプロバイダにお問い合わせください。

- 2 [無線接続ウィザード] の横にある > を押します。



→ 使用可能な SSID がリスト表示されます。

- 3 書きとめた SSID の横にある > を押します。



→ 認証キー（パスワード）を入力する画面が表示されます。

📖 お知らせ

- 書きとめた SSID がリストに表示されないときは、
リフレッシュを押します。
- 接続したい SSID が表示されないときは、次の方法で特定してください。
 - ① SSID リストにある 新SSID を押します。
 - ② 接続したいネットワーク SSID を入力して、
OK を押します。
 - ③ 認証方法と暗号化モードを選択します。
- 本機がすでにお使いの無線 LAN に接続されているときは、保存SSID を押し、保存した SSID を選択します。

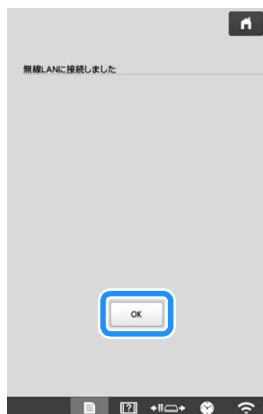
- 4 書きとめた認証キー（パスワード）を入力して、
OK を押します。



- 5 次のメッセージが表示されたら、OK を押します。



→ 本機が無線 LAN に接続すると、次のメッセージが表示されます



6 OK を押して、セットアップを完了します。

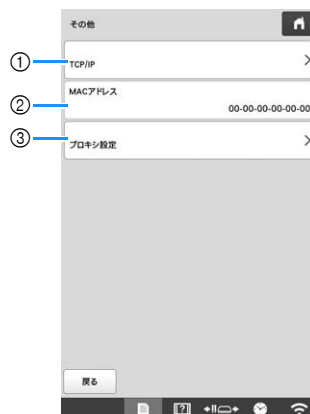


お知らせ

- 本機が無線 LAN に接続しているときは、信号強度は画面の右下隅のアイコンで表示されます。
- 一度無線 LAN をセットアップすれば、ミシンの電源を入れるたびに無線 LAN に接続されます。ただし、無線 LAN 画面の「無線 LAN 有効」を [ON] のままにする必要があります。

■ [その他] メニューを使い、無線 LAN 接続をセットアップする

[その他] メニューは次のような項目があります。



- ① TCP/IP 設定を手入力することができます。
- ② MAC アドレスを表示します。
- ③ プロキシ設定が必要なときに使用します。

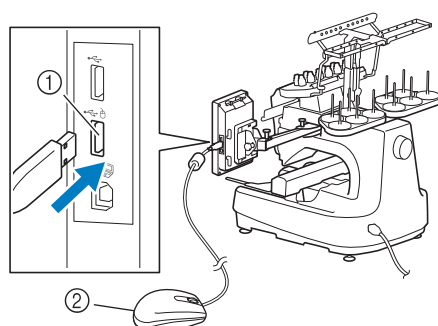
その他の機能

USB マウスを使う

ミシンに USB マウスを接続すると、液晶画面の操作がしやすくなります。①マークのある USB ポートに USB マウスを接続してください。もうひとつの USB ポートに USB マウスを接続することも可能です。

お知らせ

- パソコンで利用できる USB マウスでミシンを操作することができます。周辺機による USB 接続の場合、USB マウスが対応しないことがあります。



- ① ①マークのある USB ポート
② USB マウス

お願い

- USB マウスはいつでも接続／取り外すことができます。
- USB マウスの左ボタンで、模様や操作キーの選択などの操作ができます。
- スクリーンセーバーの起動中は、マウスのポインターは表示されません。

モニタリングアプリ

お手持ちのスマートデバイスにモニタリングアプリをインストールし、本機と無線 LAN で接続することで、スマートデバイスでミシンの動作状況がわかります。糸こま交換がいつ必要なのか、どの色の糸こまに変更すればよいのかを確認することができます。また、ミシンが止まったときに停止の連絡を受け取ることも可能です。

- 1 本機を無線 LAN に接続します。(P. 28)
- 2 スマートデバイスの QR コードリーダーアプリ (Android™ または iOS) で QR コードを読み取り、Google Play™ または App Store にアクセスします。



Google Play™



App Store

- 3 刺しゅうモニタリングアプリ [My Stitch Monitor] をインストールします。



My Stitch Monitor

第2章 使ってみましょう

基本手順

刺しゅうの基本手順は次のとおりです。
操作を始める前に、どのような手順を踏んでいくか、全体の流れを確認してください。

手順	操作	参照ページ
1	下糸をセットします。	P. 33
2	電源を入れます。	P. 21
3	刺しゅう模様を選びます。	P. 39
4	刺しゅう模様を編集します。	P. 47
5	仕上がりイメージを確認します。	P. 62
6	布地の準備をします。	P. 64
7	刺しゅう枠をセットします。	P. 67
8	縫製のしかたを設定します。	P. 71
9	縫製範囲を確認します。	P. 75
10	上糸をセットします。	P. 83
11	スタート/ストップスイッチを押してぬいます。 (ぬい終わると、自動的にミシンは停止します。)	P. 89
12	刺しゅう枠を外します。	P. 92
13	電源を切って終了します。	P. 21

下糸をセットする

購入時は、ボビンケースのみが釜にセットされています。
刺しゅう用の下糸を巻いたボビンをセットしてください。

⚠ 注意

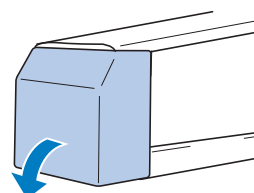
- 必ず、金属ボビン（MBN: 5個入り、B013: 1個）または使い捨てボビン（推奨: Fil-Tec社製）を使用してください。
- 下糸を巻くときは、必ず付属の下糸巻き装置を使用してください。（P.14「下糸巻き装置と付属品」、P.34「下糸巻き装置の準備」、P.35「電源と接続する」、P. 35「下糸を巻く」参照）

💡 お願い

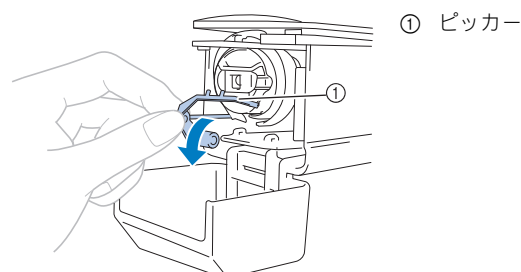
- ぬい始める前に、下糸の量が十分かを確認してください。
- ボビンを交換する度に、ボビンケースを掃除してください。（P. 177）

ボビンケースを取り出す

- 1 釜カバーを開けます。
手前に引きます。



- 2 ピッカーが手前に引き出されていない場合は、手前に引きます。



ボビンが取り出しやすくなるように、ピッカーを釜から離します。

📄 お知らせ

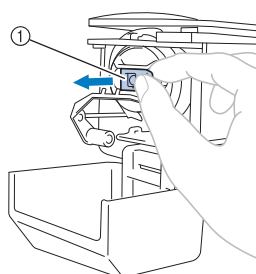
- ピッカーはぬい始めるときや糸を切るときに、糸を固定するための装置です。



⚠ 注意

- ピッカーが動く範囲は決まっています。無理に動かさないでください。

- 3** ボビンケースのつまみを持って、ボビンケースを取り出します。



① つまみ

■ ミシンに注油する

ボビンケースを取り出したら、ここで注油をしてください。注油のしかたについては、P.180「ミシンに注油する」を参照してください。

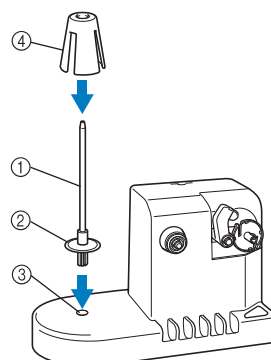
💡 お願い

- 毎回ミシンを使い始める前に、必ず注油してから動かしてください。

下糸巻き装置の準備

- 1** 下糸立棒と糸こまクッションを立てます。

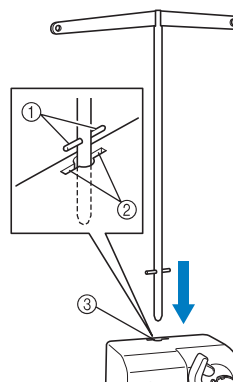
受皿側を下にして、糸立棒用穴へ垂直に差し込んだ後、糸こまクッションを差し込みます。



- ① 下糸立棒
- ② 受皿
- ③ 糸立棒用穴
- ④ 糸こまクッション

- 2** 糸案内を立てます。

糸案内のピンと糸案内用穴の切り欠きを合わせて、垂直に差し込みます。

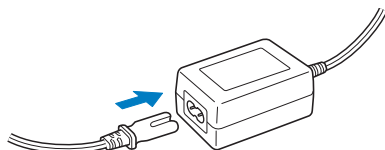


- ① 糸案内のピン
- ② 糸案内用穴の切り欠き
- ③ 糸案内用穴

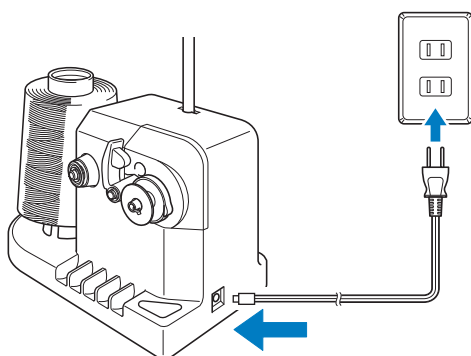
- 奥までしっかりと差し込み、ふらつきがないことを確認してください。

電源と接続する

- 1 電源コードのジャックを AC アダプターに差し込みます。



- 2 ACアダプターのプラグを下糸巻き装置のDC入力端子につなぎ、電源プラグを家庭用電源コンセント (AC100V) に差し込みます。



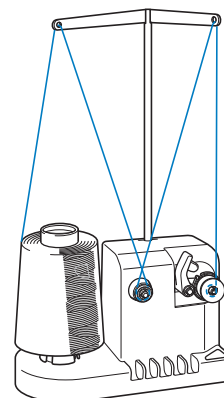
- AC アダプターのプラグは、下糸巻き装置の DC 入力端子にしっかりと差し込んでください。

⚠ 注意

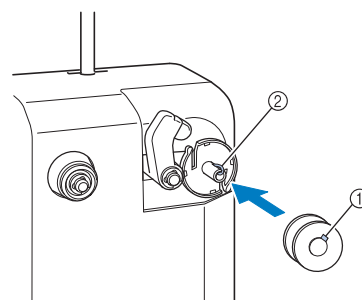
- 必ず、付属の AC アダプターと下糸巻き装置用電源コードを使用してください。
- AC アダプターを接続したり、外したりするときは、下糸巻き装置が作動していないことを確認してから行ってください。
- ご使用にならないときは、電源プラグを抜いてください。

下糸を巻く

下糸用の糸こまと金属ボビンを用意します。下糸は、綿またはポリエステル糸 (#90 ~ 120) を使用してください。

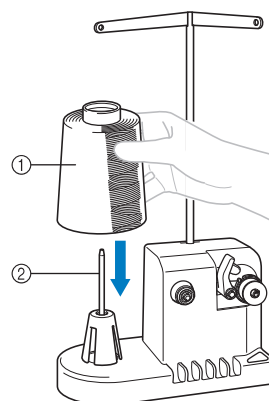


- 1 ボビンのミゾを下糸巻き台のバネに合わせ、ボビンを取り付けます。



- ① ボビンのミゾ
- ② 下糸巻き台のバネ

- 2 下糸立棒に糸こまを立てます。

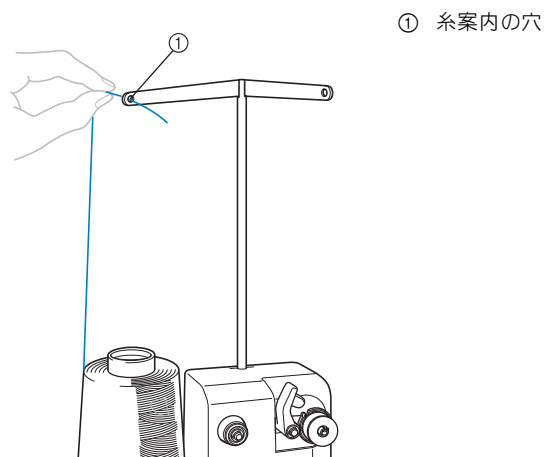


- ① 糸こま
- ② 下糸立棒

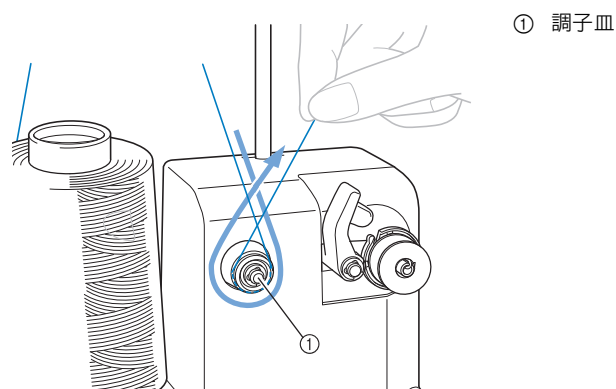
💡 お願い

- 小さい糸こまを使う場合は、糸こまクッションを取り外してから糸こまを立て、糸こま押えを差し込んでください。

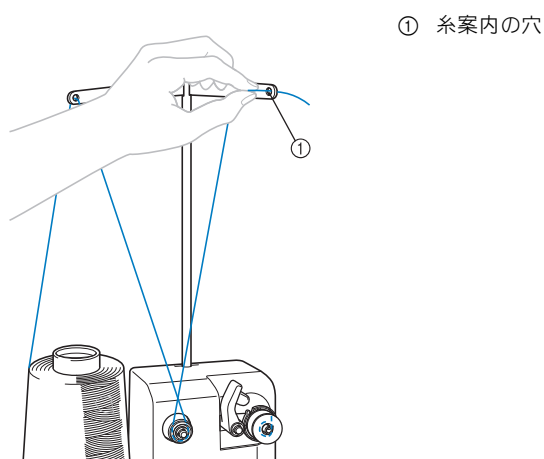
- ③ 糸案内の左の穴に、後方から手前に向かって糸を通します。



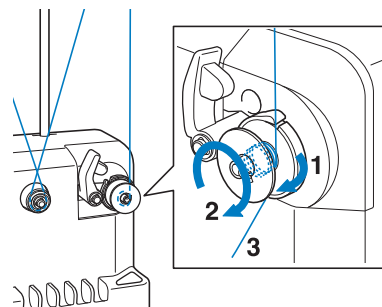
- ④ 図のように、糸を調子皿に巻きつけます。糸が調子皿にきちんとかかっていることを確認します。



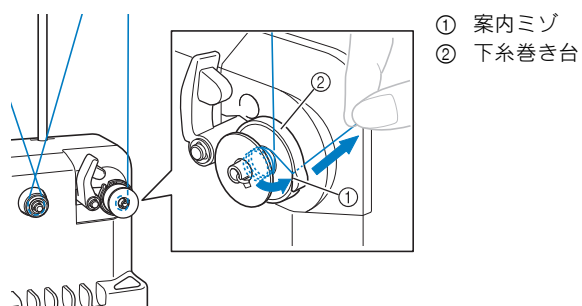
- ⑤ 糸案内の右の穴に、手前から後方に向かって糸を通します。



- ⑥ 図のように、時計回りに4～5回、糸を巻きつけます。



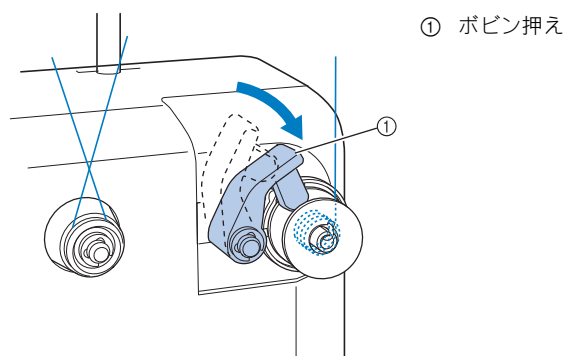
- ⑦ 下糸巻き台の案内ミゾに糸の端を通して渡し、糸を引きます。カッターが糸を切ります。



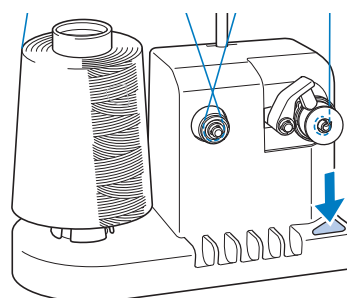
💡 お願い

- 必ず手順に従ってください。糸がカッターで切られずにボビンが巻かれると、縫製時にボビンがゆっくりと動いているとき、下糸がボビンのまわりでもつれ、針が折れることがあります。

- ⑧ ボビン押えをカチッと音がするまでスライドさせます。

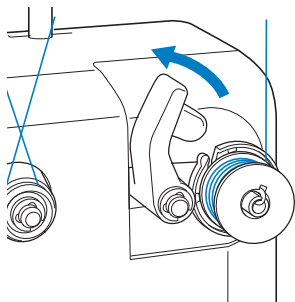


- ⑨ 電源スイッチを押し、下糸を巻きます。

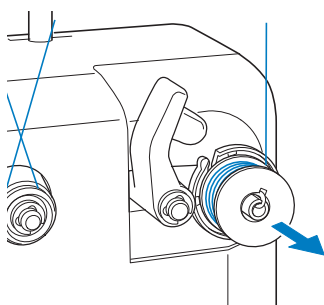


→ 下糸を巻き始めます。

- 10 巻き終わると、自動的にボビンの回転が止まり、ボビン押えが元の位置へ戻ります。



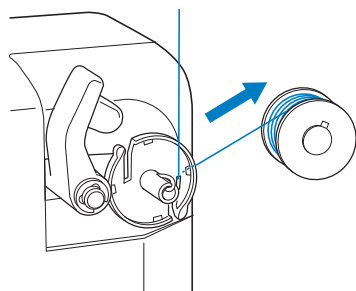
- 11 ボビンを外します。



💡 お願い

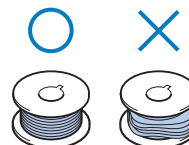
- ボビンを外すときは、下糸巻き台を引っ張らないようにしてください。下糸巻き台がゆるんだり外れたりして、下糸巻き装置が破損するおそれがあります。

- 12 糸を下糸巻き台の案内ミゾに通して引き、カッターで糸を切ります。



⚠ 注意

- 下糸がボビンにきちんと巻かれたことを確認してください。正しく巻かれていないボビンを使うと、針が折れたり糸調子がおかしくなったりする原因となります。



- ボビンを交換するときは、毎回必ずボビンケースを掃除してください。掃除のしかたは、P.177「ボビンケースの掃除」を参照してください。
- ボビンを交換するときは、毎回必ず糸調子を確認してください。下糸の調整のしかたは、P. 118を参照してください。

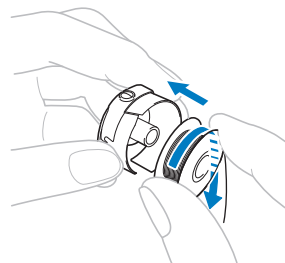
■ 巻いている途中で止まってしまったら

下糸立棒にからむなどして糸が送られなくなると、下糸巻き装置は自動的に止まります。このようなときは、糸を正しくかけ直して巻き直してください。

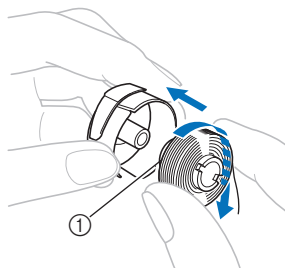
ボビンをセットする

- 1 ボビンをボビンケースに入れます。

- 金属ボビン (P. 14)



- 使い捨てボビン

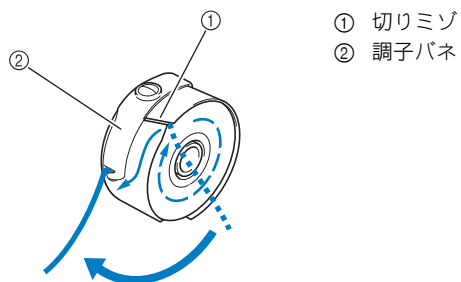


- ① マグネット

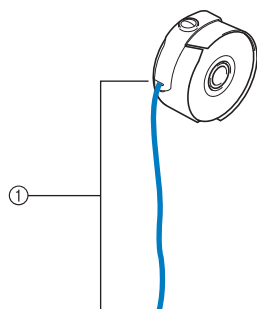
💡 お願い

- 巻き方向が図のようになっていることを確認してください。逆向きにボビンを入れると、下糸の空転が増え、縫製に不具合が生じることがあります。

- 2** 糸を切りミゾから調子バネの下へ、すべり込ませます。



- 3** 糸を調子バネの糸穴から引き出します。



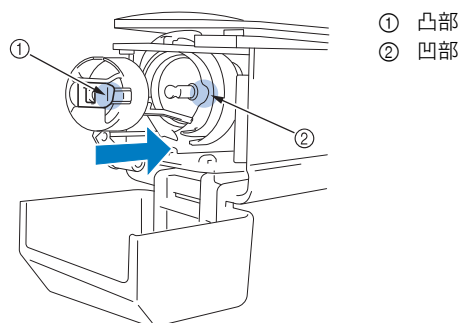
① 糸端を 50mm ほど引き出します。

- 下糸調子の調整のしかたは、P.118 「下糸の調子を調整する」を参照してください。

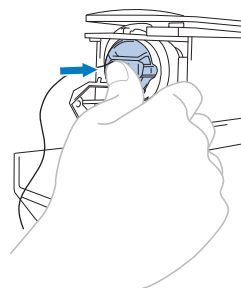
ボビンケースをセットする

- 1** ボビンケースを釜に取り付けます。

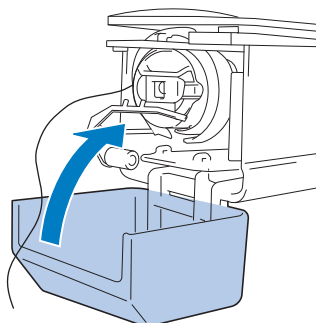
図のように、釜の凹部とボビンケースの凸部を合わせて、押し込みます。



- カチッと音がするまで、奥まで押し込んでください。



- 2** 釜カバーを閉めます。



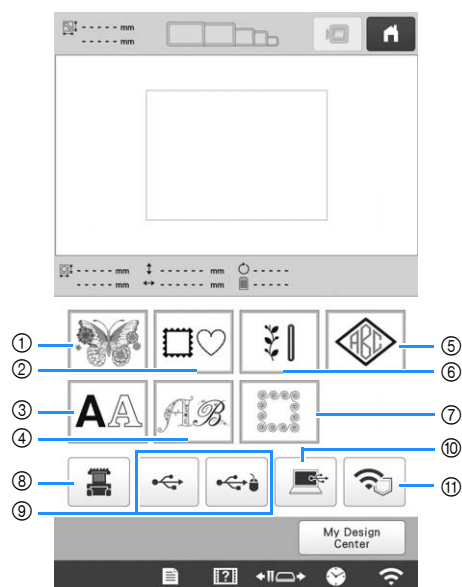
模様を選ぶ

基本的な模様の選び方

模様の種類によって多少違いがありますが、基本的には次の手順で選びます。

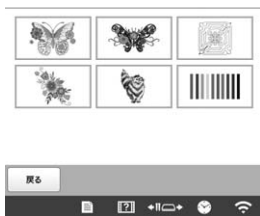
- 1 模様選択画面で希望するカテゴリーキーを押します。

■ 模様選択画面



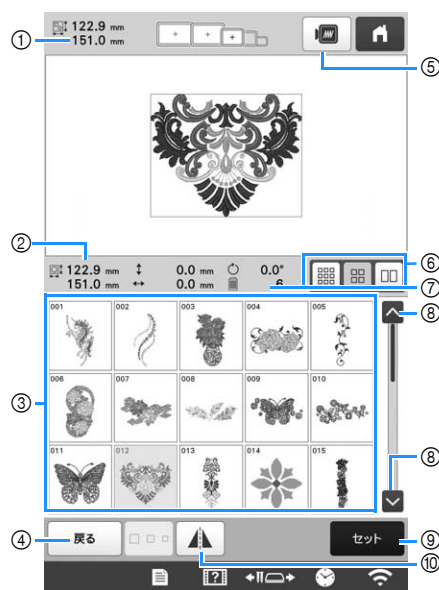
- ① 刺しゅう模様 (P. 39)
- ② 枠模様 (P. 40)
- ③ 文字模様 (P. 43)
- ④ 装飾アルファベット (P. 45)
- ⑤ モノグラムと枠デザイン (P. 41)
- ⑥ 実用刺しゅう模様／ボタンホール模様 (P. 41)
- ⑦ キルトサッシ模様 (P. 106)
- ⑧ ミシンに記憶した刺しゅう模様 (P. 131)
- ⑨ USB メディアに記憶した刺しゅう模様 (P. 131)
- ⑩ パソコン (USB) に記憶した刺しゅう模様 (P. 131)
- ⑪ 無線 LAN 経由の刺しゅう模様 (P. 131)

- 2 次に表示される模様カテゴリーの一覧画面で模様のカテゴリーを選びます。



- 3 次に表示される模様一覧画面で模様キーを押して、模様を選びます。

■ 模様一覧画面



- ① 組み合わせた模様全体の大きさを示します。
- ② 現在選択している模様の大きさを示します。
- ③ 模様キーを押すと、その模様の情報が表示されます。
- ④ 模様カテゴリーの一覧画面に戻り、カテゴリーを選び直します。
- ⑤ 刺しゅう後のイメージを確認することができます。
- ⑥ 模様のサムネイルサイズが小・中・大の3種類から選択できます。
- ⑦ 色替え回数
- ⑧ 複数のページがあるとき、押して目的のページを表示します。
- ⑨ 押すと、選択が確定され、編集画面に進みます。
- ⑩ 模様を反転することができます。

刺しゅう模様を選ぶ

- 1  を押します。

- 2 模様カテゴリーを選びます。

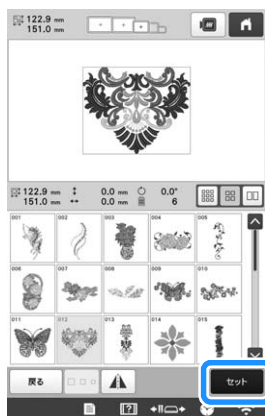


→ 刺しゅう模様一覧が表示されます。

- 3 模様を選びます。

→ 模様表示エリアに模様が表示されます。

- 4 **セット** を押します。



→ 編集画面が表示されます。

- 5 選択した模様を編集します。(P. 47)

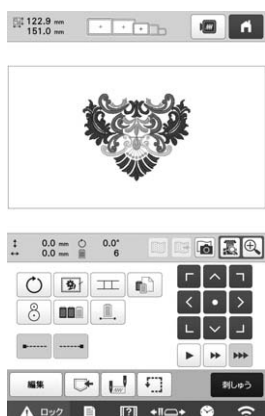


- 6 刺しゅう枠に接着芯と布地を張ります。(P. 64)

- 7 刺しゅう枠をミシンにセットします。(P. 67)

- 8 **編集終了** を押します。
→ 縫製設定画面が表示されます。

- 9 模様全体を編集します。(P. 71)



- 10 **刺しゅう** を押します。
→ 縫製画面が表示されます。

- 11 縫製画面を確認して、上糸をかけます。(P. 83)

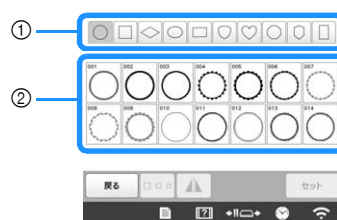


- 12 刺しゅうを開始します。(P. 89)

枠模様を選ぶ

- 1  を押します。

- 2 上段で選びたい枠の形のキーを押します。
→ 下段に枠の模様が表示されます。



- ① 枠の形
② 枠模様

- 3 選びたい枠模様キーを押します。
→ 模様表示エリアに模様が表示されます。

- 4 **セット** を押します。
→ 編集画面が表示されます。

- 5 P.39「刺しゅう模様を選ぶ」の手順 5 から 12 に従います。

実用刺しゅう模様／ボタンホール模様を選ぶ

1 を押します。

2 実用刺しゅう模様またはボタンホール模様のカテゴリのいずれかを選びます。

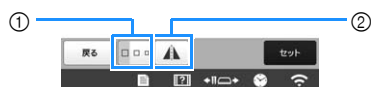
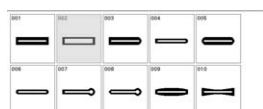


→ 選択したカテゴリの刺しゅう模様一覧が表示されます。

3 模様を選びます。

→ 模様表示エリアに模様が表示されます。

4 必要に応じて、模様を編集します。



- ① ボタンホール模様を選んだとき、模様の大きさを大・中・小の3種類から選択できます。
- ② 模様を反転できます。

5 **セット**を押します。

→ 編集画面が表示されます。

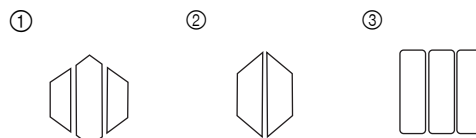
6 P.39「刺しゅう模様を選ぶ」の手順 5 から 12 に従います。

モノグラムと枠デザインを選ぶ

2 つまたは 3 つの文字、またはフレーム模様を組み合わせてモノグラムを作ることができます。

1 を押します。

2 希望の文字スタイルのボタンを押します。

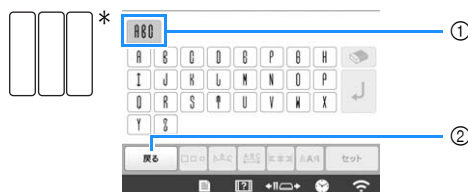


→ テキスト入力画面が表示されます。

- ④ を選んだ場合は、枠模様一覧が表示されます。枠内で文字を組み合わせる模様を作る場合は、文字が枠か、どちらを先に選んでも構いません。モノグラムのパーツを選んだ順が、ぬい順となります。この例では、まず文字を選んでいきます。

3 文字を選びます。

1 つの文字に対し、まず対応する字形タブを押した上で、文字を入力します。配置したい文字数分、字形タブ選択、文字入力を繰り返します。

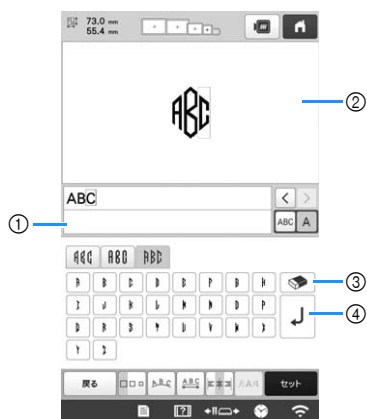


* 文字の形がすべて同じであるため、字形タブを都度選ぶ必要（選択肢）はありません。

① 字形タブ

② 文字のフォントを変更するには、**戻る**を押してデザイン選択画面に戻ってください。

→ 選んだ文字が、テキストプレビューエリアと模様表示エリアに表示されます。



- ① テキストプレビューエリア
- ② 模様表示エリア
- ③ 誤った文字を選んだ場合や、他の文字を選んだ場合は、を押して文字を削除し、文字を押し直すください。
- ④ 改行キー

お知らせ

- デザインによっては、文字数があらかじめ設定されていますが、設定された文字数を超えても文字を入力することができます。選んだ文字が多すぎる場合は、を押して文字を削除します。
- モノグラム作成ではない他の文字模様の場合と同様に、お好みで複数の文字を選んで使用することができます。

4 必要に応じて、文字の編集をします。(P. 43)



- ① 編集対象をすべての文字にするか一文字ずつにするかを選択します。
- ② 文字の大きさを変更します。
- ③ 文字の配列を調整します。
- ④ 文字の間隔を変更します。
- ⑤ 文字揃えを変更します。

5 セットを押します。

→ 編集画面が表示されます。
次に、文字を枠と組み合わせます。

6 追加を押します。



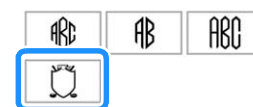
→ 模様一覧選択画面が表示されます。

7 枠を押します。



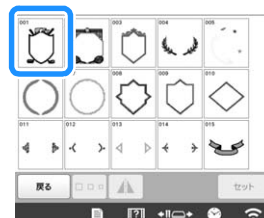
→ デザイン選択画面が表示されます。

8 枠を押します。



→ 枠模様一覧が表示されます。

9 希望の模様を押します。



→ 選んだ枠模様が模様表示エリアに表示されます。

10 セットを押します。

→ 編集画面が表示されます。

お知らせ

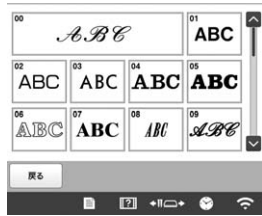
- 大きさや形によって、では使用できない枠模様があります。
- この枠模様は、使用できる模様のごく一部です。3文字モノグラム模様以外の文字模様を組み合わせ使用することもできます。

11 P.39「刺しゅう模様を選ぶ」の手順 ⑤ から ⑫ に従います。

文字模様を選ぶ

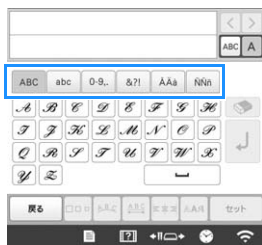
1 **AA**を押します。

2 選みたい書体キーを押します。



- 次のページを見るときは **▲** または **▼** を押します。
→ 文字入力画面が表示されます。

3 文字の種類を選び、テキストを入力します。(P. 43)



4 **セット**を押します。

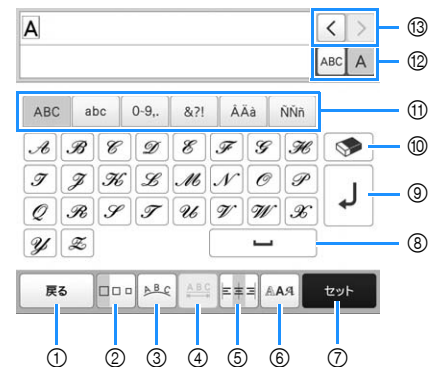
→ 編集画面が表示されます。

5 P.39「刺しゅう模様を選ぶ」の手順 ⑤ から ⑫ に従います。

■ 文字模様入力キー

お知らせ

- グレー表示のキーは選択した模様を使用することができません。



番号	画面表示		説明
	名称		
①		戻るキー	前の画面に戻ります。
②		大きさキー	選んだ文字の大きさを変更します。一文字ずつ大きさ変えるときは、を押して、表示をにしてから、文字を選択します。選択された文字の大きさが変わります。 • 、、、、 および  のミニサイズ文字は、大きさを変更することができません。
③		配列キー	文字模様の配列を変更します。 • 曲線上の文字模様配列を変更するには  や 、、 を押します。  : 曲線がゆるやかになります。  : 曲線が急になります。 • 傾斜上の文字模様配列を変更するには  を押します。  : 反時計回りに傾斜をつけます。  : 時計回りに傾斜をつけます。 •  : 配列を元に戻します。

番号	画面表示	説明
	名称	
④		文字模様の間隔を変えます。 •  : 文字の間隔を大きくします。 •  : 文字の間隔を小さくします。 • 一文字ずつ後ろの間隔を変えるときは、  を押して、表示を   にしてから、文字を選択します。選択された文字と次の文字との間隔が変わります。  ABCD E ⇄ ABCDE  A B C D E ⇄ ABCDE   •  : 選択した一文字を上げます。 •  : 選択した一文字を下げます。 •  : 文字模様の間隔をリセットします。
	文字間キー	
⑤		段落揃えを変更します。この機能は複数行の文字が入力されているときに有効です。 •  : 右揃え ABCDE FGH IJKLMNOP •  : 左揃え ABCDE FGH IJKLMNOP •  : 中央揃え ABCDE FGH IJKLMNOP
	段落揃えキー	
⑥		文字模様のフォントを変えます。選択されたフォントによっては変更できない場合もあります。 • 一文字ずつフォントを変えるときは、  を押して、表示を   にしてから、文字を選択します。選択された文字のフォントが変わります。
	書体切り替えキー	
⑦		文字の入力を確定して、編集画面に進みます。
	セットキー	
⑧		スペースを入力します。
	スペースキー	

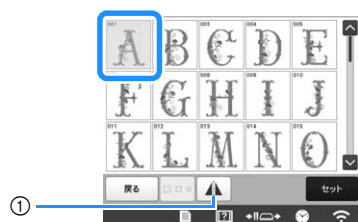
番号	画面表示	説明
	名称	
⑨		改行します。
	改行キー	
⑩		文字を削除します。
	削除キー	
⑪	—	文字のカテゴリーを選択します。
	カテゴリーキー	
⑫		編集対象をすべての文字にするか一文字ずつにするかを選択します。 •   : すべての文字を編集します。 •   : 一文字ずつ編集します。
	選択切り替えキー	
⑬	 	カーソルを動かして文字を選択します。
	文字選択キー	
⑭		日本語の文字の横書き／縦書きが切り替わります。欧文フォントは、縦書きにすることはできません。
	縦書き／横書き切り替えキー	

装飾アルファベットを選ぶ

- 1  を押します。
- 2 選みたい模様カテゴリーのキーを押します。



- 3 選みたい模様キーを押します。



- ① 押すと、模様を反転できます。
→ 模様表示エリアに模様が表示されます。

- 4 **セット** を押します。
→ 編集画面が表示されます。

- 5 P.39「刺しゅう模様を選ぶ」の手順 ⑤ から ⑫ に従います。

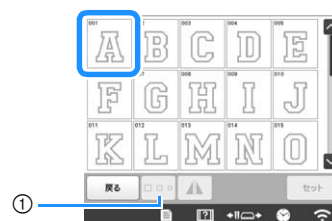
■ アプリケアルファベット

- 1  を押します。
- 2  を押します。



→ アプリケ模様の一覧が表示されます。

- 3 選みたい模様キーを押します。



- ① 押すと、サイズを変更できます。
→ 模様表示エリアに模様が表示されます。

- 4 **セット** を押します。
→ 編集画面が表示されます。

お知らせ

- めい方については、P.102「アプリケ模様のめい方」を参照してください。

模様を組み合わせる

できあがり例



1 模様を選んで、**セット**を押します。

2 **追加**を押します。



3 **AA**を押します。

4 **ABC**を押し、「LOVE」を入力します。

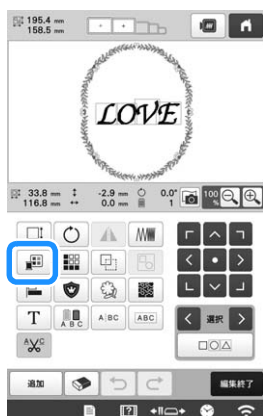
→ 入力した文字模様は模様表示エリアの中心に配置されます。

5 **セット**を押します。

6 **移動**で文字模様を動かします。

* 指やタッチペンで、画面の模様にも直接触れてドラッグすることもできます。

7 **色**を押して、文字の色を変えます。(P. 56)



8 **OK**を押します。

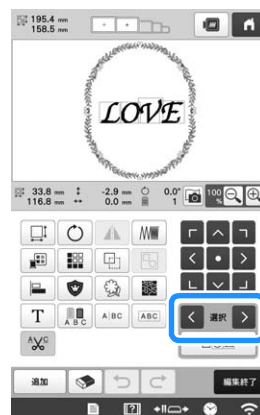
9 編集が終了したら、**編集終了**を押します。

お願い

- 組み合わせた模様は、模様が入力された順に刺しゅうされます。

■ 編集する模様を選ぶ

複数の模様を組み合わせている場合は、**<** または **>** を押して、編集する模様を選びます。
模様は指やタッチペンで直接画面を押すことでも選択できます。



■ 複数の模様を一度に選ぶ

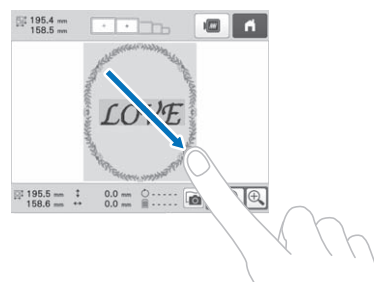
組み合わせた模様をまとめて移動したいときなど、複数の模様をまとめて選ぶとスムーズに編集できます。

1 **複数選択**を押します。



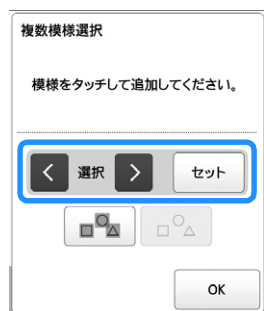
→ 複数選択画面が表示されます。

2 画面上で、選択したい模様を囲むようにドラッグし、複数模様を選択します。



お知らせ

- 複数選択画面から複数の模様を選択することができます。◀または▶を押して、まとめて選択したい模様を確認し、**セット**を押して選択します。



選ばれた模様は赤く囲われます。

- ・ を押すと、模様表示エリアにある全ての模様を選択できます。
- ・ を押すと、選択されたすべての模様が解除されます。
- ・ 画面上の模様をタッチしても選択することができます。
- ・ 複数選択画面を表示したまま、
 で模様を移動することができます。

3 を押して編集画面に戻ります。

- 複数選択されている模様がすべて赤枠で囲われます。

■ 複数選択した模様をグループ化する

P.46「複数の模様を一度に選ぶ」で複数選択した模様をグループ化して、一つの模様として編集できます。

1 を押します。

→ 選択されている模様がグループ化されます。



- もう一度 を押すと、グループ化を解除できます。グループ化された模様がいくつかある場合は、選択している模様のグループ化が解除されます。

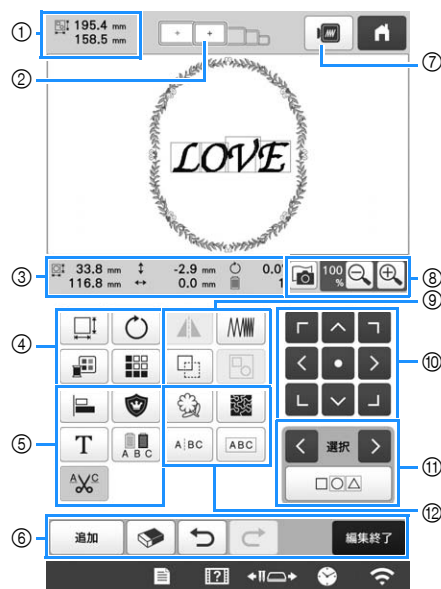


模様の編集

編集画面の見方

お知らせ

- キー表示がグレーのときは、選択した模様とそのキーの機能を使用できません。



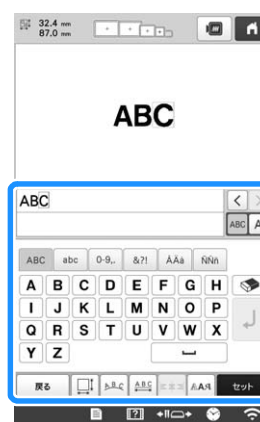
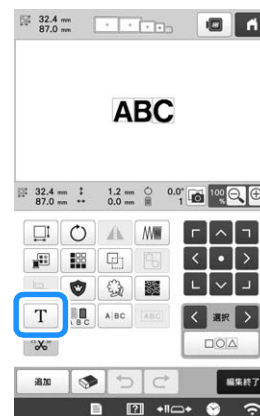
番号	画面表示		説明	参照 ページ
	名称			
①	 195.4 mm 158.5 mm		模様表示エリアに表示されている模様の大きさを示します。上段が縦、下段が横の長さです。複数の模様を組み合わせている場合は、すべての模様を含む全体の大きさを示しています。	—
	大きさ			
②			模様表示エリアに表示されている模様をぬうことができる刺しゅう枠を示します。	P. 64
	適応枠表示			
③	 33.8 mm 116.8 mm		編集対象となっている模様の大きさを示します。上段が縦、下段が横の長さです。	—
	大きさ			
	 -2.9 mm		編集対象となっている模様を移動したときの縦の移動距離を示します。	—
	中心からの距離（縦）			
	 0.0 mm		編集対象となっている模様を移動したときの横の移動距離を示します。	—
	中心からの距離（横）			
	 0.0°		編集対象となっている模様を回転したときの回転角度を示します。	—
	回転角度			
 1		編集対象となっている模様の色替え数を示します。	—	
色替え数				

番号	画面表示	説明	参照 ページ
	名称		
④		模様大きさ調整画面を表示します。	—
	大きさキー	: 縦横比を変えずに縮小します。 : 縦方向のみ縮小します。 : 横方向のみ縮小します。 : 縦横比を変えずに拡大します。 : 縦方向のみ拡大します。 : 横方向のみ拡大します。 : 針数を変えずに拡大／縮小します。(通常モード) : 糸密度を保持して拡大／縮小します。(針数再計算モード)  選択 : 変更する模様を選択します。 : 模様を矢印の方向へ移動します。 : 元の大きさに戻します。 : この画面を閉じます。 : 大きさを変えます (文字模様のみ)。	
		模様回転画面を表示します。	
	回転キー	: 元の角度に戻します。 模様を回転するには、回転キーを使用したり、模様の角の赤い点をドラッグしたりします。また、模様を回転させながら、移動キーを使用することもできます。	
		模様の色を変えることができます。	P. 56
	配色キー		
		繰り返し模様 (ボーダー模様) を作ったり、編集したりできます。	P. 52
⑤		複数の模様を一列に並べます。	P. 51
	整列キー		
		編集対象となっている模様をアプリケ模様に変えることができます。	P. 103
	アプリケキー		
		文字の編集をします。	P. 49
	文字編集キー		

番号	画面表示	説明	参照 ページ
	名称		
⑤		文字模様を一字ずつ色を変えることができます。文字模様を選んでいない場合のみ使えます。	P. 56
	色替えキー		
		文字模様の文字間の渡り糸を、自動的に切る設定ができます。	P. 50
	糸切り設定キー		
		模様を追加します。押すと、模様選択画面が表示されます。	P. 46
	追加キー		
		模様を削除します。押すと、編集対象となっている模様が削除されます。	—
	削除キー		
		最後の操作を取り消して、直前の状態に戻ります。キーを押すたびに操作が1つずつ取り消されます。	—
	戻るキー		
		取り消した操作をやり直します。	—
	やり直しキー		
		編集が終了したら押します。次の縫製設定画面に進みます。	—
	編集終了キー		
⑦		模様のイメージ画像が表示され、仕上がりイメージを見ることができます。	—
	イメージキー		
⑧		刺しゅう枠に張った布地の画像を内蔵カメラで読み込み、模様の背景として表示できます。	P. 75
	背景画像表示キー		
		100%、125%、150%、200%から選択して、編集中の模様を拡大縮小表示できます。	—
	拡大キー		
		編集対象となっている模様を左右に反転することができます。	—
	左右反転キー		
		文字模様と枠模様の一部のみ糸密度を変更することができます。他の模様は針数再計算モードで糸密度を変更することができます。	P. 51
	糸密度キー		
		模様をコピーできます。コピーされた模様は、元の模様の少し右下に配置されます。	—
	コピーキー		
		選択した複数模様をグループ化します。	P. 47
	グループ化キー		
⑩		: 模様を矢印の方向へ移動します。 : 模様を中心に移動します。	—
	移動キー		
⑪		複数の模様を組み合わせている場合に、編集する模様の対象を変えることができます。	P. 47
	模様選択キー		
		編集したい複数の模様を同時に選択できます。	P. 46
	複数模様選択キー		

番号	画面表示	説明	参照 ページ
	名称		
⑫	 アウトライン キー	模様の輪郭を抜き出します。抜き出した模様はマイデザインセンターで使うことができます。	P. 172
	 ステッピング／エコー キルトキー	模様の周りにステッピングまたはエコーキルトを施します。	P. 106
	 文字列分割 キー	組み合わせた文字模様を分割して、間隔を調整したり、個別に編集したりすることができます。 •   : 模様を分割する場所を選びます。 •  : 模様を分割します。分割した文字模様は、 で結合することができます。	—
	 文字列結合 キー	選択した文字模様同士を結合させることができます。	P. 50

■ 文字を編集する



入力キーについて詳しくは、P. 43 を参照ください。

お知らせ

- 複数行で構成されている文字模様を編集画面で修正するには、模様のグループを解除します。(P. 47)

模様の大きさと糸密度を変更する

 のときは、糸密度を保持したまま、模様の大きさを変更することができます。模様の大きさに合わせ、本機が自動的に針数を計算します。この機能を使うと、通常のサイズ変更時より大きな割合で模様を拡大／縮小できます。

🔔 お願い

- 文字模様、枠模様、繰り返し模様（ボーダー模様）、ボタンホール模様は、この機能を使用できません。
- 針数が多い場合（100,001 針以上）は、糸密度を保持したまま模様の大きさを変更することはできません。

📖 お知らせ

- 60～200%の間で模様の大きさを変更することができます。
- 模様の回りに表示される赤い点をドラッグして、模様の大きさを変更することもできます。

1 模様大きさ調整画面で または を選びます。

*  : 針数を保持したまま、模様の大きさを変えます。模様の大きさに合わせ、糸密度が増減します。

*  : 糸密度を保持したまま、模様の大きさを変えます。模様の大きさを変えつつ、糸密度の指定をすることもできます。模様の大きさに合わせ、針数が再計算されます。

2 手順 1 で を選んだときは、模様の大きさと位置、角度をリセットするメッセージ画面が表示されるので、 を押します。

3 必要に応じて、各キーを押して、希望の大きさにします。



4 を押します。

📖 お知らせ

- 手順 1 で  を選んだときは  を押して、糸密度を変更します。

文字間で糸を切る

文字間糸切りを設定すると、文字間の渡り糸がなくなり、縫製後の渡り糸の処理を省くことができます。ただし、文字ごとに糸切りを行うので縫製時間が長くなります。

1 必要に応じて、文字間糸を切るよう設定します。

 を押して  にします。



- キーを 1 回押すたびに、切り替わります。



文字模様を結合する

別々に入力した 2 行の文字列を、1 行に結合することができます。結合する順序は指定することができます。ただし、改行機能を使った改行を含む文字列は結合できません。

1 を押します。



2 結合したい文字列を選択します。

- 選択されている文字列が、連番 [1] となります。
- 選択するには、画面上で文字列をタッチするか、  を押して文字列を選択した後、 を押します。



→ 2 つの文字列が、仮の連番 [1]、[2] となります。

3 または を押して、2つの文字列の並び順を選択します。

4 を押して、元の画面に戻ります。

糸密度を変える

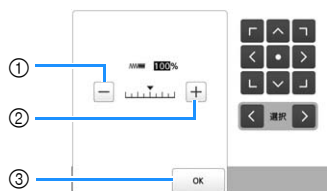
文字・枠模様の一部のみ糸密度を変えることができます。他の模様は針数再計算モードで糸密度を変更することができます。(P. 50)

80 ~ 120% の間で 5% ごとに設定できます。

1 を押します。



→ 次の画面が表示されます。



- ① 糸密度を粗くします。
- ② 糸密度を細くします。
- ③ 押すと、この画面を閉じます。

■ 糸密度を粗く／細かくする



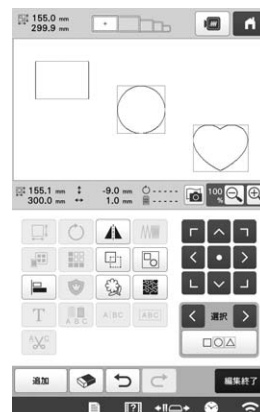
1 各キーを押して、希望の糸密度にします。
キーを押すごとに、少しずつ粗くまたは細くなります。

- 元の糸密度（標準）に戻したい場合は、[100%] にします。

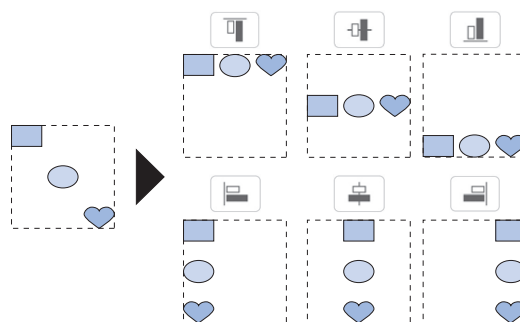
2 変更し終わったら、 を押します。

模様を整列する

1 整列したい模様を選びます。(P. 46)

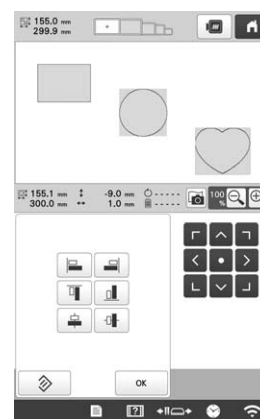


2 を押してから、お好みの整列キーを押します。
例



📖 お知らせ

- 画面の模様を直接押すことで、複数の模様を選択することができます。

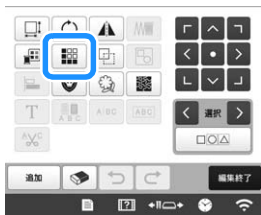


- 整列をやめるときは を押します。

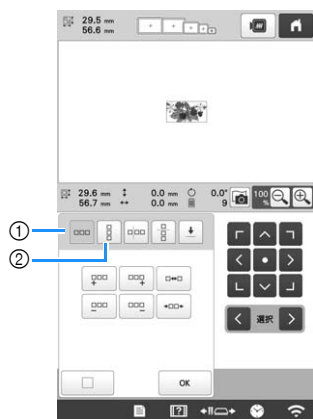
繰り返し模様（ボーダー模様）を作る

指定した回数分繰り返し、模様全体をコピーします。

1  を押します。



2 模様を繰り返す方向を選びます。



- ① 水平方向
- ② 垂直方向

→ 水平、垂直繰り返し／削除のキーは、選んだ方向によって切り替わります。

3  を使うと左端に模様が繰り返され、 を使うと右端に模様が繰り返されます。

- 左端の模様を削除するには、 を押します。
- 右端の模様を削除するには、 を押します。



4 繰り返した模様の間隔を調整します。

- 間隔を広げるには、 を押します。
- 間隔を狭めるには、 を押します。



①  を押すと、繰り返しがリセットされます。

お知らせ

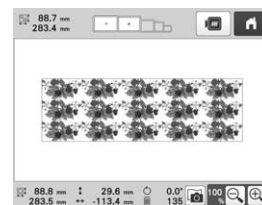
- 模様の間隔の調整ができるのは、赤枠の内側のみです。

5 手順 2 から 4 を繰り返して、繰り返し模様を仕上げます。

6 変更し終わったら、 を押します。

お知らせ

- 2 つ以上の模様がある場合は、すべての模様が赤い枠の中で 1 つの模様としてグループ化されます。

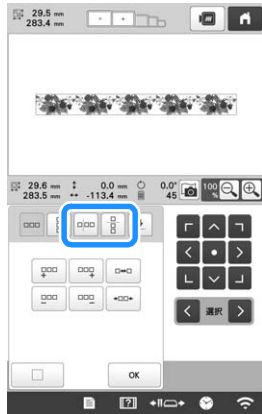


- 模様を繰り返す方向を変更すると、赤枠内の模様が 1 つの繰り返し単位として自動的にグループ化されます。

■ 繰り返し模様の 1 つの要素を繰り返す

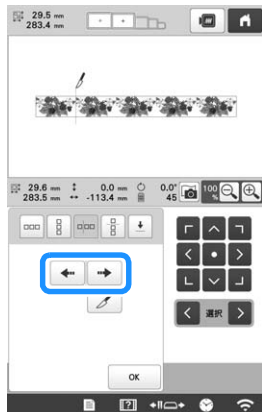
分割機能を使用すると、繰り返し模様の 1 つの要素を選び、その要素だけを繰り返すことができます。この機能を使用すると、複雑な繰り返し模様をデザインできます。

- 1 繰り返し模様を切り取る方向を選びます。
 - 水平方向に切り取るには  を押します。
 - 垂直方向に切り取るには  を押します。



→ 水平、垂直繰り返し／削除の表示は、選んだ方向によって切り替わります。

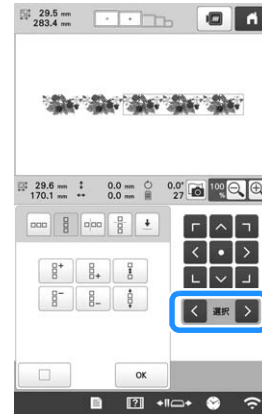
- 2  または  で、切り取り線を選びます。



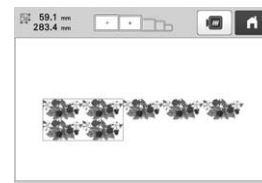
→ 切り取り線が移動します。

- 3  を押します。
→ 繰り返し模様が要素に分割されます。
- 4  を押します。

- 5  または  で、繰り返す要素を選びます。



- 6 任意の方向に要素を繰り返します。



- 7 変更し終わったら、 を押します。

💡 お願ひ

- 繰り返し模様を分割した要素に切り取った後は、元の繰り返し模様に戻すことはできません。
- 各要素は編集画面で個別に編集できます。P.46「編集する模様を選ぶ」を参照してください。

■ 糸印を付ける

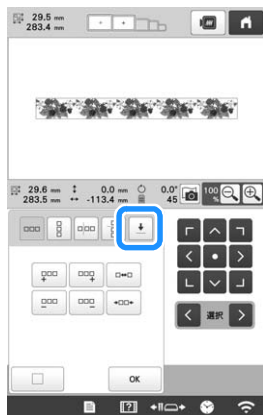
模様を続けてぬうときに糸印を付けておくと、模様合わせが簡単にできます。模様が終わると、最後の糸で矢印の形の糸印がぬわれます。模様を続けてぬうときには、矢印の先端に次の模様位置を合わせます。

📖 お知らせ

- 個別の模様を繰り返しぬうときは、模様の周囲のみに糸印をぬうこともできます。

1  を押します。

2  を押します。



3  で、ぬう糸印を選びます。



① 押すと糸印設定がキャンセルされます。

📖 お知らせ

- 2 つ以上の要素がある場合は、、 または 、 を押して、糸印を付けたい模様を選びます。

4  を押します。

📖 お知らせ

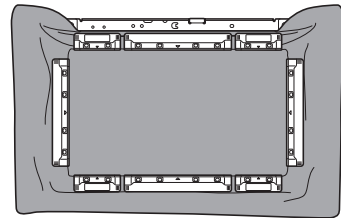
- 縫製設定画面で組み合わせた繰り返し模様を回転させると、糸印は削除されます。

■ 繰り返し模様を刺しゅうする

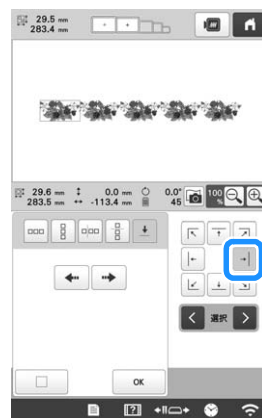
繰り返し模様を作成後、刺しゅう枠に布地を張り替えながら模様を繰り返し縫製して、繰り返し模様を刺しゅうします。

📖 お知らせ

- 別売のマグネット原反枠を使用すると、枠をミシンから取り外さずに、簡単に布地の張り位置をずらすことができます。詳しくは、マグネット原反枠に付属の取扱説明書を参照してください。



1 繰り返し模様を作り、ぬい終わりの模様の右中央に糸印を付けます。(P. 54)



2  を押し、 を押します。

3  を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。

→ ぬい終わりに、最後の糸色で糸印がぬわれます。

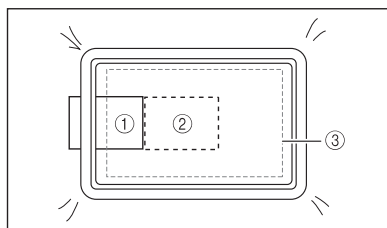


4 刺しゅう枠を外します。

- 5 布地を移動して、刺しゅう枠に張り直します。

お願い

- 次の模様をぬう位置が刺しゅうシートの縫製範囲に収まるように、布地の位置を調整してください。

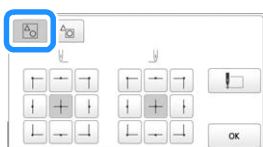


- ① ぬい終わった最初の模様の縫製位置
- ② 次にぬう模様の縫製位置
- ③ 刺しゅうシートの縫製範囲

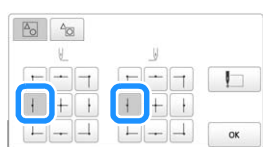
- 6 ミシンに刺しゅう枠をセットして、縫製設定画面で を押します。



- 7 を選択します。



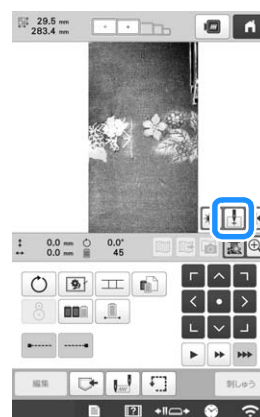
- 8 を押して、ぬい始め位置を模様の左中央に設定します。



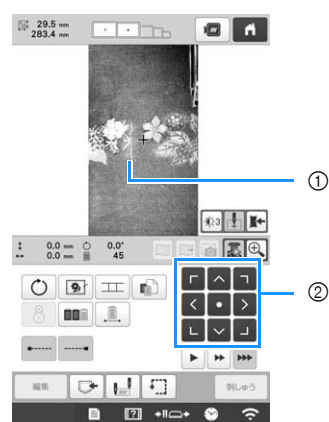
- 9 を押します。

- 10 を押します。

- 11 を押して、針落ち点を表示します。



- 12 移動キーを押して、布地の糸印がカメラ画像の針落ち点に重なるまで、刺しゅう枠を移動します。



- ① 布地の糸印
- ② 移動キー

- を押して、縫製範囲を確認します。

お知らせ

- を押すと、拡大表示に切り替わります。少しずつ刺しゅう枠を移動しながら、針落ち位置の位置合わせを微調整できます。
通常のカメラ画像に戻るには、 を押します。

- 13 移動キーで刺しゅう位置を合わせられない場合は、布地を張り替えてから再度位置を合わせてください。

お願い

- 組み合わせをした繰り返し模様の位置を合わせてから、縫製設定画面で模様を回転させないでください。位置合わせしたあとに縫製設定画面で模様を回転すると、模様が糸印やぬい始め位置に正しく合わなくなります。

14 を押して、元の画面に戻ります。

15 糸印を取り除きます。

16 を押します。

17 を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。

色を編集する

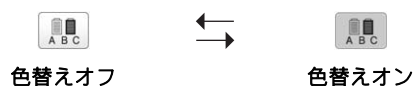
一文字ずつ色を変える

P. 43 の文字模様で選択した文字は、黒色に設定されています。文字の色を変えたいときは、配色キーで変更しますが、一文字ずつ色を変えたいときは、色替えキーをオンにしてから一文字ずつ色を設定します。

1 を押して  にします。



- キーを 1 回押すごとに、切り替わります。



- 色の変更は、下記の「模様の色を変える」を参照してください。

模様の色を変える

模様の色を変えて、画面で確認することができます。色を変えると、同じ模様でも雰囲気が変わり、楽しむことができます。

1 を押します。

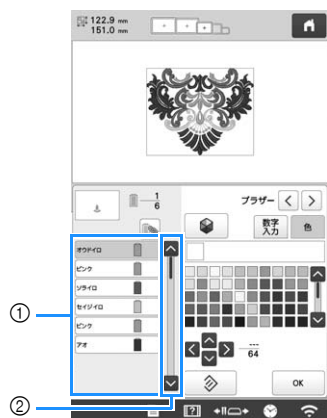


→ 糸色編集画面が表示されます。

2 色を変更したい糸色を、糸色順表示から選んで押します。

- 変更したい糸色が隠れているときは、右横のスクロールバーで表示させます。

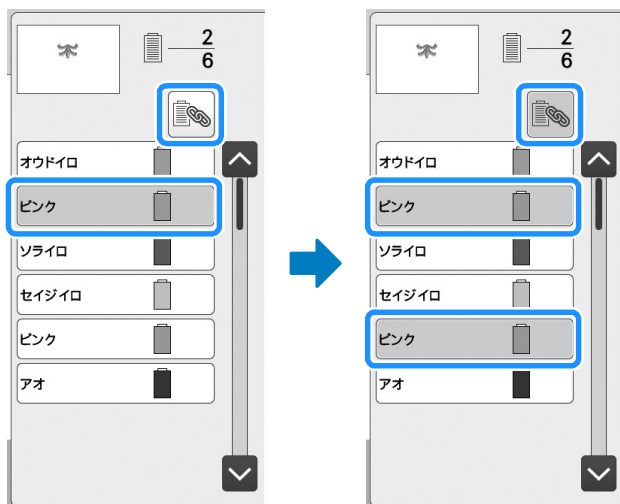
→ 選択した糸色イメージが表示されます。



① 選択した色のイメージ

② スクロールバー

- 同じ糸色が2回以上使用されている場合に、その糸色を一括して選択したいときは、糸色を選択してから、を押します。キーがに変わり、最初に選択した糸色と同じ糸色がすべて青くハイライトされ、操作の対象となります。



- 模様を直接押して、色を変えたい模様の部分を選択することもできます。

- 3** 糸ブランドを選択し、 を押すか、希望の色を直接押して、パレットの中から新しい色を選びます。



① 糸ブランドを選択します。

② 四角で囲まれた色が選ばれている色です。

③ 押すと、元の色に戻ります。

④ 選んだ色の糸色名が表示されます。

→ 模様表示エリアでは、糸色が変更された状態で模様を確認することができます。

お知らせ

- を押すと、番号入力で糸色を指定できます。

- 4** 色の変更が終わったら、を押します。

カラーシャッフル機能を使って、新しい配色を設定する

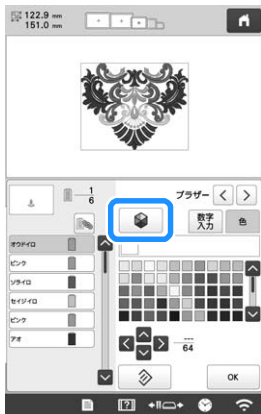
選択した模様には、マシンが新しい配色を提示します。4つの配色モード（[ランダム]、[ビビッド]、[グラデーション]、[ソフト]）の中から好みモードを選ぶと、そのモードの色合いに変更された見本イメージが表示されます。

① を押します。



→ 糸色編集画面が表示されます。

② を押します。



❗お願い

- 模様によっては、この機能を使用できないものがあります。（例：繰り返し模様、ライセンスがある模様）。がグレー表示になっている場合は、別の模様を選んでください。

③ 刺しゅう模様に使いたい糸ブランドと糸色数を選びます。



- ① 糸ブランド
- ② 使用する糸色数

④ お好みの配色モードを選びます。



① 配色モード

→ [ランダム] または [グラデーション] を選んだときは、色指定画面が表示されます。

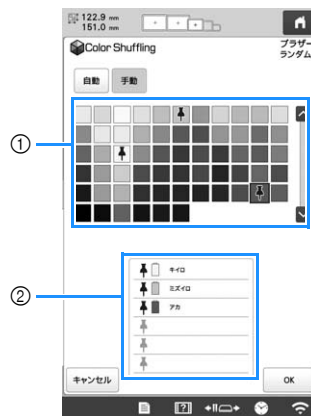
→ [ビビッド] または [ソフト] を選んだときは、色指定画面が表示されません。手順⑦に進んでください。

⑤   を押し、表示を  にして、配色する糸色を指定します。

* 糸色を指定しないときは、 にします。

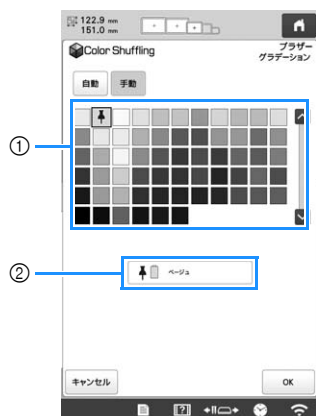
[ランダム] で [手動] を選んだとき

[ランダム] で使用する糸色は6色まで選択できます。選択した糸色でランダムな配色が生成されます。



- ① パレットから糸色を選択します。
- ② 選択した糸色が表示されます。

【グラデーション】で【手動】を選んだとき
【グラデーション】で使用する糸色をひとつ選択できます。選択した糸色でグラデーションが生成されます。



- ① パレットから糸色を選択します。
② 選択した糸色が表示されます。

6 OK を押します。

7 見本イメージの中から、お好みの配色を選びます。

- * リフレッシュ を押すと、新しい見本イメージが追加されます。

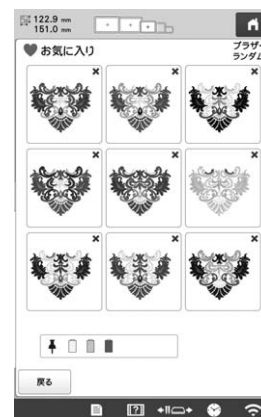


- ① 現在表示しているページより前のページの配色見本を見たいときに押します。

お知らせ

- お好みの配色イメージを一時登録するには、
♥を押します (♥を押すと登録が解除されます)。配色イメージは一時登録ページに9個まで追加できます。*

♥お気に入り を押すと、一時登録した配色イメージを確認できます。この画面で✕を押すと、登録が解除されます。



- * 画面に表示できる配色見本のページ数は20ページまでです。

8 配色を確認して、セット を押します。

- * キャンセル : 1つ前の画面に戻ります。

- * < または > : ほかの配色見本を表示します。



→ 色編集画面に戻ります。

9 OK を押して、編集画面を表示させます。

液晶画面上で糸色を交換する

糸立て台の糸こまが、液晶画面で表示されている糸と異なる色だった場合、実際の糸立て台にセットされている糸こまと色を合わせるために、液晶画面上で糸色の表示を交換することができます。

お知らせ

- この機能は、設定画面で手動糸色割付を [ON] に設定しているときは使用できません。

1 縫製画面で を押します。



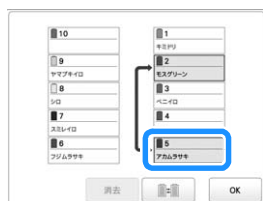
→ 糸こま選択画面が表示されます。

2 交換する一つめの針棒番号キーを押してください。

- 選んだ針棒番号をキャンセルするときは、同じキーをもう一度押してください。



3 交換するもう一つの針棒番号キーを押してください。二つの針棒番号をつなげる矢印が表示されます。



4 を押すと、二つの糸色が交換されます。

5 交換が終わったら、 を押してください。

■ 針棒設定をクリアして新たに設定しなおす

お願い

- 縫製中でも、この操作によって針棒設定は完全にクリアされます。

1 を押します。



→ 針棒設定がクリアされます。

2 を押します。

→ 以前の針棒設定にかかわらず、糸色はミシンによって新たに割り振られます。

お願い

- 設定済みの手動針棒設定は、この操作によって解除されません。(P. 122)

各針棒の糸色を選択する／管理する (手動糸色割付)

各針棒に割り当てられている糸色は、手動で指定したり、管理したりすることができます。さらに用途によっては、糸色の再割り当てを省いたり、通常の設定より効率よく色を割り当てることができます。

手動糸色割付の利便性

次のような刺しゅうをするときは、手動糸色割付を使用すると便利です。

■ DST ファイルのような糸色情報がない刺しゅうデータを刺しゅうするとき

糸色情報を持たないデータに使う糸こまを、簡単に選択できます。詳しくは、P.192「仕様」を参照してください。

■ 同じ糸色の組み合わせを常に使うとき

特定の糸色が特定の針棒に割り当てられている場合は、模様を変更されたときでも、針棒への糸色割り当てを維持したまま糸色設定を変更することができます。同じ糸色を常に使用する場合、操作が簡略化されます。

■ 同じ針棒設定で、連続して刺しゅうする場合

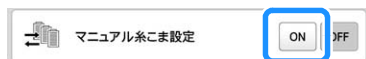
通常設定の場合、ミシンの停止後に縫製設定画面が表示された時点で、針棒設定は解除されます。ただし、手動糸色割付で設定した針棒設定は、模様が削除されるか、またはミシンの電源を切るまで、適用されます。同じ模様を連続して複数回刺しゅうするときは、この機能を使うと便利です。

手動糸色割付モードにする

💡 お願い

- 縫製画面では、手動糸色割付モードの [ON] / [OFF] を設定できません。

- 1 を押し、 を押します。
→ ミシン本体設定画面が表示されます。
- 2 ミシン本体設定画面の [マニュアル糸こま設定] を表示します。
- 3 [ON] を押して、手動糸色割付モードにします。
● 購入時は [OFF] に設定されています。



- 4 を押し、元の画面に戻ります。
→ 画面に手動糸色割付のアイコンが表示されます。



手動糸色割付を使う

■ 手動ですべての針棒に特定の糸色を割り当てる

ミシンで使用する糸色を特定すると、模様を選ぶたびに針棒への割り当てを変更するだけで縫製を始めることができます。

通常、手動で糸色を割り当てることができる針棒は9本までですが、手動糸色割付モードにすると、10本すべてに割り当てることができます。

(針棒の糸色割り当てについて詳しくは、P. 122 を参照してください。)

■ 針棒番号設定

各糸色をどの針棒でぬうか、針棒を指定できます。

お知らせ

- P.122「手動針棒／縫製速度設定」の手順に従って針棒に糸色を指定しておく、画面で指定した糸色の模様を確認できます。

- 1 縫製設定画面で、 を押します。
→ 針棒番号を選択する画面が表示されます。
- 2 割り当てを変更したい糸色を、糸色順表示から選んで押します。
● 変更したい糸色が隠れている場合は、右横のスクロールバーで表示させます。



① スクロールバー

3 番号ボタン（1 から 10）を押して、割り当てる針棒の番号を選びます。

→ 手順 2 で選択した色の針棒番号が、指定した針棒番号に変更されます。
手動針棒設定で針棒に糸色が指定されている針棒を選んだ場合は、糸色順表示の糸こまと模様の該当する部分の色がその糸色に変わります。



- ① 手動針棒設定で糸色が指定されている針棒番号
 - ② 針棒への割り当てを変更する糸色
(例: 5 番針棒を 3 番針棒に変更)
 - ③ 選択すると、その色部分をぬう前にミシンが停止します。
 - ④ 選択すると、縫製時にその色部分をぬわない設定になります。
- ③④ を同時に設定した場合、④ の設定が優先されます。

■ 糸色設定を初期化する

手動糸色割付では、新しい模様を選択するとミシンの糸色情報は初期化され、針棒に割り当てられます。前回の模様の糸色情報に関係なく、針棒が割り当てられます。

手動糸色割付の注意点

■ 11 色以上の糸色を含む模様を刺しゅうするときは

手動糸色割付では、糸こま交換の停止時期を画面で確認できません。通常の針棒設定のように、ミシンは自動的に停止せず、糸こま交換時の停止メッセージは表示されません。次の手順に従って、停止時期を設定してください。

- P.61 「手動糸色割付を使う」の手順 3
- P.120 「次の糸替え時に停止する」
- P.120 「縫製前にポーズ位置を指定する」

仕上がりイメージを確認する

仕上がりイメージの見方

希望通りのぬい上がりになるか、刺しゅうしたときのイメージで見てみます。

1 を押します。

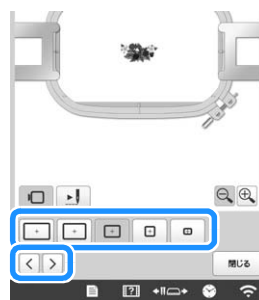


→ イメージが表示されます。

お知らせ

- 仕上がりイメージが横向きに表示されたとき、上下に余白があっても、表示方向を縦向きに変えることはできません。

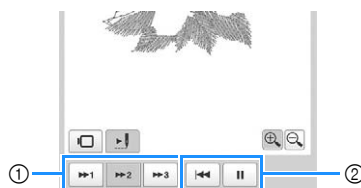
2 または を押して台枠の種類を選び、刺しゅう枠を選びます。



- 枠表示を変更してみて、模様最適な台枠や刺しゅう枠の大きさを決めたら、台枠や枠を交換してください。ミシンが自動で台枠と枠の種類を認識して画面表示が変わります。

3 を押すと刺しゅうの順番を確認できます。

→ ステッチシミュレーター画面が表示されます。



- ① シミュレーションの速さを選べます。
- ② 再生操作キー

- を押すと、台枠・枠表示選択画面に戻ります。

4 を押して、元の画面に戻ります。

布地を準備する

！ 注意



- 刺しゅうができる布地の厚さは2 mm程度までです。それ以上の厚さのものをぬうと、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

布地に接着芯を貼る

ぬい縮みや模様くずれを防ぐために、刺しゅう用接着芯の使用をお勧めします。

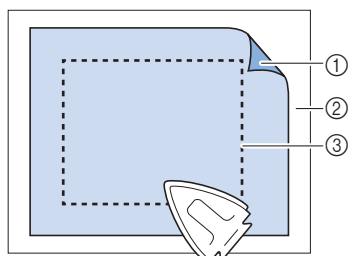
！ 注意



- 薄地や伸びる布地、目の粗い布地、ぬい縮みしやすい布地に刺しゅうをする場合は、必ず刺しゅう用接着芯を使用してください。芯を使用しないで刺しゅうをすると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。また、模様くずれの原因にもなります。

- 1 布地の裏側に接着芯をスチームアイロンをかけて貼ります。

- 接着芯は、刺しゅう枠よりも大きいものを使用してください。



- ① 接着芯の接着面
- ② 布地（裏面）
- ③ 刺しゅう枠の大きさ

📖 お知らせ

- オーガンジーやローンなど薄手の素材に簡単なデザインやざっくりしたデザインを刺しゅうするときは、水に溶ける水溶性シートをお使いください。洗濯中にシートが溶け、固くならずきれいに仕上がります。
- アイロンがかけられない布地やアイロンのかけにくい場所に刺しゅうをするときは、接着しないで、布地の下に接着芯を重ねて刺しゅう枠に張ってください。

布／接着芯の適合表

布／衣服	裏張りの枚数	表張りの枚数
	詳細	
タオル地	はがすタイプ 1 枚	水に溶けるタイプ 1 枚
	密度または縦ぬい幅を大きくしてください。細かい模様や小さな文字は、毛羽の輪に引っかかりやすくなります。	
サテンのジャケット	厚い裏地なし 薄い裏地 または裏地なし はがすタイプ 1 枚 はがすタイプ 1 枚	なし
	布が枠の中ですべるとまっすぐぬえなくなりますので、マスキングテープや布のバイアステープを内枠に巻いてください。こうすると表面が粗くなるため布がつかみやすく、また、枠が焼けるのを最小限にすることもできます。	
綿の敷布	はがすタイプ 1 枚	なし
	密度の濃いものや、細かいデザインの場合は、裏張りを増やしてください。この場合は、厚い裏張り 1 枚ではなく、薄い裏張りを 2 枚使ってください。	
デニム	はがすタイプ 1 枚	なし
	針が熱くなったり糸が切れたりするときは、縫製速度を遅くしてください。	
帽子	任意	任意
	バックラムの裏張りを使用すると針が鈍くなりやすいので、通常よりも頻繁に針を交換するようにしてください。軽い裏張りを使用すると、糸切れが減り、糸調子を整えられます。コーデュロイや帽子の前面には表張りを使ってください。	
ドレスシャツ（織物）	はがすタイプ 1 枚	なし
	密度の高いものや、細かいデザインの場合は、裏張りを増やしてください。この場合は、厚い裏張り 1 枚ではなく、薄い裏張りを 2 枚使ってください。	
ゴルフシャツ	切るタイプまたはアイロン接着の切るタイプ 1 枚	任意
	細かい模様や小さな文字の多いデザイン、またピケニットには表張りを使用してください。	
カントンフリース	はがすタイプ 1 枚	任意
	かご織りや、はっきりしたあや織りのような織物には表張りを使用してください。	
キャンバス地	はがすタイプ 1 枚	なし
	枠をきつく取り付けてください。	

布／衣服	裏張りの枚数	表張りの枚数
	詳細	
コーデュロイ	はがすタイプ 1 枚	水に溶けるタイプ 1 枚
	ぬい目の密度が高いものやぬい目数が多い場合は、表張り同様に、ぬい目が布の中に沈まないようにしてください。	
肌着やシルク	はがすタイプ（軽） 1 枚または 2 枚	任意
	縫製速度を遅くしてください。糸調子をゆるめてください。細かい模様や小さな文字のあるデザインには、表張りを使用してください。織り目の細かい布には細い糸を使用してください。細かい模様や文字には極端に狭い縦ぬいを避け、ぬい幅を広げるか、さやぬいをしてください。布からやさしく裏張りとは表張りを取り除いてください。（無理に引きはがさないでください。）	
ニット	切るタイプまたはアイロン接着の切るタイプ 1 枚	水に溶けるタイプ 1 枚
	かさばるものや穴の多いニットには裏張りに色の合った、織り目の詰まったオーガンジーまたはカーテンの布を使ってください。	
スウェットシャツ	切るタイプ（軽）または粘着性のはがすタイプ 1 枚	任意
	細かいデザインには切るタイプ（軽）の接着芯を 2 枚重ねてください。極端に厚い、また細かいデザインの付いた布には表張りを使ってください。	
T シャツ	切るタイプ（軽）またはアイロン接着の切るタイプ 1 枚	任意
	細かい模様や小さな文字のあるデザインには、表張りを使用してください。糸調子が弱すぎます。ぬい目の密度が高いデザインは避けてください。	

🔔 お願い

- 布／接着芯の適合表は、布地と接着芯の多くの組み合わせの中から、最適な組み合わせを選ぶための目安としてご利用ください。布地と接着芯の組み合わせが不確かである場合は、実際の衣類で本ぬいする前に、ためしぬいをしてください。

布地の張り方

🔔 お願い

- 布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい縮みの原因となります。次の手順に従い、布地にたるみがないよう、しっかりと張ってください。また、布地を張るときは平らな場所で行ってください。

1 刺しゅう枠を選びます。

画面に表示されている刺しゅう枠を確認し、使用できる刺しゅう枠を選びます。



使用できる刺しゅう枠は濃く（）、使用できない刺しゅう枠はグレー（）で表示されます。

📖 お知らせ

- 台枠がミシンに取り付けられていない場合は、正確な刺しゅう枠の大きさを示すことができません。（P. 67）

■ 刺しゅう枠の種類

4 種類の大きさの刺しゅう枠が同梱されています。これらの刺しゅう枠は、付属の台枠 A をミシンに取り付けて使用します。それぞれの用途については、P.68「刺しゅう枠を上手に使うには」を参照してください。

画面表示	名称
縫製範囲（ヨコ×タテ）	
	特大枠
360mm×200mm	
	LL 枠（別売）
300mm×200mm	
	L 枠
180mm×130mm	
	M 枠
100mm×100mm	
	S 枠
60mm×40mm	

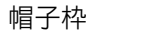
別売の刺しゅう枠を使うときは、画面に次のアイコンが表示されます。

：台枠 B

：台枠 C

：台枠 D

：台枠 E

¹ ² ³：帽子枠

：シリンダー枠

：マグネット原反枠

⚠ 注意

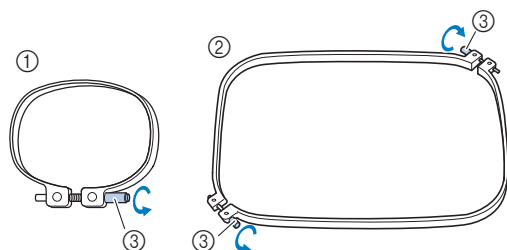
- 当社指定の刺しゅう枠を使用してください。
- 誤った大きさの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、けが・故障の原因となります。(刺しゅう枠について詳しくは、P. 69を参照してください。)

💡 お願い

- ミシンの使用可能刺しゅう枠表示では、これからぬい刺しゅう模様が入る大きさの刺しゅう枠がすべて表示されますが、できるだけ刺しゅう模様の大きさに合った刺しゅう枠を使ってください。大きすぎる刺しゅう枠を使うと、模様くずれやぬい縮みが起きることがあります。(P. 68)

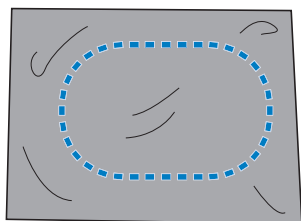
■ 枠に布地を張る

- 1** 刺しゅう枠の外枠の調節ネジをゆるめます。



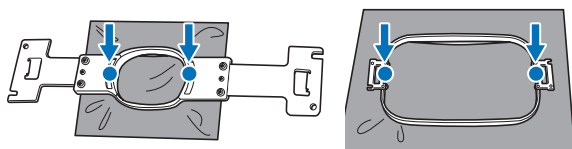
- ① S 枠、M 枠
- ② 特大枠、LL 枠 (別売)、L 枠
- ③ 調節ネジ

- 2** 外枠の上に、接着芯と布地をピンッと伸ばしてのせます。



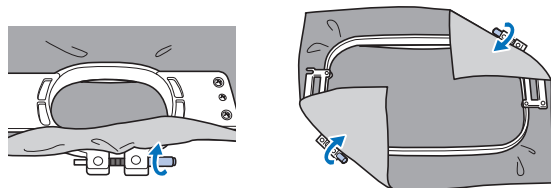
- 外枠の表裏はありません。どちらの面が表になっても構いません。

- 3** 内枠ではさみます。

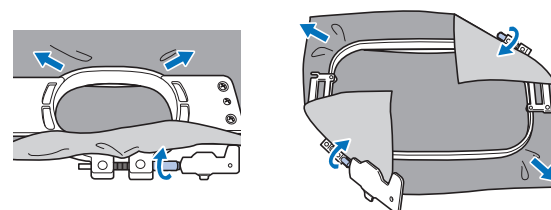


- 刺しゅう枠の内側に、はさみしわができないよう注意してください。

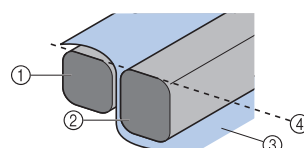
- 4** 調整ネジを軽くしめます。



- 5** 布地を引っ張りながら、調節ネジをしっかりと締め、布にたるみのない状態にします。



- 調節ネジは3 ウェイドライバーを使うと、しっかりと締め付けることができます。
- 布地を張った後、布地を軽くたたくと太鼓のような音がするくらいが目安です。
- 外枠と内枠の天面の高さがほぼ同じになるように、しっかりとほめてください。



- ① 外枠
- ② 内枠
- ③ 布地の表
- ④ ほぼ同じ高さになる

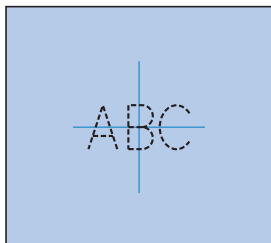
📖 お知らせ

- 確実にきれいに布地を刺しゅう枠に張るために、枠張り台を使うことをお勧めします。

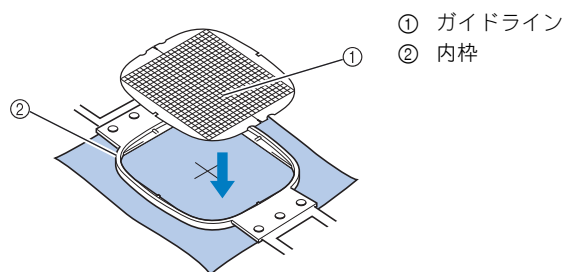
■ 刺しゅうシートを使う

布地に対して模様が水平にぬわれるように布地を刺しゅう枠に張るには、刺しゅうシートの基準線を目安にして張ると便利です。

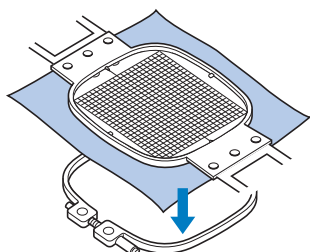
- 1 チャコペンで刺しゅうしたい範囲にしるしを付けます。



- 2 内枠に刺しゅうシートを置きます。布に付けたしるしと刺しゅうシートのガイドラインを揃えます。



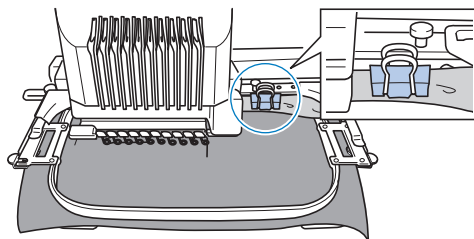
- 3 折り目やしわがなくなるように丁寧に布を伸ばし、外枠ではさみます。



- 4 刺しゅうシートを外します。

■ 大きな布地や重い衣類の場合

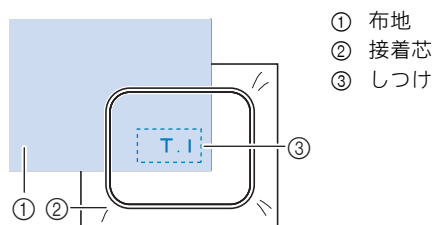
大きな布地やジャンパーなどの重い衣類をぬうときは、クリップで刺しゅう枠にとめるなどして、刺しゅう枠から布端が垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がった状態でぬうと、刺しゅう枠の動きが悪くなり、模様くずれの原因となります。



- クリップなどで刺しゅう枠にとめます。

■ 小さい布地の場合

刺しゅう枠に張ることができない小さい布地に刺しゅうをするときは、接着芯を土台にします。軽くアイロンで布地を接着芯に貼り、刺しゅう枠に張ります。アイロンで布地を接着芯に貼ることができないときは、しつけをします。接着芯は刺しゅうが終わってからいねいに取り除きます。

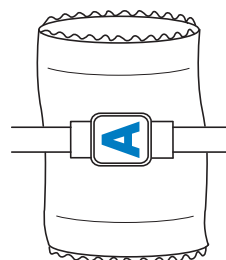


■ 袋もの、筒ものなど刺しゅう枠の張り方が限定されるものをぬう場合

模様を回転してぬいます。模様の回転については、P.47「編集画面の見方」を参照ください。

例：ピローケースにぬう場合

模様を左に 90 度回転してぬいます。



例：Tシャツにぬう場合

模様を 180 度回転します。Tシャツの襟ぐり側ではなく胴側からミシンベッドを通し、刺しゅう枠をミシンにセットします。刺しゅう枠の移動により襟ぐりの伸びを防ぎます。



刺しゅう枠をミシンにセットする

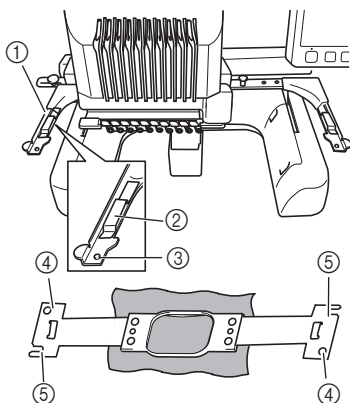
刺しゅう枠に布地を張ったら、ミシンにセットします。台枠は、台枠 A と台枠 B の 2 種類が付属されています。付属の刺しゅう枠を使用する場合は、台枠 A を取り付けてください。(台枠について詳しくは、P. 69 を参照してください。)

⚠ 注意

- 刺しゅう枠を正しくセットしないと、刺しゅう枠が押えに当たり、けが・故障の原因となります。
- 刺しゅう枠をセットするときは、スタート/ストップスイッチが赤色で点灯していることを確認してから行ってください。スタート/ストップスイッチが緑色で点滅しているときは、ミシンはスタートできる状態です。誤ってミシンが作動すると、けがの原因となります。
- 刺しゅう枠をセットするときは、刺しゅう枠がミシンの各部品に当たらないように注意してください。

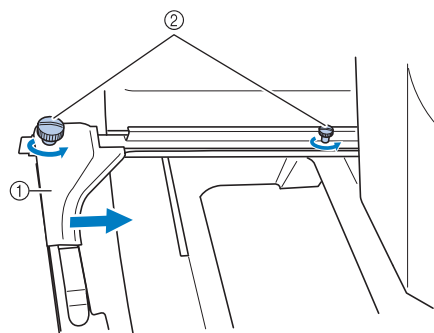
刺しゅう枠のセットのしかた

セットする刺しゅう枠の大きさに台枠の幅を合わせてから、刺しゅう枠をセットします。ここでは、S 枠をセットします。



- ① 台枠の左アーム
刺しゅう枠の大きさに合わせて、左右に調整します。
- ② 台枠の受金具
ここに刺しゅう枠の取付部を挟み込みます。
- ③ ピン
- ④ 穴
- ⑤ 切り欠き

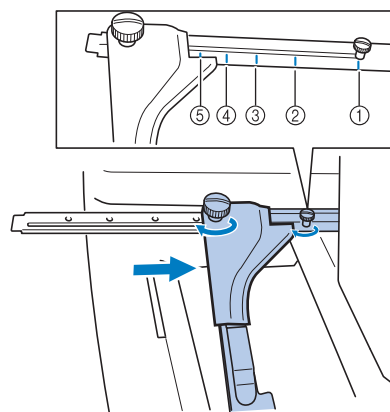
- ① 台枠の左側にある 2 本のつまみボルトをゆるめます。つまみボルトがきつすぎる場合は、付属の 3 ウェイドライバーを使用してください。



- ① 左アーム
- ② つまみボルト
→ 台枠の左アームが移動できるようになります。
● つまみボルトは、2 ～ 3 回、回してゆるめるだけで、外さないでください。

- ② 左アームを移動し、セットする刺しゅう枠のマークを右のネジに合わせ、つまみボルトをしめます。

ここでは、⑤ のマークとつまみボルト (小) を合わせます。



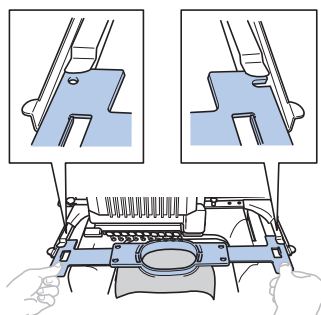
- ① 特大枠のマーク
ヨコ 360mm × タテ 200mm
- ② LL 枠のマーク
ヨコ 300mm × タテ 200mm (別売)
- ③ L 枠のマーク
ヨコ 180mm × タテ 130mm
- ④ M 枠のマーク
ヨコ 100mm × タテ 100mm
- ⑤ S 枠のマーク
ヨコ 60mm × タテ 40mm

💡 お願い

- 付属の 3 ウェイドライバーで、2 本のつまみボルトをしっかりと締め付けてください。つまみボルトがしまっていないと、次のようなトラブルが発生するおそれがあります。
 - ・ ミシンが枠のサイズを誤って認識する
 - ・ 刺しゅう枠の原点位置がずれる
 - ・ 刺しゅう模様がくずれる

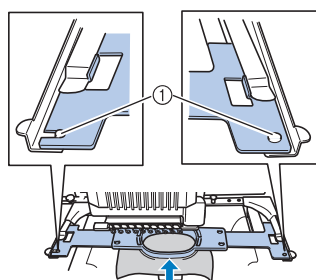
→ 台枠の準備ができました。

- 3 刺しゅう枠を水平に持って、刺しゅう枠の取付部を左右同時に台枠の受金具に合わせ、挟み込ませます。



- 刺しゅう枠は内枠面を上 にします。

- 4 そのまま奥へ刺しゅう枠を押し込みます。



- ① 左右のアームのピンが、刺しゅう枠の取付部の穴に入っていることを確認してください。

刺しゅう枠を上手に使うには

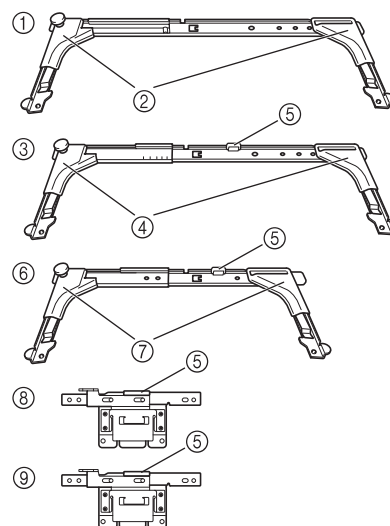
刺しゅう枠の種類や使い方について説明します。このミシンでは、様々なタイプの刺しゅう枠を使用することができます。
付属の刺しゅう枠に加え、このミシンで使用できる刺しゅう枠が多数用意されています。(P.15「別売品」)

⚠ 注意

- 必ず画面に表示された使用可能な刺しゅう枠を使用してください。誤った大きさの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、けがの原因となります。

■ 台枠について

2種類の台枠（台枠Aと台枠B）が付属されています。台枠Aは、付属の4つの刺しゅう枠と別売の刺しゅう枠（ヨコ300mm×タテ200mm）を使うときに使います。台枠Bは、別売の刺しゅう枠を使用するときに使います。また、別売の丸枠セット、クランプ枠セット、ネーム枠セットについては、購入時に指定の台枠C、DまたはEが付属しています。各台枠へセットできる刺しゅう枠について詳しくは、P.69「刺しゅう枠／台枠の種類と用途」を参照してください。



- ① 台枠A
- ② 白いカバー
- ③ 台枠B
- ④ 薄いグレーのカバー
- ⑤ 磁石
- ⑥ 台枠C（別売）
- ⑦ 濃いグレーのカバー
- ⑧ 台枠D（別売）
- ⑨ 台枠E（別売）

■ 刺しゅう枠が取り外しにくいときは

針棒の位置によっては、刺しゅう枠が交換しにくいことがあります。このようなときは、次の手順に従って、刺しゅう枠を移動してください。

- 1 を押します。
→ 針棒移動画面が表示されます。

- 2 を押します。



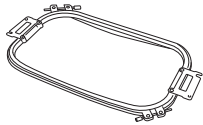
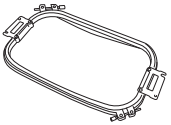
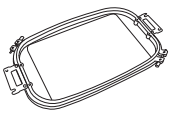
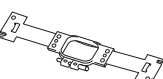
→ 刺しゅう枠を取り外しやすい場所に、自動的にキャリッジが移動します。

- を押すと、針棒移動画面が閉じ、キャリッジが元の位置に戻ります。

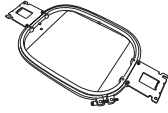
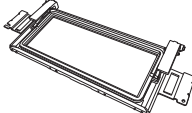
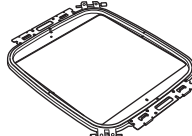
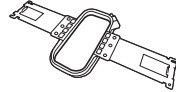
■ 刺しゅう枠／台枠の種類と用途

参照ページが「※」のときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。

台枠 A を使用する刺しゅう枠

刺しゅう枠の種類	刺しゅう範囲	
	用途	
	参照ページ	
特大枠	ヨコ 360mm × タテ 200mm	
	文字や模様をつないで刺しゅうしたり、組み合わせたり、大きな刺しゅうをするときに使います。	
	P. 65	
LL 枠 (別売)	ヨコ 300mm × タテ 200mm	
	文字や模様をつないで刺しゅうしたり、組み合わせたり、大きな刺しゅうをするときに使います。	
	P. 65	
平枠 (別売)	ヨコ 300mm × タテ 200mm	
	ジャケットなどの厚地のものを刺しゅうするときに使います。	
	※	
L 枠	ヨコ 180mm × タテ 130mm	
	ヨコ 180mm × タテ 130mm 以下の大きさの刺しゅうをするときに使います。	
	P. 65	
M 枠	ヨコ 100mm × タテ 100mm	
	標準サイズの模様を刺しゅうするときに使います。	
	P. 65	
S 枠	ヨコ 60mm × タテ 40mm	
	ネーム入れなど小さな刺しゅうをするときに使います。	
	P. 65	

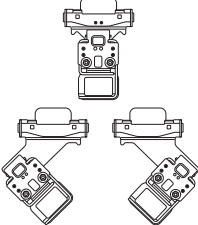
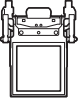
台枠 B を使用する刺しゅう枠

刺しゅう枠の種類	刺しゅう範囲	
	用途	
	参照ページ	
キルト枠 (別売)	ヨコ 200mm × タテ 200mm	
	キルト用のピースに刺しゅうするときに使います。	
	※	
ボーダー枠 (別売)	ヨコ 300mm × タテ 100mm	
	文字や模様が長くつながった刺しゅうをするときに使います。	
	※	
ジャンボ枠 (別売)	ヨコ 360mm × タテ 360mm	
	編集ソフト刺しゅう PRO で 2 つに分割したヨコ 200mm × タテ 360mm 以下の模様や、最大 350mm × 350mm のサイズの模様を刺しゅうするときに使います。	
	P. 146	
縦長枠 (別売)	ヨコ 70mm × タテ 200mm	
	シャツの袖など縦長のものに刺しゅうするときに使います。	
	※	

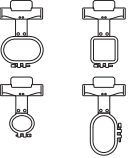
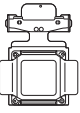
台枠 C (別売) を使用する刺しゅう枠

刺しゅう枠の種類	刺しゅう範囲	
	用途	
	参照ページ	
丸枠 (別売)	160mm 径 130mm 径 100mm 径	
	袖口に内蔵模様を刺しゅうするときなどに使用します。模様のサイズに合わせて丸枠の大きさを選んでください。	
	※	

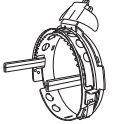
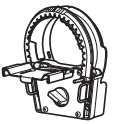
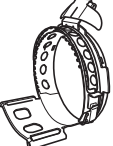
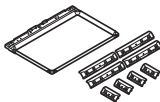
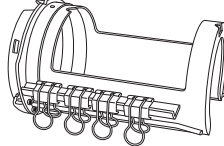
台枠 D (別売) を使用する刺しゅう枠

刺しゅう枠の種類	刺しゅう範囲	
	用途	
	参照ページ	
クランプ S 枠 (別売) 	ヨコ 45mm × タテ 24mm	
	靴や手袋など、通常の枠では固定できない、特殊な形状の素材にワンポイント刺しゅうするとき 사용합니다。 ※	
クランプ M 枠 (別売) 	ヨコ 100mm × タテ 100mm	
	細身のバッグなど、特殊な形状の素材にワンポイント刺しゅうするとき 사용합니다。 ※	

台枠 E (別売) を使用する刺しゅう枠

刺しゅう枠の種類	刺しゅう範囲	
	用途	
	参照ページ	
ネーム枠 (別売) 	70 : ヨコ 70mm × タテ 41mm 50 : ヨコ 50mm × タテ 50mm 44 : ヨコ 44mm × タテ 38mm 縦向き : ヨコ 75mm × タテ 33mm	   
	小さな素材に刺しゅうするときなどに使用します。 ※	
	※	
マグネット枠 (別売) 	ヨコ 50mm × タテ 50mm	
	布に刺しゅう枠の跡をつけたくないときなどに使用します。 ※	

台枠を使用しない刺しゅう枠

刺しゅう枠の種類	刺しゅう範囲	
	用途	
	参照ページ	
帽子枠 2 (別売) 	ヨコ 130mm × タテ 60mm	
	帽子に刺しゅうをするときに使います。この枠で刺しゅうできる帽子は、野球(ゴルフ)帽、チューリップハット、バケツ帽です。サンバイザーや赤ちゃん用の帽子など、帽子の正面の高さが 50mm 以下のものには使えません。また、ヒサシが 80mm より大きい帽子にも使えません。 ※	
帽子枠 F (別売) 	ヨコ 130mm × タテ 60mm	
	帽子に刺しゅうをするときに使います。帽子枠 2 に対応している帽子に加えて、平つば帽子や子供用帽子を刺しゅうすることができます。また、帽子枠 2 に比べてつばの際まで刺しゅうすることができます。 ※	
ワイド帽子枠 (別売) 	ヨコ 360mm × タテ 60mm	
	帽子に刺しゅうをするときに使います。他の帽子枠に比べて、広い刺しゅう範囲を刺しゅうすることができます。サンバイザーや赤ちゃん用の帽子など、帽子の正面の高さが 50mm 以下のものには使えません。また、ヒサシが 80mm より大きい帽子にも使えません。 ※	
マグネット原反枠 (別売) 	ヨコ 360mm × タテ 200mm	
	文字や模様をつないで刺しゅうしたり、組み合わせたり、大きな刺しゅうをするときに使います。また、キルトサッシ模様を刺しゅうするときにも便利です。 ※	
シリンダー枠 (別売) 	ヨコ 90mm × タテ 80mm	
	T シャツの袖やタートルネックなど、筒状の布地やカーブのある布地を刺しゅうするときに使います。 ※	

お願い

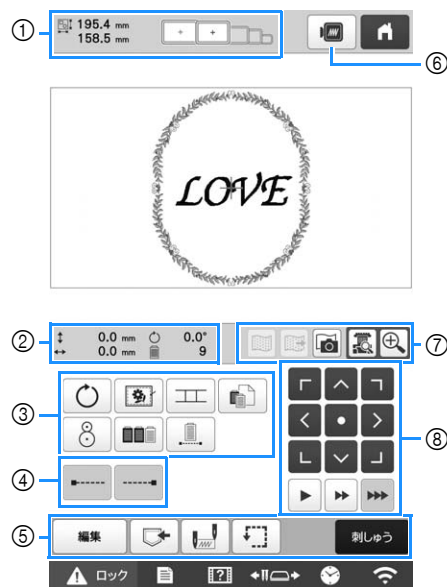
- ミシンでの使用可能刺しゅう枠表示では、これからぬう刺しゅう模様が入る大きさの刺しゅう枠がすべて使用可能として表示されますが、できるだけ大きさに合った刺しゅう枠を使ってください。大きすぎる刺しゅう枠を使うと、模様くずれやぬい縮みが発生することがあります。
- PRシリーズで使用できる純正刺しゅう枠は、このミシンでも使用できます。
- 別売の刺しゅう枠（ジャンボ枠、ボーダー枠、キルト枠、平枠、マグネット原反枠）で刺しゅうするときは、ミシンに付属のワイドテーブルを取り付けてください。
- 刺しゅう枠と布地の重さのよる台枠の湾曲を防ぐため、付属のワイドテーブルを使用することをお勧めします。使用しないと、模様くずれが起きたり、ミシンが故障することがあります。

縫製設定

縫製設定画面の見方

お知らせ

- 設定画面で手動糸色割付を [ON] に設定しているときは、使用できるキーが異なります。（P. 61、P. 73）

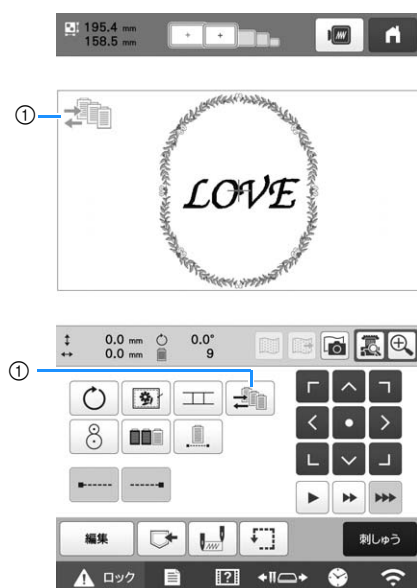


番号	画面表示		説明	参照 ページ
	名称			
①		195.4 mm 158.5 mm	模様表示エリアに表示されている模様の大きさを示します。上段が縦、下段が横の長さです。複数の模様を組み合わせている場合は、すべての模様を含む全体の大きさを示しています。	—
	大きさ			
			模様表示エリアに表示されている模様をぬうことができる刺しゅう枠を示します。	P. 64
	適応枠表示			
②		0.0 mm	枠移動したときの縦の移動距離を示します。	—
	中心からの距離（縦）			
		0.0 mm	枠移動したときの横の移動距離を示します。	—
	中心からの距離（横）			
		0.0°	編集した模様全体を回転したときの回転角度を示します。	—
	回転角度			
		9	編集した模様全体の色替え数を示します。	—
色替え数				

番号	画面表示	説明	参照ページ
	名称		
③		模様全体を回転することができます。	—
	回転キー		
		布に接着芯が貼られていない場合、模様の周囲にしつけぬいをして、ぬい目が縮んだり模様がずれたりするのを防ぐことができます。	P. 101
	しつけぬいキー		
		内蔵カメラを使って模様をつなぐことができます。	P. 110
	模様つなぎキー		
		一旦停止、縫製スキップなど、個別の糸色に対して設定を変更するときに使用します。	P. 120
	個別範囲設定キー		
		内蔵カメラを使って、模様の位置合わせをすることができます。	P. 80
	位置決めキー		
④		複数の模様を組み合わせたと、縫製順を糸色ごとにまとめることができます。	P. 74
	カラーソートキー		
		押すと、色替えをせずに同じ色で模様をぬいます。ぬい順表示がすべて同じ色で表示されます。	P. 122
	一色ぬいキー		
④		模様のぬい始めと糸替え後のぬい始めに、自動止めぬいの設定ができます。	P. 73
	止めぬい(ぬい始め)キー		
		糸切り時に、自動止めぬいの設定ができます。	P. 73
	止めぬい(ぬい終わり)キー		
⑤		押すと、編集画面に戻ります。	—
	編集キー		
		模様をミシン本体や USB メディア、パソコンに記憶することができます。	P. 131
	記憶キー		
		ぬい始めとぬい終わりの針位置を設定することができます。	P. 128
	ぬい始め/終わり位置設定キー		
		押すと、刺しゅう枠が移動して、ぬう位置を確認することができます。	P. 81
	ためしキー		
⑥		縫製設定画面での操作が終わったら、押します。次の縫製画面に進みます。	—
	刺しゅうキー		
⑥		押すと、模様のイメージ画像が表示され、仕上がりイメージを見ることができます。	P. 62
	イメージキー		

番号	画面表示	説明	参照ページ
	名称		
⑦		内蔵カメラで読み込んだ背景画像を表示 / 非表示にすることができます。	P. 75
	背景画像表示切り替えキー		
		内蔵カメラで読み込んだ背景画像を USB メディアに保存することができます。	P. 75
	背景画像外部保存キー		
		刺しゅう枠に張った布地を内蔵カメラで読み込み、模様の背景画像として表示できます。	P. 75
	背景画像表示キー		
		液晶画面に針元の映像が表示され、編集した刺しゅう模様の透過イメージが実際の縫製位置に表示されます。	P. 77、P. 81
	カメラ画像キー		
	カメラ画像キーを押したときのイメージが、2 倍に拡大されて表示されます。 カメラ画像キーは押さなくても、表示されます。	P. 55	
カメラズームキー			
⑧		ぬう位置を調整できます。押すと、矢印方向に枠が移動します。(●を押すと、枠の中心が模様の中心に戻ります。)	—
	移動キー		
		枠の移動の速さを選択できます。  移動キーを押すごとに、0.1mm ずつ移動します。  移動キーを押すごとに、0.5mm ずつ移動します。  移動キーを押し続けると、最高速度で移動します。 カメラ画像の表示中は、2.0mm ずつ移動します。	—
	枠移動速度キー		

■ 手動糸色割付モード時



番号	画面表示	説明	参照ページ
	名称		
①	手動糸色割付モードアイコン	手動糸色割付モードに設定されているとき表示されます。	P. 61
②	手動糸色順キー	針棒の色設定を変更できます。設定画面で手動糸色割付を [ON] に設定しているときに表示されます。	P. 61

自動止めぬい設定

購入時は、模様のぬい始めと糸切り後のぬい始め、糸切り前ともに、自動止めぬいをするように設定されています。

■ 模様のぬい始めと糸切り後のぬい始めに止めぬいをする

- 1 を押して、 にします。



- キーを 1 回押すごとに、切り替わります。



自動止めぬいをする

自動止めぬい解除

📖 お知らせ

- ぬい始めの長さが 0.8mm より短いと、止めぬいが不要となるため、自動止めぬいはされません。
- 設定画面で [渡り糸切り] を [OFF] に設定した場合は、自動止めぬいはされません。(P. 124)

■ 糸切り前に止めぬいをする

- 1 を押して、 にします。



- キーを 1 回押すごとに、切り替わります。



自動止めぬいをする

自動止めぬい解除

📖 お知らせ

- 自動止めぬい設定は、キーを押して解除するまで解除されません。電源を切っても、設定内容は記憶されています。
- 設定画面で [渡り糸切り] を [OFF] に設定した場合は、自動止めぬいはされません。(P. 124)

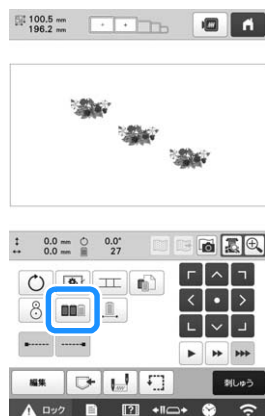
糸色並べ替え

糸こま交換の回数を最小限にして刺しゅうすることができます。
刺しゅうを始める前に、を押して縫製順を糸色で並べ替えます。

縫製画面



縫製設定画面



縫製画面



縫製色順が糸色で並べ替えられました。

糸色並べ替えをキャンセルして、縫製色順に刺しゅうするには  を押します。

お知らせ

- 糸色並べ替え機能は、模様が重なっている場合は使用できません。

模様の位置を確認する

模様は通常刺しゅう枠の中心に配置されています。布地をお好みの場所に刺しゅうするために、配置を変えたい場合は、刺しゅうを始める前に位置を確認できます。

布地を表示して縫製位置を合わせる

刺しゅう枠に張った布地を液晶画面に表示して、画面上で、布地に合わせて縫製位置を調整することができます。
この機能は、編集画面と縫製設定画面で使用できます。



お知らせ

- 別売の台枠 D、台枠 E、帽子枠またはシリンドー枠を装着しているときは、内蔵カメラは刺しゅうの位置合わせに使用できません。
- 厚さが 2mm 以上の布地を使用する場合は、P.76「厚い布地をスキャンする場合」を参照してください。

1 刺しゅう枠に布地を張り、枠をミシンにセットします。

2 模様を選びます。

お願い

- 薄い布地または普通の厚さの布地を使用するときは、[布厚チェック] が [OFF] になっていることを確認してください。(P. 76)

3 適切な画像補正をあらかじめ設定します。(P. 76)

- 適切な設定をすることで、より良いスキャン結果を得ることができます。

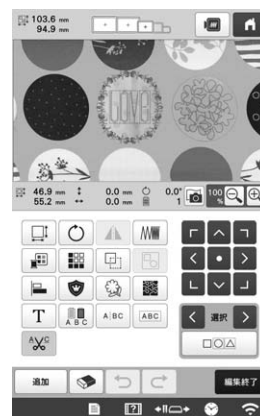
4 編集画面で、を押します。



5 スキャンを開始するメッセージが表示されたら、を押します。

→ 刺しゅう枠が移動し、布地をスキャンします。

6 スキャンした布地が模様の背景に表示されたら、必要に応じて模様を編集します。



7 で、模様をぬきたい位置に移動します。

お知らせ

- 必要に応じて、を押し、模様位置を仕上がりイメージで確認します。
- 縫製設定画面の  アイコンを押しても、背景の表示する / しないの設定ができます。

8 を押して、縫製設定画面に進みます。

お知らせ

- 縫製設定画面でも、模様の位置合わせを行うことができます。
- 縫製設定画面で  アイコンを押すと、背景画面を USB に保存することができます。

9 を押します。

10 を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。

→ ぬい終わると、背景に表示されていた布地は非表示となります。

■ スキャン画像やカメラ画像を補正する

本機のソフトウェアはテーブルの取り付け状況の設定項目に応じた画像補正を行います。
布地をスキャンして模様の背景画像として表示するときや、内蔵カメラを用いて布地をカメラ画像画面に表示するときは、テーブルの取り付け状況の設定項目をあらかじめ設定する必要があります。

テーブルの取り付け状況	設定項目
テーブルを本機に取り付けていないとき	[テーブルなし]
付属のワイドテーブルを本機に取り付けているとき	[ワイドテーブル]
別売の筒物用テーブルを本機に取り付けているとき	[筒物用テーブル]

- 1 を押し、 を押します。
→ 刺しゅう設定画面が表示されます。
- 2 刺しゅう設定画面の「使用テーブル」を表示します。
- 3 または で、テーブルの取り付け状況の項目を選びます。

📖 お知らせ

- 適切な設定をすることで、より良いスキャン結果やカメラ画像を得ることができます。
- マイデザインセンターでスキャン枠を用いてスキャンする場合は、「使用テーブル」を設定する必要はありません。
- 別売のマグネット原反枠、ボーダー枠、キルト枠、平枠、ジャンボ枠を使うときは、ワイドテーブルを取り付けてください

■ 背景に布地を表示する

背景に布地を表示する／しないを設定できます。また、背景画像の画質を「標準」または「きれい」のいずれかを選択できます。

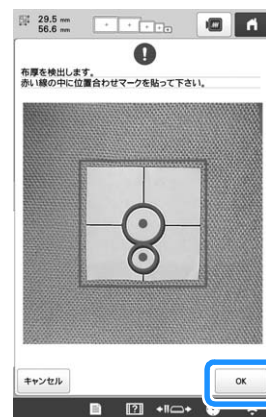


- ① 背景に布地を表示する場合は、[ON] に設定します。
- ② 背景に布地を表示しない場合は、[OFF] に設定します。
- ③ 背景画像の画質を選択できます。
- ④ 背景画像が消去されます。

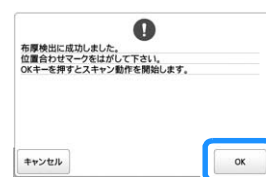
■ 厚い布地をスキャンする場合

厚さが2mm以上の布地をスキャンして位置合わせをする場合、布地を正しく認識できないことがあります。正しく認識するために、はじめにミシンで布地の厚さを確認してください。

- 1 刺しゅう枠に布地を張り、枠をミシンにセットします。
- 2 模様を選びます。
- 3 を押します。
→ 刺しゅう設定画面が表示されます。
- 4 刺しゅう設定画面の「布厚チェック」を表示します。
- 5 [ON] を押して、設定を有効にします。
- 6 [OK] を押し、元の画面に戻ります。
- 7 を押します。
- 8 ミシンが動くメッセージが表示されたら、[OK] を押します。
- 9 画面に、刺しゅう位置合わせシールを貼る位置が赤い枠で表示されます。画面を見ながら、赤い枠内に収まるように、シールを布地に貼り、[OK] を押します。



- 10 次のメッセージが表示されたら、位置合わせシールを布地からはがし、[OK] を押します。



→ 位置合わせシールの検出が完了しました。刺しゅう枠が移動します。

- 11 P. 75の手順 6 以降の手順で、模様をぬいたい位置に合わせます。

⚠ 注意



- 刺しゅうができる布地の厚さは2mm程度までです。それ以上の厚さのものをぬうと、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

内蔵カメラを使う

内蔵カメラを使うと、簡単に縫製位置を合わせることができます。下図のような、位置を合わせづらい位置に刺しゅうする場合に便利です。



- 1 チャコペンで刺しゅうをしたい位置に印を付けます。

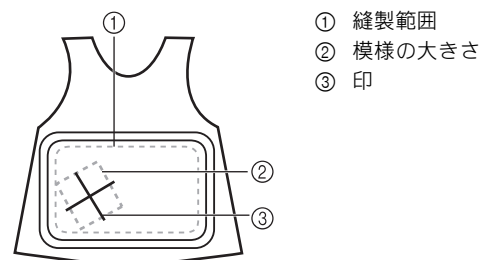


- 2 刺しゅう枠に布地を張ります。



💡 お願い

- 刺しゅう枠に布地を張るときは、模様が使用されている刺しゅう枠の縫製範囲に収まっていることを確認してください。



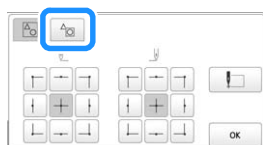
- 3 模様を選びます。

- 4 **編集終了** を押して、縫製設定画面に進みます。

5 縫製設定画面でを押します。



6 を選択します。



お知らせ

- カメラ画像を確認しながら、模様を回転して位置を合わせる際の違いは以下の通りです。

 を選択時	 を選択時
	
模様の回転後のマスクを基準にします。模様が複数ある場合は全体の模様に対してマスクが構成されます。	模様の回転前のマスクを基準にするので、位置を合わせづらい位置に刺しゅうする場合に便利です。模様が複数ある場合はぬい始めの基準となる模様を選択できます。

① 模様のマスク線

7 を押して、ぬい始め位置を模様の左下に設定します。



- ① 模様が複数ある場合、ぬい始めの基準となる模様を選択できます。

8 を押します。

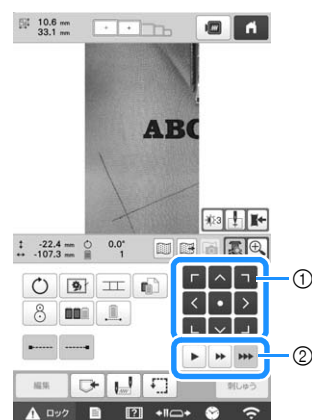
9 適切な画像補正をあらかじめ設定します。(P. 76)

- 適切な設定をすることで、より良いカメラ画像を得ることができます。

10 を押します。

11 布に描いた印がカメラの撮影画面に表示されるまで、移動キーを押して、刺しゅう枠を移動します。

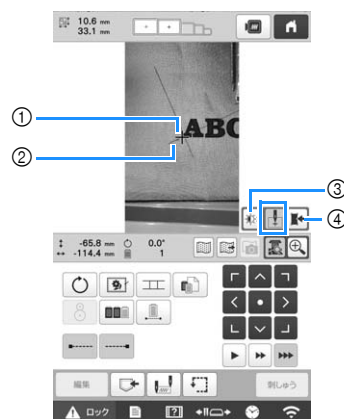
枠移動速度キーを押すと、移動の速さを選択できます。



- ① 移動キー
② 枠移動速度キー

12 を押して、針落ち点を表示します。

- を押すと、カメラ画像の明るさを調整できます。白っぽい布のときは暗く ()、暗い色の布のときは明るく () すると確認しやすくなります。



- ① 針落ち点
② 布の印
③ 押すたびに、カメラ画像の明るさが変わります。
④ カメラ画像を外部メモリーに保存することができます。

- を押すと、縫製範囲が確認できます。

お知らせ

- を押すと、拡大表示に切り替わります。少しずつ刺しゅう枠を移動しながら、模様左下にある点の位置合わせを微調整できます。詳しくは、P.79「カメラ画像を拡大表示で見る」を参照してください。

- 13  を押し、模様の傾きが布に描いた印の傾きと合うまで模様の角度を調整します。



- 移動キーを押して、カメラ画像の模様と布地の印がぴったり重なるまで、刺しゅう枠を移動します。
- 模様が複数ある場合、ぬい始めの基準とした模様だけでなく、模様全体が回転されます。

- 14  を押し、模様表示に戻ります。

- 15  を押します。

- 16  ロック を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。

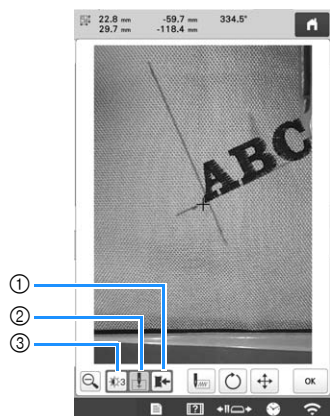
■ カメラ画像を拡大表示で見る

- 1  を押します。



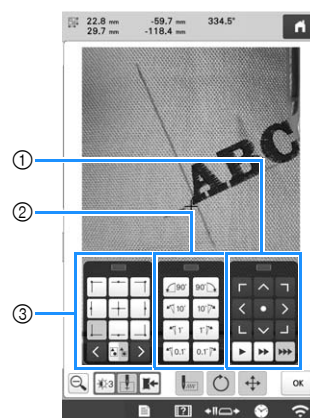
- 2 カメラ画像画面が拡大されて表示されます。

- 通常のカメラ画像表示で設定した表示設定を変更することができます。



- ① カメラ画像を外部メモリーに保存します。
- ② 針落ち位置を表示する／しないを設定します。
- ③ カメラ画像の明るさを変更します。

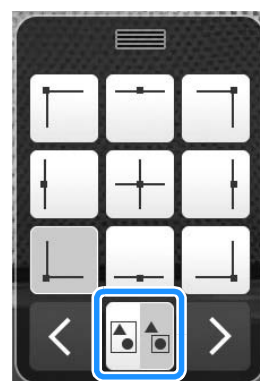
- 3    を押しと、ぬい始め設定、回転、枠移動キーパネルが表示されます。



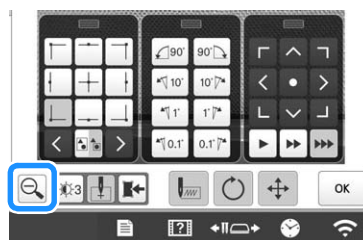
- ① 枠移動キーで模様の位置を調整できます。
 - ② 回転キーで模様の角度を調整できます。模様が複数ある場合、ぬい始めの基準とした模様だけでなく、模様全体が回転されます。
 - ③ ぬい始め設定キーでぬい始め位置を設定できます。
- これらのキーは、調整中は非表示になるため、カメラ画像を全体に表示することができ、位置合わせしやすくなります。

お知らせ

-  を押してカメラモードの変更ができます。詳しくは、P.77 「内蔵カメラを使う」の手順 ⑥ 「お知らせ」を参照してください。

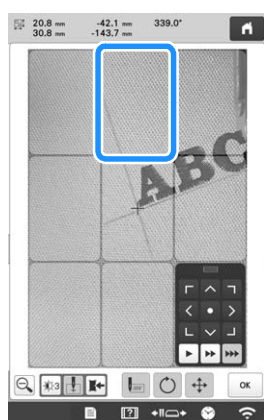
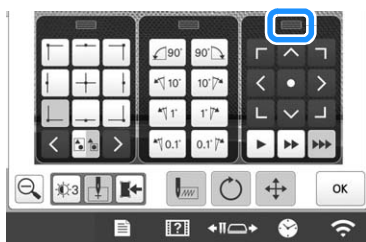


- 4  を押し、通常のカメラ画像表示に戻ります。

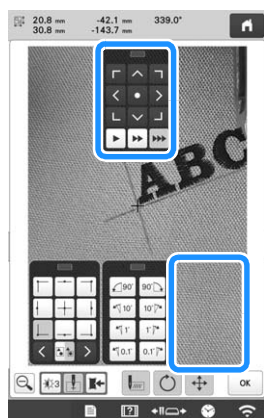


お知らせ

- 3つのキーパネルは、模様が確認しやすいように、配置を変更することができます。キーパネルの上中心部をタッチすると、配置の候補エリアが表示されます。配置したい場所をタッチすると、その場所に選んだキーパネルが移動します。



配置の候補エリアがグレーで表示されます。



選んだ位置にキーパネルが移動します。

5

OK を押し、元の画面に戻ります。

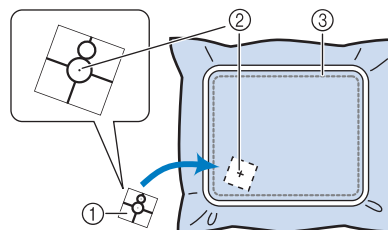
お願い

- 内蔵カメラで厚い布地の刺しゅう位置合わせをするときは、P.76「厚い布地をスキャンする場合」のように布厚センサーを使ってください。

付属の刺しゅう位置合わせシールを使う

刺しゅう位置合わせシールを使うと、内蔵カメラがそのシールを検出して、簡単に縫製位置を合わせることができます。

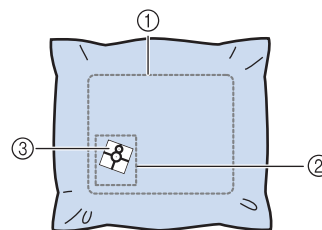
- 1 布地の刺しゅうをしたい位置に刺しゅう位置合わせシールを貼ります。大きい円の中心を模様の中心に合わせて貼ります。



- ① 刺しゅう位置合わせシール
- ② 模様の中心
- ③ 縫製範囲

お願い

- 布地を刺しゅう枠に張る際、模様が刺しゅう枠の縫製範囲に収まっていることを確認してください。



- ① 刺しゅう枠の縫製範囲
- ② 模様
- ③ 刺しゅう位置合わせシール

- 使用する布地の種類によっては、刺しゅう位置合わせシールが簡単にはがせなくなる場合があります。貼る前に、同じ布の切れ端に貼り、簡単にはがすことができるかどうかを確認してください。

2

縫製設定画面で  を押します。



3

移動や回転が元に戻るメッセージが表示されたら、

OK を押します。

- 4 画面に表示された基準点から、模様的位置合わせに使う基準点を選んで押します。

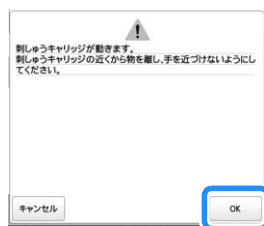


💡 お願ひ

- 刺しゅう位置合わせシールの四隅がきちんと布地に貼られていないと、内蔵カメラが検出できないことがあります。テープなどでしっかりと貼り付けるか、新しい刺しゅう位置合わせシールを使用してください。

- 5 を押します。

- 6 次のメッセージが表示されたら、 を押します。



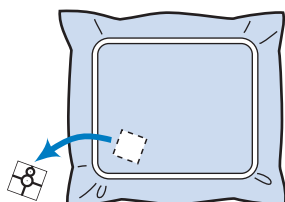
→ 内蔵カメラが自動的に刺しゅう位置合わせシールを検出し、基準点がシールの大きい円の中心に合うように、刺しゅう枠が移動します。

- 7 内蔵カメラが刺しゅう位置合わせシールの位置を検出すると、位置合わせマークをはがすメッセージが表示されます。

📖 お知らせ

- を押すと、刺しゅう位置合わせシールをはがす前に正しく位置合わせできたかどうかを確認できます。
- ・ を押すと、拡大表示に切り替わります。
- ・ を押して、元の表示に戻ります。

- 8 刺しゅう位置合わせシールを布地からはがします。



- 9 を押します。

💡 お願ひ

- 位置合わせマークを認識できなかったというメッセージが表示された場合は、 を押し、刺しゅう位置合わせシールをはがします。縫製範囲内に収まるよう貼り直してから、もう一度 を押してください。

- 10 を押します。

- 11 を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。

💡 お願ひ

- 刺しゅう位置合わせシールは別途購入できます。付属の刺しゅう位置合わせシールを使いきった後は、P.15「別売品」でモデル名を確認し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

刺しゅう模様の確認

キヤリッジが動いて模様の位置を示します。刺しゅう枠の動きを見て、模様が正しい場所に刺しゅうされることを確認します。

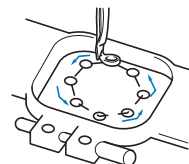
💡 お願ひ

- ジャケットやカーテンなど大きな布地に刺しゅうする場合、使用しない針棒の押えが模様のまわりの布地に引っかかり、刺しゅうを中断させる場合もあります。その場合、針棒3番～7番を使用し、刺しゅう枠の中央付近で刺しゅうしてください。(針棒の選択については、P.60 または P.61 を参照してください。)

を押します。



→ 押えが下がり、刺しゅう枠が動いて、縫製範囲を示します。



刺しゅう枠の動きをよく見て、刺しゅうしたい場所とずれていないか、刺しゅう枠が押えが当たらないか確認してください。

■ 枠の移動を止めながら確認する／確認を中止する

しっかり確認したい位置で刺しゅう枠を一時停止したり、縫製確認を中止したりすることができます。

- 1 刺しゅう枠を止めたい位置で、再度  を押します。

→ 動作は一時停止し、縫製範囲の確認を再開するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 2 動作を再開するときは、 を押します。中止するときは、 を押します。

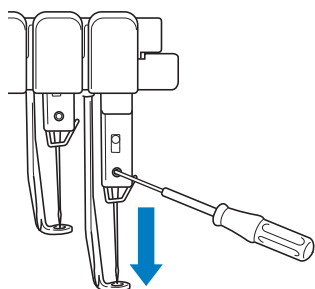
■ 位置を合わせるコツ

針棒をロック（針と押えを下げた状態で固定）すると、針落ち位置を確認しやすくなります。

- 1 図のように、針交換ドライバーを針とめの穴の中に差し込み、針棒が止まってロック位置でカチッと音がするまでゆっくりと下げます。

💡 お願い

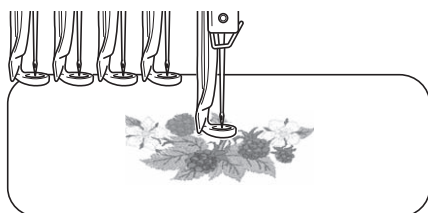
- 針はカチッと音のする位置よりも下に下げないでください。



→ 針と押えが下がった状態で固定されます。

- 2 縫製設定画面の移動キーを押して、針落ち位置に刺しゅうをしたい位置の中心がくるように、刺しゅう枠を移動します。

- 模様を移動したい場合は、USB マウス、指、または付属のタッチペンで、模様をドラッグします。



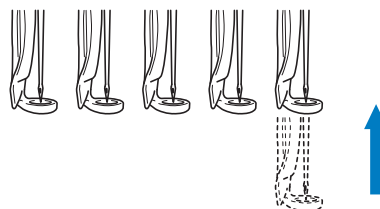
- めい始め位置を設定する場合は、めい始め位置として設定した点に針落ち位置を合わせてください。（めい始め／終わり位置の設定については、P. 128 を参照してください。）

■ 針棒ロックを解除するには

- 1 縫製画面を表示し、ロックした針棒以外の針棒キーを押します。



→ 針棒ロックが解除され、通常の位置に戻ります。



上糸をセットする

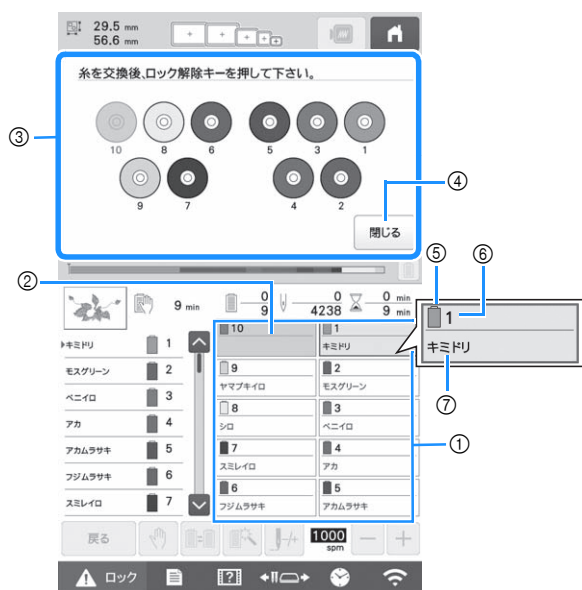
縫製画面で、何番の針棒にどの糸色を通すか確認し、上糸を通します。

針棒と糸色を確認する

縫製設定画面で「刺しゅう」を押すと、縫製画面が表示されます。前回の刺しゅうから使用しない糸色があるときは、差換えが必要な糸こまを交換する指示画面が表示されます。

設定画面で手動糸色割付を [ON] に設定している場合は、糸こま交換が必要なくともこの指示画面は表示されません。(P.61「各針棒の糸色を選択する／管理する (手動糸色割付)」)

縫製画面 (画面の見方は P. 91 参照)



- ① 1 番針棒から 10 番針棒の糸替え表示
- ② 糸色名が表示されていない場合は、その針棒は使われません。また、前回の縫製で使用された糸色がすでに針棒に割り当てられていて、同じ色を次も使用する場合は、前回の針棒に引き続いて同じ糸色が割り当てられます。
- ③ 糸こま交換指示画面 (P. 94)
この画面が表示されたときは、糸こま交換が必要です。

お知らせ

- グレーで表示されていない針棒キーは糸こま交換が必要です。糸通しボタンを押すと、針棒キーはグレーで表示されます。

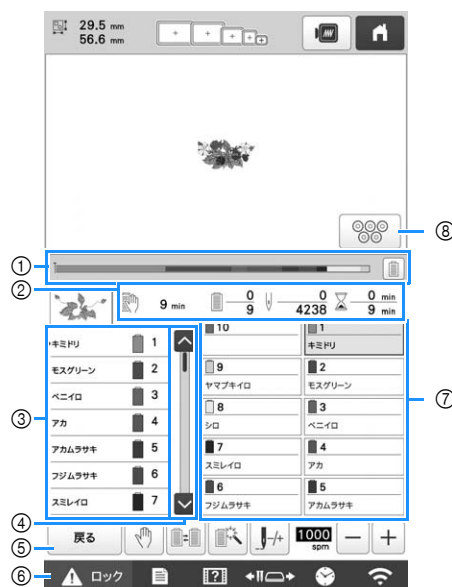
- ④ 押すと、糸こま交換指示画面は の表示に最小化されます。
- ⑤ 糸色
- ⑥ 針棒番号
- ⑦ 糸色名や糸色番号
設定画面で糸色番号 [#123] が選択されている場合は、ブランド名も表示されます。(P. 124)

各針棒番号の下に示されている糸色名の糸を、その番号の針棒にかけます。

- 1 閉じる を押します。

→ 現在の糸色割り当てがミシンに記憶され、糸こま交換指示画面が の表示に最小化されます。

- 縫製画面では糸色の確認のほかに、総針数や縫製時間などの確認や、縫製に関する設定ができます。



- ① 縫製がどこまで進んだかをゲージに表示される赤い盛りで確認できます。 を押すと、ゲージに縫製中の糸色のみが表示されます。
- ② 色替え数、針数、縫製時間、次にミシンが停止するまでの時間を示します。
- ③ 糸の色、糸色のぬい順、糸色が割り当てられている針棒番号を示します。縫製をするところには赤い三角が表示されます。また、縫製が終了したところはグレーになります。
- ④ 色替え数、針数、縫製時間、次にミシンが停止するまでの時間を示します。
- ⑤ 縫製設定画面に戻る場合に使います。
- ⑥ ミシンをスタートするときや糸切りを行うとき、このキーを押してミシンロックを解除してから、スタート／ストップスイッチや糸切りスイッチを押します。
- ⑦ 押すと、その番号の針棒が縫製位置に移動します。自動針穴糸通し装置で糸や糸切りスイッチを通すときに使います。
- ⑧ 押すと、糸こま交換指示画面が再度表示されます。

お願い

- 設定画面で手動糸色割付を [ON] に設定している場合は、使用可能なキーが異なります。(P. 61)

注意

- 縫製画面で ロック (ロック解除キー) を押すと、スタート／ストップスイッチが緑色の点滅に変わり、ミシンはスタートできる状態になります。上糸をかけているときや針穴に糸を通していているときは、誤ってミシンを作動しないよう注意してください。けがの原因になります。

上糸をかける

刺しゅう用の糸を使用し、1 番針棒から順に糸をかけていきます。

⚠ 注意

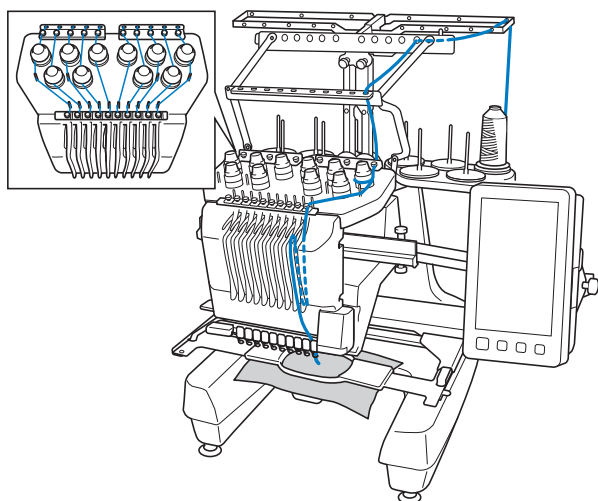
- 上糸通しは指示に従って、正しく行ってください。糸が正しく通されていない場合、糸が切れたり、糸がからんで針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

💡 お願い

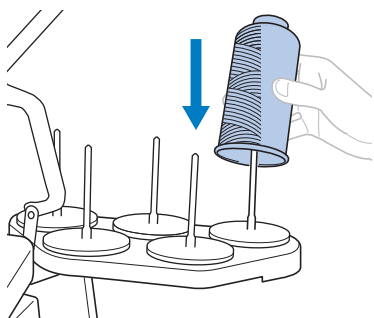
- 糸は、刺しゅう用のレーヨン糸またはポリエステル糸（den 120 x 2、# 50）を使用してください。
- 糸によっては、糸切れ、糸調子不良が発生する場合があります。そのような場合は、糸を交換してください。

📖 お知らせ

- 上糸を通す順番は、ミシン本体に線（-）で示されています。そちらも併せて見ながら糸を通してください。



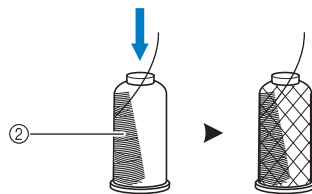
- 1 針棒に指定された糸色の糸こまを、糸立棒に立てます。



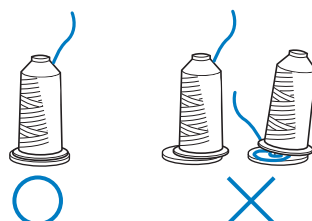
- メタリック糸や強い糸を使用する場合、糸こまに付属の糸こまネットを取り付けてください。糸こまネットが長すぎる場合は、糸こまに取り付ける前に、一度糸こまのサイズに合わせて折り曲げてくだ

さい。また、糸こまネットを使用するときは、糸調子を調整する必要がある場合があります。

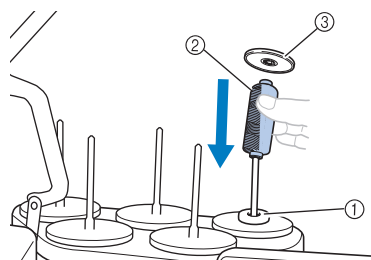
- ① 糸こまネット
- ② 糸こま



- 糸立棒が完全に開いていることを確認してください。
- 小さい糸こまを使用する場合、糸立棒に糸こまを立てる前に、糸立棒に付属の糸こまフェルトを取り付けてください。
- 糸こまから糸が正しく送られるように、また、糸が糸立棒にからまないよう、糸こまは糸立棒の中心に立ててください。



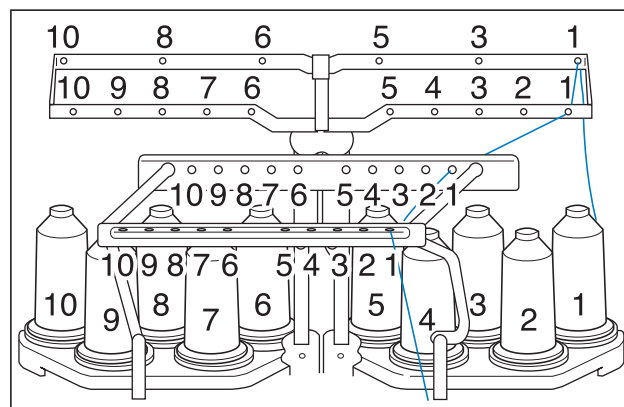
- 糸立棒より低い糸こまを使用する場合、付属の糸こま押えを取り付けてください。



- ① 糸こまフェルト
- ② 小さい糸こま
- ③ 糸こま押え

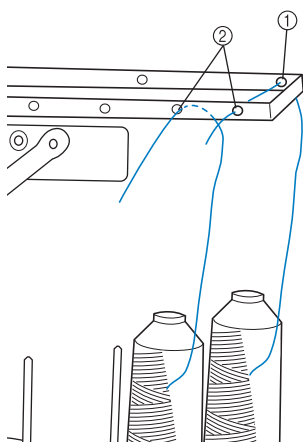
- 両つば付きの糸こまを使用する場合、糸立棒に糸こまを立てた後に、糸こまの上から糸立棒に付属の糸こま押えを取り付けてください。

下図の番号は、その針棒番号の糸が通る場所を示しています。まちがえないように注意して糸をかけてください。



② 各針棒の糸道に指定されている穴を確認しながら、糸を糸案内の穴に通します。

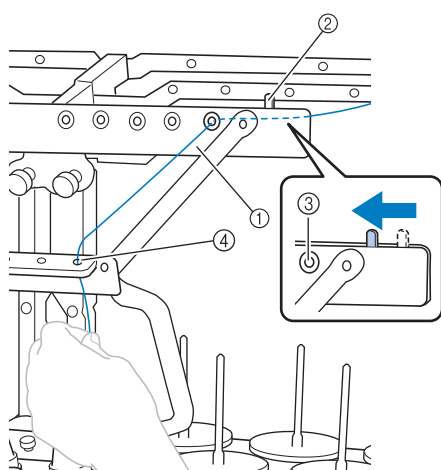
- 1、3、5、6、8、10 番糸立棒からの糸は、糸案内 A と B の両方の穴に通します。
2、4、7、9 番糸立棒からの糸は、糸案内 B の穴のみに通します。



- ① 糸案内 A (穴は 6 個あります)
② 糸案内 B (穴は 10 個あります)

③ 糸を糸案内 C の穴に通してから、糸案内 D の穴に通します。各針棒番号の糸道に指定されている穴にそれぞれ通します。

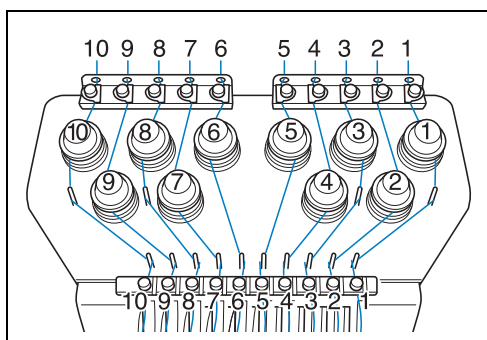
1 番糸立棒からの糸の場合は、図のように通します。



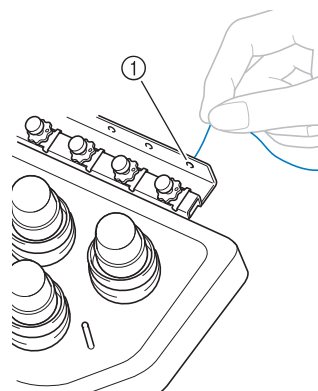
- ① 糸案内 C
② 糸調子レバー
③ 糸案内 C の穴
④ 糸案内 D

💡 お願い

- 糸を通す前に、糸調子レバーを左へスライドして糸案内 C の穴を全開にしてください。

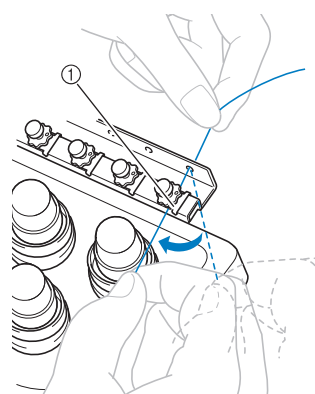


④ 1 番の糸道上の穴に通し、手前側に糸を引きます。



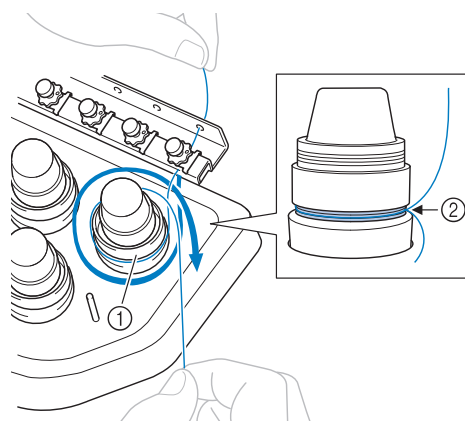
- ① 糸道上の穴

⑤ 糸を両手で持ち、糸道上の金具の下に右側から糸を通します。



- ① 糸道上の金具

⑥ 1 番の回転調子皿に右回りに 1 回巻きつけます。

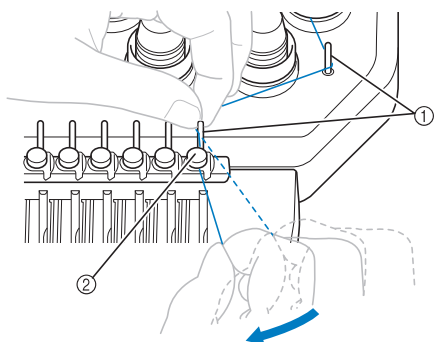


- ① 回転調子皿
② 回転調子皿のこの部分に、時計回りで糸を巻く
● 糸が回転調子皿にきちんとかかっていることを確認してください。

💡 お願い

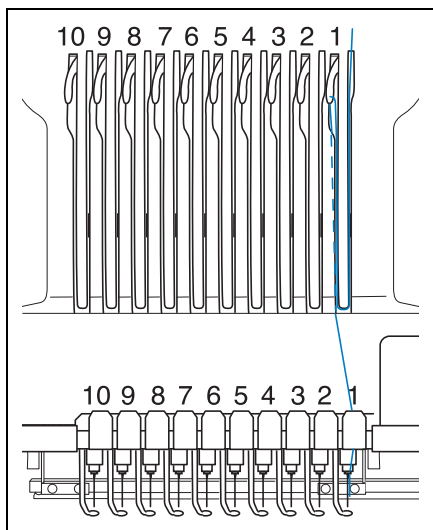
- 回転調子皿には、糸を時計回りに巻きつけてください。

- 7** ミシン本体に示されている糸道に沿って、糸案内ピンに正しくかけながら糸を通し、1 番糸道中の金具に右側から通します。

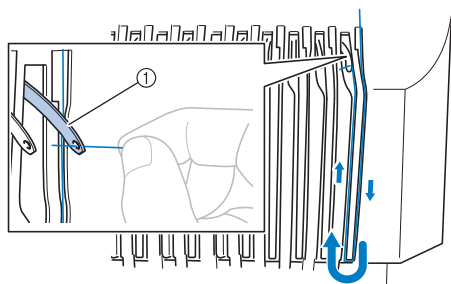


- ① 糸案内ピン
② 糸道中

- 手順 ⑥ から ⑦ の糸道上から回転調子皿に巻きつけ、糸道中までの糸の通り道は番号によって異なります。糸案内ピンの左右を通すことで、糸がからまないように設計されています。ミシン本体に示されている糸道に従ってそれぞれの糸を通してください。

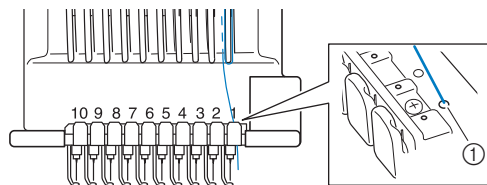


- 8** 1 番のミゾに沿って糸を通し、1 番のてんびんの穴へ右から通します。



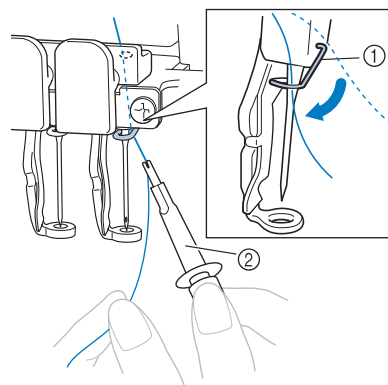
- ① てんびん

- 9** 糸案内ミゾに沿って糸を通し、1 番の糸道下の穴に糸を通します。



- ① 糸道下の穴

- 10** 付属の糸通しを使って、1 番の針棒糸かけに糸をかけます。



- ① 針棒糸かけ
② 糸通し

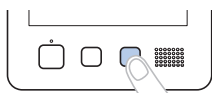
糸を針穴に通す

自動針穴糸通し装置を使って、糸を通します。

❖ お願い

- 自動針穴糸通し装置は、縫製位置にある針 1 本に糸を通すことができます。使用するときは、糸通しをする針棒が縫製位置にきていることを確認してください。縫製位置にきていないと自動針穴糸通し装置は使えません。その場合は、針棒を移動します。(P. 88)

1 自動針穴糸通しスイッチを押します。



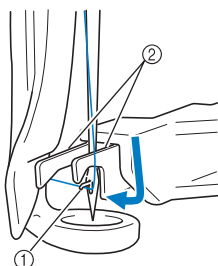
→ 自動針穴糸通し装置のフックが針穴に入ります。

⚠ 注意



- 針が正確に取り付けられていないと、自動針穴糸通し装置を使って糸を通すときに、フックが針穴に入ることができず、フックが折れるなどして針に糸を通すことができません。
- 自動針穴糸通し装置のフックが折れたり破損したときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR専用ダイヤル」にご相談ください。
- 自動針穴糸通し装置のフックが針穴に入っているときは、絶対にプーリーを回さないでください。自動針穴糸通し装置が破損することがあります。プーリーを回してしまった場合は、破損を避けるため、自動針穴糸通し装置が最初の位置に戻ることがあります。

2 糸を 150mm ほど引き出します。図のように、糸を右側から自動針穴糸通し装置のふたまた部へ通して、針穴から出ているフックに引っかけます。

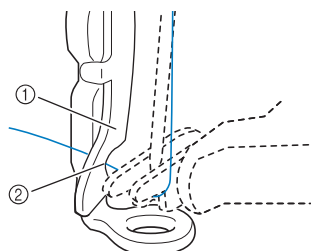


- ① フック
- ② ふたまた部

❖ お願い

- フックに引っかけるときに、糸がたるまないよう注意してください。

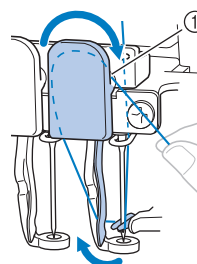
3 押えの糸かけに糸を引っかけます。



- ① 押えの糸かけ
- ② 押えの糸かけのミゾ

- 押えの糸かけのミゾに、確実に糸がかかっていることを確認してください。

4 糸切り糸かけのミゾにしっかりと糸を通し、糸を軽く引っ張って切ります。



- ① 糸切り糸かけのミゾ

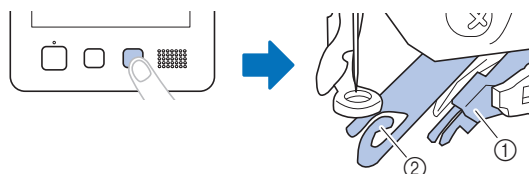
❖ お願い

- 糸が、糸切り糸かけのミゾを正しく通っていないと「ワイパーエラー」画面が表示され、針穴に糸を通すことができません。ミゾにしっかりと糸を通してください。
- 糸が十分に引き出されていないと、糸切り糸かけに引っかかりません。

📄 お知らせ

- 糸通しが使用されたときや縫製中に糸が切れたときは、ワイパーが糸を引き戻します。

5 自動針穴糸通しスイッチを押します。



- ① 自動針穴糸通し装置
- ② ワイパー
- 糸通しが針から後ろへ下がります。針穴を糸が通り、糸通しが後ろで待機します。
- ワイパーが出て、針と糸通しの間の糸をつかみます。
- 糸通しが元の位置に戻ります。

これで、1 番針棒の上糸がセットできました。同様に、残りの針棒に上糸をセットします。

🔔 お願い

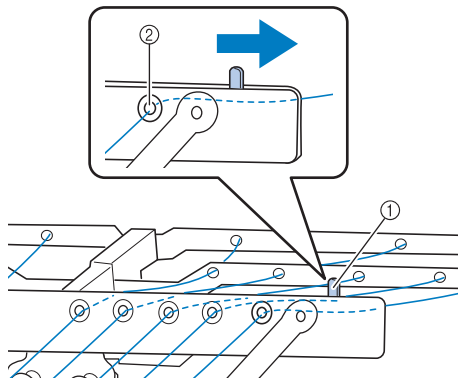
- 糸通しをする針棒が縫製位置にきていないと、自動針穴糸通し装置で糸を通すことはできません。

2 番針棒からは、次の手順で糸を針穴に通す前に、針棒を縫製位置に移動してください。

- 糸だるみがあると、回転調子皿から糸が外れていることがあります。糸をかけ終わったら、回転調子皿にきちんと糸がかかっているか、再度確認してください。(P. 85 手順 ⑥)

⑥ 上糸かけが完了したら、糸案内 C の糸調子レバーを右にスライドして、糸案内の穴を閉じます。

- 糸案内 C の穴が開いたまま縫製すると、糸がらみや糸切れを起こすことがあります。



- ① 糸調子レバー
- ② 糸案内 C の穴

■ 糸通しをする針棒を縫製位置に移動する

どの操作画面でも、縫製位置に針棒を移動して糸通しすることができます。

① ⬅➡ を押します。



→ 針棒を移動させる画面に移動します。

📖 お知らせ

- 縫製画面では、針に糸を通したい針棒の番号を押すと、その針棒が縫製位置に移動します。



② 移動、あるいは糸通しをしたい針棒の針棒番号キーを押します。



→ 選んだ針棒が縫製位置に移動します。

③ 針棒移動画面を表示したまま、自動針穴糸通しスイッチを押します。



④ OK を押すと、元の画面に戻ります。

📖 お知らせ

- 縫製画面では、糸情報が青い枠で囲まれ、その針棒が選択されていることを示します。



- 上糸の 1 色を変える場合、現在かかっている糸を糸こまと糸案内の間で切ると、簡単に糸をかけ直すことができます。糸立棒に新しい糸こまをセットし、新しい糸の端と前の糸の端を結びます。そして、針の方向に糸を引きます。(P. 94)

刺しゅうをぬう

それでは、ぬってみましょう。
ミシンをスタートすると、自動的に押えが下がり、ぬい始め・ぬい終わりの糸の処理や糸替えをしながら縫製し、ぬい終わると止まります。

！ 注意



- 安全のため、縫製中はミシンから離れないでください。
- 縫製中は、針の動きに十分注意してください。また、針、針棒ケース、てんびん、キャリッジなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。けがの原因となります。
- 刺しゅうの重ねぬいは、針が布地にささりにくくなり、針が折れたり、曲がったりするおそれがありますのでご注意ください。

ミシンをスタートする

💡 お願い

- 刺しゅう枠が動く範囲に、物を置かないようにしてください。刺しゅう枠が当たり、模様くずれの原因となります。
- 大きな布地に刺しゅうするときは、布地がキャリッジに巻き込まれないように注意してください。

1

▲ ロック を押し、ミシンロックを解除します。

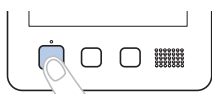


- スタート/ストップスイッチが赤色の点灯（ロック状態）から緑色の点滅（ロック解除状態）に変わり、ミシンをスタートできる状態になります。
- ロック解除後、約 10 秒以内にスタート/ストップスイッチを押さないと、ミシンはロック状態に戻ります。

2

スタート/ストップスイッチを押します。

スタート/ストップスイッチが緑色に点滅している間に押します。赤色の点灯に戻ってしまった場合は、手順 ① からやり直してください。



→ スタート/ストップスイッチが緑色の点灯に変わり、1 色目をぬい始めます。

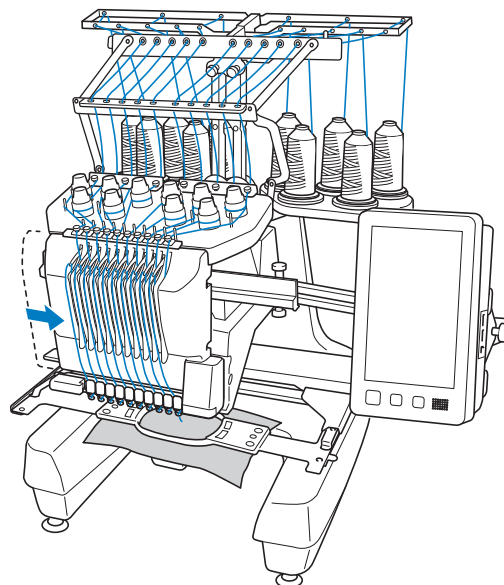


- ① 現在縫製中あるいはすぐに縫製される針棒の糸色が、ぬい順表示の先頭に表示されます。残りの糸色は、ぬい順に上から並んで表示されます。
- ② 糸情報が青い枠で囲まれ、その針棒で縫製していることを示します。

- 縫製中は、模様表示エリアの緑色の十マークが現在ぬっているぬい目を示します。また、針数、時間はカウントされていきます。

3

1 色目がぬい終わると、自動的に止まって糸を切ります。針棒を移動して、2 色目をぬい始めます。



→ 画面のぬい順表示が 2 色目に進み、2 番針棒の糸替え表示が青い枠で囲まれます。

4

同様に最後の色までぬい、ぬい終わると自動的に止まります。

→ 画面は、その模様をぬう前の縫製設定画面に戻ります。

→ スタート/ストップスイッチは、赤色の点灯に変わります。

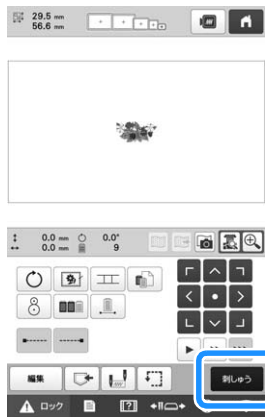
- ぬい始めやぬい終わりの糸の処理は、必要ありません。

📄 お知らせ

- 11 色以上の模様をぬう場合は、糸こまの交換が必要です。(P. 93)

■ 続けて刺しゅうをするときは

もう1度同じ模様をぬいたい場合は **刺しゅう** を押します。



→ 縫製画面が表示され、続けて同じ模様をぬうことができます。

新しい模様を選びたい場合は **ホーム** を押します。

→ 模様選択画面が表示されます。

💡 お願い

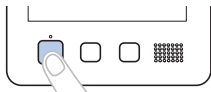
- 模様のぬい始めや色替え後のぬい始め、糸切り時に、自動止めぬいの設定ができます。(P. 73)

途中でミシンをストップするには

縫製中にミシンをストップすることができます。

■ 一時停止する

- 1 スタート/ストップスイッチを押します。



→ ミシンが止まり、スタート/ストップスイッチが赤色の点灯に変わります。

- 模様が表示されているエリアを押しても、縫製をストップすることができます。
- 自動糸切りはされません。
- 続きをぬうときは、上糸がたるんでいないか確認をしてから、ロック解除キー、スタート/ストップスイッチを押します。

📖 お知らせ

- 縫製中に次の色替え時停止キーを押すと、次の色をぬう直前でミシンを停止することができます。(P. 120)
- 縫製前に、色替え時に停止するよう設定することもできます。(P. 120)

■ 一旦電源を切ってから続きをぬう

- 1 スタート/ストップスイッチを押します。

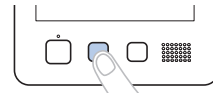


→ ミシンが止まり、スタート/ストップスイッチが赤色の点灯に変わります。

- 糸は切れていません。

- 2 **ロック** を押し、ミシンロックを解除します。

- 3 糸切りスイッチを押します。



→ 上糸と下糸が切れます。

- 一旦電源スイッチを切る場合は、必ず糸を切ってください。

- 4 電源スイッチの「O」側を押し、電源を切ります。

→ 画面表示とスタート/ストップスイッチの点灯が消えます。

- 次に電源スイッチを入れたとき、続きからぬうことができます。ただし、ぬい目を少し戻す必要があります。(P. 99)

📖 お知らせ

- 縫製中でもミシンはいつでも停止することができますが、色替え時に停止すると次にぬい始めるときにぬい目を戻す必要はありません。色替え時にミシンを停止するよう設定もできます。(P. 120)

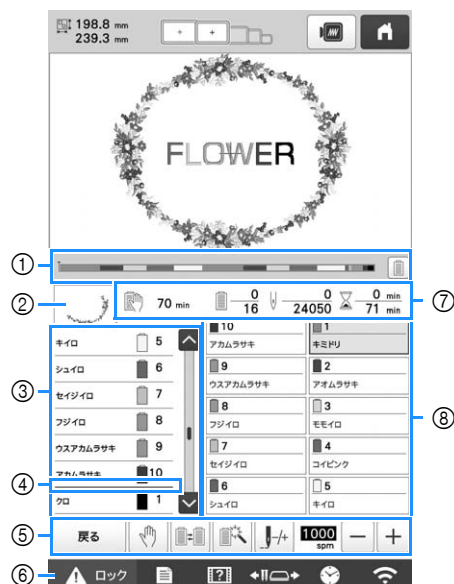
■ 途中で糸が切れてしまったら

糸切れなどの不具合が発生すると、ミシンは自動的に止まります。

切れた糸をセットし直し、ぬい目を戻し、続きをぬいます。(P. 95)

縫製画面の見方

「縫製画面」で、糸色や針数、ぬい順、縫製時間を確認します。また、一時的針棒設定や、ぬい目を戻す／進める設定をすることができます。設定画面で手動糸色割付を [ON] に設定しているときは、使用できるキーが異なります。(P. 61)



番号	画面表示 名称	説明	参照 ページ
①	① プログレス バー	縫製がどこまで進んだかをゲージに表示される赤い目盛りで確認できます。を押すと、ゲージが縫製中の糸色のみを表示します。	—
②	② 部分表示	ぬい順表示の1番上の糸色でぬわれる部分の形が表示されます。	—
③	ぬい順表示	糸色のぬい順を示します。縫製中は自動でスクロールし、現在縫製している糸色が1番上に表示されます。	—
	針棒番号	左のぬい順表示の糸色が割り当てられている針棒番号を示します。	—
	スクロール バー	ぬい順表示は、7番目までの糸色が表示されています。8番目以降の糸色を確認したい場合に、やを押すか、スクロールバーの上を押します。	—
④	糸こま交換 マーク	糸こま交換が必要な場所に赤い線が表示されます。	P. 93

番号	画面表示 名称	説明	参照 ページ
⑤		縫製を取り消して、縫製設定画面に戻りたいときに押します。	—
	戻るキー		
		縫製中に、次の色をぬう直前でミシンを停止したいときに押します。	P. 120
	停止予約キー		
	糸こま交換 キー (手動糸色割付 モード時は使用 不可)	ミシンにセットされている糸こまの色と合うように、画面の針棒(糸こま)の色を入れ替えることができます。	P. 60
⑤		一時的に針棒設定を手動で設定できます。	P. 121
	一時針棒設定 キー		
⑤		ぬい目を戻したり、進めたりすることができます。次のような場合に使います。 - 縫製の途中で糸が切れたり、なくなったとき - 始めからぬい直したいとき - 一旦電源を切ってから、続きをぬうとき	P. 95
	ぬい目戻す/ 進むキー		
⑤		縫製最高速度を設定することができます。 - 薄い布地や厚い布地、重い布地は遅い速度に設定してください。 - メタリック糸のように弱い糸をお使いの場合は、縫製速度を400回転に設定してください。	P. 192
	縫製最高速度 設定キー		
⑥		約10秒間、ミシンをスタートできる状態にします。押すと、スタート/ストップスイッチが緑色の点滅に替わります。	P. 89
	ロック解除 キー		
⑦		次にミシンが停止するまでの時間を示します。停止前の最後の糸色をぬっているとき、時間は赤色で表示されます。糸色交換が必要な場合は、糸こま交換までの時間を示します。	P. 93
	70 min		
		下段は模様の総色替え数、上段は現在ぬっている糸色の順番を示します。	—
	0 16		
⑦		下段は模様の針数の総数、上段は現在ぬい終わった針数を示します。	—
	0 24050		
⑦		下段は模様をぬうのに必要な総所要時間、上段はぬい終わった時間を示します。(糸替えの時間は含みません。)	—
	0 min 71 min		
⑧		押すと、その番号の針棒が縫製位置に移動します。自動針穴糸通し装置で糸を通すときに使います。	—
	針棒キー		
⑧	糸替え表示	隣の針棒キーの番号の針棒にセットする糸色、糸色名(糸番号)を示します。この表示に従って糸色をかけます。	P. 83

📖 お知らせ

- ぬい順表示と糸替え表示の糸番号は、色名や他のブランドの糸番号などに切り替えることができます。(P. 124)

刺しゅう枠を外す

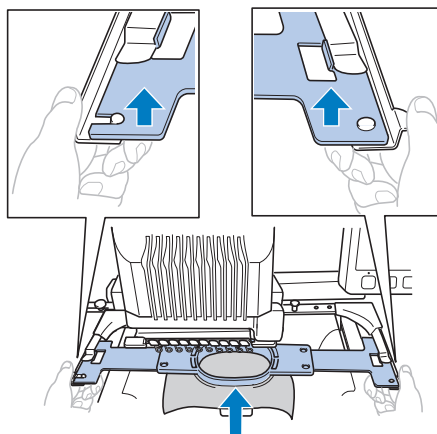
⚠ 注意

- 刺しゅう枠を外すときは、スタート/ストップスイッチが赤色で点灯していることを確認してから行ってください。スタート/ストップスイッチが緑色で点滅しているときは、ミシンはスタートできる状態です。誤ってミシンが作動すると、けがの原因となります。
- 刺しゅう枠を外すときは、刺しゅう枠がミシンの各部品に当たらないように注意してください。
- 台枠を無理に持ち上げないでください。破損の原因となります。

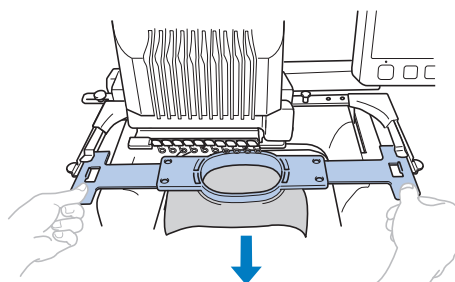


- 1 刺しゅう枠の左右の取付部を両手で持ち上げ、少し浮かせます。

取付部の穴を台枠のアームのピンから外します。



- 2 そのまま、刺しゅう枠を手前に引いて取り外します。



→ 布地を刺しゅう枠から外します。

11 色以上の模様をぬうときは

11 色以上の模様をぬうときは、糸こま交換が必要です。糸こま交換の際には、ミシンが自動的に停止して、糸こま交換指示が表示されます。

お知らせ

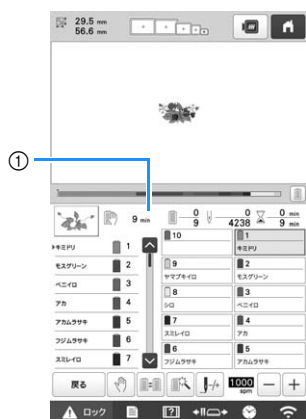
- この機能は、設定画面で手動糸色割付を [ON] に設定しているときは使用できません。

糸こま交換が必要かどうかを確認するには

模様を選ぶときに糸替回数は確認できますが、何色の糸色の模様であるかは確認できません。糸こま交換は必要かどうか、必要な場合はいつ必要か、次の表示で確認できます。

■ ミシンが刺しゅうを停止するまでの時間表示

ミシンが次に刺しゅうを停止するまでの時間が表示されます。ミシンは糸こま交換が必要なときや、その他の停止設定によって停止します。糸こま交換が必要なときは、糸こま交換表示が表れます。時間表示が赤くなったときは、そのときぬっている糸色をぬい終えたらミシンが停止することを表しています。



① ミシンが停止するまでの時間

■ 糸こま交換マーク (———)

交換回数・時期は、ぬい目戻る／進む画面の糸こま交換マークで確認できます。

- 縫製画面でぬい順表示の右側のスクロールバーを動かします。



→ ▼ を 1 回押すごとに 1 色ずつ次の色へ、ぬい順表示がスクロールします。最後の色が糸色順表示の 1 番上にきた後は、最初の色に戻ります。

- の位置を確認します。



① ——— は糸こま交換時期を示します。表示されている色と色の間で、表示回数分交換が必要です。

- 確認が終わったら、▲ またはスクロールバーの一番上を押して最初の色に戻ります。

糸こま交換を指示されたときは

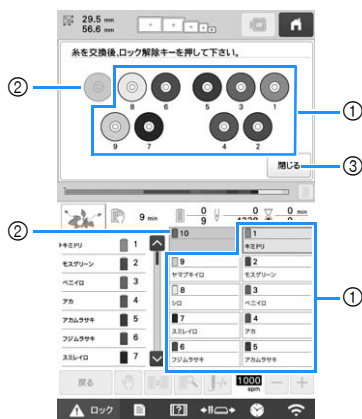
糸こま交換表示の見方と簡単な糸こま交換のしかたについて説明します。

お知らせ

- この機能は、設定画面で手動糸色割付を [ON] に設定しているときは使用できません。

糸こま交換表示について

糸こま交換が必要なときは、ミシンは自動的に止まり、次の画面が表示されます。
このほか、新しい模様をぬう場合に糸こま交換が必要なときも表示されます。新しい割り当てに従って、糸こまを交換してください。



- ① グレーで表示されていない針棒は、糸こま交換が必要です。
- ② グレーで表示されている針棒は、糸こま交換は必要ありません。
- ③ 押すと、糸こま交換表示が  の表示に最小化されます。 を押すと、再度糸こま交換表示を表示させることができます。

お願い

- 新しい糸色で糸通しするには、針棒キーを押して交換したい針棒を縫製位置に移動してください。(P. 88)
- 縫製画面に進むと、現在の糸色の割り当てがミシンに記憶されます。
- 針棒設定が記憶され、同じ糸色を含む模様を選んだときは、前回と同じ針棒に割り当てられます。
- 割り当てられた糸色をすべて消去したいときは、P.60「針棒設定をクリアして新たに設定しなおす」を参照してください。

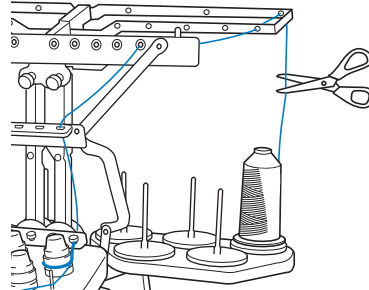
お知らせ

- 使用中の糸色で代用してしまいたい場合は、縫製中に一時停止して設定を変えることができます。(P. 121)
- 糸こま交換の手間を減らすため、よく使う糸色を特定の針棒に決めることもできます。(P. 122)

簡単な糸こま交換のしかた

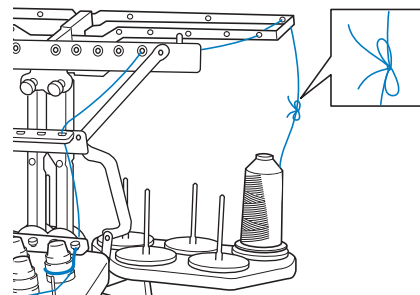
糸こまを交換するときは上糸のかけ直しが必要になります。糸が正しくかけられている糸こまを交換する場合は、簡単に交換できる方法があります。

- ① 糸こまと糸案内の間で糸を切ります。

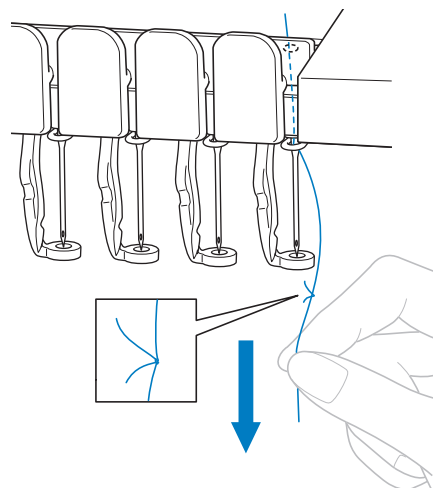


- ② 糸こまを交換します。

- ③ 糸の端に、交換後の糸こまの糸を結び付けます。



- ④ 糸道下の穴の下と針棒糸かけの間で、糸を引っ張ります。



糸の結び目が針の下に来るまで、引っ張ります。結び目を切ります。

5 糸を針棒糸かけに通し、自動針穴糸通し装置を使って針に通します。(P. 87)

→ これで糸こま交換が完了しました。

💡 お願い

- 糸を引くときに、針穴に通した先では引かないでください。結び目が針穴を通ると、針が損傷するおそれがあります。

刺しゅう時の調整

途中で糸が切れた／下糸がなくなったときは

縫製の途中で糸が切れたり、下糸がなくなったりしたときは、ミシンは自動的に止まります。何針か空ぬいがされてしまいますので、停止前にぬわれた部分と少し重なるようにぬい目を戻してから続きをぬいます。

💡 お願い

- [糸センサー] が [OFF] になっていると、刺しゅうが終わるまでミシンは止まりません。通常は、[糸センサー] を [ON] にしてお使いください。
- ぬい目を戻したり、進めたりするときは、枠が動きますので注意してください。

■ 上糸が切れたとき

1 上糸をかけ直します。(P. 84)

2 を押します。



→ ぬい目戻る／進む画面が表示されます。

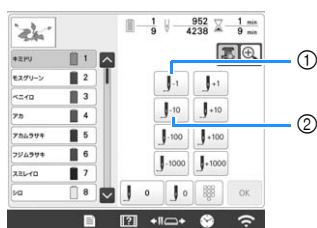
3 を押して、液晶画面で針落ち位置を確認します。



→ カメラ画像が表示されます。

-  を押すと、カメラ画像が通常表示の2倍の拡大表示に切り替わります。

- 4 を押して、確実にぬわれている部分と少し重なるところまでぬい目を戻します。

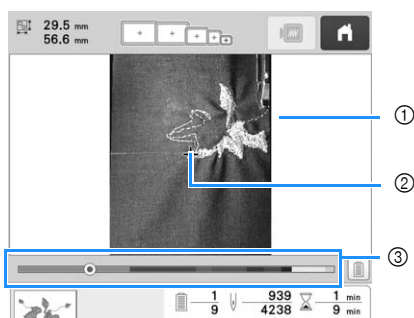


- ① 1 回押すごとに 1 針ずつ戻ります。
② 1 回押すごとに 10 針ずつ戻ります。

を押して最後のぬい目に戻すと、刺しゅう枠が移動し、表示されている最後のぬい目に+マーク（針落ち位置）を直接合せることができます。

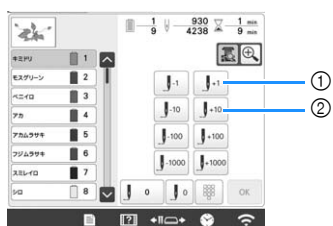
🌟 お願い

- 確実にぬい目をつなげるために、ぬわれている部分の最後ぬい目の 2、3 針前のぬい目からぬい始めてください。



- ① ぬい目
② +マーク
③ プログレスバー
プログレスバー上を押して、お望みの針数のポイントに移動することもできます。

戻しすぎてしまったときは、 を押して、ぬい目を進めます。



- ① 1 回押すごとに 1 針ずつ進みます。
② 1 回押すごとに 10 針ずつ進みます。

- 5 を押します。

- 6 を押します。
→ 縫製画面に戻ります。

- 7 (ロック解除キー)、スタート/ストップスイッチを押して、続きをぬいます。

■ 特定の針数を指定するとき

- 1 を押します。



- 2 数字キーで指定したい針数を入力して、 を押します。



→ 刺しゅう枠が動いて、指定の針数の位置に移動します。

→ この画面で を押して拡大画面を表示すると、そのまま数字キーで設定できます。

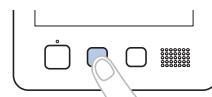
- 3 を押して元の画面に戻り、P. 96 の手順 5 から操作を続けます。

📖 お知らせ

- を押すと、針数がリセットされ、1 針目からぬうことができます。
- 針数の最後を指定したいときは、最後の糸色を選択した状態で を押します。

■ 下糸が切れた／なくなったとき

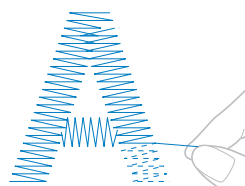
- 1 画面の を押し、ミシンロックを解除した後に、糸切りスイッチを押します。



→ 上糸が切れます。

- 下糸が切れた、またはなくなったときは、一旦上糸も切ってください。

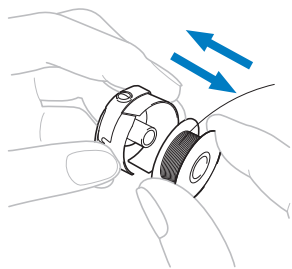
- 2 空ぬいされている上糸を取り除きます。
上糸の切れ端を引っ張ります。



- きれいに取り除けない場合は、はさみで切ってください。

■ 下糸がなくなった場合は、ここでボビンを交換します。

- 3** 下糸が巻かれたボビンと交換します。(P. 33)



- 釜カバーを開けることができれば、刺しゅう枠を外さずにボビンを交換できます。
- 袋状の布地などでミシンベッドをおおっていて、釜カバーを開けることができない場合は、ここで一旦刺しゅう枠を外します。(P. 92) ボビンを交換した後、刺しゅう枠をセットします。(P. 67)

💡 お願い

縫製の途中で刺しゅう枠を外す場合は、次のことに注意してください。模様くずれの原因となります。

- 張られている布地に無理な力をかけて布地をたるませない。
- 刺しゅう枠を外したり、セットしたりする際は、キャリッジや押えに当たらないようにする。キャリッジに当たってキャリッジが動いてしまった場合は、電源を入れ直してください。ミシンを止めたときの状態をミシンが記憶しており、正しい位置に戻ります。
- 刺しゅう枠をセットしたときは、台枠の左右のアームのピンが刺しゅう枠の取付部の穴にきちんと入っているか確認する。

- 4** P.95「上糸が切れたとき」の手順 **2** ~ **7** と同様にぬい目を戻して、続きをぬいます。

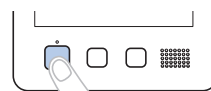
始めまたは途中からぬいたいときは

ぬってみて糸調子があっていなかったり、糸色をまちがえてしまったりしたときなど、始めからぬい直したいときはぬい目を戻してから新たにぬい直します。また、糸色・ぬい目を進めたり、戻したりして、ぬい始めたい糸色のぬい目からぬうことができます。

💡 お願い

- ぬい目を戻したり、進めたりするときは、枠が動きますので注意してください。

- 1** スタート/ストップスイッチを押して、ミシンを止めます。



- 必要に応じて、布地を張り替えたり、ぬった刺しゅう部分をはさみで取り除いたりします。

- 2**  を押します。

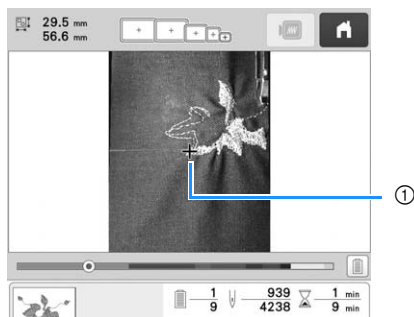


→ ぬい目戻る/進む画面が表示されます。

- 3**  を押して、液晶画面で針落ち位置を確認します。



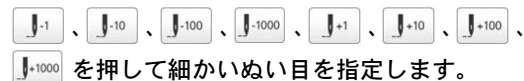
→ カメラ画像が表示され、+マークが針落ち位置を示しています。



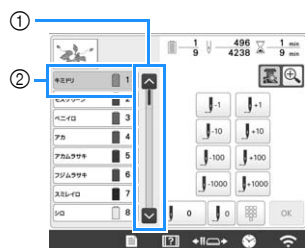
① 針落ち位置

- を押すと、カメラ画像が通常表示の2倍の拡大表示に切り替わります。

4 スクロールバー上を押して、糸色を指定してから、



- を押すと始めからぬい直します。



- ① スクロールバー上を押して、ぬい始めの針位置を指定できます。
- ② 糸色順表示の1番上に表示されている糸色が現在選ばれている色部分です。この部分を押しても、ぬい始めの針位置を指定できません。

→ 刺しゅう枠が動いて指定された針位置を示します。針棒ケースも動いて、指定された針棒が縫製位置に移動します。

5 を押します。

6 ぬい始めのぬい目が指定できたら、 を押します。

→ 縫製画面に戻ります。

7 (ロック解除キー)、スタート/ストップスイッチを押してぬいます。

→ 指定したところからぬい始めます。

■ 特定の針数を指定するとき

1 を押します。

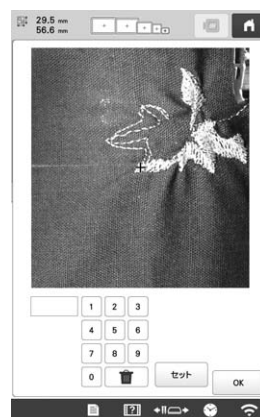


2 数字キーで指定したい針数を入力して、 を押します。



→ 刺しゅう枠が動いて、指定の針数の位置に移動します。

→ この画面で を押して拡大画面を表示すると、そのまま数字キーで設定できます。



3 を押して元の画面に戻り、P. 98の手順**5**から操作を続けます。

停止後、途中からぬうときは

次のようなときは、ぬい終わったところまでのぬい目をミシンが記憶しています。

- **縫製終了前に電源スイッチを切るとき**
電源を入れキャリッジが初期設定の位置に移動したときに、糸が引っ張られたり、引っかかったりしないよう、電源を切る前に糸を切っておきます。
- **縫製中に停電などで電源が切れたとき**
次に電源を入れたときに続きからぬうことができますが、ぬい目を少し戻してからぬい始めます。

次にミシンに電源を入れると、中断された操作を続けるか模様を消去するかを選ぶことができます。



- ① 押すと、縫製をキャンセルして、新しい模様を選ぶ画面が示されます。
- ② 続きをぬうときに押します。
- 前回電源を切ったときの縫製画面が示されます。



💡 お願い

- 針落ち位置を正しく合わせるには、ぬい目を進めたり、戻したりする必要があります。

第3章 いろいろな機能

3

さまざまな刺しゅうの機能

刺しゅうのしつけぬい

接着芯を貼り付けられないような布地をぬうとき、模様のまわりにしつけぬいをして芯が動かないようにします。接着芯を使うと、ぬい目の縮みや模様のずれが少なくなり、刺しゅうがきれいに仕上がります。

💡 お願い

- 模様の組み合わせや編集が終わった後で、しつけぬいを設定してください。しつけぬい設定をした後で、模様を組み合わせたり編集したりすると、縫製後に模様の下にしつけぬいがされてしまい、しつけ糸を外すのが難しくなります。

1  を押し、 を押します。

→ 刺しゅう設定画面が表示されます。

2 刺しゅう設定画面の[しつけ設定]を表示します。

3   を押して、しつけぬいと模様の距離を設定します。



📖 お知らせ

- 設定値が大きいほど、しつけぬいと模様の間は広がります。
- 設定は、ミシンの電源を切った後も保持されます。

4  を押して、縫製設定画面に戻ります。

5  を押して、しつけぬいを設定します。



💡 お願い

-  を押すと、模様が画面の中央に移動します。しつけぬいを設定してから、模様をお好みの位置に移動してください。

-  を押すと、設定が解除されます。
→ しつけぬいは、ぬい順の最初にきます。

6  を押して、縫製画面に進みます。

7  ロック (ロック解除キー)、スタート/ストップスイッチを押して、ぬいます。

8 刺しゅうが終わったら、しつけぬいを外します。



① しつけぬい

アップリケ模様のぬい方

刺しゅうの中にはアップリケを使用した模様があります。糸替え表示に [アップリケピース]、[アップリケノイチ]、[アップリケ] と表示された場合は、以下の手順でアップリケをします。[アップリケピース]、[アップリケノイチ]、[アップリケ] は同じ針棒に割り振られます。

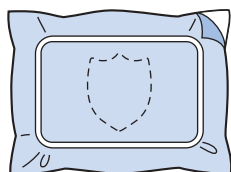
* 糸色表示設定によって  または  のように表示されることがあります。



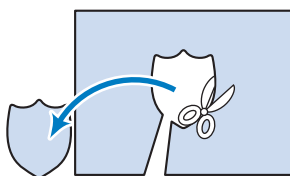
① ミシンが停止する位置に  マークが表示されます。

■ アップリケの手順

- ① アップリケをしたい布地の裏側に、接着芯を貼ります。
- ② 手順①のアップリケ布を刺しゅう枠に張り、[アップリケピース] をぬいます。アップリケピースの切り取り線をぬってミシンは止まります。

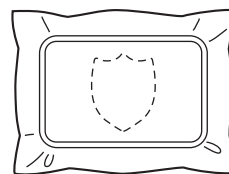


- ③ 刺しゅう枠からアップリケ布を外し、ぬい目の上をていねいに切り取ります。

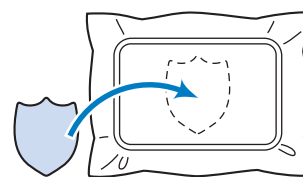


- このときぬい目よりも内側を切ると、アップリケをするときに布地に糸がかからなくなりますので、ぬい目の上をていねいに切ってください。この作業をていねいに行わないと仕上がりが汚くなります。また、糸はきれいに切り除いてください。

- ④ アップリケの土台布を刺しゅう枠に張り、[アップリケノイチ] をぬいます。アップリケの位置をぬって、ミシンは止まります。

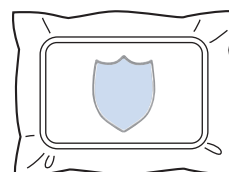


- ⑤ 切り取ったアップリケピースの裏側に、のりまたはスプレーのりを薄く付け、手順④の [アップリケノイチ] に合わせて貼り付けます。



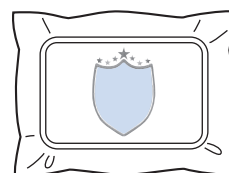
- 可溶性の布を使ってアップリケピースを土台布に貼り付ける場合は、土台布を刺しゅう枠から外さずにアイロンをかけてください。

- ⑥ アップリケピースを貼り付けたら、[アップリケ] をぬいます。アップリケができます。



- 模様によっては、[アップリケ] が表示されないものがあります。この場合、[アップリケ] ぬいは、刺しゅうの1部分として糸色で表示され、その糸色でぬわれます。

- ⑦ 残りの刺しゅうをぬいます。



アップリケピースを作る

内蔵模様やその他の刺しゅう模様から、アップリケピースを作ることができます。布地に直接刺しゅうできないときや、衣類にアップリケを貼りたいときに便利です。

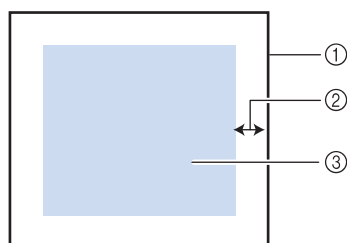
■ アップリケピースを作る

ここでは、次の模様を使ってアップリケピースをつくります。



🔍 お願い

- アップリケピースをつくるときは、フェルトやデニムの使用をお勧めします。軽い布地など、模様や布地によっては、ぬい目が小さくなる場合があります。
- きれいに仕上げるため、刺しゅう用接着芯の使用をお勧めします。
- 模様の大きさに合った刺しゅう枠を選んでください。候補の枠が画面に表示されます。
- 模様の組み合わせや編集を終えてから、アップリケ設定をしてください。アップリケ設定をした後に模様を編集すると、アップリケのぬい目や模様がくずれることがあります。
- アップリケ設定をすると切り取り線が追加されるため、模様のサイズその分だけ大きくなります。次の図のように、はじめに模様の大きさと位置を調整してください。



1 アップリケに使用する模様を選択します。

2 編集画面で、 を押します。

3 切り取り線の形を選択します。

を選択した場合は、模様の周囲に沿って切り取り線が生成されます。

→ を押して、模様から切り取り線までの距離を設定してください。



📖 お知らせ

- 切り取り線として枠線を選択した場合は、枠線の拡大、縮小、移動ができます。
- を押すと、隠れている切り取り線のパターンを表示できます。

4 画面に表示されたイメージを確認し、 を押します。

📖 お知らせ

- このとき、模様と切り取り線はグループ化されます。

5 模様の編集をした後、 を押します。

6 縫製設定をした後、 を押して縫製画面に進みます。

📖 お知らせ

- ぬい順に、次の3つのステップが追加されます。

シロ	8
ヤマブキイロ	9
アップリケピース	10 ①
アップリケノイチ	10 ②
アップリケ	10 ③

- ① アップリケの切り取り線
- ② 布地にアップリケを配置する位置
- ③ アップリケのぬい目

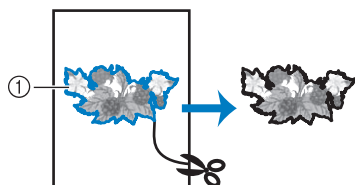
- アップリケの切り取り線（アップリケノイチ）には、布地に近い糸色を使用することをお勧めします。

7 アップリケピースとして使用する布（フェルトやデニム）の裏に、接着芯を貼ります。

8 布地を刺しゅう枠に張り、ミシンにセットして、ミシンをスタートします。

9 切り取り線（アップリケノイチ）をぬい終わったら、ミシンを止め、アップリケ布を刺しゅう枠から外します。

10 ぬい目の上をていねいに切り取ります。その後、糸をきれいに取り除きます。

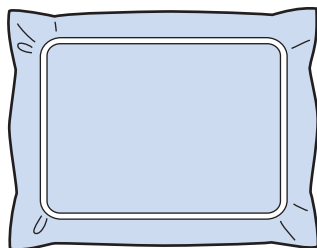


① アップリケの切り取り線

💡 お願い

- 模様の糸密度や布地によっては、模様が縮んだり、位置がずれることがありますので、切り取り線より少し外側を切ることをお勧めします。
- 上下対称、左右対称の模様をぬうときは、切り取る前に、チャコペンで模様の向きを記しておくようにします。
- ぬい目よりも内側を切るとアップリケをぬうときに布地に糸がかからなくなりますので、必ずぬい目の上をていねいに切り取ってください。

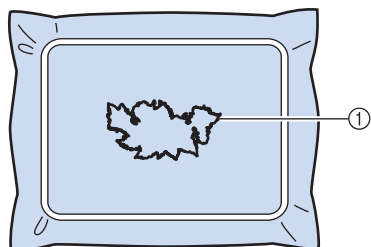
11 2枚の水溶性シートを、粘着面を内側にして貼り合わせ、刺しゅう枠に張ります。



💡 お願い

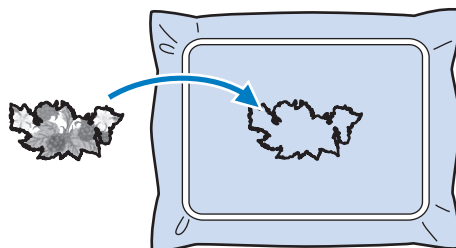
- 水溶性シートを使うと、アップリケの切り取り線をぬった後に接着芯を取り除く必要がありません。模様の縮みを軽減するために、水溶性シートの使用をお勧めします。
- 縫製中に接着芯が破れるおそれがありますので、2枚貼り合わせて使用してください。

12 模様の配置ライン（アップリケノイチ）をぬいます。



① 模様の配置ライン

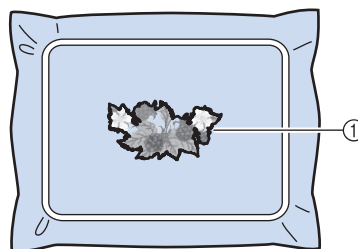
13 のりまたはスプレーのりを薄くつけ、アップリケピースを配置ラインに合わせて貼り付けます。



💡 お願い

- 配置ラインに合っているかどうか、よく確認して貼り付けてください。

14 輪郭（アップリケ）をぬいます。

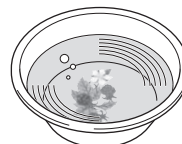


① アップリケの輪郭

15 ぬい終わったら、接着芯を刺しゅう枠から外します。

16 アップリケの輪郭からはみ出した接着芯を、はさみで切ります。

17 アップリケピースを水に浸し、水溶性シートを溶かします。



18 アップリケピースを乾かし、必要に応じてアイロンをかけます。

💡 お願い

- アイロンで強い力をかけないでください。ぬい目が損傷するおそれがあります。

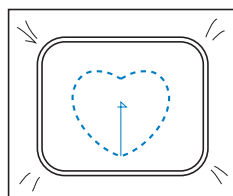
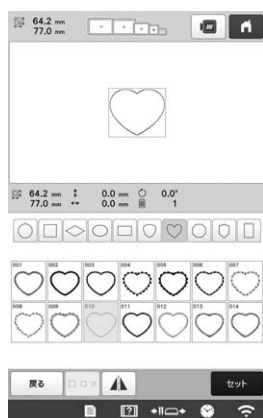
📖 お知らせ

- 輪郭のぬい目は、サテンステッチになります。
- のりが押えや針、針板などに付着することがありますので、縫製後、きれいに拭き取ってください。

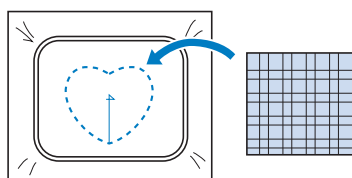
枠模様を使ってアップリケをするには

この方法では布地は張り替える必要がありません。同じ形で同じ大きさの直線ぬいとサテンぬいの枠模様を使ってアップリケをします。

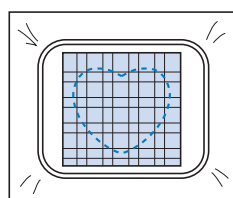
- 1 直線ぬいの枠模様を選び、土台布に刺しゅうをします。



- 2 手順 1 の刺しゅうの上にアップリケ布を置きます。このとき、アップリケ布はぬい目より大きいものにしてください。

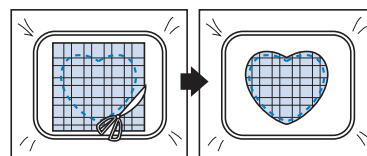


- 3 アップリケ布の上からもう 1 度、同じ枠模様を刺しゅうします。



- 中心の十字をぬう前に、ミシンを止めてください。

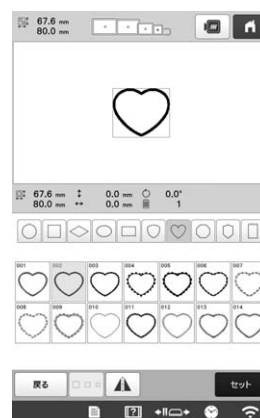
- 4 刺しゅう枠を外し、ぬい目の外側を切り取ります。



💡 お願い

- 布地は刺しゅう枠にはめたまま、切ってください。また、張られている布地に無理な力をかけると、布地がたるんでしまうので注意してください。

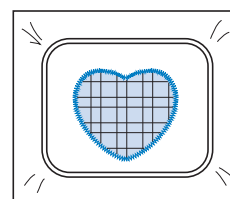
- 5 同じ形のサテンぬいの枠模様を選びます。



💡 お願い

- 直線ぬいの枠模様を選んだときに、大きさやぬい位置を変えた場合は、サテンぬいの枠模様も同じ大きさ、同じ位置になるように変えてください。

- 6 手順 4 の刺しゅう枠をセットし、刺しゅうをするとアップリケができます。



スティッピングやエコーキルトを自動的に作る

本機に内蔵の模様や刺しゅうデータの周りにスティッピングやエコーキルト模様を作ることができます。

お知らせ

- これより紹介する操作で、布ではさんだキルト綿をスティッピングすると、刺しゅう模様とスティッピングがずれる場合があります。キルトニングについて詳しくは、P.172「刺しゅう模様の周りに飾りぬいをする（キルト機能）」を参照してください。

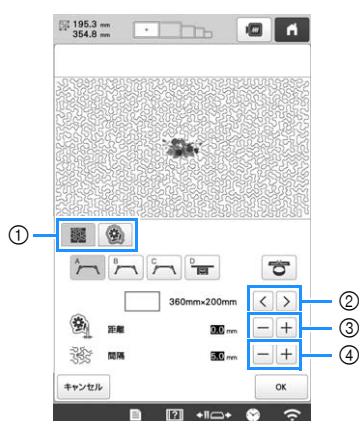
1 周りにスティッピングを作りたい模様を選択します。

2 縫製編集画面で  を押します。



→ 自動的にスティッピングが選択した模様 zu 作られます。複数の模様を選択するには、P. 46 を参照してください。

3 スティッピングの設定をした後、 を押します。



- 1 スティッピングを作るときは  を押します。エコーキルトを作るには  を押してください。
- 2 刺しゅう枠のサイズが選択されると、選択した枠のサイズに合わせて、スティッピングの範囲が広がります。選択した枠のサイズより模様が大きいとき、枠のサイズを示す範囲は灰色の表示になります。
- 3 模様の輪郭からスティッピングまでの距離を設定します。
- 4 スティッピングの間隔を設定します。

キルトサッシ

布地を張り替えながら、模様をつないで刺しゅうすることで、最大 3m×3m のキルトサッシを作ることができます。

■ 内蔵カメラを使用する

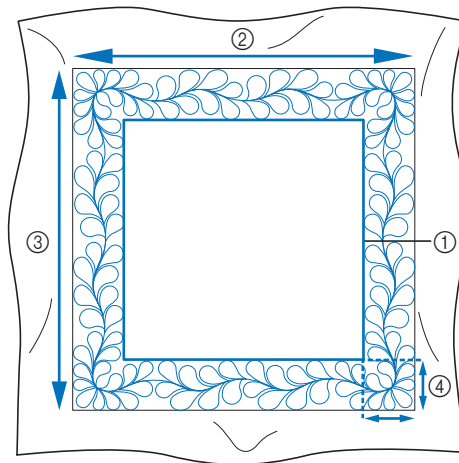
キルトサッシを刺しゅうするときは、内蔵カメラを使って布地をカメラ画像画面に表示させ、模様の位置合わせを行います。

適切な画像補正をあらかじめ設定します。(P. 76)

- 適切な設定をすることで、より良いカメラ画像を得ることができます。

■ キルトサッシのデータを作成する

1 チャコペンで、刺しゅうするキルトサッシの内周を、布地に描きます。キルトサッシの大きさを測っておきます。

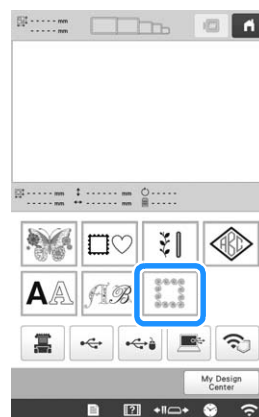


- ① 内周の線（位置合わせに使用します）
- ② 幅
- ③ 高さ
- ④ キルトサッシ模様の幅

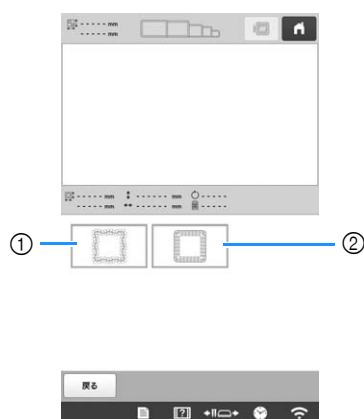
お知らせ

- 刺しゅう枠から布地の端が 10cm くらいはみ出るように、布地を裁断してください。

2  を押します。



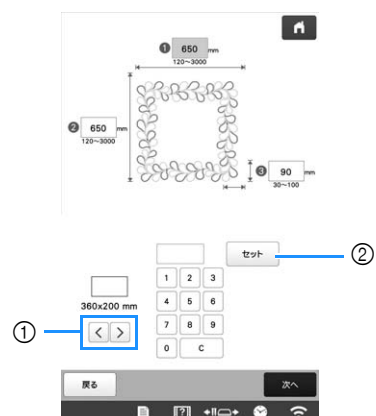
3 模様色数のカテゴリーを選択します。



- ① 1 色の模様
- ② 2 色以上の模様

4 刺しゅうしたい模様を選択して、**セット**を押します。

5 使用する刺しゅう枠とキルトサッシの大きさを指定します。



- ① **<** または **>** を押して、刺しゅう枠の大きさを選びます。
- ② ヨコ (①) の長さを入力し、**セット** を押します。タテ (②) の長さとしキルトサッシ模様の幅 (④) も同様に入力します。

6 **次へ**を押します。

7 模様を確認し、**記憶**を押して記憶します。



- ① 糸色の変更ができます。

お知らせ

- 模様の端が省略表示される場合があります。

8 次のメッセージ画面が表示されたら、**OK**を押します。



→ ミシン本体のメモリーの模様選択画面が表示されます。

■ キルトサッシを刺しゅうする

1 ミシン本体のメモリーの模様選択画面で記憶データを選択します。

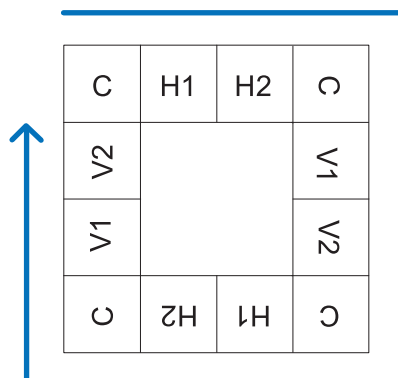


→ キルトサッシ全体のサムネイルと、分割した模様ごとのサムネイルが表示されます。

2 ここでは、画面指示に従ってキルトサッシを刺しゅうするため、キルトサッシ全体が表示されたサムネイルを選択します。そのあとで、**セット**を押します。



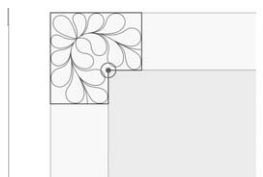
- ① このキーを押すと、画面指示に従ってキルトサッシを刺しゅうできます。左下隅の数字は、分割した模様の総数です。
- ② 確認しながら模様をつなげていくときは、分割した模様を押します。各キーの符号からどこで何回刺しゅうするのか確認することができます。



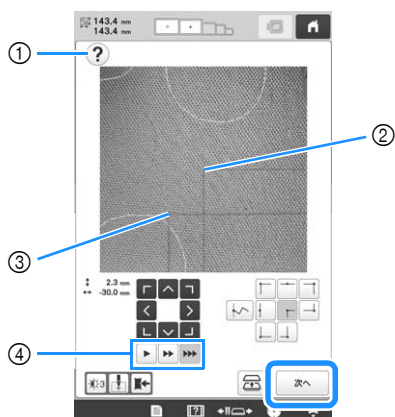
- C : 角の模様
- V1 : 縦の最初の模様
- V2 : 縦の2つ目の模様
- H1 : 横の最初の模様
- H2 : 横の2つ目の模様

③ キルトサッシの左上角が縫製範囲に収まるように布地を刺しゅう枠に張り、刺しゅう枠をミシンに取り付けます。

④ 左上の角に模様位置を合わせます。



⌂ (ハイライト状態) のまま、移動キーで布地に引いた線の角と模様内側の角を合わせ、**次へ** を押します。



- ① ガイダンスを再度表示します。
- ② 模様の内側の角
- ③ 布地に引いた線の角
- ④ 刺しゅう枠の移動する速さを選択できます。

	刺しゅう枠を布地を張り替えやすい位置に移動します。布地の張り替えについて詳しくは、P.109「布地を張り替える」を参照してください。
	カメラ画像を外部メモリーに保存します。
	針落ち位置を表示する／しないを設定します。
	カメラ画像の明るさを変更します。

⑤ 模様の角が引いた線に合うように模様の角度を調整します。そのあとで、**刺しゅう** を押して縫製画面を表示させます。



- ① 模様を移動する画面に戻ります。

⑥ **ロック** を押し、ミシンロックを解除してから、スタート/ストップスイッチを押して、最初の模様を刺しゅうします。

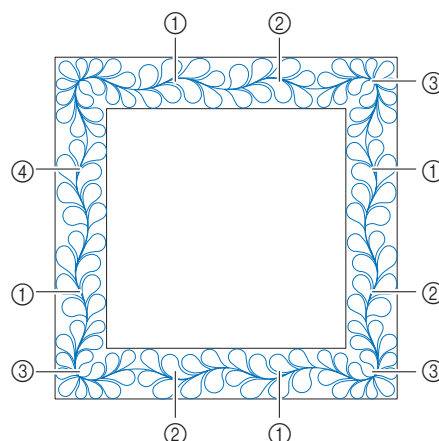
⑦ 刺しゅうが終わると次のメッセージが表示されるので、**OK** を押します。



→ 次に刺しゅうする模様が表示されます。

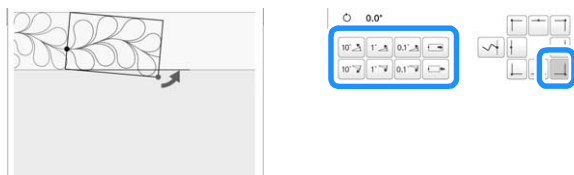
⑧ 画面指示に従って、各模様の位置を合わせ刺しゅうします。

始点合わせ、模様の回転、必要であれば布地の張り替えを行います。布地の張り替えについて詳しくは、P.109「布地を張り替える」を参照してください。



① 辺の模様を刺しゅうするとき

直前に布地の張り替えをした場合は、移動キーで画面に示される始点と前の模様の終点を合わせ、**次へ** を押します。そのあとで、引いた線に角が合うように模様の角度を調整し、**刺しゅう** を押します。



② 角の直前にある模様を刺しゅうするとき

直前に布地の張り替えをした場合は、移動キーで画面に示される始点と前の模様の終点を合わせ、**次へ** を押します。次に、模様端の点（次に刺しゅうする模様の内側にある角）と引いた線の角を合わせます。角度が合わないときは、模様を回転します。模様の長さが合わないときは、模様端の点が線の角に合うように、模様を拡大または縮小します。



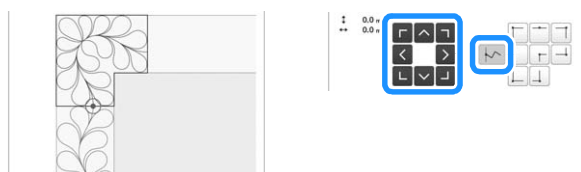
* 次に刺しゅうする模様の内側にある角調整が終わったら、「刺しゅう」を押します。

❖ お願い

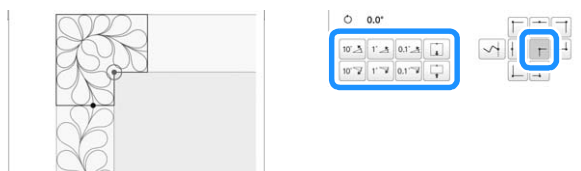
- 正確な始点は、プーリーを操作パネルの方向に回し、針が落ちる位置で確認してください。針の位置を確認したあとで、針が一番高い位置にくるようにもう一度プーリーを回してください。

③ 角の模様を刺しゅうするとき

布地を反時計回りに 90 度回転し、刺しゅう枠に張り直し、ミシンに取り付けます。移動キーで画面に表示される始点と前の模様の終点を合わせ、「次へ」を押します。

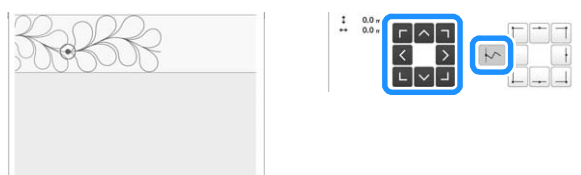


次に模様の内側の角と引いた線の角を合わせ、「刺しゅう」を押します。



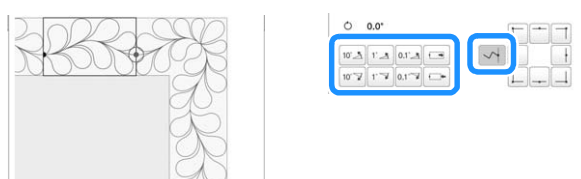
④ 最後の辺の模様を刺しゅうするとき

移動キーで画面に示される始点と前の模様の終点を合わせ、「次へ」を押します。



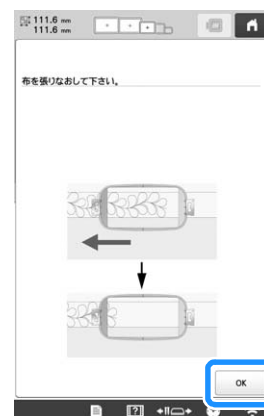
次に、最後の模様の終点と最初の模様の始点を合わせます。角度が合わないときは、模様を回転します。模様の長さが合わないときは、模様を拡大または縮小します。

調整が終わったら、「刺しゅう」を押します。

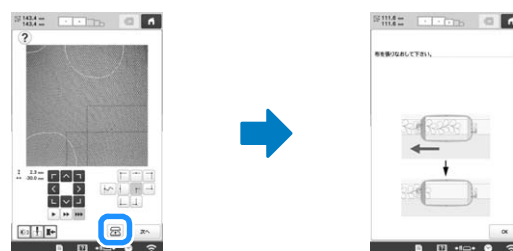


■ 布地を張り替える

布地の張り替えが必要な場合は、布地の張り替えを指示するガイダンスが表示されます。ガイダンス表示中は、刺しゅう枠が布張りしやすい位置に移動しているので、布地を張り替えてから「OK」を押してください。

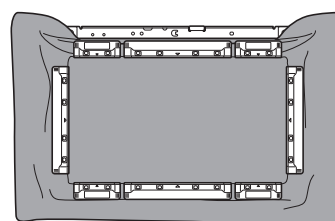


カメラ画面表示中に布地を張り替えたい場合は、を押して、再度布地の張り替えを指示するガイダンスを表示させてから、布地を張り替えてください。



📖 お知らせ

- 別売のマグネット原反枠を使用すると、枠をミシンから取り外さずに、簡単に布地を張り替えることができます。詳しくは、マグネット原反枠に付属の取扱説明書を参照してください。



カメラを使って模様をつなぐ

糸印の代わりに内蔵カメラを使用して、刺しゅう模様をつなぐことができます。

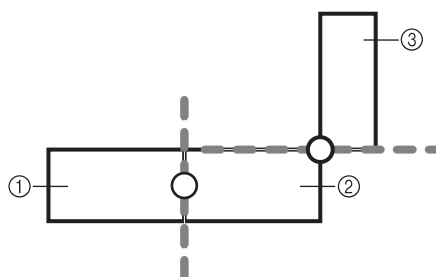
カメラを使用する場合、ヨコ 330mm× タテ 170mm の範囲で模様をつなぐことが可能です。刺しゅうの大きさに合わせて、適切な刺しゅう枠を選んでください。特大枠（ヨコ 360mm× タテ 200mm）を使用することをお勧めします。

❗お願い

- この機能で模様つなぎをする場合、S 枠（ヨコ 60mm× タテ 40mm）、帽子枠、シリンダー枠、縦長枠、クランプ枠、ネーム枠、丸枠は使用できません。
- この機能は、刺しゅう PRO 7 以降のバージョンで作成した分割模様には適用できません。
- ミシンが Link モードに設定されている場合は、この機能は使用できません。

3 つの模様をつなげる

例：

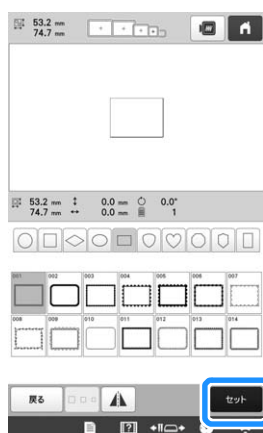


- ① 模様 A
- ② 模様 B
- ③ 模様 C

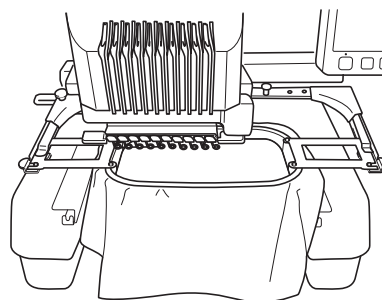
1 適切な画像補正をあらかじめ設定します。(P. 76)

- 適切な設定をすることで、より良いスキャン結果を得ることができます。

2 はじめに模様 A を選び、**セット**を押します。



3 特大枠（ヨコ 360mm× タテ 200mm）に布地を張り、枠をミシンにセットします。



4 **編集終了**を押して、縫製設定画面に進みます。**II**を押します。

- 模様をつなぐためには、必ず **II** を選択してください。



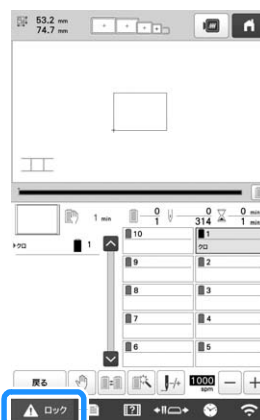
→ 模様表示エリアの左下に **II** が表示されます。

II が **III** に変わります。

📖お知らせ

- 模様つなぎ中は、ミシンに模様を記憶することはできません。

5 **刺しゅう**、**ロック**を順に押し、スタート/ストップスイッチを押して、1 番目の模様をぬい始めます。



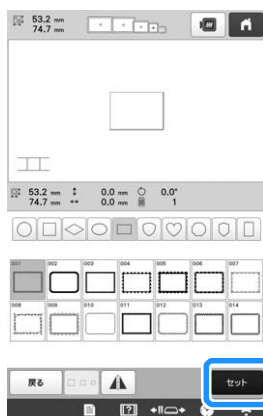
6 1 番目の模様がぬい終わると、次の模様をつなげるかどうかを確認するメッセージが表示されます。

OK を押します。

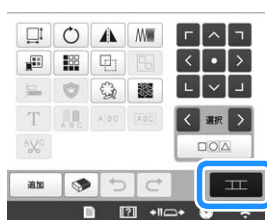
- 7 次のメッセージが表示されたら **OK** を押します。



- 8 2 番目の模様 B を選び、**セット** を押します。

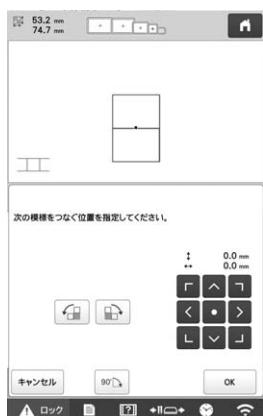
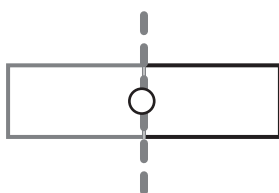


- 9 **II** を押し、模様のつなぎ方を選びます。

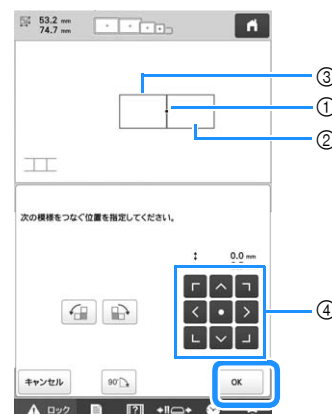


→ 模様つなぎ設定画面が表示されます。

- 10 1 番目と 2 番目の模様をつなぐ位置を選び、**OK** を押します。この例では、1 番目の模様の右边を選びます。



- 2 番目の模様の位置は、以下のキーを使って調整できます。



- ① つなぐ位置をタッチします。
- ② 2 番目の模様 B
- ③ 1 番目の模様 A
- ④ 2 番目の模様を移動します。

	1 番目の模様を中心として、2 番目の模様を時計回りに回転します。
	1 番目の模様を中心として、2 番目の模様を反時計回りに回転します。
	2 番目の模様を時計回りに 90° 回転します。

→ メッセージが表示され、**OK** を押すと、キャリアッジが移動します。

💡 お願い

- 2 番目の模様は、調整なしで自動的に 1 番目の模様に結合されます。2 番目の模様の位置は、



を使って調整してください。

- 2 番目の模様の位置は、指または付属のタッチペンでも移動できます。
- 模様をつなぐ位置を変更する場合、1 番目の模様の中心を基準にしたいときは、、 または を使用してください。

- 11 位置合わせシールを、2 つ用意します。

内蔵カメラが位置合わせのマークを検出できるように、画面の指示に従って、シールを 2 つ布地に貼ります。

💡 お願い

- 位置合わせシールは、付属のものを使用してください。または、お買い上げの販売店で専用シール (P.15 「別売品」を参照) を購入してください。上記以外のシールを使用すると、カメラがシールを検出できないことがあります。

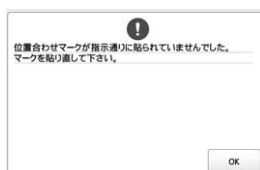
- 12 1つ目の位置合わせシールを、画面を見ながら、布地に貼り、OK を押します。



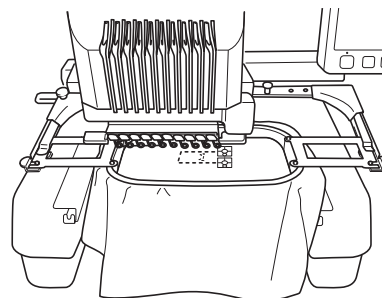
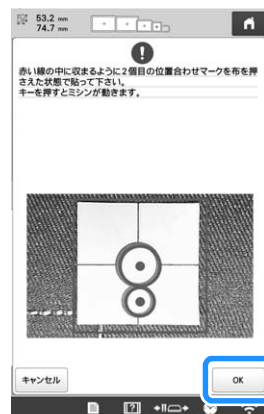
→ 内蔵カメラが、1つ目の位置合わせシールの検出を開始します。

🔔 お願い

- 位置合わせシールは、常に新しいものを使用してください。一度使用したシールは、はがれやすくなります。検出中にシールがはがれると、模様をつなぐことができません。はがれてしまった場合は、新しいシールを使用して、作業をはじめからやり直してください。
- 位置合わせシールを布地へ貼る際は、指先で四隅をしっかりと押え付けてください。シールがしっかり貼られていない場合、カメラが誤検出する可能性があります。
- 次のメッセージが表示された場合は、位置合わせシールを正しい位置へ貼り直してください。その際、大きな円が上側にあることを確認してください。

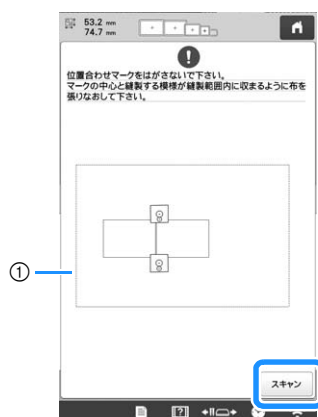


- 13 2つ目の位置合わせシールを、画面を見ながら、布地に貼り、OK を押します。



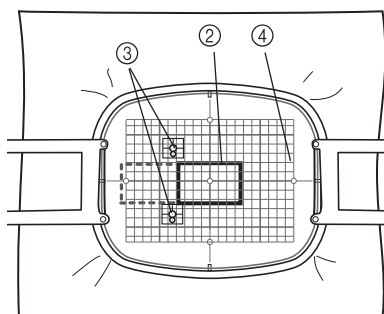
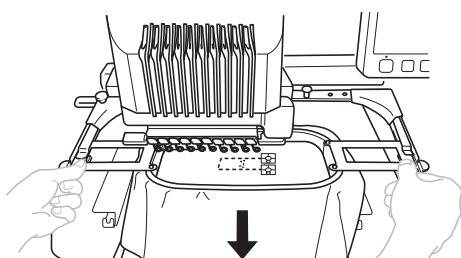
→ カメラが2つ目の位置合わせシールの検出を開始します。

14 2つの位置合わせシールが検出されると、次のメッセージが表示されます。



① 縫製範囲

2つの位置合わせシールがはがれないように注意して、ミシンから刺しゅう枠を取り外し、布地を張り直します。その際、2番目の模様と2つのシールが、刺しゅう枠の縫製範囲に収まっていることを確認してください。刺しゅう枠をミシンへセットして、**スキャン**を押します。

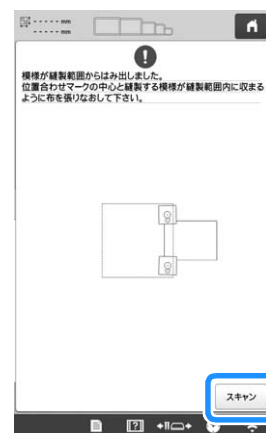
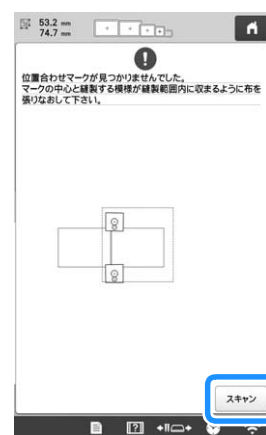


- ② 次に刺しゅうする模様の位置
- ③ シールの大きい円の中心
- ④ 刺しゅうシート

→ カメラが、2つの位置合わせシールの検出を開始します。

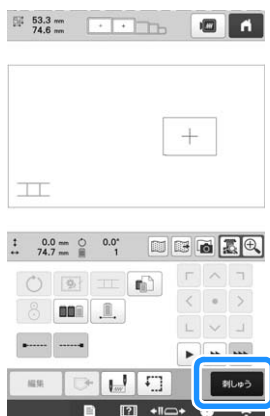
お願い

- 次に刺しゅうする模様とシールの大きな円の中心が縫製範囲に収まらない場合は、大きな刺しゅう枠を使用してください。大きな刺しゅう枠が使用できない場合は、手順 **15** へ進み、その後 P.115 「位置合わせシールの位置を変更する」に従ってシールを貼り直してください。
- 作業中にシールがはがれると、模様をつなぐことができません。その場合は、作業をはじめからやり直してください。
- 以下のいずれかのメッセージが表示された場合は、布地を張り直してください。画面の指示に従って、次に刺しゅうする模様と2つの位置合わせシールを縫製範囲に収めます。**スキャン**を押して検出を開始します。



15 2つの位置合わせシールが検出されると、位置合わせマークを認識したことをお知らせするメッセージが表示されます。**OK**を押し、シールを取り除きます。

- 16 刺しゅう、ロックを順に押し、スタート/ストップスイッチを押して2番目の模様をぬい始めます。

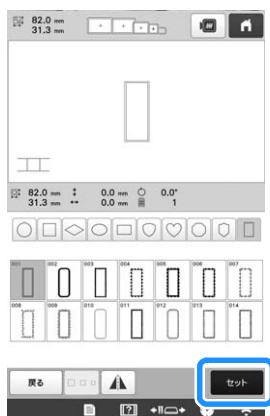


→ 2番目の模様をぬい終わると、次の模様をつなげるかどうかを確認するメッセージが表示されます。OKを押します。

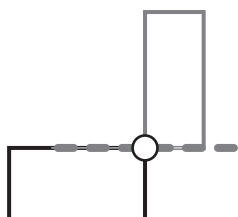
- 17 次のメッセージが表示されたら、OKを押します。



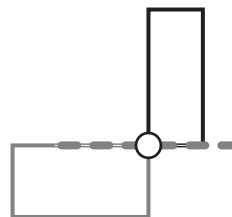
- 18 3番目の模様Cを選び、セットを押します。



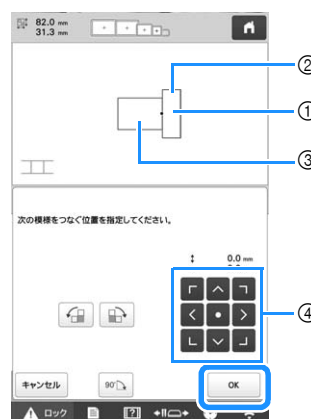
- 19 Ⅱを押して、模様つなぎ設定画面を表示します。この例では、2番目の模様の右上の上点を選びます。



- 20 3番目の模様をつなぐ位置を選び、OKを押します。この例では、2番目の模様の右上を選びます。



- 直角つなぎの基準を選択した場合は、自動的に模様が回転して表示されます。



- ① つなぐ位置をタッチします。
- ② 3番目の模様C
- ③ 2番目の模様B
- ④ 3番目の模様を移動します。

→ メッセージが表示されます。OKを押すと、キャリアリッジが移動します。

- 21 画面の指示に従い、2番目と3番目の模様について、手順11から15までを繰り返します。

- 22 刺しゅうを押します。

- 23 ロックを押し、スタート/ストップスイッチを押して3番目の模様をぬい始めます。

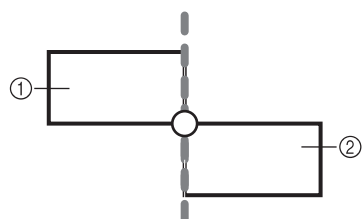
→ 3番目の模様をぬい終わると、次の模様をつなげるかどうかを確認するメッセージが表示されます。キャンセルを押して、模様つなぎ機能を終了します。

→ ぬい終わると、画面左上に表示されていたⅡが消えます。

3つの模様をつなぐことができました。
模様を消す場合はホームを押してください。

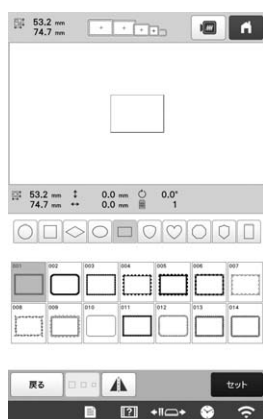
位置合わせシールの位置を変更する

つなげたい模様や位置合わせシールが縫製範囲にうまく収まらない場合は、シールの貼り位置を変更する必要があります。P. 112 の手順 13 の後に表示される画面指示に従って、シールを移動してください。例として、M 枠（100mm×100mm）を使用して下記のように模様をつなぐ場合は、手順 13 のあとにシールを移動するための指示画面が表示されます。



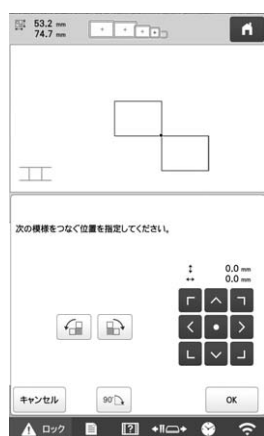
- ① 模様 A
- ② 模様 B

- 1 P.110「3つの模様をつなげる」の手順 1 から 13 に従って、M 枠（100mm×100mm）を使用して、1 番目の模様を刺しゅうして 2 番目の模様をつなげます。

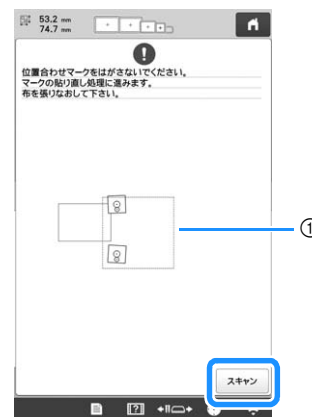


お願い

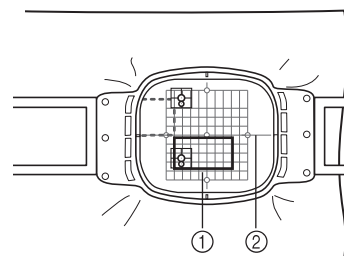
- この例では、P.110「3つの模様をつなげる」の手順 1 から 13 で選択している模様位置は、次の画面のとおりつながるように変更してください。



- 2 2 番目の模様、または布地に貼られた位置合わせシールが縫製範囲を超えそうな場合、手順 14 として次のメッセージが表示されます。指示に従い、**スキャン** を押します。



- ① 縫製範囲



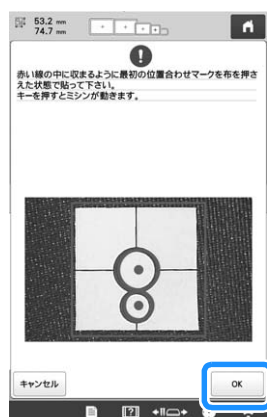
- ① 次に刺しゅうする模様の位置
- ② 刺しゅうシート

お願い

- 位置合わせマークが見つからないというメッセージが表示されたら、画面の指示に従って、布地を張り直して **OK** を押してください。

- 3 シールの位置が検出されると、位置合わせマークを認識したことをお知らせするメッセージが表示されます。**OK** を押し、シールを取り除きます。

- 4 画面の指示に従ってシールを貼り直します。指示どおりに貼り直すと、2 番目の模様と 2 つの位置合わせシールは縫製範囲に収まります。



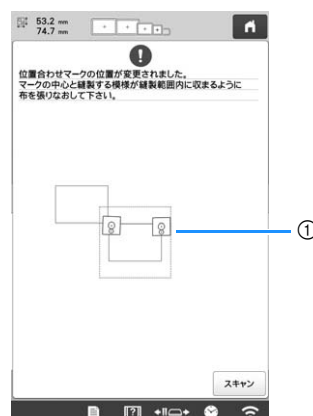
→ **OK** を押すと、カメラが 1 つ目の位置合わせシールの検出を開始します。

- 5 2 つ目のシールを貼り、**OK** を押します。

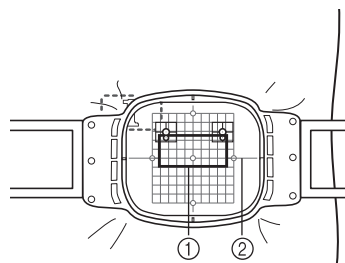


→ カメラが 2 つ目の位置合わせシールの検出を開始します。

- 6 2 つの位置合わせシールが検出されると、次のメッセージが表示されます。シールがはがれないように注意して、画面に表示された例のように布地を張り直します。



① 縫製範囲



- ① 次に刺しゅうする模様の位置
② 刺しゅうシート

- 7 **OK** を押した後、P. 113 の手順 15 以降の作業を続けます。

レジューム機能

模様つなぎ機能を使用中にミシンの電源を切った場合、再度電源を入れたときにミシンが自動的に中断された作業を再開します。再開する工程は、電源が切られたときの作業段階によって、以下のように分けられます。

例：2 つ模様をつなぐとき

- 1 番目の模様を選択し、を押す
- 1 番目の模様の縫製開始



1 番目の模様の縫製終了 (A)
この枠内の工程途中でミシン本体の電源を切った場合、再度電源を入れたときミシンは (A) の工程から再開します。



- 2 番目の模様を選択する



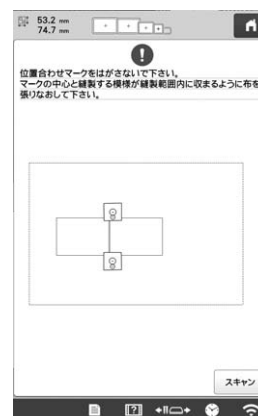
模様をつなぐための
基準辺と基準点を設定する



カメラが位置合わせシール (2 箇所) の
検出開始



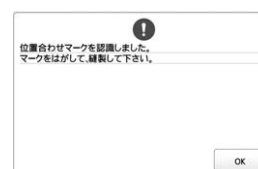
位置合わせシールの検出完了 (B)
この枠内の工程途中でミシン本体の電源を切った場合、再度電源を入れたときミシンは (B) の工程から再開します。



布地の張り替え



位置合わせシール (2 箇所) の検出完了



2 番目の模様の縫製開始



2 番目の模様の縫製終了

刺しゅうに関する設定の調整

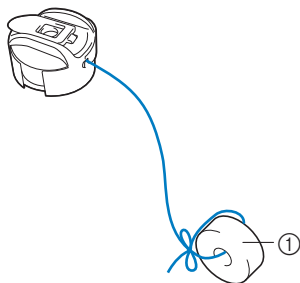
下糸の調子を調整する

🌟 お願い

- ボビンを交換した後は、必ず下糸の糸調子を確認してください。
下糸の糸調子は、下糸やボビンの種類によって異なります。例えば、使い捨てボビンを同種のボビンと交換したときなども、下糸の糸調子を確認し、必要に応じて糸調子を調整してください。
- 必ず下糸の糸調子を調整してから、上糸の糸調子を調整してください。

1 ボビンケースから出ている下糸の端に付属の下糸おもりを結び付けます。

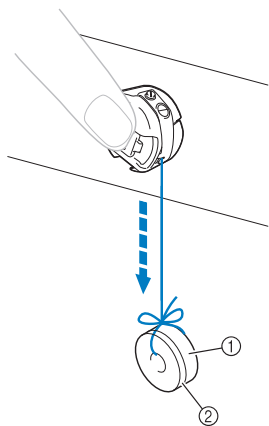
使い捨てボビンの場合



① 下糸おもり (L タイプ)

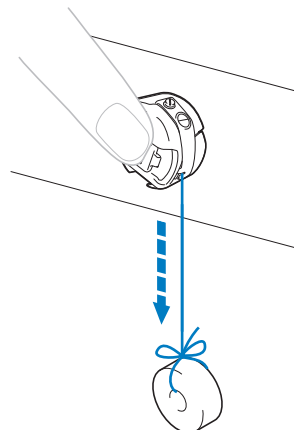
📖 お知らせ

- 使い捨てボビンと金属ボビンでは、調整するときに使用する下糸おもりが異なります。
金属ボビンの場合：



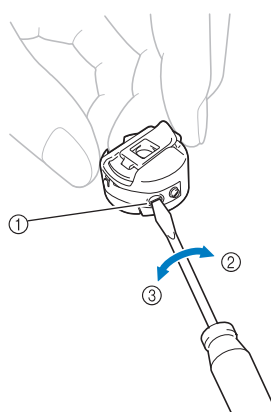
① 下糸おもり (L タイプ)
② 下糸おもり (S タイプ)

2 図のように、ボビンケースを滑らかな垂直面に押し当てます。



- 下糸おもりの重さで下糸が、ゆっくりと繰り出されれば正しい糸調子です。

3 糸調子ネジを付属の小型ドライバーで回して、調整します。

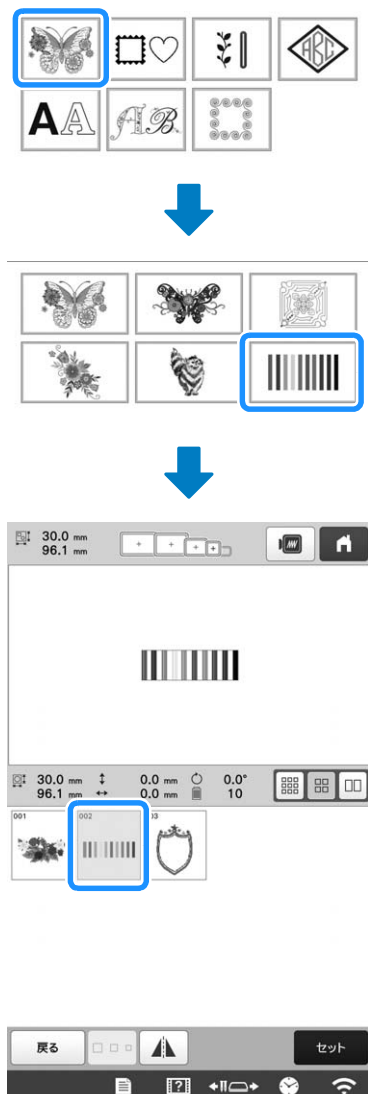


- ① 糸調子ネジ
- ② 強くします。
- ③ 弱くします。

- 4 調整ができたなら、すべての針棒でためしぬいをして糸調子を確認します。

お知らせ

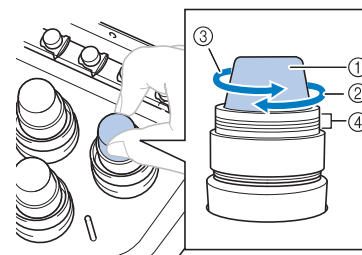
- 内蔵模様の中に、糸調子確認用の模様があります。この模様をぬって糸調子を確認すると便利です。下糸は、布の裏側からぬい幅の約3分の1になるように調整します。



上糸の調子を調整する

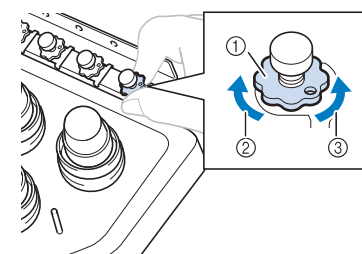
上糸のぬい目が布地の裏側から少しのぞく程度に、糸調子を調整してください。

- 1 糸調子つまみを手で回します。



- ① 糸調子つまみ
- ② 強くします。
- ③ 弱くします。
- ④ 印

→ 糸調子がうまく調整できない場合は、糸道上糸調子つまみを回します。



- ① 糸道上糸調子つまみ
- ② 強くします。
- ③ 弱くします。

正しい糸調子

布地の裏に上糸が少し見える状態です。糸調子が正しく調整されていなければ、布地にしわが寄ったり、目とびが起こったりして、刺しゅうがうまく仕上がりにません。



糸調子が正しく調整されていないときは、状況に応じて次の手順に従ってください。

お願い

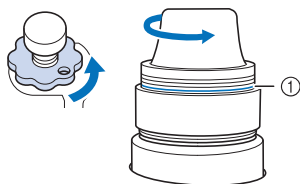
- 赤い線よりも糸調子を弱めると、糸調子つまみが外れることがあります。故障ではありません。少し糸調子を強めて、もう一度縫製を始めてください。
- 糸調子つまみの組み立てについては、P. 178 を参照してください。

■ 糸調子が強いとき

上糸が強すぎて、表側に下糸が出ています。



矢印の方向に回して、弱くします。



① 赤い線

赤い線が見えたら、それ以上糸調子を弱めることができません。下糸の糸調子を強めて、調整してください。(P. 118)

💡 お願い

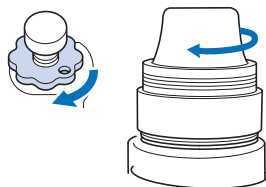
- 赤い線が見えてからも、さらに糸調子を弱めると、糸調子つまみが外れます。
- 糸調子部分の組み立てについて詳しくは、P. 178を参照してください。

■ 糸調子が弱いとき

上糸が弱すぎて上糸がたるみ、糸のしまりがゆるくなったり、表側に糸のループができています。



矢印の方向に回して、強くします。



糸替え時停止設定

ミシンはいつでも止めることができますが、縫製の途中で止めると次のぬい始めは、ぬい目を少し戻さなくてはなりません。糸替え時に止めるとぬい目の調整をしなくて済みます。

■ 次の糸替え時に停止する

次の色をぬう前でミシンを停止することができます。

- 1 ミシンを停止したい糸替え時の前の色部分をぬっているときに を押して、 にします。



- 2 現在ぬっている色の部分をぬい終わると、次の針棒に移動し、ぬい始める前にミシンが止まります。

→ は に戻ります。

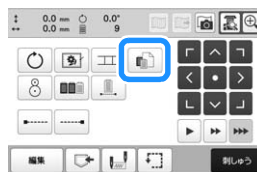
- ここで一旦電源を切って続きをぬう場合は、次に電源を入れたときにミシンが続きをぬうか、新しく模様を選ぶかを選択できます。

を選ぶと、続きからぬうことができます。(P. 99)

■ 縫製前にポーズ位置を指定する

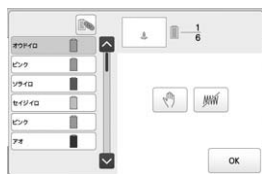
を押して表示されるポーズ指定画面で設定できます。

- 1 縫製設定画面で を押します。



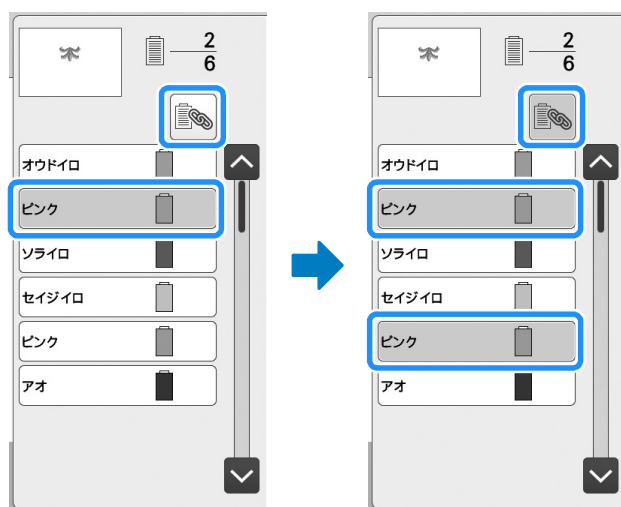
→ ポーズ指定画面が表示されます。

- 2** 縫製を続ける前に停止させたい糸色を、ぬい順表示から選んで押します。



→ 選択した糸色が青くハイライト表示されます。

- 同じ糸色が2回以上使用されている場合に、その糸色を一括して選択することができます。糸色を選択してから、を押します。キーがに変わり、最初を選択した糸色と同じ糸色がすべて青くハイライトされ、操作の対象となります。



- 3** を押す。

→ マークが表示され、ここで停止することを示します。



① マーク

- 設定を解除するときは、もう一度を押します。

- 4** 停止したい回数分、手順**2**～**3**を繰り返して設定します。

- 停止設定は何回でもできます。

- 5** 設定し終わったら、を押します。

- 縫製後、設定したところで停止したとき、一旦電源を切って続きをぬう場合は、次に電源を入れたときにミシンが続きをぬうか、新しく模様を選ぶかを選択できます。

を選ぶと、続きからぬうことができます。

(P. 99)

お知らせ

- 一旦電源を切っても、電源を切る前に設定した糸替え時停止設定は解除されません。新しく同じ模様を選んだ場合は、解除されます。
- 糸替え時停止設定をした模様を記憶すると、糸替え時停止設定も記憶されます。

一時的針棒設定

縫製開始後、糸替え時で停止して、次でぬう色部分を現在糸がかけられている別の針棒に変えてぬうことができます。

糸残量が少なくなった場合など現在かけられている上糸を代用し、糸こま交換を省きたいときにこの機能を使うと便利です。

- 1** を押します。



→ 一時的針棒設定画面が表示されます。

- 2** 縫製したい糸がかかっている針棒の番号キーを押します。



→ 針棒番号が変わって、選択された針棒にが表示されます。

→ 設定を解除するときは、を押します。

- 3** を押します。



→ 縫製画面に戻ります。

お知らせ

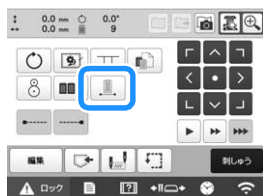
- 色部分の途中からの糸色（針棒）変更はできません。

■ 連続した刺しゅう（1 色の場合）

選んだ模様を複数の色ではなく 1 色でぬうこともできます。色替え時にはミシンの動きが遅くなりますが、そのまま止まらず、模様が仕上がるまで刺しゅうが続きます。

1 縫製設定画面で を押します。

- 刺しゅう中の糸替えが行われず、選んだ模様が 1 色で刺しゅうされます。
- もう一度  を押すと模様の元々の設定に戻ります。



2 を押して、縫製画面に進みます。

3 連続した刺しゅうにしたい糸の通った針棒のキーを押します。



→ 糸色順表示と模様が、選択した針棒の糸色 1 色で表示されます。

📖 お知らせ

- 連続刺しゅうを設定した場合でも、DST 糸切り機能を使用することができます。（P. 124）
- 刺しゅうが終わると、連続刺しゅうがキャンセルされます。

手動針棒／縫製速度設定

通常、糸色の割り当てはミシンが自動的に行いますが、特定の針棒に任意の糸色を自分で設定することができます。設定を行うと、その針棒はミシンの自動割り当ての対象から外れ、常に設定した糸色が割り当てられます。

よく使う糸色を設定しておく、糸こま交換の手間を省くことができ便利です。

また、縫製最高速度を特定の針棒に設定できます。メタリック糸のような弱い糸を特定の針棒にセットするときに便利です。

💡 お願い

- この機能は、縫製画面では設定できません。
- 通常モードでは、糸色割り当てと縫製速度の設定ができる針棒は 9 本です。設定画面で手動糸色割付を [ON] に設定すると、10 本すべての針棒に設定できます。手動糸色割付モードで 10 本の針棒に設定してから、通常モードにしたときは、10 番針棒の設定は自動的に解除されます。（P. 61）

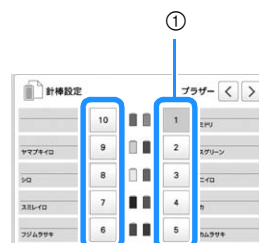
1 度糸色割り当てと縫製速度を設定すると、解除するまで有効です。

1 を押し、 を押します。

→ 刺しゅう設定画面が表示されます。

2 刺しゅう設定画面の [針棒設定] を表示します。

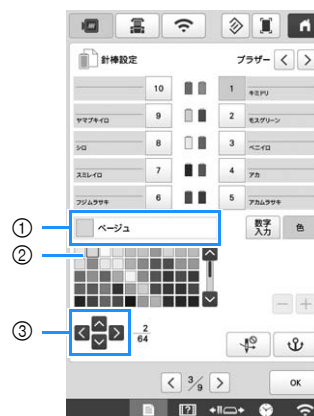
3 1 から 10 の設定したい針棒の番号キーを押します。



① 選択した針棒番号が青色に変わります。

4 割り当てる色を選びます。

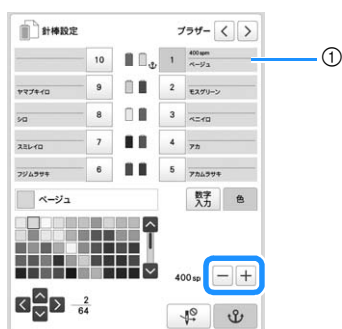
    を押すか、希望の色を直接押して、設定したい色を選びます。



- ① 選択した色と色名が表示されます。
- ② 選択した糸の色と、糸色名が表示されます。
- ③ キーを押すと、矢印の方向に四角の囲みが動きます。

- 5  を押します。
→ 糸こまに糸色・ マークが表示されます。

- 6   を押して、色を割り当てた針棒の縫製最高速度を設定します。



① 縫製最高速度の設定値

お知らせ

- メタリック糸のように弱い糸を針棒にセットした場合は、縫製速度を 400spm に設定してください。(「spm」は 1 分間の縫製回数です。)
- 縫製画面で縫製最高速度を速く設定した場合 (P. 91) でも、常にここで設定した速度が、設定した針棒に有効になります。

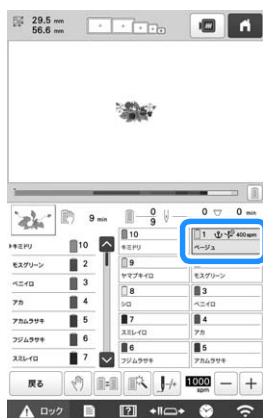
- 7 必要な場合は、 を押して、糸通し禁止を設定します。



① 糸通し禁止キー

- 8 OK を押します。

- 縫製画面では、設定された針棒には、 と縫製最高速度が表示されます。



■ 設定を解除したいときは

設定し直したいときは、一旦解除してから設定し直してください。

- 1 1 から 10 の解除したい針棒の番号キーを押します。



① 選択した針棒番号が青色になります。

- 2  を押します。



①  が消えます。
→ これで針棒設定が解除されました。

- 3 糸通し禁止設定を解除する場合は、 をもう一度押します。



① 糸通し禁止キー

お知らせ

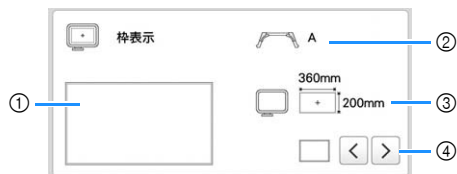
- 設定を解除した針棒に他の糸色を割り当てる場合は、P. 122 の手順 4 からの手順に従って設定します。

ガイド表示を切り替える

模様表示エリアに表示されるガイドは、表示を切り替えることができます。台枠と刺しゅう枠の種類は、実際にセットしている台座と刺しゅう枠を自動で認識して表示します。

 を押し、 を押します。

→ 刺しゅう設定画面が表示されます。



- ① 設定するガイドがどのように表示されるか、ここで確認します。
- ② 台枠の種類
台枠の種類を表示します。
- ③ 枠範囲
実際にセットしている刺しゅう枠の大きさを表示します。(P. 69)
- ④ 中心表示、グリッド表示
中心表示、グリッド表示の種類と表示／非表示を設定します。

■ 台枠の種類

設置されている台枠を自動で認識して表示します。台枠が取り付けられていない場合、「帽子枠／シリンダー枠」が表示されます。



台枠 A (付属)	 A
台枠 B (付属)	 B
台枠 C (別売)	 C
台枠 D (別売)	 D
台枠 E (別売)	 E
帽子枠／シリンダー枠 (別売)	
マグネット原反枠 (別売)	*

* 台枠なしでマシンに取り付けれるため、アイコンは表示されません。

糸色表示を切り替える

糸色の名前、刺しゅう糸番号または刺しゅう時間を表示させることができます。購入時は、糸色番号 [#123] に設定されています。

📌 お知らせ

- 液晶画面で表現される色と実際の糸色は異なることがあります。
- [オリジナル] (取り込んだデータはソフトウェアで作成された糸ブランド) が初期値として設定されています。

1  を押し、 を押します。

→ 刺しゅう設定画面が表示されます。

2  または  を押すと、糸色の名前、刺しゅう糸番号または刺しゅう時間が表示されます。



3 糸番号 [#123] が表示されているときに  または  で、刺しゅう糸ブランドを選びます。



渡り糸切り／DST 設定

渡り糸の糸切りする／しないを設定できます。タジマフォーマット (.dst) の刺しゅうデータを使う場合は、ジャンプコード数の指定により糸切りする／しないを設定できます。

[ON] : 次のラインで指定された数に基づいて、糸切りコードに変換する
[OFF] : 糸切りコードに変換しない
購入時は [ON]、ジャンプコード回数 [3] に設定されています。

📌 お願い

- 新たに設定を変更した場合、それが適用されるのは次の刺しゅうからになります。

1  を押し、 を押します。

→ 刺しゅう設定画面が表示されます。

2 刺しゅう設定画面の「渡り糸切り」を表示します。

3 [ON] または [OFF] を押して設定します。

→ [ON] が選択されているときに、**[+]**と**[-]**で渡り糸切りする長さを設定します。例えば、設定値が [5 mm] の場合、5 mm では渡り糸切りしますが、4 mm では切りません。



💡 お願い

- この設定を [ON] にしても、文字模様の渡り糸切りは有効になりません。文字模様の渡り糸切りについて詳しくは、P.50「文字間で糸を切る」を参照ください。

📖 お知らせ

- タジマフォーマット (.dst) の刺しゅうデータに渡り糸切りの長さを設定することはできません。

■ タジマフォーマット (.dst) の刺しゅうデータを使用する場合

4 [渡り糸切り] を [ON] に設定したときは **[+]** または

[-] で、フィード回数を選びます。
希望の数値を表示させます。



- 指定できる範囲は 1 ～ 8 です。
例えば、3 が指定されると、連続した 3 つのジャンプコードが糸切りコードに変換されます。しかし、連続した 2 つのジャンプコードは糸切りコードに変換されず、渡り（ジャンプ）ぬいのようにぬわれます。

💡 お願い

- 特定のタジマフォーマットを作成したときに使用した番号と、同じジャンプコード番号を設定してください。ジャンプコード番号が合わない、糸切りされないはずのところでされる、糸切りされるはずのところでされない、ということがあります。

小ピッチのステッチを削除する

当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用すると、ピッチが細かすぎる場合があります。糸切れや針折れが発生するおそれがあります。このようなことを防ぐために、あらかじめ細かいピッチのステッチを削除するように設定することができます。ここで設定したピッチ以下のステッチが削除されます。購入時は [0.3mm] に設定されています。

1 [] を押し、**[]** を押します。

→ 刺しゅう設定画面が表示されます。

2 刺しゅう設定画面の [小ピッチ削除] を表示します。

3 **[+]** または **[-]** で、ピッチの大きさを選びます。

希望の大きさを表示させます。



- 指定できる範囲は、長さの単位が [mm] の場合は 0 ～ 1mm、インチの場合は 0 ～ 0.04 インチです。

💡 お願い

- 新たに設定を変更した場合、それが適用されるのは次の刺しゅうからになります。

糸残りを設定する

糸切り後に針穴に残る（針穴から出ている）上糸の長さを、[糸切り標準] または [糸切り長く] から選ぶことができます。購入時は、[糸切り標準] に設定されています。

1 [] を押し、**[]** を押します。

→ 刺しゅう設定画面が表示されます。

2 刺しゅう設定画面の **[]** を表示します。

3 **[<]** または **[>]** で、糸残りを選びます。

希望の長さを表示させます。



- 糸切り後の糸残りが短く、次にうまくぬえない場合は、[糸切り長く] に設定してください。
- 金糸、銀糸を使う場合は、[糸切り長く] に設定してください。

刺しゅうしつけ距離を変更する

刺しゅう模様としつけぬいの距離は、0.0mm から 12.0mm の間で設定できます。
購入時は [5.0mm] に設定されています。この機能を使用する場合は、P. 101 を参照してください。

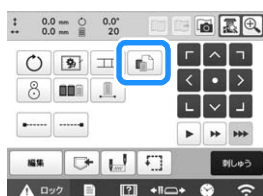
- 1  を押し、 を押します。
→ 刺しゅう設定画面が表示されます。
- 2 刺しゅう設定画面の [しつけ設定] を表示します。
- 3  または  で、模様としつけぬいの距離を設定します。



縫製スキップ設定

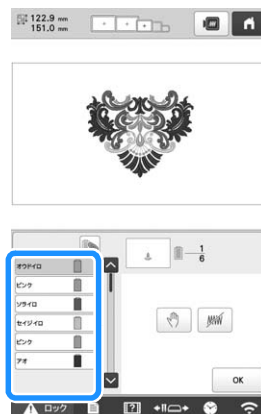
模様の特定の糸色部分に縫製スキップ設定（その糸色だけぬわないようにする設定）をかけることができます。これにより、模様自体を編集することなく、ぬいあがりをアレンジできます。

- 1 縫製設定画面で、 を押します。



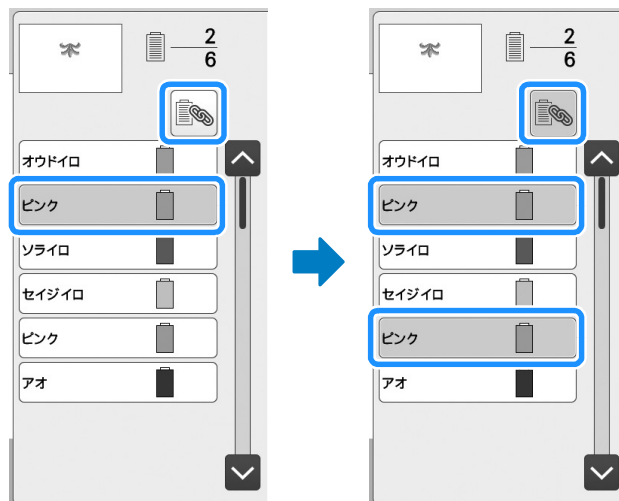
→ 針棒番号を選択する画面が表示されます。

- 2 縫製スキップ設定にしたい糸色を、糸色順表示から選んで押します。



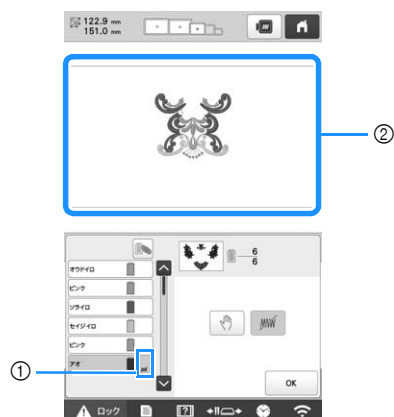
→ 選択した糸色が青くハイライト表示されます。

- 同じ糸色が 2 回以上使用されている場合に、その糸色を一括して選択することができます。糸色を選択してから、 を押します。キーが  に変わり、最初選択した糸色と同じ糸色がすべて青くハイライトされ、操作の対象となります。



- 3  を押します。

→  マークが表示され、この糸色をぬわないことを示します。

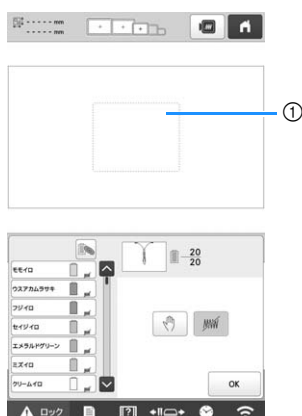


- ①  マーク
- ② ぬわない部分は、非表示になります。

- 4 ぬわない設定にしたい糸色それぞれに対して、手順②～③を繰り返します。
- 5 設定し終わったら、を押します。

お知らせ

- 文字模様に対して縫製スキップ設定をすると、文字列全体に縫製スキップ設定がかかります。一文字ずつ設定したい場合は、で文字模様を分割する (P. 47) か、または  (P. 56) を使用します。色替えキーを使って縫製スキップ設定をした場合、色替えキーはオフにできません。
- 縫製スキップ設定をかけた部分は、削除されるわけではありません。ぬう設定に戻すこともできます。(P. 127「縫製スキップ設定を解除する」参照。)
- すべての糸色に対して縫製スキップ設定をした場合は、模様の位置に、赤いが表示されます。



- ① 赤い
- 一旦電源を切っても、電源を切る前に設定した縫製スキップ設定は解除されません。新しく同じ模様を選んだ場合は、解除されます。
 - 縫製スキップ設定をした模様を記憶すると、縫製スキップ設定も記憶されます。ただし、全ての糸色を縫製スキップ設定している場合は保存できません。

縫製スキップ設定を解除する

- 1 設定を解除する糸色を選択して、を押します。
→ キーがに変わり、縫製スキップ設定が解除されます。
- がオンになっている場合は、選択した糸色と同じ糸色すべてについて、同時に設定が解除されます。

ぬい始め／終わり位置設定

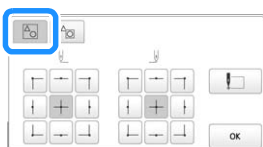
- 縫製設定画面で  を押します。



→ ぬい始め／終わり位置設定画面が表示されます。

-  または、 を選択します。

-  を選択時



刺しゅう模様のぬい始めとぬい終わりの針位置を、模様左上、左中央、左下、上中央、中心、下中央、右上、右中央、右下の9点のいずれかにそれぞれ設定できます。
この機能を使うと斜めの繰り返しぬいができます。
(P. 128)

-  を選択時



縫製位置をカメラ画像を確認しながら模様を回転して合わせる際に、模様の回転前のマスクを基準にぬい始め位置を設定でき、位置合わせをするのに便利です。
(P. 77)

お知らせ

- 購入時は  が選択されており、ぬい始め／終わりとも中心に設定されています。
- この設定は、キーを押して変更するまで設定は変わりません。電源を切っても、設定内容は記憶されています。(刺しゅう位置合わせシールを使って模様の位置合わせをする場合や、しつけぬいの追加や削除を行うと、初期設定に戻ります。)

■ 斜めに繰り返しぬいをする

例



- 縫製設定画面で  を押して、ぬい始め／終わり位置設定画面を表示します。

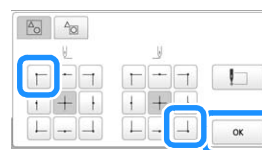


-  を選択します。

- ぬい始め位置を左上、ぬい終わり位置を右下に指定します。

ぬい始めの  を押して、 にします。

ぬい終わりの  を押して、 にします。



 を押して、ぬい始め／終わり位置設定画面を閉じます。

- 1つ目の刺しゅうをぬいます。

 を押して縫製画面に進み、 (ロック解除キー)、スタート／ストップスイッチを押します。



- ① ぬい始め位置
- ② ぬい終わり位置

- ぬい終わると、ミシンは模様の右下の角で止まります。



- 6  を押して、手順 4 と手順 5 を 3 回繰り返します。

🔍 お問い合わせ

- 繰り返し模様の続きの模様が縫製範囲の外に出ると、ぬい始め・ぬい終わりの位置を設定できないことをお知らせするメッセージが表示されます。刺しゅう枠に布をはめ直して、縫製を続けます。
 を押して、手順 4、5 を繰り返してください。

📖 お知らせ

- 一定方向だけでなく、途中でぬい始め／終わりの位置の設定を変えると、パリエーションが広がります。

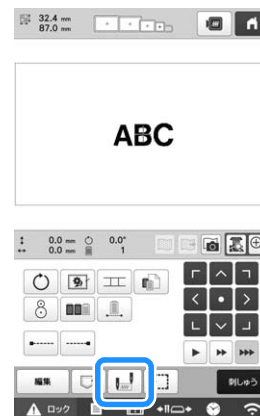


■ 文字をつなげて刺しゅうする

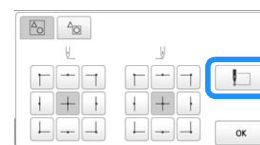
刺しゅう枠からはみ出して、文字模様をつなげて刺しゅうするには、以下の手順のようにします。
例：「DEF」を「ABC」につなげる場合

A B C D E F

- 1 「ABC」の文字模様を選びます。
- 2 縫製設定画面で、 を押します。



- 3  を選択します。
- 4  を押します。



→ 針棒の位置は模様の左下隅となります。針が正しい位置にくるように、刺しゅう枠が移動します。

🔍 お問い合わせ

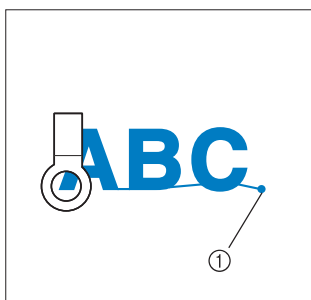
- 開始位置設定をキャンセルし、模様を中心を開始位置に戻すには、 を押してください。
-  を使用すると別の刺しゅう開始位置を選べます。

- 5  を押すと縫製設定画面に戻ります。そこで  を押すと縫製画面が継続されます。

→ 開始位置が模様の左下隅に設定されているときは、 が  に変わります。

- 6  を押し、スタート／ストップスイッチを押して刺しゅうを始めます。

- 7 文字の刺しゅうが終わった後、糸を切り、刺しゅう枠を取り外します。残りの文字（「DEF」）を刺しゅうするために刺しゅう枠を再度取り付けます。



① 刺しゅうの終わり

- 8 手順 ① と同様に、「DEF」の文字模様を選びます。

- 9 縫製設定画面で、を押します。

- 10 を押します。

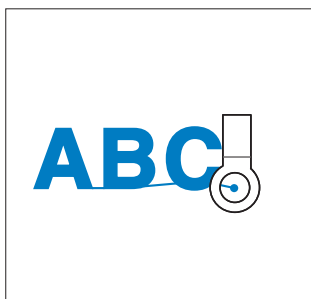


→ 針棒の位置は模様の左下隅となります。針が正しい位置になるように、刺しゅう枠が移動します。

- 11 を押します。

- 12 を使い、前の模様の刺しゅう終わり位置に針を合わせます。

- を押すと、画面で針落ち位置を確認できます。カメラ画像を表示させる前に適切な画像補正をあらかじめ設定します。(P. 76)
- 適切な設定をすることで、より良いカメラ画像を得ることができます。
- を押すと、カメラ画像が拡大表示に切り替わります。



💡 お願い

- 前の刺しゅうの終わり位置に直接針を落として位置を確認することもできます。P.82「位置を合わせるコツ」の説明に従って操作してください。

- 13 を押します。

- 14 を押し、スタート/ストップスイッチを押して残りの文字模様の刺しゅうを始めます。



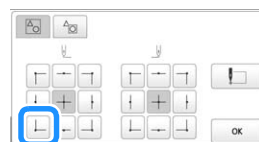
■ 布地のラインに合わせて模様をぬう

ぬい始め/終わり位置設定で模様の細かな位置を確認することができます。

- 1 縫製設定画面で を押します。

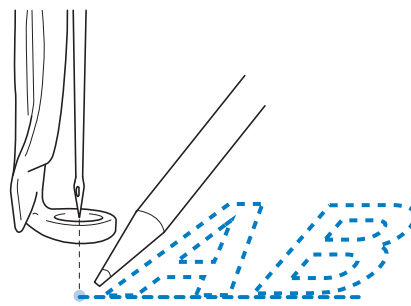
- 2 を選択します。

- 3 ぬい始め位置を左下に設定します。

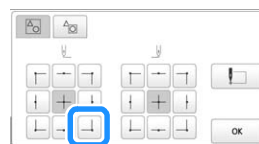


→ 枠が移動して、ぬい始めの位置が針落ち位置にきます。

- 4 チャコペンなどで、その位置に印を付けます。



- 5 ぬい始め位置を右下に設定します。



→ 枠が移動して、ぬい始め位置が針落ち位置にきます。

- 6 チャコペンなどで、その位置に印を付けます。
- 7 刺しゅう枠をミシンから外して、最初の点と最後の点を結んで確認します。



- ずれていたり、交差していたら、布地の張り直し、模様の位置調整が必要です。

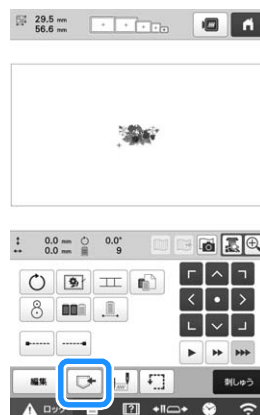
刺しゅう模様の記憶

模様を記憶させる

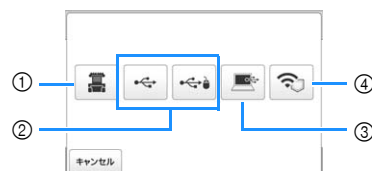
お願い

- [記憶中] の画面が表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。
- パソコンと本機が異なる無線LANで接続しているときは、模様データを無線で転送することができません。必ず同じ無線LANで接続してください。
- 使用可能なパソコンの OS については、P.192 「仕様」を参照してください。

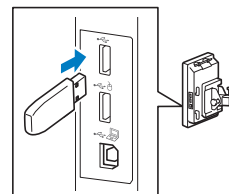
- 1 記憶したい模様を表示した状態で、縫製設定画面で  を押します。



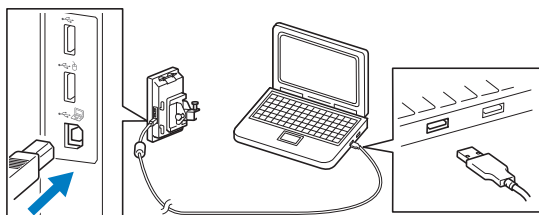
- 2 記憶先を押して、模様を記憶します。



- ① ミシンに記憶します。
- ② USB メディアに記憶します。模様は [bPocket] フォルダーに記憶されます。
USB メディアに模様を記憶する場合は、ミシンの USB ポートに USB メディアを差し込みます。



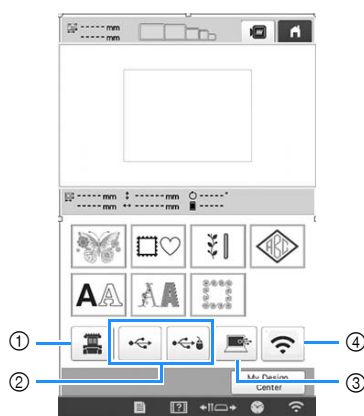
- ③ パソコンに記憶します。
パソコンに模様を記憶する場合は、付属の USB ケーブルでパソコンとミシンを接続します。ミシンのパソコン接続用の USB ポートに付属の USB ケーブルを差し込みます。
- 「リムーバブルディスク」内にある模様の .phx ファイルをパソコンにコピーします。



- ④ 無線 LAN 接続でパソコンに模様を記憶します。詳しい手順は、刺しゅう編集ソフトウェア（刺しゅう PRO 11 およびそれ以降のバージョン）の取扱説明書を参照してください。

模様を呼び出す

- 1** 呼び出し先を押して、呼び出したい模様を選択します。



- ① ミシンから呼び出します。
② USB メディアから呼び出します。
USB メディアから模様を呼び出す場合は、ミシンの USB ポートに USB メディアを差し込みます。
③ パソコンから模様を呼び出します。
パソコンから模様を呼び出す場合は、付属の USB ケーブルでパソコンとミシンを接続します。ミシンのパソコン接続用の USB ポートに付属の USB ケーブルを差し込みます。
④ 無線 LAN 接続から模様を呼び出します。詳しい手順は、刺しゅう編集ソフトウェア（刺しゅう PRO バージョン 11 およびそれ以降のバージョン）の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 呼び出したい模様が USB メディア内のフォルダーに格納されている場合は、そのフォルダーのキーを押します。1 つ前の画面に戻るには を押してください。

- 2** **セット** を押します。



- * 模様を他の記憶先に記憶するには を押して、記憶先を選択します。
- * 模様を削除するには を押します。

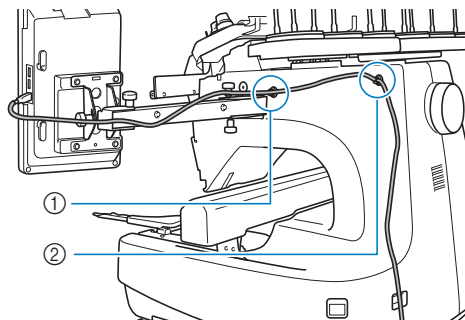
USB コードクランプを使用して USB 接続する

ミシンをパソコンに接続する場合は、付属の USB コードクランプを使い、コードがキャリッジの邪魔にならないように配線します。

付属のコードクランプ



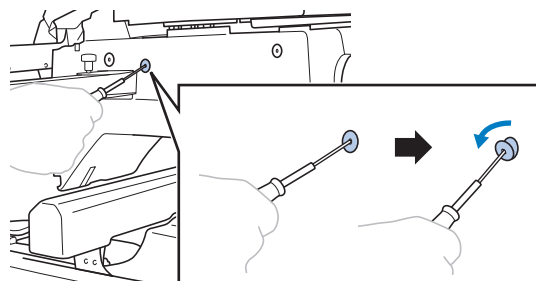
USB コードクランプの取り付け位置



- ① ミシン側面の前ネジ穴
② ミシン側面の後ろネジ穴

- 1** 付属の針交換ドライバーで、ミシン側面の前ネジ穴をカバーしている保護キャップを外します。

- 針交換ドライバーの先を保護キャップの穴に入れて引っ掛け、保護キャップを引き抜きます。



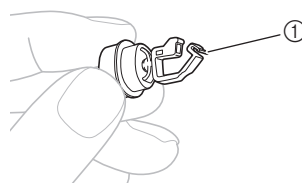
お願い

- 針交換ドライバーを保護キャップの穴の奥まで入れないでください。ミシンや針交換ドライバーが破損するおそれがあります。

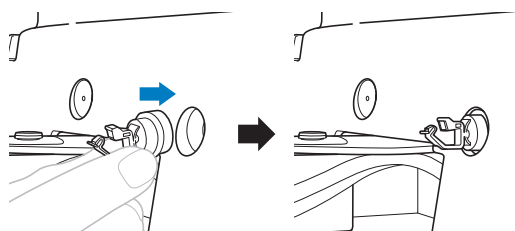
- 2** USB コードクランプを開きます。

- 爪でつまみを押して開きます。

① つまみ



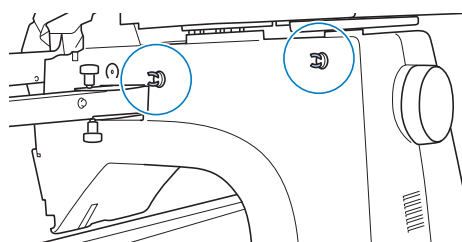
- ③ USB コードクランプのクリップの端を持ち、保護キャップを外したネジ穴に確実に差し込みます。



- ④ 手順①から③と同様に、マシン側面の後ろネジ穴の保護キャップを外し、USB コードクランプを差し込みます。

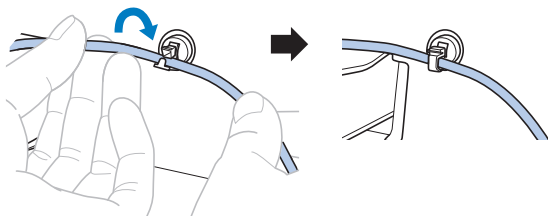
- ⑤ USB コードクランプがマシン側面の前ネジ穴と後ろネジ穴に、確実に差し込まれていることを確認します。

- USB コードクランプの差し込みが不十分な場合は、確実に差し込んでください。



- ⑥ USB ケーブルを USB コードクランプに通し、クランプを確実に閉じます。

- USB ケーブルをクランプに通すとき、無理な力をかけないでください。クランプが破損するおそれがあります。



- ⑦ 手順⑤と同様の手順で、後ろの USB コードクランプに USB ケーブルを通します。

- ⑧ マシンの操作の邪魔にならないよう、USB コードクランプ間の USB ケーブルを調整します。

お知らせ

- 手順①で外した保護キャップは、紛失しないよう付属の付属品ケースに入れて保管してください。

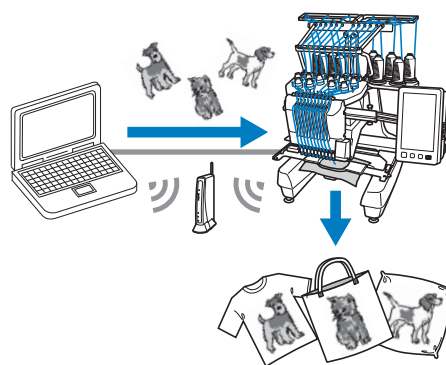
Link 機能～パソコンからミシンへ刺しゅうデータを転送する～

このミシンは、Link 機能に対応しています。この機能を使用すると、Link 機能付きの刺しゅう編集ソフトウェア（刺しゅうPRO NEXTおよびそれ以降のバージョンなど）で編集した刺しゅう模様を、パソコンから複数の刺しゅうミシンへ転送することができます。1 台の刺しゅうミシンへ 100 個の刺しゅう模様を転送することができます。また、転送中の模様の刺しゅう状態をパソコンの画面で見することもできます。

付属の USB ケーブルまたは無線 LAN で、ミシンとパソコンを接続してください。無線 LAN 経由での接続は、刺しゅう PRO 11 またはそれ以降のバージョンに対応しています。

Link 機能を使ってできる操作

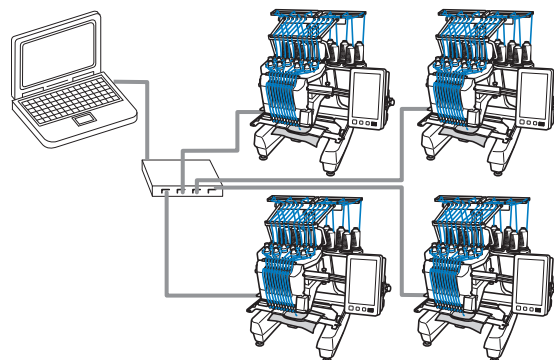
- 複数の刺しゅう模様を接続された刺しゅうミシンに送る



- 刺しゅうミシン（このミシン）の縫製状態をパソコンからチェックする

（USB ケーブル接続での複数のミシンの接続例）

- 最大 4 台のミシンが接続可能です。

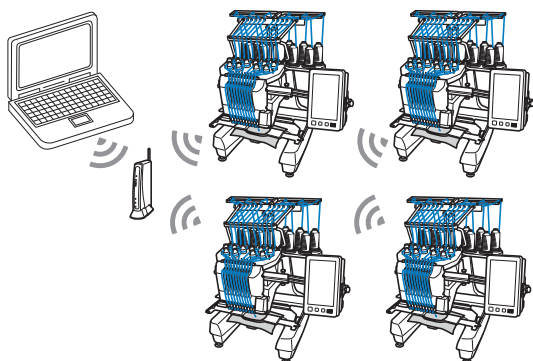


お知らせ

- 複数のミシンをパソコンに接続する場合は、市販の USB ハブを使用してください。電源内蔵タイプの USB ハブを使用することをお勧めします。USB 延長ケーブルやリピーターケーブルは使用しないでください。USB ハブについて詳しくは、USB ハブの操作説明書を参照してください。

(無線 LAN 接続での複数のミシンの接続例)

- 最大 10 台のミシンが接続可能です。



Link 機能を使って刺しゅうする

まず、刺しゅう編集ソフトウェアを使用してパソコンで刺しゅうミシンに転送する刺しゅう模様を作ります。

🔔 お願い

- Link 機能を使って刺しゅうできるのは、PES 形式 (.pes) と PEN 形式 (.pen) の刺しゅうデータです。
- Link 機能は、分割模様 (P. 141) には対応していません。
- 刺しゅうミシンに送信する模様の大さに合った刺しゅう枠を取り付けてください。

1 [目] を押し、[電] を押します。

→ ミシン本体設定画面が表示されます。

2 ミシン本体設定画面の [リンク] を表示します。

3 < または > で、[無線 LAN] または [USB ケーブル] を選びます。



4 [ON] を押して、Link 機能を有効にします。



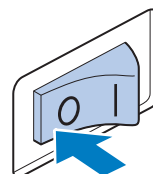
→ 次のメッセージが表示されたら、[OK] を押します。



📄 お知らせ

- [無線 LAN 有効] が [ON] のときに、USB ケーブル接続での Link 機能を有効にすると、[無線 LAN 有効] を [OFF] にするメッセージが表示されます。
- [無線 LAN 有効] が [OFF] のときに、無線 LAN 接続での Link 機能を有効にすると、[無線 LAN 有効] を [ON] にするメッセージが表示されます。

5 ミシンの電源を切ります。

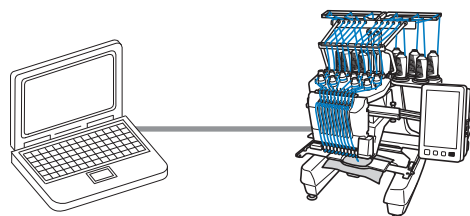


🔔 お願い

- ミシンを再起動するときは、電源を切って 5 秒ほど待ってから電源を入れてください。

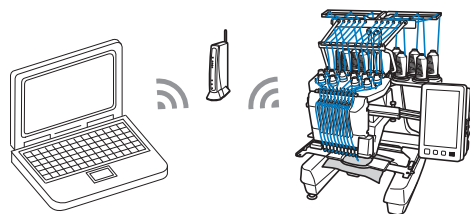
6 ミシンとパソコンを接続します。

- USB 接続の場合



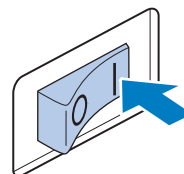
付属の USB コードクランプを使って、USB ケーブルを配線してください。(P. 132)

- 無線 LAN 接続の場合



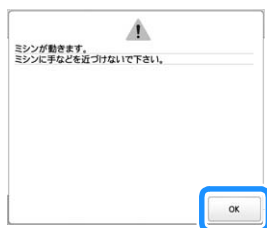
無線 LAN 接続について詳しくは、P. 28 を参照してください。

7 ミシンの電源を入れます。



8 刺しゅう PRO NEXT やそれ以降のバージョンなど、Link 機能付きの刺しゅう編集ソフトウェアを使用し、刺しゅう模様を Link モードのミシンに送信します。

- 9 次のメッセージが表示されたら、OK を押します。



- USB ケーブル接続の場合 ● 無線 LAN 接続の場合



→ マシンがパソコンに接続されている間は、マシンの液晶画面にメッセージが表示されます。



❓ お問い合わせ

- 刺しゅう編集ソフトウェアについて詳しくは、付属の取扱説明書を参照してください。



この Link ダイアログボックスは、刺しゅう PRO NEXT のものです。

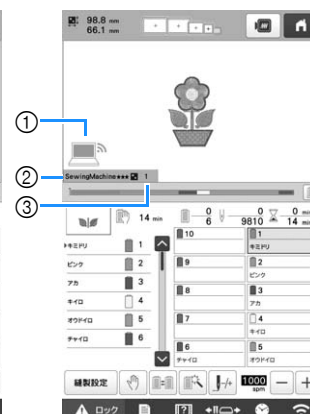
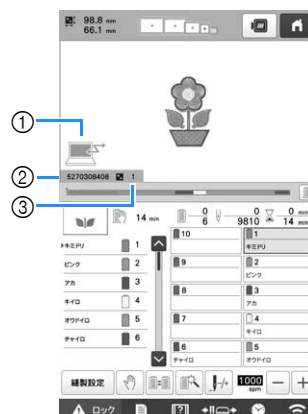
- 以下のエラーメッセージが表示された場合は、マシンに取り付けられた刺しゅう枠の種類が模様の大きさに合っていないかもしれません。模様の大きさに合った刺しゅう枠と取り替えてください。



- 10 ミシンに刺しゅう模様が転送されると、縫製画面が表示されます。

→ 刺しゅう模様が、Link 機能のアイコン付きで模様表示エリアに表示されます。

- USB ケーブル接続の場合 ● 無線 LAN 接続の場合



- ① Link 機能のアイコン
② 10 桁のマシン ID
③ 処理待ち中の模様の数
- ① Link 機能のアイコン
② マシン名
③ 処理待ち中の模様の数

📖 お知らせ

- 刺しゅうマシンをパソコンに接続している間は、刺しゅう編集ソフトウェアの機能を使用してマシンの状態が表示されます。複数の刺しゅうマシンを同時に接続している場合は、マシンの画面に表示されている 10 桁のマシン ID を使用してマシンの状態をチェックしてください。パソコンでは、以下の情報を見ることができます。
- マシンの状態
 - マシンから取得した縫製中の刺しゅうデータの情報（次にマシンが停止するまでの時間、色替え数、縫製時間、最大縫製速度、模様の大きさ、マシンで使用中の枠サイズ）

- 11 刺しゅう模様の刺しゅう設定を変更するには、縫製設定 を押してください。

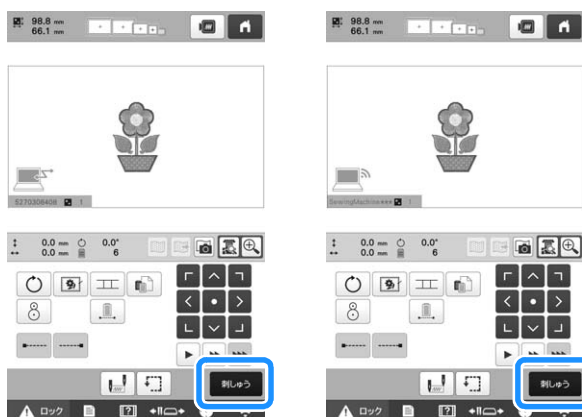
- 次のメッセージが表示されたら、OK を押します。キャンセル を押すと、縫製画面に戻ります。



→ 縫製設定画面が表示されます。

- 12 必要に応じて設定を変更した後、**刺しゅう** を押し、縫製画面に戻ります。

- USB ケーブル接続の場合
- 無線 LAN 接続の場合



- 13 **ロック** を押してから、スタート/ストップスイッチを押して刺しゅうを開始します。

→ 刺しゅうが終わったら、次のメッセージが表示されます。



- 14 コンピューターから送られた別の模様を開くには、**OK** を押し、手順 10 から繰り返して刺しゅうを続けます。

刺しゅうを停止するか、同じ模様をもう一度刺しゅうするには **キャンセル** を押します。

💡 お願い

- 刺しゅうが終わった後、**OK** を押して縫製を続けた場合でも、手順 12 で指定した縫製画面設定が記憶されます。

📖 お知らせ

- 刺しゅう中に刺しゅうミシンの電源を切ると、次に電源を入れたとき、続きからぬうことができます。

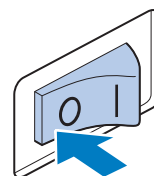
Link 機能を解除する

- 1 **メニュー** を押し、**設定** を押します。
→ ミシン本体設定画面が表示されます。
- 2 ミシン本体設定画面の **リンク** を表示します。
- 3 **[OFF]** を押して、Link 機能を無効にします。



→ Link モードを終了するかどうかを確認するメッセージが表示されたら、**OK** を押します。

- 4 ミシンの電源を切ります。



💡 お願い

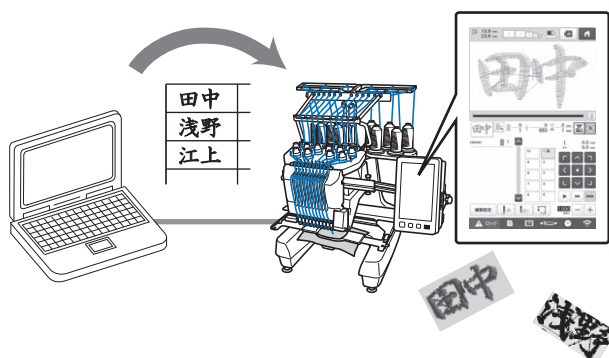
- ミシンを再起動するときは、電源を切って 5 秒ほど待ってから電源を入れてください。

ネーム刺しゅうをする（ネームモード）

ブラザーの刺しゅうネームソフトウェア「ネーム PRO」(別売) を使って編集したネーム刺しゅうデータを、USB ケーブル接続で直接ミシンに送ることができます。(ネーム刺しゅうデータを無線 LAN でミシンに送ることはできません。)

別売のネーム枠を合わせて使用すれば、ミシンの画面で仕上がりイメージを実際の縫製に近い状態で確認できます。

ネーム枠の種類や取り付け方の概要については、ネーム枠キットに付属の取扱説明書を参照してください。



1 色の糸でネーム刺しゅうする

ここでは模様を 1 色の糸でぬう場合について説明します。

- 1 [] を押し、[] を押します。
→ ミシン本体設定画面が表示されます。
- 2 ミシン本体設定画面の「ネームモード」を表示します。
- 3 [ON] を押して、ネームモードを有効にします。



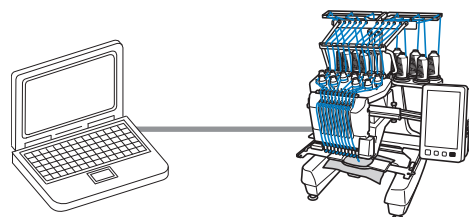
→ 次の画面が表示されたら、[OK] を押します。



- [無線 LAN 有効] が [ON] のときに、ネームモードを有効にすると、[無線 LAN 有効] を [OFF] にするメッセージが表示されます。

- 4 ミシンの電源を切ります。

- 5 付属の USB ケーブルを、パソコンの USB ポートおよびミシンの USB ポートに差し込みます。

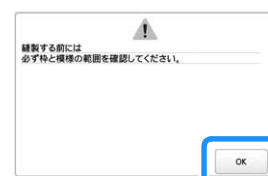


- 6 ミシンの電源を入れます。

- 7 画面の注意事項を確認して、[OK] を押します。



→ 次の画面が表示されます。画面の内容を確認して、[OK] を押します。



- 8 [] を押し、[] を押します。
→ 刺しゅう設定画面が表示されます。
- 9 刺しゅう設定画面の「針棒設定」を表示します。
- 10 ネーム刺しゅうに使用したい糸色を針棒設定します。(P. 122)

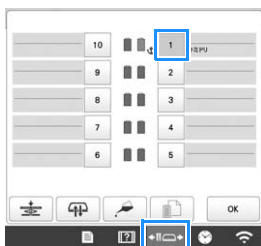


→ 選んだ糸色が設定され、糸こまに糸色・碇マークが表示されます。



① 糸色・碇マーク

- 11 を押して、10で針棒設定した針棒を選択します。



お知らせ

- 前回ミシンの電源を切るときにネームモードを使用していた場合は、次の起動時は自動的に前回と同じ針棒の位置に移動します。

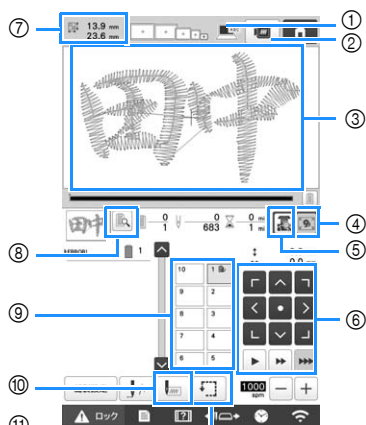
- 12 を押します。

- 13 ブラザーの刺しゅうネームソフトウェア「ネームPRO」を使って、パソコンからネーム刺しゅうデータを転送します。

お願い

- 「ネームPRO」の使い方については、「ネームPRO」に付属の取扱説明書を参照してください。

→ 模様表示エリアに転送したネーム刺しゅうデータが表示されます。



- ① ネームモードアイコン

 : ネーム刺しゅうデータを受信／更新できます。

 : ネーム刺しゅうデータを受信／更新できません。

- ② 仕上がりイメージを確認したい場合に押します。
③ 模様表示エリア
④ 模様表示エリアの表示拡大率を切り替えます。転送直後は、最大表示されています。キーを押すと、拡大率が100%に切り替わります。再度押すと、最大表示に戻ります。
⑤ 内蔵カメラが起動し、仕上がりイメージを確認することができます。
⑥ ぬう位置、枠の移動の速さを調整します。使い方は、通常モードの縫製設定画面と同じです。(P. 71)
⑦ 模様の大きさを表示します。

- ⑧ 模様表示エリアの、1 模様表示／全模様表示を切り替えます。

1 模様表示 (): 縫製中のユニットのみを表示します。

全模様表示 (): 転送した全ユニットを表示します。

- ⑨ 単色ぬい設定時に、縫製に使われる針棒を指定することができます。
⑩ ぬい始めの針位置を設定することができます。
⑪ 押すと、刺しゅう枠が移動して、ぬう位置を確認することができます。

* ⑥⑦⑩⑪は、

1 模様表示のとき：縫製中、または直後に縫製する 1 ユニットが対象になります。

全模様表示のとき：転送した全ユニットが対象になります。

その他の表示・キーは、通常モードの縫製画面と同じです。(P. 91)

お知らせ

- 「ネームPRO」から転送されたネーム刺しゅうデータはDST形式のため、画面上では糸色が設定されていない状態で表示されます。(糸色が黒く表示されます。)

なお、次の条件がすべて揃うと、設定した糸色でネーム模様が表示され、仕上がりイメージを画面上で確認することができます。

- ・ 単色ぬい設定している (P. 139 手順 15)
- ・ 使用する針棒に糸色を設定している (P. 122)
- ・ 糸色設定した針棒を針棒選択している (P. 88)

- 転送されたネーム刺しゅうデータが、装着されている枠の縫製範囲を超える場合は、[この刺しゅう枠でぬうことはできません。大きい枠に取り替えて下さい。] というメッセージが表示されます。より大きな枠に取り替えて  を押してください。

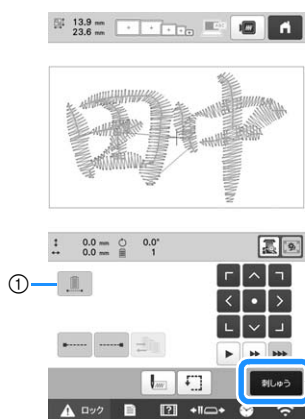
 を押すと、ネーム刺しゅうデータ転送前の画面に戻ります。

- 14 を押します。

→ 次の画面が表示されます。  を押して、縫製設定に進みます。



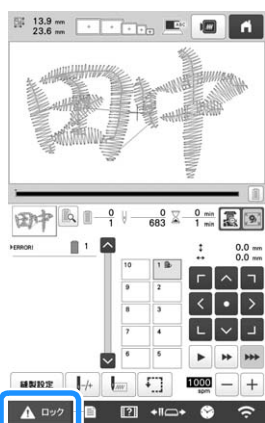
15 必要に応じて縫製の設定をします。



- ① 単色ぬいキーが  になっている場合は、 にします。
- 縫製設定画面の各種設定については、P. 71、P. 138 を参照してください。
 - 模様表示エリアの表示が小さい場合は、 を押すと拡大表示できます。もう一度  を押すと元に戻ります。

16 縫製設定画面ですべての設定を終えたら、**刺しゅう** を押します。

17 ロック、スタート/ストップスイッチを押してぬいます。



→ 縫製が終わると、ぬい終わったことをお知らせするメッセージが表示されます。

18 **OK** を押します。

- 次に刺しゅうするネーム刺しゅうデータを転送すると、模様表示エリアにネーム刺しゅうデータが表示されます。手順 14 に戻って操作を繰り返し、縫製を続けます。

お知らせ

- 縫製設定画面で変更された設定内容は、手順 18 で **OK** を押した後もそのまま保持されます。
- 台枠 E を取り付けると、設定画面で枠を検知しない設定を選ぶことができます。



 注意



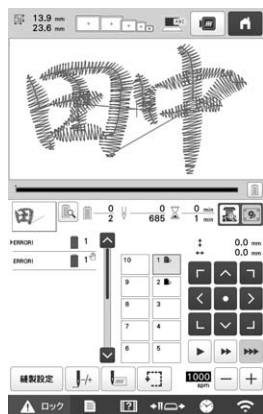
- 台枠 E を検知しない設定のときは、縫製前に必ず枠と模様の範囲を確認してください。

2色以上の糸を使ってネーム刺しゅうする

ここでは単色ぬいを解除して、模様を2色以上でぬう場合について説明します。

- 1 ブラザーの刺しゅうネームソフトウェア「ネームPRO」を使って、パソコンから色替情報を設定したネーム刺しゅうデータを転送します。

- ネーム刺しゅうデータに色替情報を設定する方法については、「ネームPRO」に付属の取扱説明書を参照してください。



- 2 **縫製設定** を押します。

→ 次の画面が表示されます。 **OK** を押します。



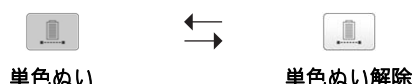
- 3 **単色ぬい解除** を押して、単色ぬいを解除します。

- 単色ぬい設定は、ミシンの電源を切った後も最後の設定が保持されます。

単色ぬい解除 キーが薄く表示されていれば、多色ぬいができます。キーを押すことによって単色に戻ってしまったときは、再度押してください。



- 単色ぬいが解除されると、糸色が黒で表示されます。



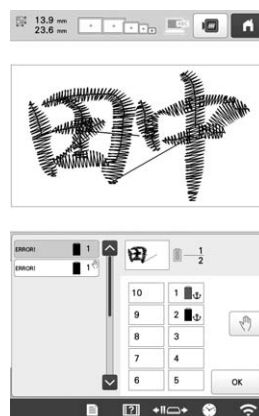
お知らせ

- ネームPROで設定した糸色を針棒にあらかじめ割り当てておくと、設定した糸色を画面上で再現することができます。(P. 137 手順 8 から 10)

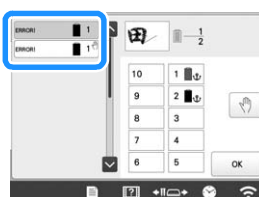
- 4 **針棒選択** を押します。



→ 針棒選択画面が表示されます。

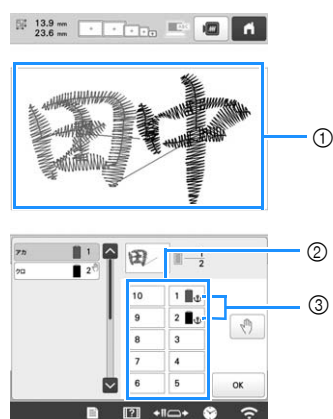


- 5 **ぬい順表示** を押して、糸色を変更したい部分を選びます。



- 6 設定したい針棒番号を押します。

- 糸色設定されている針棒には、糸色が表示されます。糸色設定された針棒番号を押した場合、模様表示エリアに設定された糸色で模様が表示されます。



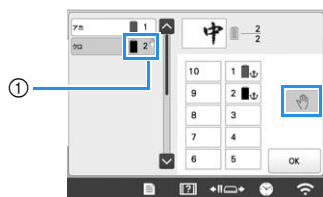
- ① 糸色設定された糸色で表示されます。
- ② 針棒番号
- ③ 糸色設定された針棒

お知らせ

- 単色ぬいが解除された状態で、針棒を選択しない場合は、自動的に1番の針棒でぬわれます。

7 ぬい順表示を押して、が表示されている糸こまを選びます。

8 を押して、ポーズ設定を解除します。
糸こまが替わっても一時停止せず最後まで連続して刺しゅうをぬうことができます。



① ポーズ設定された糸こま

お知らせ

- あらかじめ設定した糸色をそのときだけ変更したいときには、ポーズ設定を解除（手順 7、8）しないで手順 9 に進んでください。糸替え時にミシンが一時停止します。ミシンが一時停止したら、変えたい色の糸色設定と針棒設定をした上で、ロック解除キー、スタートスイッチを押して、縫製を続けます。ポーズ設定されている針棒に替わって一時停止したときに、必要に応じて、この操作を繰り返してください。
- 1 模様表示のときは、ポーズ設定を解除することができません。

9 を押します。

10 を押します。

11 、スタートスイッチを押してぬい始めます。

ネームモードを解除する

1 を押し、を押します。
→ ミシン本体設定画面が表示されます。

2 ミシン本体設定画面の「ネームモード」を表示します。

3 [OFF] を押して、ネームモードを無効にします。
→ ネームモードを終了するかどうかを確認するメッセージが表示されたら、を押します。

4 ミシンの電源を切ります。

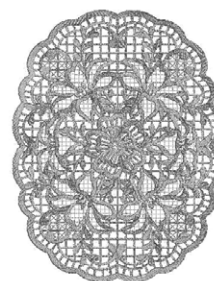
刺しゅうの応用

分割模様をぬう

刺しゅう PRO 7 以降のバージョンで作成した分割模様をぬうことができます。大型の刺しゅう模様の場合は、刺しゅう枠よりも大きな刺しゅうデザインが複数のセクションに分割され、それぞれのセクションをぬい終わった後にそれを組み合わせて 1 つの模様を作ることになります。

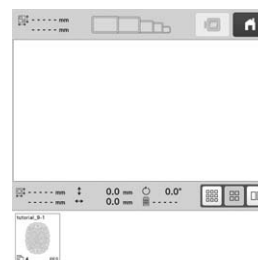
分割模様の作成およびより詳しいぬい方については、刺しゅう PRO に付属している取扱説明書を参照してください。

以下の手順は、USB メディアから下図の分割模様を呼び出し、刺しゅうする方法を説明しています。



1 作成した分割模様が保存されたメディアをミシンに接続し、刺しゅうしたい分割模様を選びます。

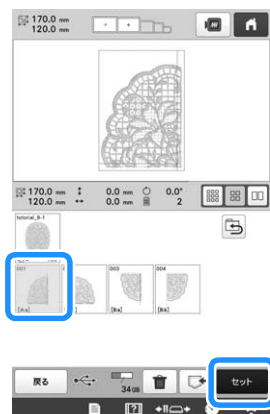
- 模様の呼び出しについて詳しくは、P. 132 を参照してください。



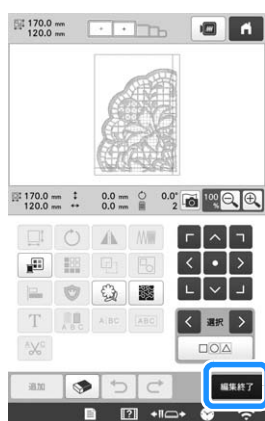
→ 分割模様の場所を選択するための画面が表示されます。

2 刺しゅうする部位を選んで、**セット**を押します。

- 部位をアルファベット順に選びます。



3 必要に応じて、模様を編集し、**編集終了**を押します。

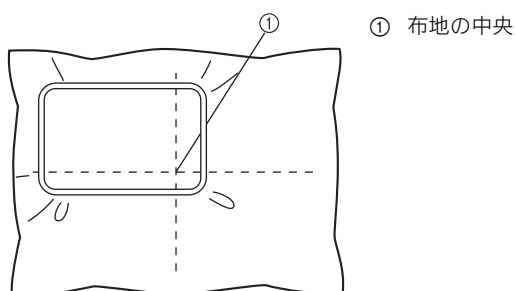


- 詳しくは、P.47「模様の編集」を参照してください。

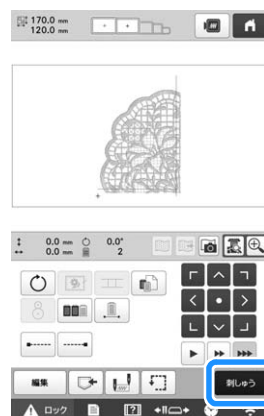
4 模様の高さを確認した上で、適切な布地と刺しゅう枠を選びます。

- 組み合わされた模様の高さに合った布地を選ぶようにしてください。

5 布地の適切な部分に刺しゅう枠をセットします。この場合は、布地の左上の部分に刺しゅう枠をセットします。



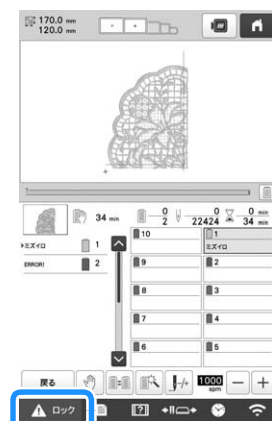
6 **刺しゅう**を押します。



お知らせ

- を押すと、模様を左または右方向に回転させることができます。

7 **ロック**を押し、スタート/ストップスイッチを押してその模様部位の刺しゅうを始めます。



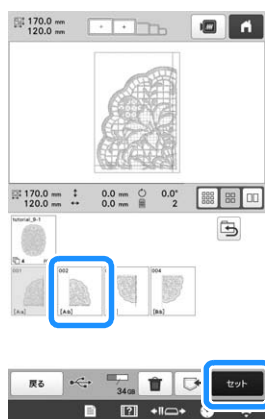
お願い

- 模様部位の最後のぬい目は、位置合わせの印となります。このぬい目を使用して、隣の模様部位を配置します。

8 刺しゅうが終わったら、次のパーツを縫製するかどうかを確認するメッセージが表示されます。**OK**を押します。

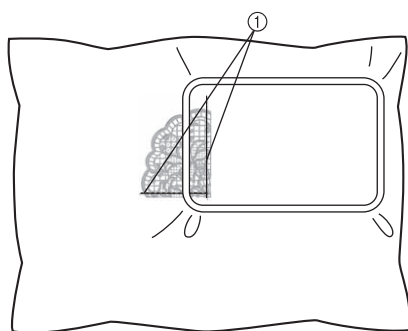
→ 分割模様の部位を選択するための画面が表示されます。

- 9  を押し、模様の次の部位を選んでから **セット** を押します。



- 10 **編集終了** を押して、**刺しゅう** を押します。

- 11 位置合わせのぬい目に合わせて次のデザイン部位の布地を刺しゅう枠にセットします。この場合は、手順 6 で刺しゅうしたデザイン部位の右側に刺しゅう枠の左側を合わせます。



① 位置合わせ用のぬい目

🔍 お願い

- 位置合わせ用のぬい目が刺しゅう領域の中にすべて入るようにします。刺しゅうシートを刺しゅう枠の内側にセットし、グリッドを位置合わせ用のぬい目に合わせると簡単に配置することができます。

- 12 手順 7 から 10 を繰り返し、模様の子の部位を組み合わせていきます。

付属のワイドテーブルを取り付ける

⚠ 注意

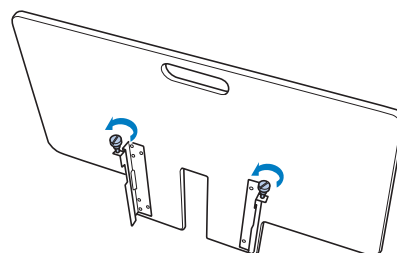


- 別売のマグネット原反枠、ボーダー枠、キルト枠、平枠、ジャンボ枠を使うときは、ワイドテーブルを取り付けてください。ワイドテーブルを取り付けないと、刺しゅう枠と布地の重みで枠が傾き、刺しゅうの仕上がり品質が低下します。

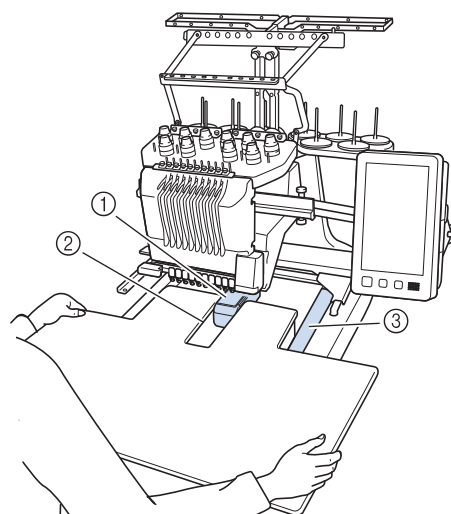
🔍 お願い

- ワイドテーブルを持ち運ぶ際は、両手でしっかりと持ってください。
- 刺しゅう枠をセットする前にワイドテーブルを取り付けてください。
- ミシンに取り付けたワイドテーブルの上に重い物を置いたり、上から押えつけないでください。
- ワイドテーブルの取り付けが不要な刺しゅう枠を使用する場合、ワイドテーブルを取り外してください。筒状の物・バッグや帽子をぬう場合は、ワイドテーブルを使用することができません。

- 1 2本のつまみボルトを5～6回、回してゆるめます。

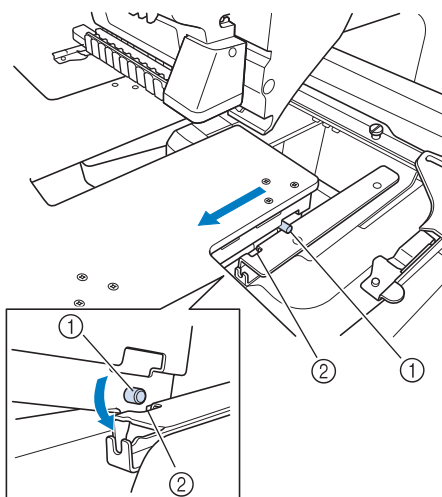


- 2 ワイドテーブルの中心の切り込みが、ミシン台に入るように置いて、ワイドテーブル支え板を水平に持ちます。



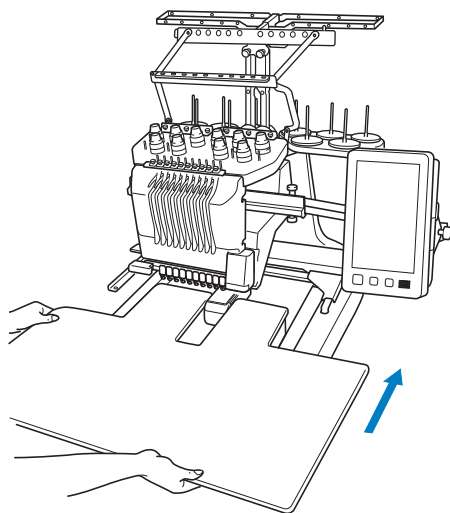
- ① ミシン台
- ② ワイドテーブルの切り込み
- ③ ワイドテーブル支え板

- 3** ワイドテーブル裏側に2箇所ある取り付け金具のピンがワイドテーブル支え板の切り込みと位置が合うまで、ワイドテーブルをゆっくりと引き出します。

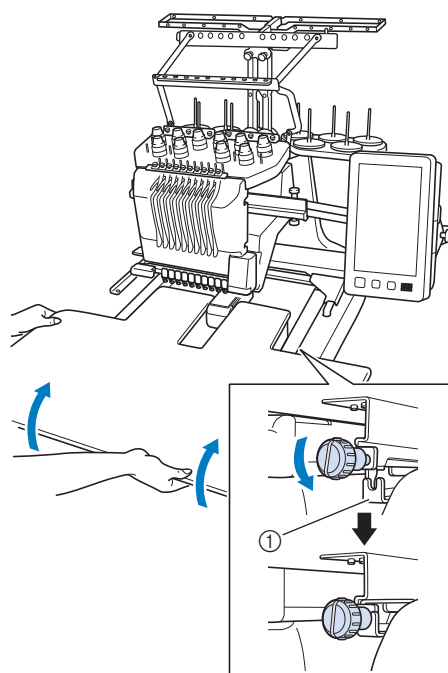


- 4** ワイドテーブルが水平になるように支えながら奥に押し込みます。ワイドテーブルの端がミシンに軽く当たるまで押します。

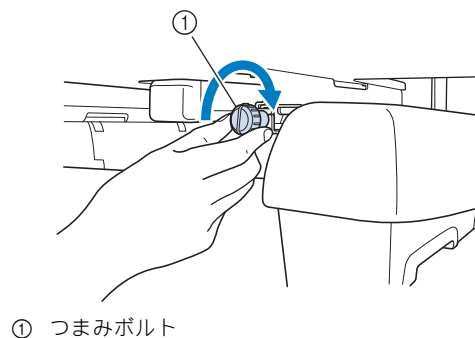
- ワイドテーブルがスムーズに動かない場合は、軽く持ち上げてから押し込んでください。



- 5** ワイドテーブルを軽く持ち上げ、下を見ながら、ワイドテーブル支え板の前方にあるミゾにつまみボルトが入るように下げます。

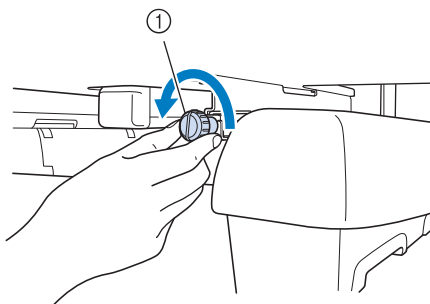


- 6** 2本のつまみボルトをしめて、ワイドテーブルを固定します。

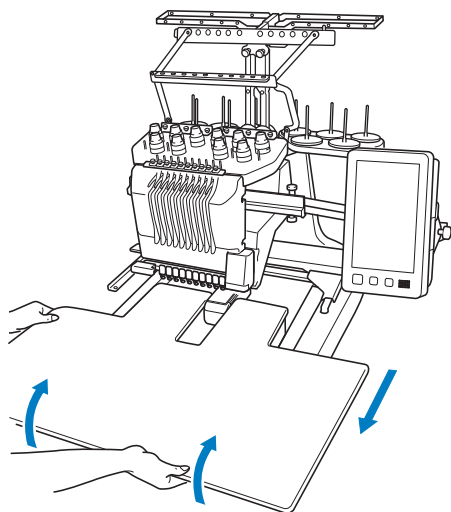


ワイドテーブルの取り外し方

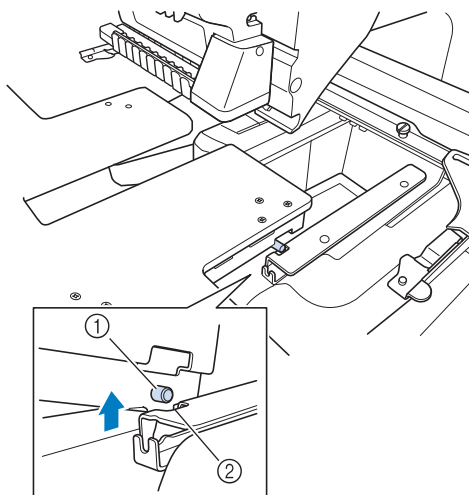
- 1** 2本のつまみボルトをゆるめ、ワイドテーブルを持ち上げてから、手前に引き出します。



① つまみボルト



- 2** ワイドテーブル支え板の切り込みから、ワイドテーブルのピンがそれぞれ見えたら、切り込みからピンが出てくるようにワイドテーブルを持ち上げます。

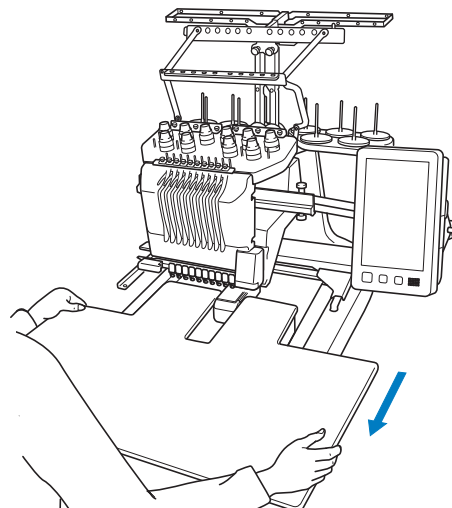


① ピン

② 切り込み

→ ミシンからワイドテーブルを取り外します。

- 3** ミシンにぶつけないように注意しながら、ワイドテーブルを引き出します。



- 4** ワイドテーブルのつまみボルトをしめます。

3

別売のジャンボ枠で刺しゅうする

ジャンボ枠 (別売) を使って刺しゅうする模様は、刺しゅう編集ソフトウェア刺しゅう PRO NEXT 9.21 以降のバージョンで作ることができます。ジャンボ枠を使用するときは、付属のワイドテーブルをご使用ください。

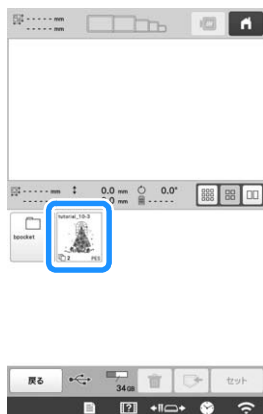
刺しゅう編集ソフトウェアでジャンボ枠用の模様を作ると、1つの組み合わせ模様に縫製されるように、自動的に2つの部位に分割されます。ジャンボ枠を使うと、刺しゅう枠の布地の張り替えをしないうで、最大ヨコ 350mm× タテ 350mm の模様を刺しゅうすることができます。

刺しゅうPRO NEXTでジャンボ枠用の模様を作成する方法に関しては、ブラザーのサポートサイト (<http://s.brother/cmpkc/>) をご覧ください。

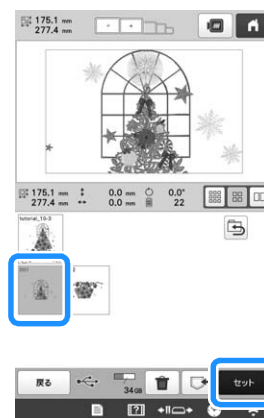
刺しゅう PRO 10 以降のバージョンについては、お使いの刺しゅう PRO の取扱説明書を参照ください。ジャンボ枠用の模様を作成後は、次の説明に従って、外部メモリーを使いミシンに転送し、刺しゅうします。

1 ジャンボ枠用の模様が記録されているメディアをミシンに接続し、模様選択画面でその模様を選びます。

- 模様の呼び出しについて詳しくは、P. 132 を参照してください。



2 を押して最初にぬう部位を選び、**セット** を押します。



💡 お願い

- ジャンボ枠用模様をぬう前に、別売のジャンボ枠を用意してください。
- 別売のジャンボ枠の購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



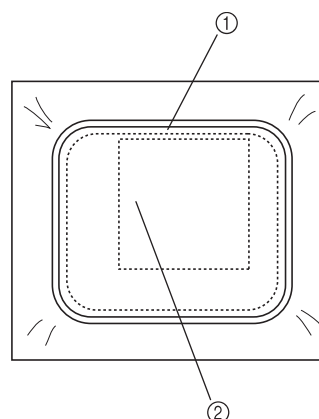
- 布地や衣類をジャンボ枠に張った後は、補助テーブルに対して枠が水平になるように、内枠が外枠より低い位置にあることを確認してください。

3 模様の大きさを確認し、別売のジャンボ枠に十分な大きさの布地を張ります。

- 別売のジャンボ枠の布地の張り方については P.65 「枠に布地を張る」 を参照してください。

💡 お願い

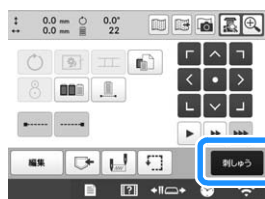
- 布地を張る際は、模様と枠の内側に 10mm 以上のスペースができるように模様を配置してください。



- ① 10mm 以上
- ② 模様がぬわれる範囲

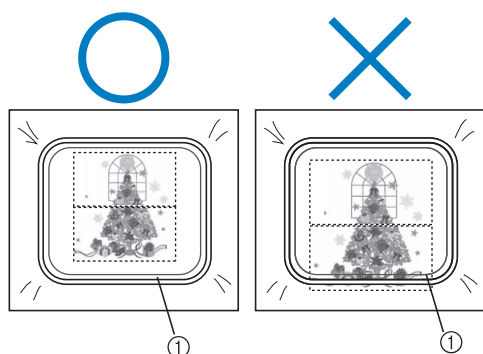
4 ジャンボ枠をミシンにセットします。

5 刺しゅうを押します。



お願い

- 2つ目の部位の縫製範囲が、ジャンボ枠からはみ出していないことを確認してください。縫製範囲を超えて位置を変更することはできません。



① 縫製範囲

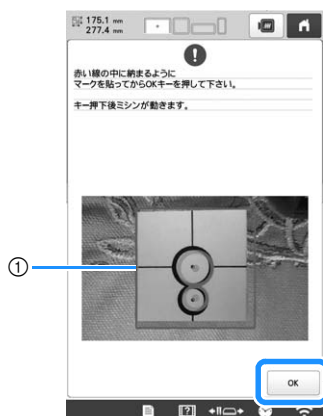
6 ロックを押し、スタート/ストップスイッチを押して1つ目の部位をぬい始めます。

7 1つ目の部位がぬい終わると、次のパーツを縫製するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

OKを押します。

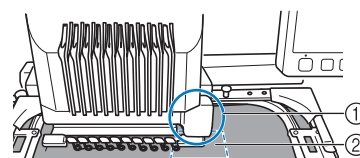
8 画面に、針位置を検出する領域が赤い枠で囲まれて表示されます。画面を見ながら、赤い枠内に収まるように、刺しゅう位置合わせシールを布地に貼り、

OKを押します。



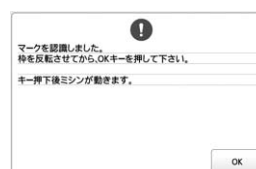
① 赤い四角

- 検出する領域は、内蔵カメラの下です。



- ① 内蔵カメラはこのボックス内にあります。
- ② ここに刺しゅう位置合わせシールを貼ります。

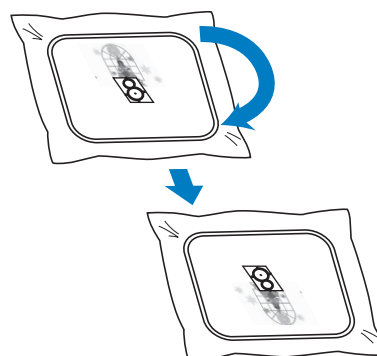
9 内蔵カメラが刺しゅう位置合わせシールを検出すると、次のメッセージが表示されます。



お願い

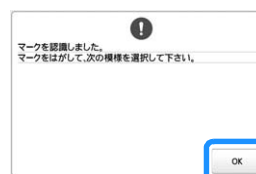
- 内蔵カメラが刺しゅう位置合わせシールを検出できないときは、マークが見つからないというメッセージが表示されます。OKを押して、再度手順8からやり直してください。

10 ミシンからジャンボ枠を外し、180度回転させて、ミシンにセットし直します。



11 OKを押して、刺しゅう位置合わせシールの位置の検出を開始します。

12 内蔵カメラが刺しゅう位置合わせシールを検出すると、次のメッセージが表示されます。OKを押します。

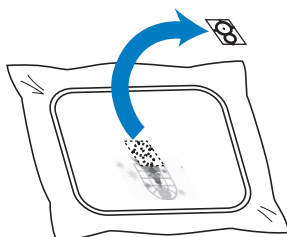


💡 お願い

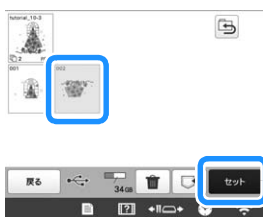
- 内蔵カメラが刺しゅう位置合わせシールを検出できないときは、次のメッセージが表示されます。**OK** を押して、再度手順 **8** からやり直してください。



- 13** 刺しゅう位置合わせシールを布地からはがします。



- 14**  を押して次にぬう部位を選択し、**セット** を押します。



- 15** **刺しゅう** を押します。

- 16**  **ロック** を押し、スタート/ストップスイッチを押して2つ目の部位をぬい始めます。

第4章 マイデザインセンター

マイデザインセンターについて

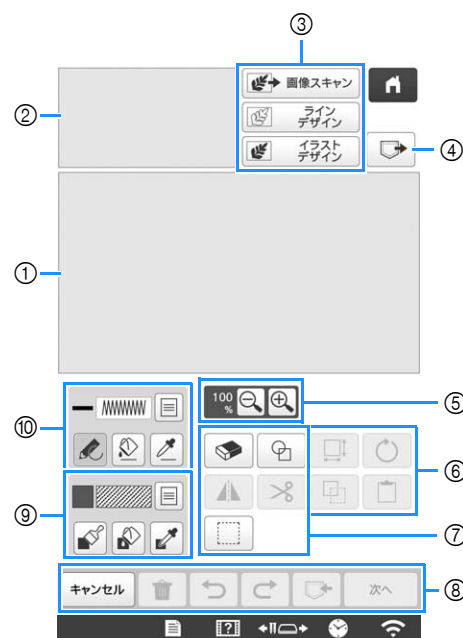
マイデザインセンターで、以下の機能を使用することができます。

- 手描き機能 - 液晶画面に模様を描いて、刺しゅう模様を作成します。
- スキャン機能 - 内蔵カメラで線画やイラストをスキャンして刺しゅう模様を作成できるほか、USB メディアやパソコンからデータを取り込んで刺しゅう模様を作成することができます。

また、作成した刺しゅう模様と内蔵模様を組み合わせることもできます。

模様選択画面の **My Design Center** を押して、マイデザインセンターを起動します。

ドロー画面について



- ① ドローエリア
- ② リファレンスウィンドウ

お知らせ

- ドローできる領域は、刺しゅう枠の縫製範囲内と同じ 360mm × 200mm です。作成した模様が、予想より大きい場合があります。その場合は、デザインを刺しゅうデータに変換したあと、模様のサイズ調整を行ってください。
- ドローエリアで拡大した模様の一部を表示させているときでも、リファレンスウィンドウには模様全体が表示されます。リファレンスウィンドウに表示される赤い枠は、ドローエリアで表示している部分を示します。赤い枠を指またはタッチペンで動かすと、連動してドローエリアの表示も変わります。

■ キーのはたらき

番号	画面表示	はたらき	参照ページ
	名称		
③	 画像スキャン	マイデザインセンターを使用中にキーを押すと、取り付けた枠をスキャンしてドローエリアの背景に表示します。布地を背景としてスキャンする、または模様を作るための参考として絵などをスキャンすることができます。	P. 160
	画像スキャンキー		
	 ラインデザイン	キーを押すと、内蔵カメラでスキャンした線画を編集して、刺しゅうデータに変換します。また、 USB メディアやパソコンから取り込んだ線画から、刺しゅう模様を作ることもできます。	P. 162
	ラインデザインキー		
	 イラストデザイン	キーを押すと、内蔵カメラでスキャンしたイラストを編集して、刺しゅうデータに変換します。また、 USB メディアやパソコンから取り込んだイラストから、刺しゅう模様を作ることもできます。	P. 164
	イラストデザインキー		
④	 呼び出し	マシン本体や USB メディア、パソコンからマイデザインセンターに模様データを呼び出します。	—
	呼び出しキー		
⑤	 100% 拡大縮小	模様を拡大縮小表示します。	P. 152
	拡大キー		
⑥	 回転	選択部分を回転します。	—
	回転キー		
	 サイズ	選択部分の大きさを変更します。	P. 166
	サイズキー		
	 貼り付け	複製または切り取られた範囲を貼りつけます。	—
	貼りつけキー		
	 複製	選択部分を複製します。複製直後は拡大や縮小、回転、移動などができます。	—
	複製キー		

番号	画面表示	はたらき	参照ページ
	名称		
⑦	 スタンプ	スタンプ図形を選択します。	P. 154
	スタンプキー		
	 消しゴム	描いた線や図形を消します。消しゴムの大きさや形を選択できます。	P. 154
	消しゴムキー		
	 左右反転	選択範囲を左右反転し貼り付けます。	—
	左右反転キー		
	 切り取り	選択部分を切り取ります。	—
	切り取りキー		
	 選択	描いた線や図形の移動やコピー、消去、サイズ変更、回転をするときに、選択範囲を指やタッチペンで指定します。	P. 155
	選択キー		
⑧	 次へ	キーを押すと、ステッチ設定画面に変わります。	—
	次へキー		
	 記憶	作成した模様データを記憶します。	—
	記憶キー		
	 やり直し	戻るキーで取り消した操作をやり直します。キーを押すたびに操作が1つずつやり直されます。	—
	やり直しキー		
	 戻る	最後の操作を取り消して、直前の状態に戻ります。キーを押すたびに操作が1つずつ取り消されます。	—
	戻るキー		
	 全削除	線や図形データをすべて削除して、起動時の白紙の状態にします。取り込んだ下絵も削除されます。	—
	全削除キー		
	 キャンセル	キーを押すとマイデザインセンターを終了します。すべての線や図形データが消去されます。	—
	キャンセルキー		
	キャンセルキー		
⑨	 ブラシツール	ブラシで描いたり、ブラシの色を設定したりすることができます。ブラシの種類やタタミぬいの種類、色などを好みに合わせて選択できます。ブラシで描いた線や塗りつぶした面は、タタミぬいの刺しゅうデータに変換されます。  を押すと、ドローエリアに配置された面模様からブラシの色やタタミぬいの種類を抽出します。抽出した色は、ボタンの横または面プロパティ画面の「選択中の色」として示されます。	P. 152
	ブラシツールキー		

番号	画面表示	はたらき	参照ページ
	名称		
⑩	 ペンツールキー	線を描いたり、線の色を設定したりすることができます。線の種類やステッチの種類、色などを好みに合わせて選択できます。  を押すと、ドロエリアに配置された線模様から線の色やステッチの種類を抽出します。抽出した色は、ボタンの横または線プロパティ画面の「選択中の色」として示されます。	P. 151

模様を作る前に

[枠表示] で中心表示、グリッド表示を選択すると、マイデザインセンターのドロエリアに反映されます。
 使用できる刺しゅう枠やグリッドの種類について、詳しくはP.124「ガイド表示を切り替える」を参照してください。

1 使用する枠をセットします。

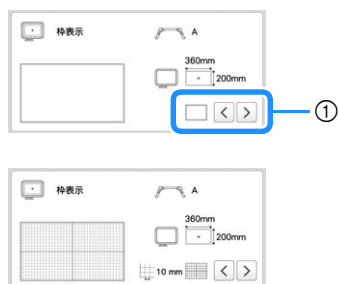
お知らせ

- 設定画面で枠の種類は変更できません。

2 を押し、 を押します。

→ 刺しゅう設定画面が表示されます。

3 [枠表示] でグリッド表示を選択します。

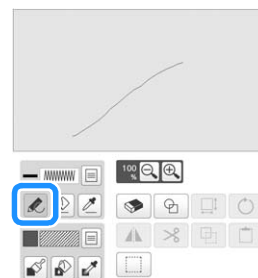


① グリッドの種類

* 10mm または 25mm のグリッドが選択できます。

線を描く

1 を押して、線を描きます。



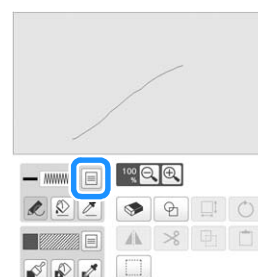
お知らせ

-  を押すと、線と区別するために、面部分の表示が薄くなります。

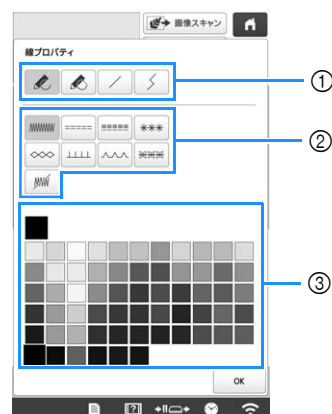
■ 線やステッチの種類、色を設定する

線やステッチの種類、色はいつでも設定や変更ができます。また、線を描く前にこれらを設定することもできます。

1 を押して、線やステッチの種類、色を設定します。



→ 設定画面が表示されます。



① 線の種類

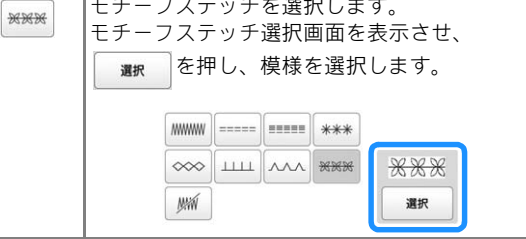
② ステッチの種類

③ 線の色選択：線を描くペンの色を、カラーパレットから選択します。

線の種類

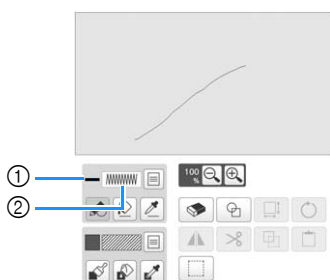
	手書き線を描きます。
	手書き線を描きます。線は自動的に始点と終点を結びます。
	直線を引きます。
	選択した位置毎に直線の向きが変わります。始点の近くに終点を作ると、閉じた図形が作られます。

ステッチの種類

	サテンぬい
	走りぬい
	3重ぬい
	キャンドルウィックステッチ
	チェーンステッチ
	E ステッチ
	V ステッチ
	モチーフステッチを選択します。 モチーフステッチ選択画面を表示させ、 選択 を押し、模様を選択します。
	
	作成する領域の線をぬわないようにします。 領域を作成すると、灰色の線で区別されます。

2 OK を押して、ドロー画面に戻ります。

- 選択したステッチの種類と色を確認することができます。
- * ステッチの種類を変更しても、線の表示は変わりません。設定したステッチの種類は、ステッチ設定画面で確認できます。

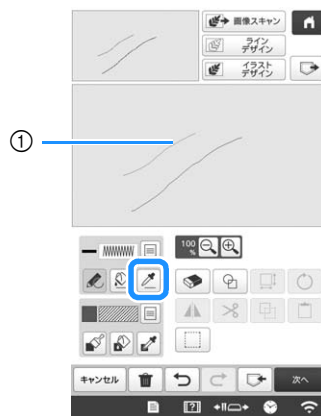


- ① カラーバー
② ステッチの種類

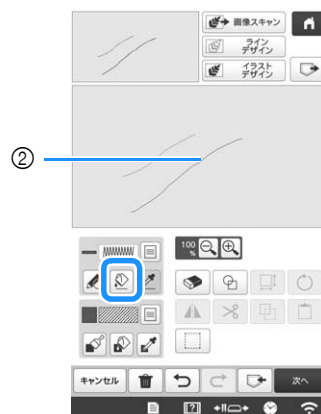
3  を押してから線を選択すると、線がカラーバーの色に変わります。
→ 繋がっている線も選択した色に変わります。

お知らせ

- 線をうまく選択できないときは、 を押して拡大表示してください。
-  を押してから、ドローエリア内の模様の色を選択すると、他の線や模様の一部に線の色を適用できます。



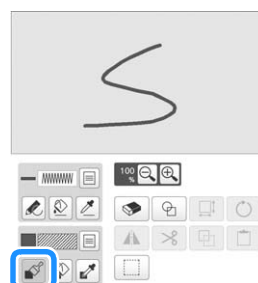
①  を使い、線の色を選択します。



②  を押してから線の色を変えたい模様を選択すると、色やステッチの種類が変わります。

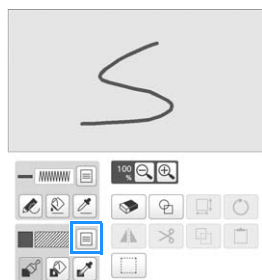
模様を塗る

1  を押してブラシで塗ります。

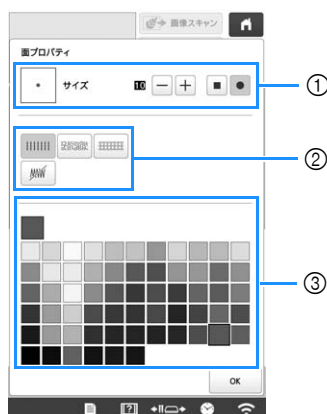


■ ブラシの種類とタタミぬいの種類、塗りつぶしの色を設定する

- 1 [] を押して、ブラシの種類とタタミぬいの種類、塗りつぶしの色を設定します。



→ 設定画面が表示されます。



- ① ブラシの種類
② タタミぬいの種類
③ 塗りつぶす色の選択：ブラシの色を、カラーパレットから選択します。

ブラシの種類

	角ブラシ	
	丸ブラシ	

ブラシの太さを変更するには、 または を押します。

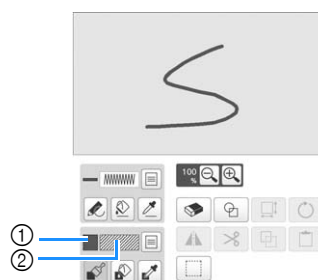
タタミぬいの種類

	タタミぬい
	ステッピング
	装飾タタミぬいを選択します。 タタミぬい模様の選択画面を表示させ、 [選択] を押し、模様を選択します。

タタミぬいをしたくない時は、 を選択します。

- 2 [OK] を押して、ドロー画面に戻ります。

→ 選択したステッチの種類と色を確認することができます。

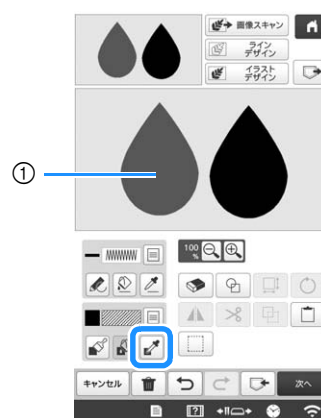


- ① カラーバー
② タタミぬいの種類
* ステッピングや装飾タタミぬいを選択中は、その設定が表示されます。

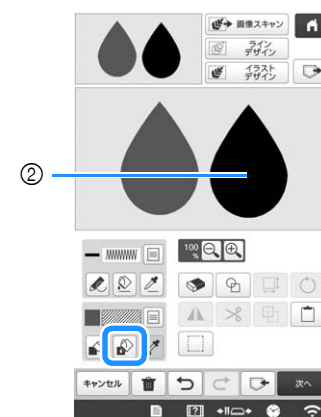
- 3 [] を押してからブラシの線を選択すると、色とタタミぬいの種類が変更されます。設定した塗りつぶしの色は、えんぴつやブラシで作った閉じた線にも適用できます。

お知らせ

- 塗りつぶす領域をうまく選択できないときは、 を押して拡大表示してください。
- を押してから、ドローエリア内の模様の色を選択すると、他の模様に塗りつぶしの色を適用できます。



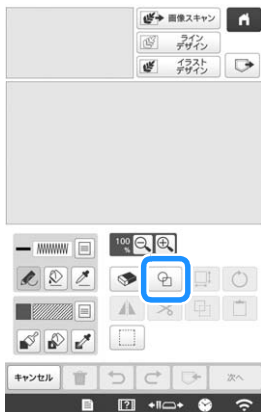
- ① を使い、塗りつぶしの色を選択します。



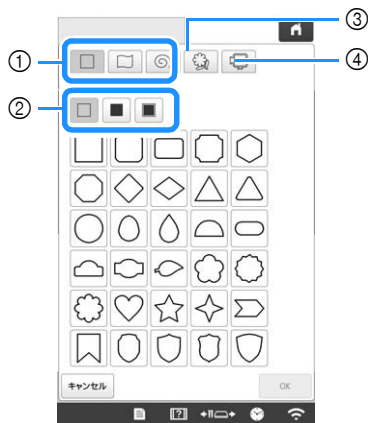
- ② を押してから塗りつぶしの色を変えたい模様を選択すると、色が変わります。

スタンプキーの使い方

1 を押します。



2 スタンプの種類と図形を選択します。



- ① スタンプ図形
- ② スタンプの種類
- ③ 保存した刺しゅう模様の輪郭
- ④ 刺しゅう枠の刺しゅう範囲

スタンプ図形

	基本図形
	閉じた図形
	開いた図形

スタンプの種類（基本図形のみ）

	輪郭
	タタミぬい
	輪郭とタタミぬい

* 輪郭（）、タタミぬい（）、輪郭とタタミぬい（）は基本図形の中から選択できます。

保存した刺しゅう模様の輪郭

	刺しゅう模様の輪郭をスタンプ図形として登録できます。スタンプ図形として登録できるのは12個までです。登録した図形が12個以上になると、古い図形から削除されます。スタンプ図形の登録方法について、詳しくはP.172「刺しゅう模様の周りに飾りぬいをする（キルト機能）」を参照してください。
---	---

刺しゅう枠の刺しゅう範囲

	選択した刺しゅう枠の刺しゅう範囲の図形を表示します。
---	----------------------------

* を押すと、ドロー画面に戻ります。

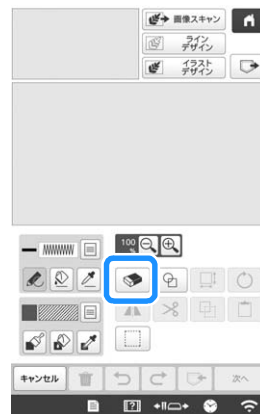
3 を押してスタンプを選択します。

→ ドロー画面が表示されます。

* 模様を作成した直後は、またはを押して、図形のサイズ変更や回転、移動することができます。

消しゴムキーの使い方

1 を押します。



2 消しゴムの形を選択します。



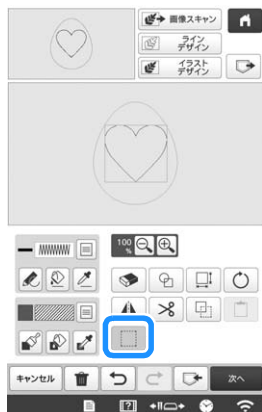
* 消しゴムの大きさを変更するには、またはを押します。

3 キーの状態、消去したい範囲や線に沿ってドラッグします。

選択キーの使い方

模様の一部を選択して移動または編集できます。一部のキーは、選択直後にのみ使用できます。

- 1  を押します。



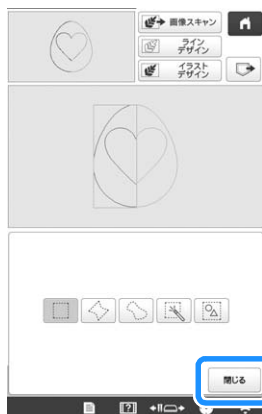
- 2 編集範囲の選択方法を決めます。



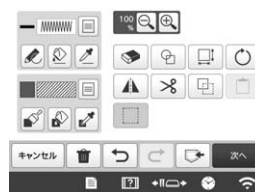
	四角選択	描いた四角の中にある模様が選択されます。
	多角形選択	描いた多角形の中にある模様が選択されます。
	自由曲線選択	描いた曲線の中にある模様が選択されます。
	自動選択	タッチした模様が選択されます。線だけを選択したり、ドーナツのような模様の外側だけを選択したりできます。
	全選択	すべての模様が選択されます。

- 3 編集したい範囲を選択し、 を押します。

- * 編集したい範囲を選択するには、タッチペンを液晶画面上でドラッグすると編集する範囲が赤い枠で囲まれます。



- 4 使用可能なキーで模様を編集します。(P. 150)



- 5  を押して、ステッチを設定します。

ステッチ設定画面

刺しゅう模様を作成する前に、線状のぬい目やタタミぬい、ステッピングなどの面状のぬい目にさまざまなぬい方を設定します。また、P.152「模様を塗る」で選択したぬい方に対して、細かく設定することもできます。

設定した後、**OK** を押して刺しゅう模様を作成します。

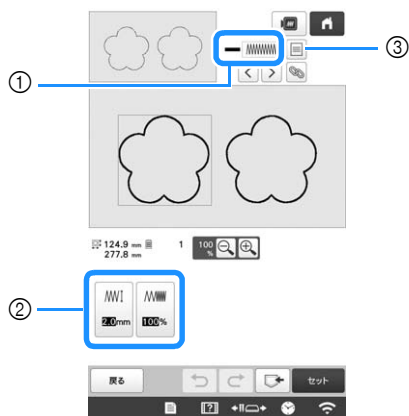
それぞれの模様にもい方を設定する

ステッチ設定画面で模様を選択して、線や面のぬい方を設定します。複数の模様が選択されている場合、指定したぬい方が、選択しているすべての模様に適用されます。

① **<** **>** を使って、線ぬいまたは面ぬい部分を選択します。

→ **<** **>** を押すごとに、選択部分が強調表示されます。

■ 線ぬいの設定



- ① 選択した線のステッチの種類や色を表示します。
- ② 選択した線のぬい方設定の表示または変更を行います。
- ③ 選択した線のステッチの種類や色を変更します。

線のぬい方を設定する

線ぬい部分に適用したいステッチを選びます。

サテンぬい

 [サテン幅]	線ぬい部分に使うサテンステッチの幅を指定します。
 [糸密度]	模様の線ぬい部分に使うサテンステッチの糸密度を指定します。

走りぬい / 3重ぬい

* どちらも以下のぬい方設定ができます。

 [走り ピッチ]	直線ぬいの長さを指定します。
---	----------------

キャンドルウィックステッチ ***

 [サイズ]	模様の大きさを拡大・縮小します。
 [間隔]	キャンドルウィックステッチの間隔を指定します。

チェーンステッチ

 [サイズ]	模様の大きさを拡大・縮小します。
 [重なり]	同じ部分を繰り返すぬい回数を指定します。

E ステッチ

 [ステッチ幅]	模様の大きさを拡大・縮小します。
 [間隔]	E ステッチの間隔を指定します。
 [重なり]	同じ部分を繰り返すぬい回数を指定します。
 [反転]	線の飾りを内側か外側にするかを指定します。

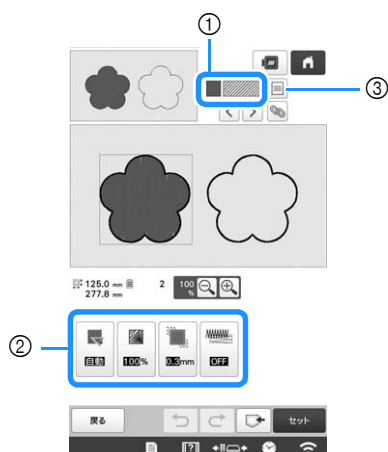
V ステッチ

 [ステッチ幅]	模様の大きさを拡大・縮小します。
 [間隔]	V ステッチの間隔を指定します。
 [重なり]	同じ部分を繰り返すぬい回数を指定します。
 [反転]	線の飾りを内側か外側にするかを指定します。

モチーフステッチ

 [サイズ]	模様の大きさを拡大・縮小します。
 [間隔]	モチーフステッチの間隔を指定します。
 [反転]	線の飾りを内側か外側にするかを指定します。

■ 面ぬいの設定



- ① 選択した面のステッチの種類や色を表示します。
- ② 選択した面の縫製設定の表示または変更を行います。
- ③ 選択した面のステッチの種類や色を変更します。

タタミぬい設定

	[縫い角度]	ぬい角度を指定します。[手動] を選択すると、タタミぬいのぬい角度を変更できます。
	[糸密度]	タタミぬいの糸密度を指定します。
	[縮み補正]	ぬい目をやや短くしたり長くしたりして、模様のぬい縮み補正を指定します。試しぬいの後に模様のぬい縮み具合を確認してから、設定を変更します。
	[下打ち]	布を安定させるために、必要に応じて下打ちの有無を選択します。

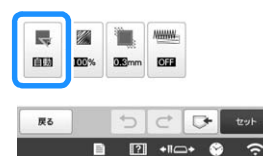
スティップリング設定

	[走りピッチ]	スティップリングのぬい目の長さを指定します。
	[間隔]	スティップリングをする時のステッチの間隔を指定します。
	[距離]	模様の輪郭との間隔を指定します。
	[ぬい目]	ぬいの種類を指定します。

装飾タタミぬい

	[サイズ]	模様の大きさを拡大・縮小します。
	[縫い角度]	模様の回転角度を指定します。
	[アウトライン]	[ON] または [OFF] を選択して、輪郭を刺しゅうデータに変換するか指定します。[ON] を選択すると、渡り糸の数を減らすことができます。
	[ゆらぎ]	線をランダムに揺らします。
	[位置のオフセット]	模様の基点位置を指定します。
	[重なり]	同じ部分を繰り返しぬう回数を指定します。

- 2 変更する設定を選択した後、表示されたポップアップ画面で設定を変更します。(ここでは例として、ぬい角度を変更します。)



→ 設定画面が表示されます。

- 3 [手動] を押して、 を使ってぬい角度を変更します。

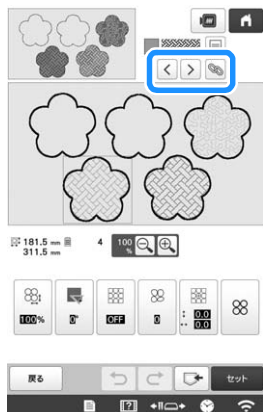


- 4 [OK] を押して設定します。
* 同様に、ほかの設定も変更します。

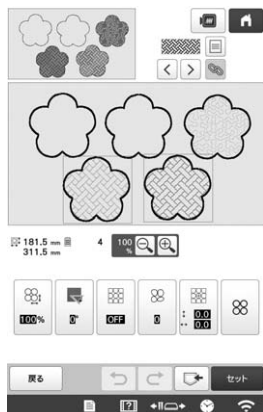
一括でぬい方を設定する

同じぬい種類の複数の模様に対して、一括でぬい方を設定できます。

- 1 で設定を変更する模様を選択して、 を押します。

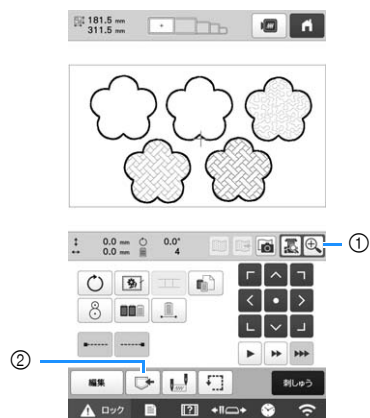


→ 同じぬい種類が一括で選択されます。



- 2 P.156「それぞれの模様にない方を設定する」の手順②から④を参照して、設定を変更します。

- 3 、 を押して、縫製設定画面を表示させます。



- ① 模様を拡大して確認するには、 を押します。
- ② を押して、刺しゅうデータを記憶します。

マイデザインセンターでスキャンする

別売のスキャン枠を取り付ける

- 1 お好みのイラストなどを準備します。

⚠ 注意

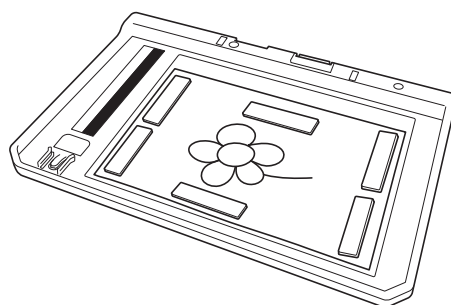
- スキャン中に刺しゅう押えがスキャン枠に当たると、けがをするおそれがあるため、次の点に注意してください：厚みがある紙や布、しわや折り目がある紙や布は、スキャン枠と刺しゅう押えが近くなりすぎるため、スキャン中に巻き込むおそれがあります。

📖 お知らせ

- スキャンする時、スキャン枠に配置できる紙は 1 枚のみです。

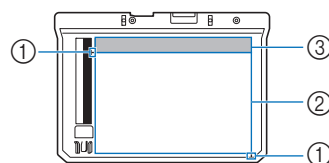
- 2 スキャンする紙をスキャン枠の左下に合わせて配置し、マグネットで固定します。

- * スキャンする対象が隠れていないことを確認して、紙の周りの 6 カ所をマグネットで固定します。



💡 お願い

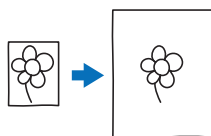
- スキャン可能エリアは 300 mm × 200 mm です。枠に表示されたスキャン可能エリアのマーク内に用紙が配置されていることを確認してください。マークからはみ出した部分はスキャンされません。



- ① 300 mm × 200 mm マーク (最大スキャン範囲)
- ② スキャンエリア
- ③ スキャンエリア外

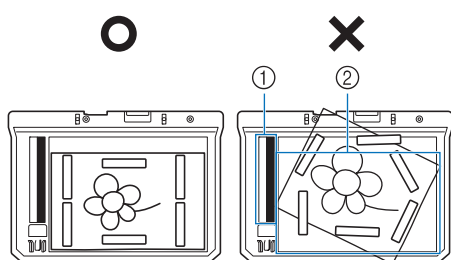
お知らせ

- スキャン対象が描かれた紙が小さすぎてマグネットで固定できない場合は、大きめの紙にコピーしてからスキャン枠に置いてください。



お願い

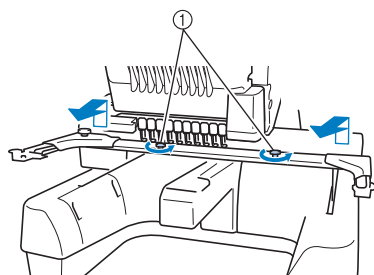
- スキャン枠に紙を置いた時にホワイトバランスエリアが隠れていないことを確認してください。正しくスキャンできないおそれがあります。この時、スキャン可能エリアにスキャン対象が収まるように配置してください。スキャン対象がスキャン可能エリアから出ているとスキャンされません。



- ① ホワイトバランスエリア
- ② スキャン可能エリア

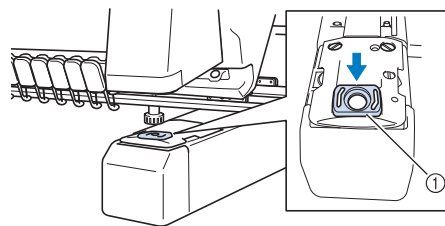
- ホワイトバランスエリアやスキャン可能エリアに傷や汚れが無いことを確認してください。正しくスキャンできないおそれがあります。
- スキャン対象を固定する時は、スキャン枠に付属しているマグネットを使用してください。付属のマグネット以外を使用すると、スキャン中にマグネットがマシン本体にくっついてうまくスキャンができないなどの問題が生じるおそれがあります。
- 紙がしっかりと固定されるようにマグネットを配置してください。紙が歪んでいるとうまくスキャンできないおそれがあります。
- スキャン枠が汚れている場合は、薄めた中性洗剤で湿らせた布で汚れをふき取ってください。

- ③ 台枠の2本つまみボルトを外し、台枠をマシンから取り外します。



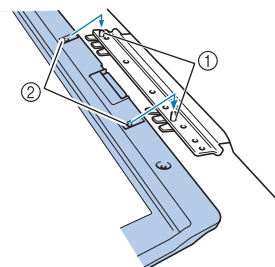
- ① つまみボルト

- ④ ミシンに付属する針板カバーを取り付けます。



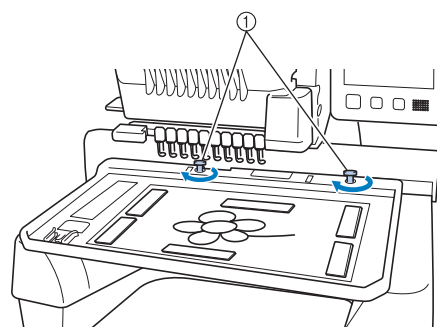
- ① 針板カバー

- ⑤ スキャン枠の穴をXキャリッジのピンに差し込みます。



- ① Xキャリッジのピン
- ② スキャン枠の穴

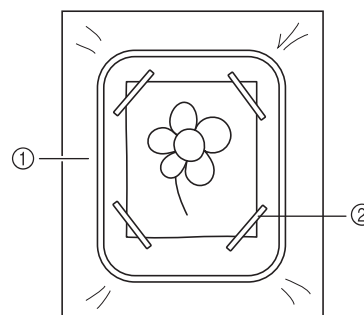
- ⑥ 手順③で外したつまみボルトを使用し、スキャン枠を固定します。



- ① つまみボルト

■ 刺しゅう枠を使ってスキャンする

刺しゅう枠を使って、線画やイラストをスキャンすることもできます。刺しゅう枠より大きい布地を刺しゅう枠に張ります。スキャンした紙を布地に置き、テープで固定します。

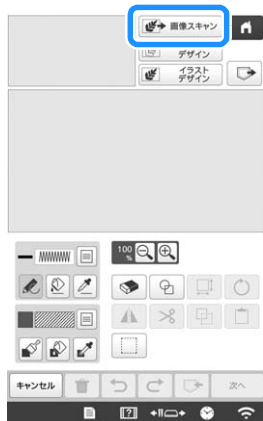


- ① 布地
- ② テープ

スキャンして取り込んだ下絵をなぞる

画像スキャン機能でお好みの写真やイラストなどを簡単に取り込んで、刺しゅうデータを作成することができます。

- 1  画像スキャン を押します。



→ 画像表示画面が表示されます。

- 2 スキャン枠にマグネットで画像を固定してから、ミシンにスキャン枠を取り付けます。P.158「別売のスキャン枠を取り付ける」を参照してください。

- 3  スキャン を押します。

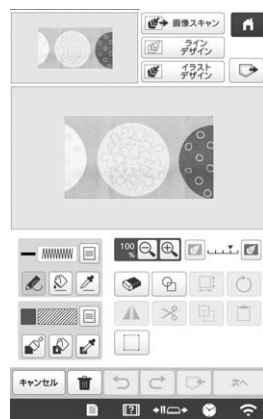


💡 お願い

- スキャンを開始すると、スキャン品質を向上させるためにミシンの針もとライトが暗くなります。スキャンが終わると、元の明るさに戻ります。

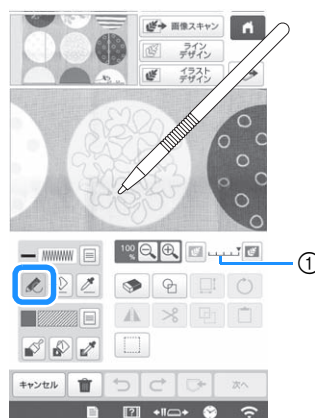
- スキャンを開始するメッセージが表示されたあと、 を押します。
- スキャンを開始します。
- 次のメッセージが表示されたら、スキャン枠を外して針板カバーを取り付けます。再びスキャン枠を取り付けてから、 を押します。

- 4 スキャンが終わると、ドローエリアに下絵が薄く表示されます。



- 5  を押して、付属のタッチペンを使って下絵を線でなぞります。

* 線について、詳しくはP. 151「線を描く」を参照してください。



- ① 背景の濃淡の調整

*  または  を押して、下絵の濃淡を調整します。

 を押すたびに下絵が薄く、線が濃く表示されます。 を押すたびに下絵が濃く、線が薄く表示されます。

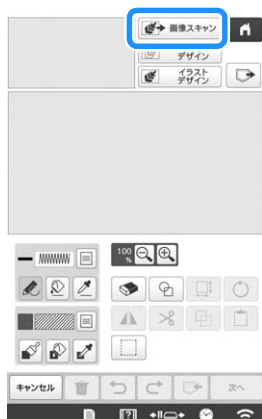
- 6 編集が終わったら、 を押してぬい方を指定します。

- 7  セット を押して、編集画面を表示させます。

■ 下絵を取り込む

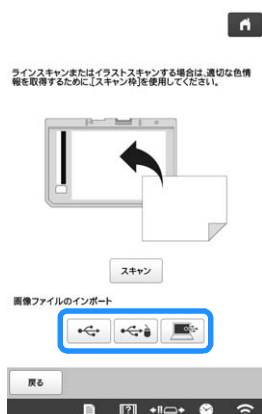
パソコンまたは USB メディアに保存した画像データを下絵として取り込みます。

- 1  画像スキャンを押します。



→ 画像表示画面が表示されます。

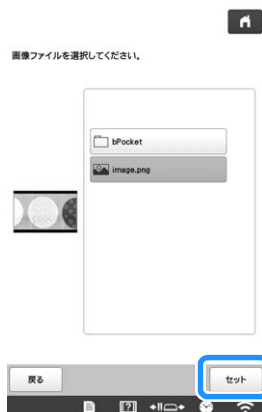
- 2 データが保存されているデバイスを選択します。



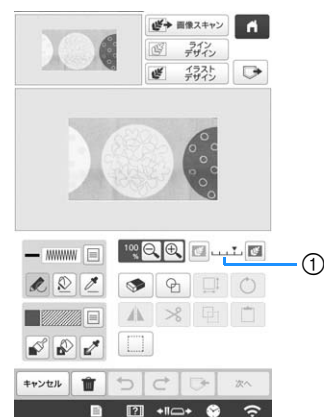
💡 お願い

- パソコンや USB メディアから 2MB 以下の画像を取り込むことができます。

- 3 データを選択して、 を押します。



- 4 ドローエリアに選択した画像が薄く表示されます。

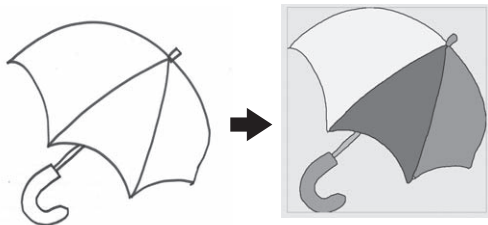


- * 選択した画像がステッチに変換された後、ドロー画面の背景として表示されます。① で背景の濃淡を調整します。 を押すごとに背景が薄く、線が濃く表示されます。 を押すごとに背景が濃く、線が薄く表示されます。

4

ラインデザイン

線画から思い通りの刺しゅう模様を作成できます。別売のスキャン枠を使って線画をスキャンしたり、USB メディアまたはパソコンから画像を取り込んで刺しゅう模様を作成できます。



ラインデザインに適した線画

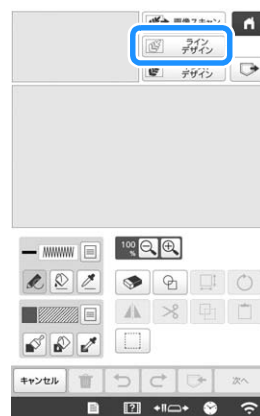
- 約 1 mm の太さの線ではっきりと描かれているもの。
- 線の明暗がはっきりしているもの。
- 線が短すぎたり密集しすぎていると、正しくスキャンできません。

💡 お願い

- カラーイラストから刺しゅう模様を作成する方法は、P.164 「イラストデザイン」を参照してください。
- 線画がうまくスキャンできない時は、マイデザインセンターで模様を編集できます。P.149 「ドロー画面について」を参照してください。
- 線の太さを認識せずに線画をスキャンします。線の太さを変更する場合は、ステッチ設定画面で指定します。P.156 「ステッチ設定画面」を参照してください。
- 線画は黒い線でスキャンされます。線の色を変更する場合は、マイデザインセンターで変更してください。P.151 「線を描く」を参照してください。

スキャン枠でラインデザインする線画を取り込む

- 1  **ラインデザイン** を押します。



- 下絵を取り込み済みの場合は手順 ③ に進みます。
- 下絵を取り込んでいない場合は手順 ② に進みます。

- 2  **スキャン** を押します。

- * 画像をスキャンする時、スキャン枠がミシンに取り付けられていることを確認してください。(P. 158)



💡 お願い

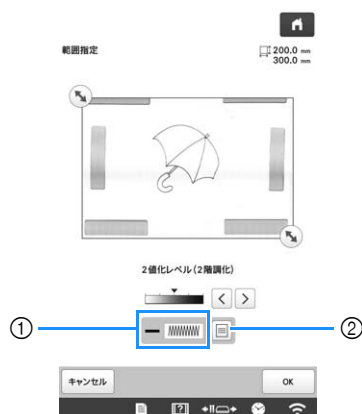
- スキャンを開始すると、スキャン品質を向上させるためにミシンの針もとライトが暗くなります。スキャンが終わると、元の明るさに戻ります。
- パソコンや USB メディアから 2MB 以下の画像を取り込むことができます。

- * USB メディアやパソコンから画像を取り込むには、 または 、 を押します。(P. 161)

- スキャンを開始するメッセージが表示されたあと、 を押します。
- スキャンを開始します。

- ③ スキャンが終わったら、必要に応じて「2 値化レベル (2 階調化)」を調整します。

「2 値化レベル (2 階調化)」で画像のしきい値を調整できます。



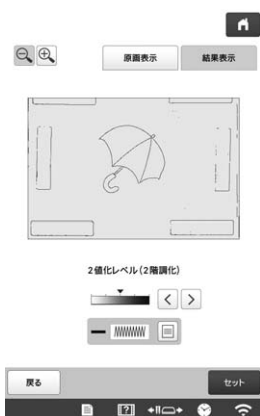
- ① 線のステッチの種類や色を表示します。
 ② 線のステッチの種類や色を変更します。
 * 設定を調整するべきか分からない時は、設定を変更せずにこのまま進みます。

- ④ を動かして、模様にする画像に枠を合わせます。

- ⑤ **OK** を押します。

→ 変換した画像の確認画面が表示されます。

- ⑥ 変換した画像の確認画面で、必要に応じて再び「2 値化レベル (2 階調化)」や線の色、ステッチの種類を調整してください。



- * 設定を調整した方が良いかどうか分からない時は、設定を変更せずにこのまま進み、結果を確認します。

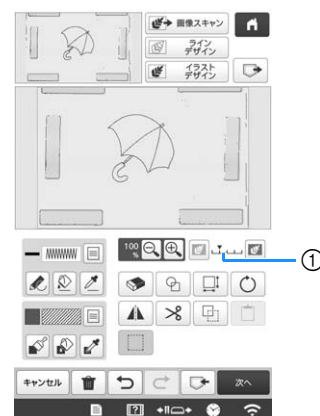
- * **原画表示** を押すと、変換される前の画像が表示されます。変換前後の画像を比較して、必要に応じて設定を変更します。

→ 上記の設定を変更すると、キーが **セット** から **再試行** に変わります。**再試行** を押して、希望の仕上がりになることを確認します。

- ⑦ **セット** を押します。

→ ドロー画面が表示されます。

- ⑧ 必要に応じて、スキャンした画像を編集します。



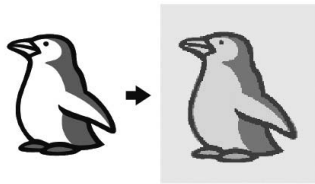
- * 選択した画像がステッチに変換された後、ドロー画面の背景として表示されます。① で下絵の濃淡を調整します。**濃淡** を押すごとに背景が薄く、線が濃く表示されます。**濃淡** を押すごとに背景が濃く、線が薄く表示されます。

💡 お願い

- スキャン中に、表示される小さな点と不要な線を消去することができます。

イラストデザイン

イラストから思い通りの刺しゅう模様を作成できます。別売のスキャン枠を使ってイラストをスキャンしたり、USB メディアまたはパソコンから画像を取り込んで刺しゅう模様を作成できます。

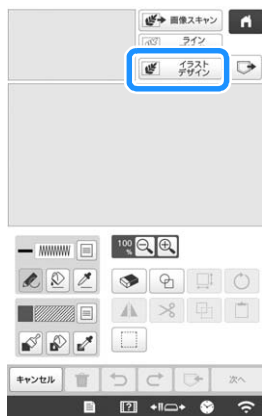


イラストデザインに適したイラスト

- ぼかしやグラデーションなどを含まない、はっきりと描かれたもの。
- 5 mm四方を超えるもの。
- 単純な形。

スキャン枠でイラストデザインするイラストを取り込む

- 1 **イラストデザイン** を押します。



- 下絵を取り込み済みの場合は手順 ③ に進みます。
- 下絵を取り込んでいない場合は手順 ② に進みます。

- 2 **スキャン** を押します。



お願い

- スキャンを開始すると、スキャン品質を向上させるためにミシンの針もとライトが暗くなります。スキャンが終わると、元の明るさに戻ります。

* USB メディアやパソコンから画像を取り込むには、

または を押します。(P. 161)

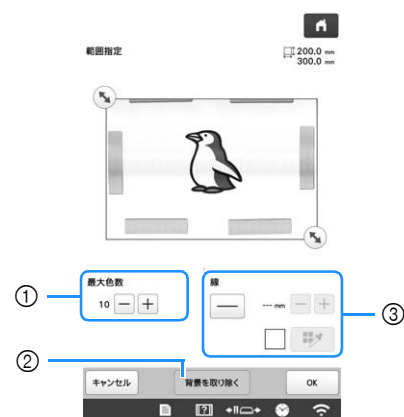
→ スキャンを開始するメッセージが表示されたら、

を押します。

→ スキャンを開始します。

- 3 スキャンが終わると、スキャン画像確認画面が表示されます。必要に応じて設定を変更します。

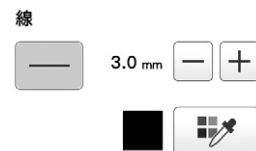
希望の模様簡単に交換できるように、画像を調整します。



①	[最大色数]	画像内の色数を指定した色数以下にして、輪郭を抽出します。
②	[背景を取り除く]	背景の色を色数に含めるかどうかを選択します。
③	[線]	輪郭を線として認識するかどうかを選択します。太い線は、面として検出することもできます。線として検出した場合、線の太さや色を指定できます。

お知らせ

- を押すと、輪郭を検出できます。指定できる線の太さは、1.0mm から 5.0mm です。



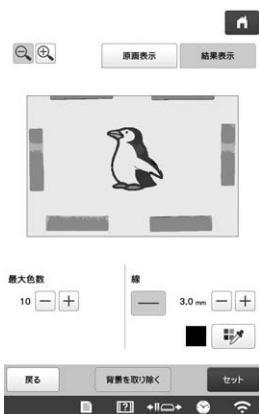
- を押すと、輪郭の色を選択できます。色選択画面で色を直接タッチするか、 を使って を動かして選択します。

4  を動かして、模様にする画像を囲みます。

5  を押します。

→ 変換した画像の確認画面が表示されます。

6 変換した画像の確認画面が表示された後、必要に応じて手順 3 のように調整します。



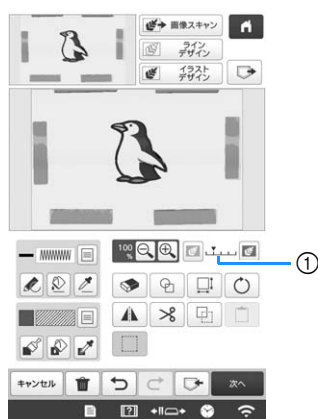
*  を押すと、変換される前の画像が表示されます。変換前後の画像を比較して、必要に応じて設定を変更します。

→ 上記の設定を変更すると、キーが  から  に変わります。 を押して、希望の仕上がりになることを確認します。

7  を押します。

→ ドロー画面が表示されます。

8 必要に応じて、スキャンした画像を編集します。



* スキャンした画像がステッチに変換されると、ドロー画面の背景に画像が表示されます。① で下絵の濃淡を調整します。 を押すごとにイラストが薄く、線が濃く表示されます。 を押すごとにイラストが濃く、線が薄く表示されます。

🌟 お願い

- スキャン中に、表示される小さな点と不要な線を消去することができます。

ステッピング

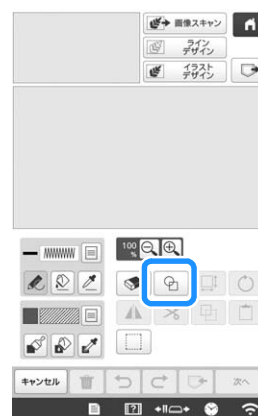
マイデザインセンターで基本的なステッピングをする

ステッピング模様を作る基本操作を説明します。
例：

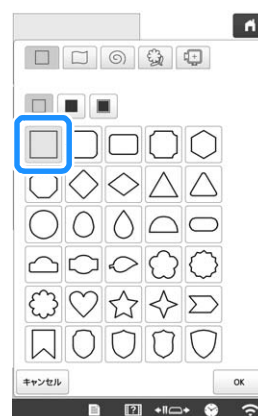


1  を押します。

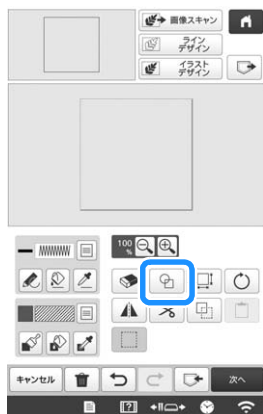
2  を押します。



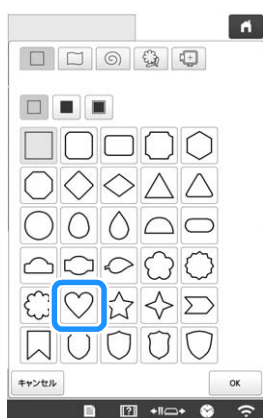
3 四角形を選択して、 を押します。



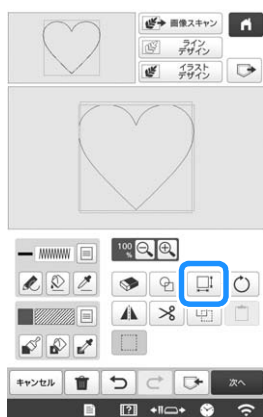
4  を押します。



5 ハートの図形を選択して、 を押します。

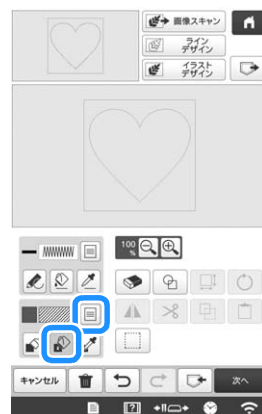


6  を押します。

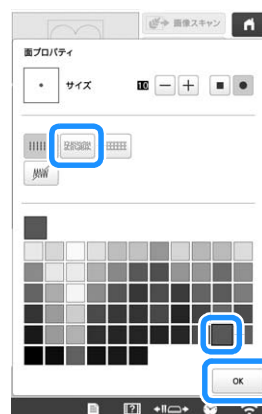


7 ハートの図形が四角形に収まるまで  を押してから、 を押します。

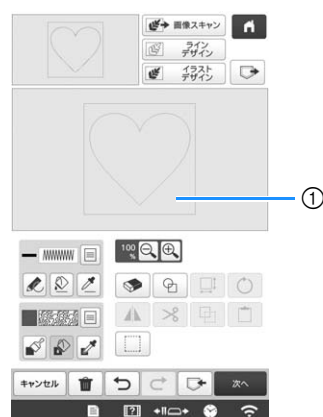
8  を押して、 を押します。



9  を押して、ステッチの色を設定します。色を設定したら、 を押します。

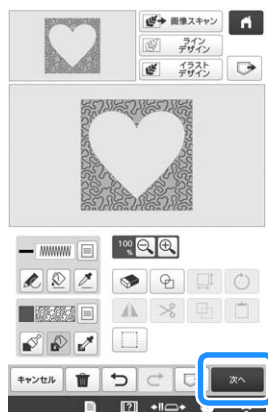


10 スティップリングを施したい領域を選択します。



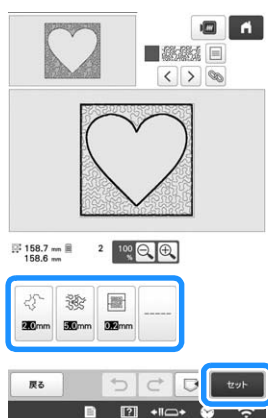
① この領域を選択します。

11 次へ を押します。



12 希望の仕上がりになるようにスティッピングを調整し、**セット** を押します。

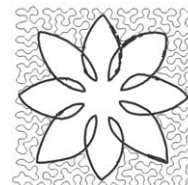
* 詳しくは P.156 「それぞれの模様にあい方を設定する」を参照してください。



13 P.47「模様の編集」の手順に従って、希望通りの模様編集します。

スキャンした線画からスティッピング模様を作る

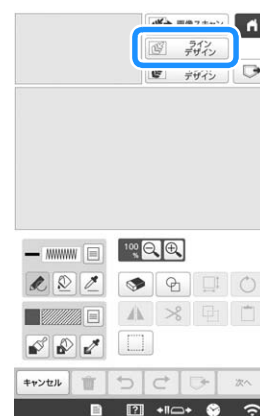
スティッピングを使って思い通りの模様を作成します。
例：



1 スキャン枠に下絵を配置します。

2 My Design Center を押します。

3 ラインデザイン を押します。



- 下絵を取り込み済みの場合は手順 5 に進みます。
- 下絵を取り込んでいない場合は手順 4 に進みます。

4 スキャン枠をミシンに取り付けた後、**スキャン** を押します。



🔔 お願い

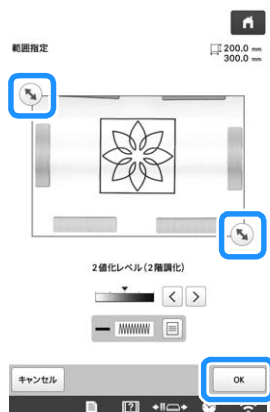
- スキャンを開始すると、スキャン品質を向上させるためにミシンの針もとライトが暗くなります。スキャンが終わると、元の明るさに戻ります。
- パソコンや USB メディアから、2MB 以下の画像を取り込むことができます。

→ スキャンを開始するメッセージが表示されたら、

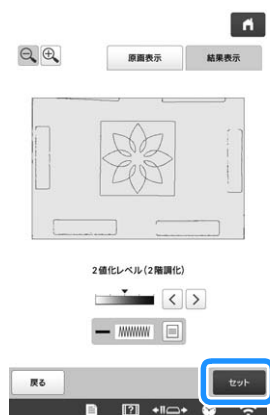
を押します。

→ スキャンを開始します。

- 5** スキャンが終わったら  を動かして模様にする画像を囲み、を押します。

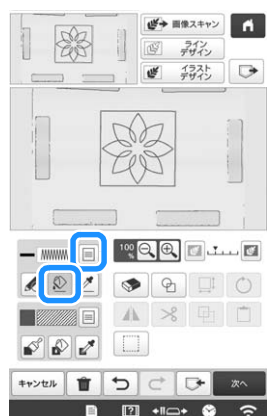


- 6** 変換した画像の確認画面が表示されたら、必要に応じて画像を調整し、を押します。

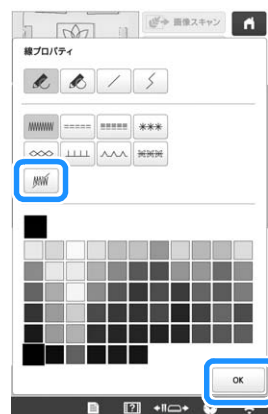


→ ドロー画面が表示されます。

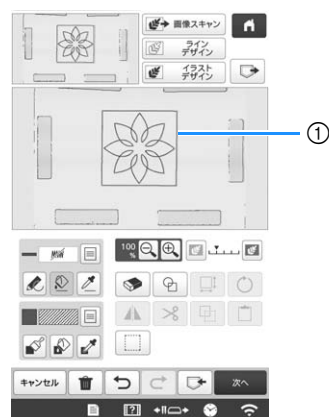
- 7** 模様の輪郭のぬい方を設定するために、を押してから を押します。



- 8** を押してから を押します。
輪郭をぬわない設定になります。

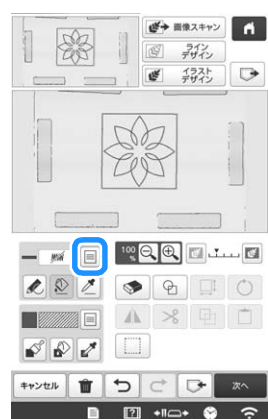


- 9** 模様の輪郭を選択します。

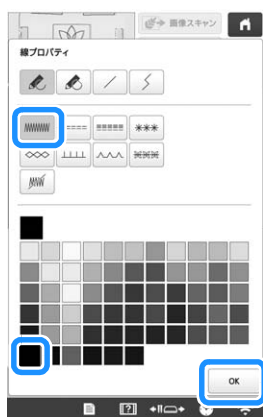


① 模様の輪郭

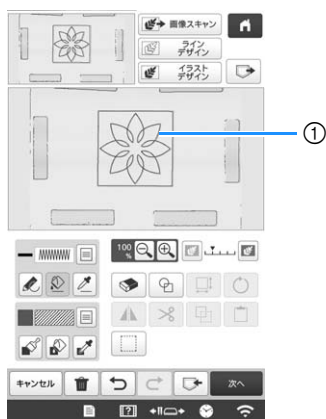
- 10** を押して、ステッピングを施すときの色を選択します。



- 11  を押してからステッチの色を選択し、 を押します。

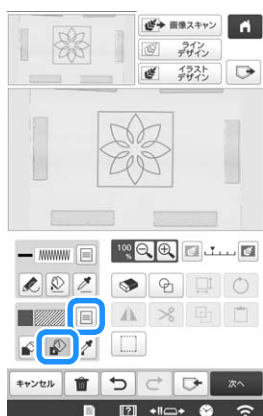


- 12 周囲にスティップリングを施すステッチの線を選択します。

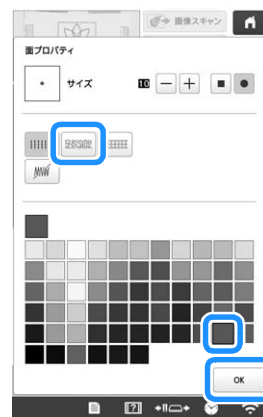


① ステッチの線

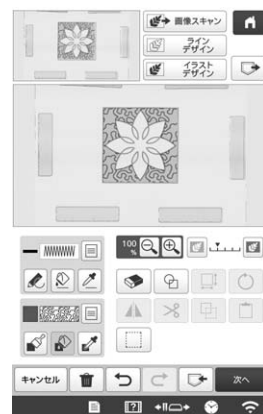
- 13 ステッチの色と種類を設定するために、 を押してから  を押します。



- 14  を押して、ステッチの色を設定します。色を設定したら、 を押します。



- 15 スティップリングを施したい領域を選択します。



- 16 P. 165「マイデザインセンターで基本的なスティップリングをする」の手順 11 に従って操作してください。

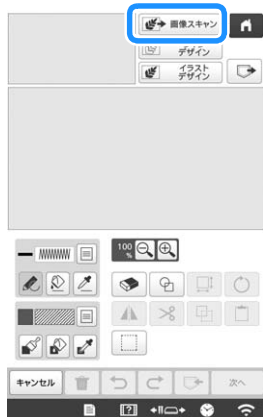
布をスキャンしてスティップリングする

布の柄とスティップリング模様を組み合わせます。

1 刺しゅう枠に布地を張ります。

2  を押します。

3  を押します。



→ 画像表示画面が表示されます。

4 刺しゅう枠をミシンに取り付けた後、 を押します。



お知らせ

- 液晶画面の説明ではスキャン枠を使ってスキャンするように示していますが、この例では刺しゅう枠を使ってスキャンします。

お願い

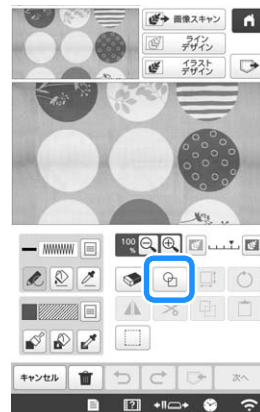
- スキャンを開始すると、スキャン品質を向上させるためにミシンの針もとライトが暗くなります。スキャンが終わると、元の明るさに戻ります。
- パソコンやUSB メディアから、2MB 以下の画像を取り込むことができます。

→ スキャンを開始するメッセージが表示されたら、

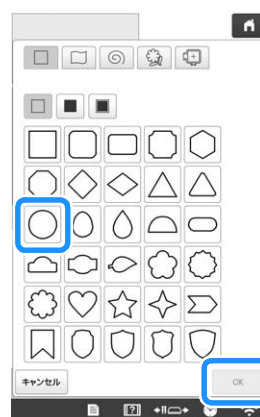
 を押します。

→ スキャンを開始します。

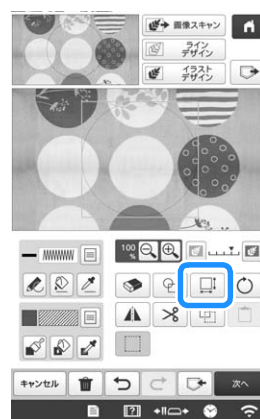
5  を押します。



6 円形を選択して、 を押します。



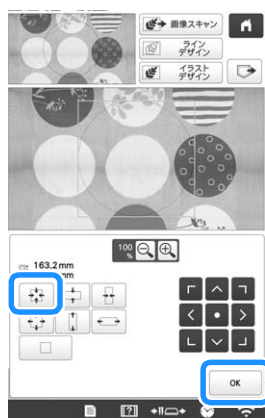
7  を押して、円形を拡大または縮小します。



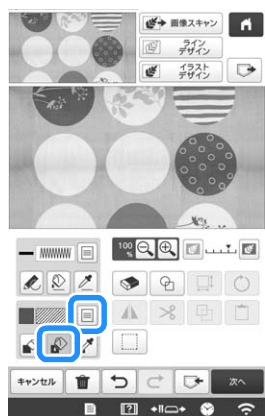
- 8 円形が布の模様に一致するまで  を押し、

 を押します。

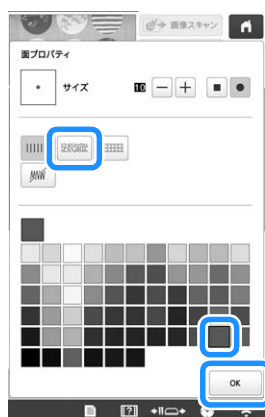
*  を使用して、円形を布の柄の位置と揃えます。



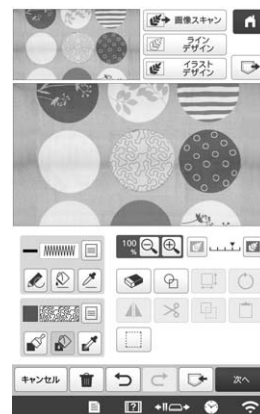
- 9 ステッチの色と種類を設定するために、 を押してから  を押します。



- 10  を押して、ステッチの色を設定します。色を設定したら、 を押します。



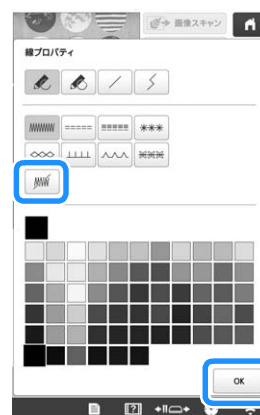
- 11 ステッピングを施したい領域を選択します。



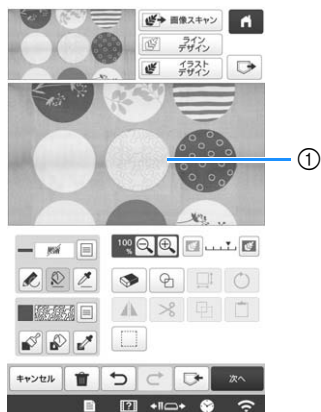
- 12 模様の輪郭のぬい方を設定するために、 を押してから  を押します。



- 13  を押してから  を押します。輪郭をぬわない設定になります。



14 模様の輪郭を選択します。



① 模様の輪郭

15 P. 165「マイデザインセンターで基本的なスティップリングをする」の手順 11 に従って操作してください。

→ 初めにスキャンした布に刺しゅうします。

刺しゅう模様の周りに飾りぬいをする（キルト機能）

お知らせ

- きれいに刺しゅうするために、縫製速度を遅くしてください。
- 先に接着芯と表布を刺しゅう枠にはめ、模様を刺しゅうします。そのあとで、キルト綿と裏布を刺しゅう枠にはめ、飾りぬいをするときれい仕上がります。

刺しゅう模様の周りにスティップリングを施してキルト作品を作ることができます。

1 布ではさんだキルト綿を刺しゅう枠にはめて、ミシンに刺しゅう枠を取り付けます。

2 周りに飾りぬいを施す模様を選択し、編集画面で を押します。



→ 模様の輪郭が表示されます。

3 模様と輪郭の距離を設定し、 を押します。



→ メッセージが表示されて、模様の輪郭がマイデザインセンターのスタンプ図形に登録されます。

 を押します。

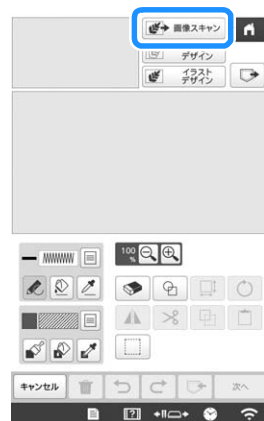


4 、 を押して縫製画面に進み、模様を刺しゅうします。

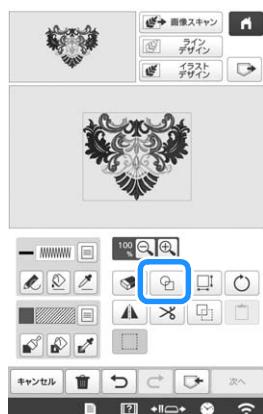
5 模様選択画面で を押して、マイデザインセンターを起動します。

6 を押して、刺しゅうされた布をスキャンします。

 を押してから、 を押します。



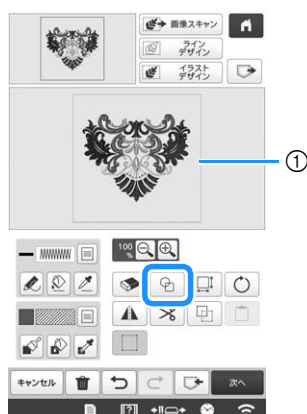
- 7 、の順に押し、手順 3 で登録したスタンプ図形を呼び出し、スキャンした模様の上に配置します。



- 8 を押して、スタンプ図形または長方形で縫製する領域を決定します。

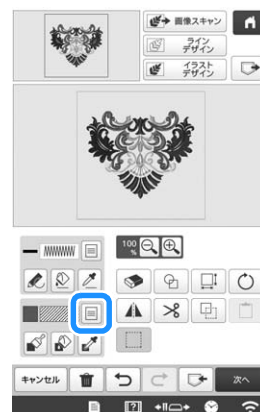
🔍 お願い

- 領域を手で描く場合、閉じた形になるように描いてください。領域が閉じていないと、領域を正しく装飾することができません。

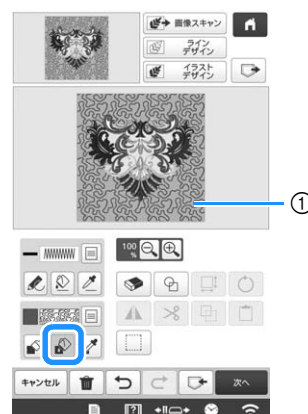


① スタンプ図形または長方形

- 9 を押して、ブラシツールキーで飾りぬいを使う柄と色を選択します。

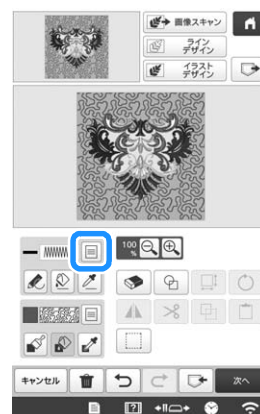


- 10 を押して、スタンプ図形の外側のステッチする領域を塗りつぶします。

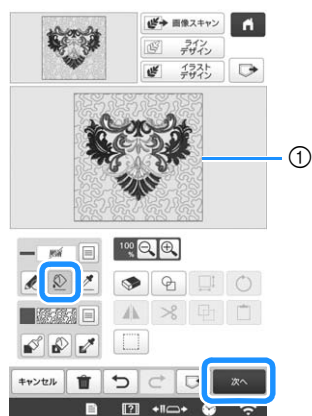


① 塗りつぶす領域

- 11 を押して、ペンツールキーで  を選択します。



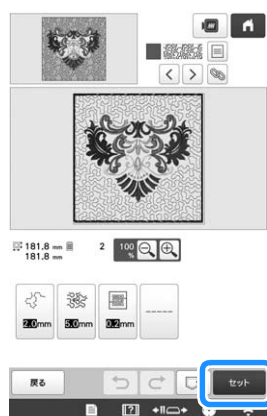
- 12 を押して、外枠の線を選択し、**次へ**を押します。



① 外枠の線

- 13 希望の仕上がりになるようにステッピングを調整し、**セット**を押します。

* 詳しくはP. 156「それぞれの模様にぬい方を設定する」を参照してください。



- 14 P.47「模様の編集」の手順に従って、希望通りの模様に編集します。

- 15 刺しゅう模様の周りをステッピングします。

第5章 付録

お手入れの仕方

簡単なミシンのお手入れ方法を説明します。故障の原因となる場合がありますので、いつも清潔にしておきましょう。

画面の汚れの掃除

液晶画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布等で軽くふき取ってください。有機溶剤や洗剤は使用しないでください。

本体表面の掃除

軽い汚れは、やわらかい乾いた布でふき取ります。ひどい汚れは、中性洗剤を薄めて布に浸して固くしぼり、ふき取ります。洗剤でふいた後は、乾いた布でふき取ります。

⚠ 注意



- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。けが・感電の原因となります。

💡 お願い

- ベンジン、シンナーなどは絶対に使わないでください。

釜の掃除

釜には糸くずやほこりがたまりやすく、縫製不良になる場合があります。定期的に掃除をしてください。付属のミシンブラシを用意します。

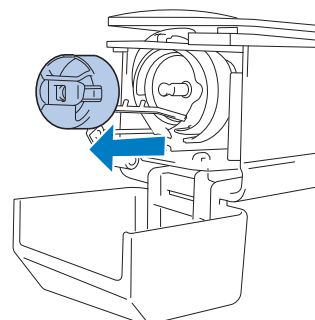
- 1 電源スイッチの「O」側を押し、電源を切ります。

⚠ 注意

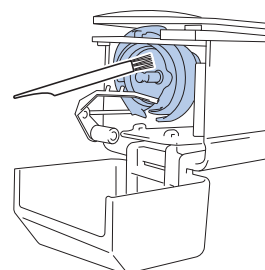


- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。けが・感電の原因となります。

- 2 釜カバーを開け、ボビンケースを取り出します。(P. 33)



- 3 付属のミシンブラシで、釜周辺の糸くずやほこりを取り除きます。

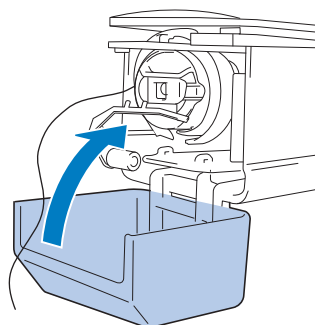


⚠ 注意



- 釜に傷が付いているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 4 掃除が終わったら、ボビンケースをセットし、釜カバーを閉めます。(P. 38)



針板まわりの掃除

移動刃、固定刃、糸保持板の周囲に糸くずやほこりがたまると、糸切り不良が発生したり、部品が破損するおそれがあります。月に1回は掃除してください。
3 ウェイドライバー、付属のミシンブラシを用意します。

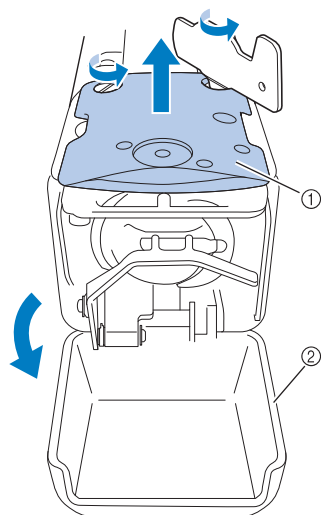
- ① 電源スイッチの「O」側を押し、電源を切ります。

⚠ 注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。けが・感電の原因となります。

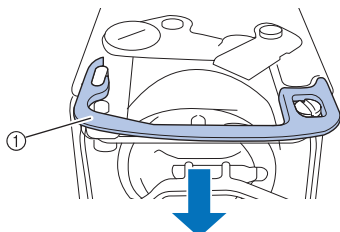
- ② 針板を外します。

3 ウェイドライバーでネジをゆるめ、針板を外し、フックカバーを開けます。



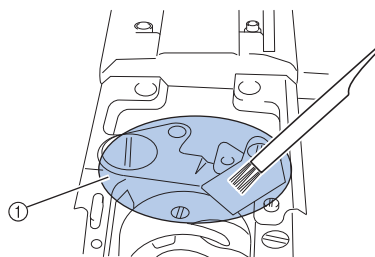
- ① 針板
② 釜カバー

- ③ 針板スペーサーを外します。



- ① 針板スペーサー

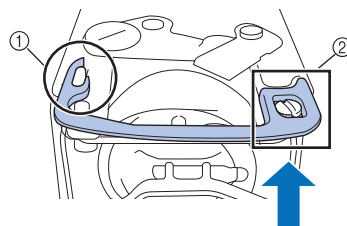
- ④ 付属のミシンブラシで、移動刃、固定刃、糸保持板の周囲に付いた糸くずやほこりを取り除きます。



- ① このあたりの糸くずを取り除きます。

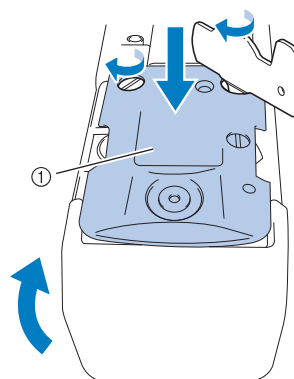
- ⑤ 掃除が終わったら、スペーサーを元に戻します。

スペーサーの左端を楕円形の突起部にひっかけ、スペーサーの右端をネジ頭の周りに置きます。次に、スペーサーの右端を矢印の方向に押し込みます。



- ① 楕円形の突起部
② ネジ頭

- ⑥ 掃除が終わったら、手順②と逆の手順で針板を取り付け、釜カバーを閉じます。



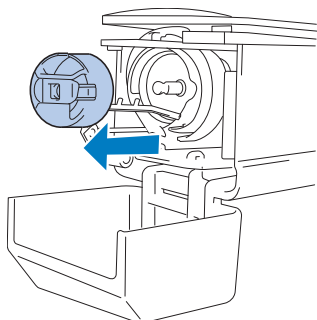
- ① 針板

ボビンケースの掃除

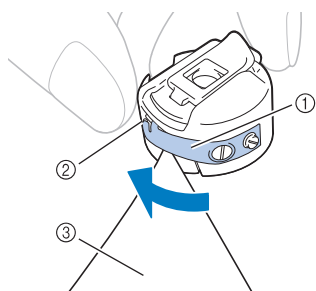
ボビンケースの調子バネの糸穴の周囲は、糸のワックスやゴミがたまりやすく、糸調子不良の原因となります。そのため、ボビンを交換するときは毎回掃除してください。

名刺と同等の厚さの紙を用意します。

- 1 釜カバーを開け、ボビンケースを取り出し、ボビンを取り出します。(P. 33)



- 2 調子バネの下に紙を差し込み、ゴミをかき出します。糸穴の周辺は、紙の角でこするようにしてゴミをかき出します。

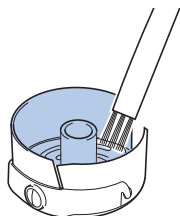


- ① 調子バネ
- ② 糸穴
- ③ 紙

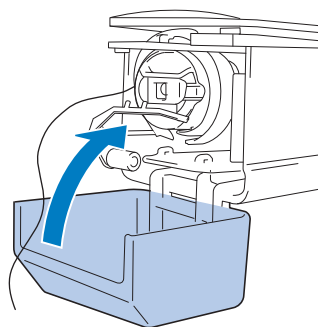
お願い

- 調子バネを曲げないように注意してください。また、厚紙や、定規など紙以外のものでも掃除しないでください。

- 3 付属のミシンブラシで、ボビンケース内側の糸くずやほこりを取り除きます。



- 4 掃除が終わったら、ボビンをボビンケースに入れ、ボビンケースをセットし、釜カバーを閉めます。(P. 37)



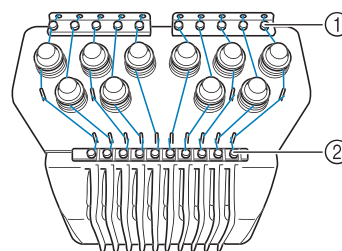
上糸の糸道の掃除

上糸の糸道の糸案内や糸調子つまみにほこりや糸くずがたまると、刺しゅう中に糸が切れるおそれがあります。糸道を定期的に掃除してください。

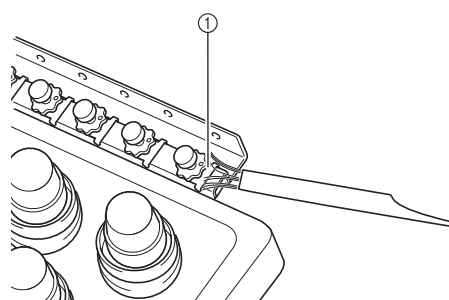
■ 糸案内を掃除する

- 1 付属の掃除ブラシを使用し、糸案内プレートの下から糸くずやほこりを取り除きます。

上糸案内と中糸案内の両方の糸案内プレートを掃除してください。



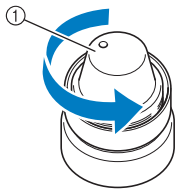
- ① 上糸案内
- ② 中糸案内



- ① 糸案内プレート

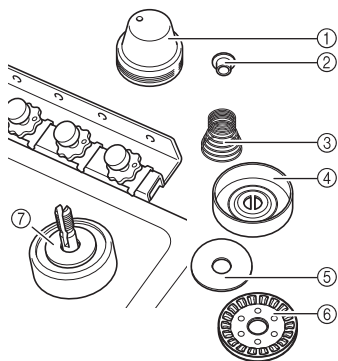
■ 糸調子つまみを分解して掃除する

- 1 下図のように、ダイヤルを反時計回りに回すと、糸調子ダイヤルを取り外せます。



① 糸調子ダイヤル

- 2 付属の掃除ブラシを使用し、糸調子ダイヤルの内側の2つのフェルトワッシャー（上と下）から糸くずやほこりを取り除きます。



- ① 糸調子ダイヤル
- ② ナイロン製のショルダーワッシャー
- ③ 糸調子バネ
- ④ 糸調子ベースプレート
- ⑤ フェルトワッシャー（上）
- ⑥ 回転調子皿
- ⑦ フェルトワッシャー（下）

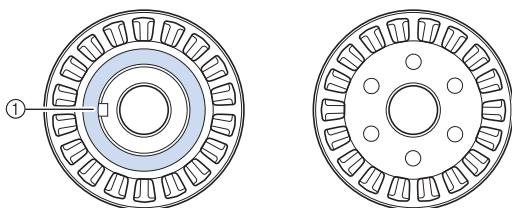
- 3 糸調子ダイヤルを組み立て直します。

💡 お願い

- 糸調子ダイヤルを組み立て直すときに、回転調子皿の取り付け方向が逆にならないよう注意してください。底部にマグネットが付いています。

底部

上部



① マグネット

- 糸調子ダイヤルを組み立て直すときに、パーツをなくしたり、組み立て順を誤ったりしないよう注意してください。糸調子つまみの組み立てに誤りがあると、ミシンが誤動作するおそれがあります。

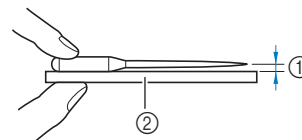
針を交換する

⚠ 注意

- 針の交換は、必ず電源スイッチを切って行ってください。万一、ミシンが作動すると、けがの原因となります。
- このミシンは一般の刺しゅう針を使用するように設計されています。メーカー推奨針はオルガン社製の“HAX 130 EBBR”です。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となるだけでなく、けがの原因にもなります。

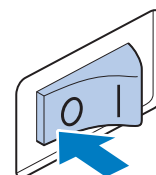
📖 お知らせ

- 正しい針を見分けるには、針の平らな面を平らな板に合わせます。上と横から見て、針と板のすき間が平行かどうかを確認します。曲がった針は捨ててください。



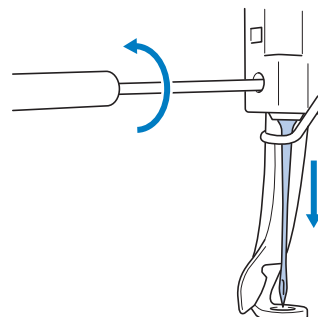
- ① すき間が平行
- ② 平らな面（ガラスなど）

- 1 電源スイッチの“O”側を押し、電源を切ります。



- 2 針のとめネジをゆるめ、針を抜きます。

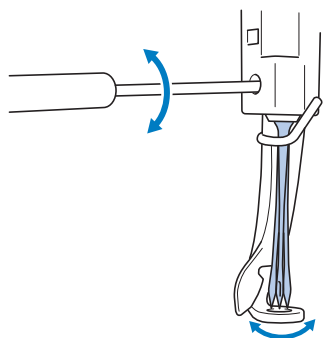
左手で針を持ちながら、右手で針交換ドライバーを左に回します。



💡 お願い

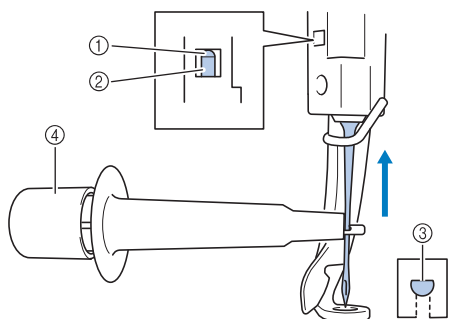
- 針を交換するときは、必ず付属の針交換ドライバーを使ってください。

- とめネジをゆるめたりしめたりするときに、無理な力を加えないようにしてください。故障の原因となります。



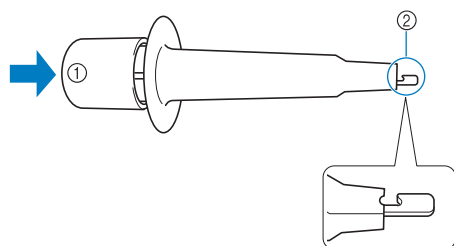
3 新しい針の平らな面を後ろ側に向けて、針棒のストッパーにあたるまで差し込みます。

押えの穴の下から針を通し、針交換ツールを使って持ち上げます。



- ① 針棒のストッパー
- ② 針
- ③ 平らな面
- ④ 針交換ツール

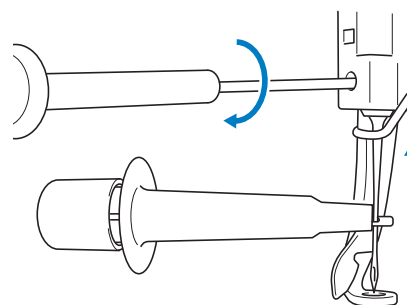
針交換ツールは、図のように①を押すと針つかみ金具②が出ます。金具を針に引っ掛け押していた部分を離すと、針をつかみます。針を離すときは、再度①を押します。



- ① 針交換ツールの端
- ② 針つかみ金具

4 針を針交換ツールで押えたまま、とめネジをしめます。

針交換ドライバーを右に回します。



⚠ 注意

- 針は必ずストッパーに当たるまで針棒室に差し込み、とめネジを針交換ドライバーで確実にしめてください。針が十分に差し込まれていなかったり、ネジの締め方がゆるいと、針折れや故障の原因となります。
- 針が正確に取り付けられていないと、自動針穴糸通し装置を使って糸を通すときに、フックが針穴に入ることができず、フックが折れるなどして針に糸を通すことができません。
- 自動針穴糸通し装置のフックが折れたり、壊れたりした場合は、お買い上げの販売店、または「PR/VR専用ダイヤル」にご連絡ください。

ミシンに注油する

機械部品の寿命を延ばし、正常に動作するために注油が必要です。初めて使うときは、その前に必ず注油してください。

その後は、毎日ミシンをご使用になる前に、釜のレース部に一滴注油してください。

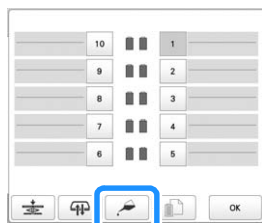
お知らせ

● 、、の順に押して、注油の仕方を動画で確認することができます。

■ レース部に注油する

1 を押します。

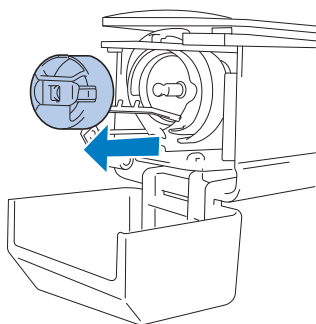
2 を押します。



→ 次のメッセージが表示されます。



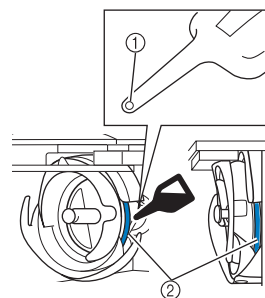
3 釜カバーを開け、ポビンケースを取り出します。(P. 33)



4 を押します。

→ レース部が注油に適した場所へ移動します。

5 釜のレース部に 1 滴注油します。



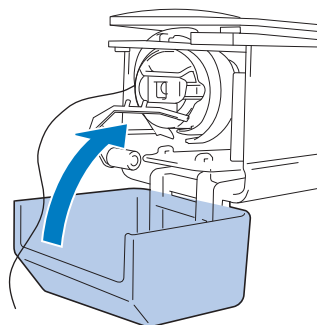
正面図 側面図

- ① 小さい穴を開けます。
- ② この部分に注油します。

6 次の画面が表示されたら を押します。
→ レース部が元の位置に戻ります。

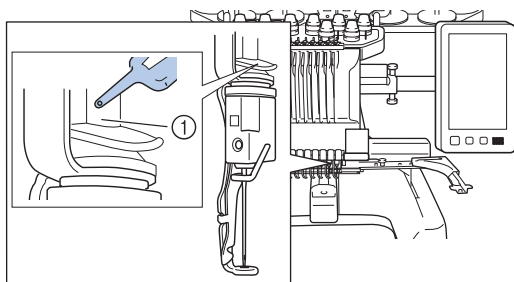


7 注油が終わったら、ポビンケースをセットし、釜カバーを閉めます。(P. 38)



■ 針棒に注油する

縫製画面で、針棒を 1 本ずつ選び、プーリーを操作パネルの方向に回し、ロック位置まで下げます。(P. 88) 図のように、針棒のフェルト上に一滴注油してください。



① フェルト

- 油をさしすぎないでください。ぬうときに油が布に垂れる場合があります。

💧 お願い

- 毎日、釜のレース部に一滴注油してください。
- ミシンを 40 ～ 50 時間ご使用すごとに、針棒のフェルト上に一滴注油してください。
- 注油にはミシン用油を使用してください。その他の油を使用すると、故障の原因となります。
- 油をさしすぎると、生地や糸の汚れの原因となりますので注意してください。油をさしすぎた場合は、布地等でふき取ってください。
- 縫製時に糸切れ不良が発生したり、釜の動作音が増大したりした場合は、釜のレース部に注油してください。

メンテナンスメッセージについて

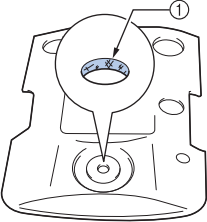


このメッセージが表示されたら、ミシンを正規販売店かお近くの正規サービスセンターに持ち込み、定期メンテナンスチェックを受けることをお勧めします。
 を押すと、このメッセージは消え、ミシンを使い続けることができますが、適切なメンテナンスが実行されるまで、このメッセージは繰り返し表示されます。
 適切なメンテナンスで、継続して快適にミシンをご使用いただけるようになります。

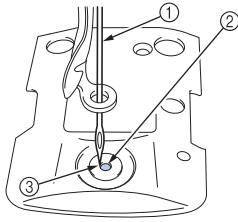
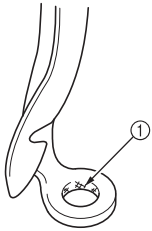
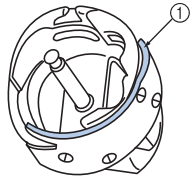
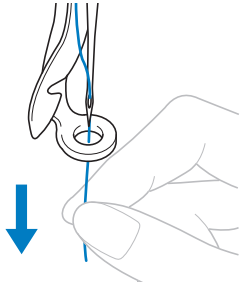
困ったとき

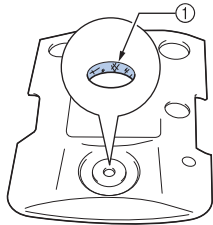
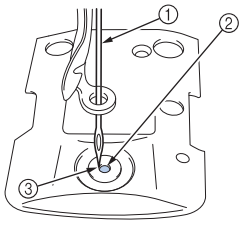
トラブルチェック

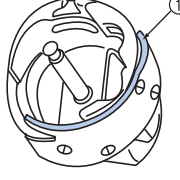
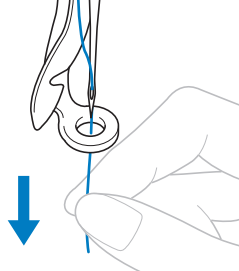
ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に以下の項目を確認してください。
参照ページに「※」があるときや状況が改善しないときは、お買い上げの販売店または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。

こんなとき		
原因・対処のしかた		参照ページ
ミシンが動かない		
電源が入っていない。		P. 21
ミシンロックが解除されていない。		P. 89
スタート/ストップスイッチを押していない。		P. 89
刺しゅう枠をセットできない		
取り付ける刺しゅう枠に適した台枠でない。		P. 68
刺しゅう枠の取り付け、取り外しができない		
刺しゅう枠の取り付け、取り外しが難しい位置で、キャリッジが止まった。 ・針棒/枠移動キーを押して、取り付け、取り外しがしやすい位置にキャリッジを移動します。		P. 68
大きな布地に縫製中、縫製が中断した		
押えが模様のまわりの布地に引っかかった。 ・針棒 3 番～7 番を使用し、刺しゅう枠の中央付近で刺しゅうしてください。		P. 60、 P. 61
針が折れる		
針が正しく取り付けられていない。		P. 178
針のとめネジがゆるんでいる。		P. 178
針が曲がっている。 針先がつぶれている。		P. 178
針板の穴の周辺に傷がある。		※
 ① 傷 ・針板を交換します。		

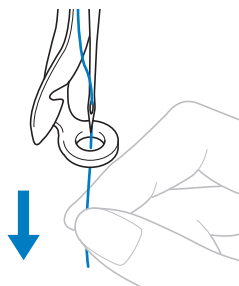
こんなとき

原因・対処のしかた		参照ページ
針が折れる		
針板の穴に針が接触している。	 ① 針 ② 針板の穴 ③ 接触 ・針を交換します。	P. 178 ※
押えの取り付けが高い 針が押えに接触している。		※
押えの穴の周辺に傷がある。	 ① 傷 ・押えを交換します。	※
釜の糸すべり面に傷がある。	 ① 糸すべり面	※
ボビンまたはボビンケースが正しくセットされていない。		P. 33、 P. 38
釜が正しくセットされていない。		※
釜止めが正しく付いていないため、内釜が回っている。		※
上糸が正しくかけられていない。 上糸がどこかに引っかかっている。	 ・上糸を押えの下から手で引いてスムーズに糸が出るか確認します。スムーズに糸が出ない場合は、糸が正しくかかっていません。上糸を正しくかけ直します。糸が針棒糸案内にかかっていることを確認します。	P. 84

こんなとき		
原因・対処のしかた		参照ページ
針が折れる		
上糸調子が強すぎる。		P. 119
本機純正のボビンを使用していない。		P. 33
針と釜の出合が正しくない。 • 釜の調整が狂っています。		※
針棒ケースにガタつき（前後・左右）がある。		※
刺しゅうデータの糸密度が細かすぎる。 3 回以上の重ねぬいをしている。 • 当社正規データ作成ソフトウェア（刺しゅう PRO など）で、刺しゅうデータの糸密度や重ねぬい設定を修正します。		P. 192
自動糸切りで糸が切れない		
針板まわり（移動刃、固定刃、糸保持板）に糸くずやほこりなどがたまっている。		P. 176
本機純正のボビンケースを使用していない。 • 本機純正のボビンケースを使用してください。		—
回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。		P. 178
自動糸切り後、上糸が短く切れて針から抜けてしまう		
針板まわり（移動刃、固定刃、糸保持板）に糸くずやほこりなどがたまっている。		P. 176
上糸が切れる		
針が正しく取り付けられていない。		P. 178
針のとめネジがゆるんでいる。		P. 178
針が曲がっている。 針先がつぶれている。		P. 178
針板の穴の周辺に傷がある。		※
 ① 傷 • 針板を交換します。		
針板の穴に針が接触している。		※
 ① 針 ② 針板の穴 ③ 接触		
押えの取り付けが高い。 針が押えに接触している。		※

こんなとき		
原因・対処のしかた		参照ページ
上糸が切れる		
押えの穴の周辺に傷がある。		※
 ① 傷 • 押えを交換します。		
メタリック糸など、弱い糸を使用している。 • 縫製速度を遅くします。		P. 91
釜の糸すべり面に傷がある。		※
 ① 糸すべり面		
糸がからまって、釜などに詰まっている。		P. 175
外釜と内釜の遊びが大きい。		※
外釜がスムーズに回転していない。 • 糸くずを取り除いて掃除し、注油します。		P. 175、 P. 180
釜止めと釜のすき間が正しく調整されていない。		※
上糸が正しくかけられていない。		P. 84
 ① 針 ② 針板の穴 ③ 接触		
上糸が糸道上または糸道中の糸案内を通っていない。 • 糸が正しく糸道上または糸道中の糸案内を通っていることを確認します。		P. 84-
糸に結び目やこぶがある。 • その部分を取り除きます。		—
上糸調子が強すぎる。		P. 119
糸調子が適当でない。 ボビンケースから糸がスムーズに出ていない。		P. 118
ボビンケースに傷がある。 • 新しいボビンケースと交換します。		P. 33
下糸が正しく巻かれていない。 • ボビンの径に対して 80% の巻き量で、糸が平均に巻かれているか点検します。正しく巻かれているボビンと交換するか、糸を巻き直します。		P. 33

こんなとき		
	原因・対処のしかた	参照 ページ
上糸が切れる		
	本機純正のボピンを使用していない。	P. 33
	自動針穴糸通し装置が破損している。	※
	針に粘着剤などが付着している。 ・ 針を交換します。	P. 178
	布地の張りが弱い。	P. 64、 P. 65
	糸の品質が悪い。 ・ 撚りが甘い糸や古く弱い糸を、品質の良い糸と交換します。	－
	刺しゅうデータにゼロステッチが含まれている。	P. 125
	刺しゅうデータが非常に細かいぬいピッチが連続して作られている。	P. 125
	刺しゅうデータの糸密度が細かすぎる。 3回以上の重ねぬいをしている。 ・ 当社正規のデータ作成ソフトウェア（刺しゅうPRO など）で、刺しゅうデータの糸密度や重ねぬい設定を修正する。	P. 192
	回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。	P. 178
下糸が切れる		
	下糸のセットのしかたがまちがっている。	P. 37
	ボピンに傷があり、回転がなめらかでない。 ・ ボピンを交換します。	P. 33
	ボピンケースに傷がある。 ・ ボピンケースを交換します。	P. 33
	糸がからまっている。	P. 175
	本機純正のボピンを使用していない。	P. 33
	回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。	P. 178
ぬい目がとぶ		
	上糸の通し方がまちがっている。	P. 84
	針が曲がっている。 針先がつぶれている。	P. 178
	針の取り付け方がまちがっている。	P. 178
	針板の下や釜にほこりなどがたまっている。	P. 175、 P. 176
	針と釜の出合が正しくない。	※
	糸のねじれが強すぎる、またはゆるすぎる。 ・ ねじれが適切でないと、正しいループの形ができません。新しい糸こまを使用します。	－
刺しゅう模様がくずれる。		
	糸がからまっている。 ・ 釜などにからんだ糸をピンセットなどで取り除きます。	－
	刺しゅう枠に布地がきちんと張られていない。（布地の張り方がゆるいなど）	P. 64、 P. 65
	刺しゅうのサイズに対して大きい刺しゅう枠を使用している。	P. 64
	台枠のつまみボルトがゆるんでいる。	P. 20
	適切な接着芯を貼っていない。	P. 63

こんなとき		
原因・対処のしかた		参照ページ
刺しゅう模様がくずれる。		
刺しゅう枠が正しくキャリッジにセットされていない。 ・ 刺しゅう枠を正しくキャリッジにセットします。 台枠の左右のアームのピンが、刺しゅう枠の取付部の穴にきちんと入っているか確認します。		P. 67
キャリッジや刺しゅう枠が周辺に置いてある物に当たっている。 ・ キャリッジや刺しゅう枠が物にぶつくと模様くずれの原因になります。		－
布地が引っかかっている、またははさみ込まれている。 ・ ミシンを止めて布地を正しい位置に直します。		－
刺しゅう枠を取り外している途中でキャリッジが動いた。 ・ ぬっている途中で押えに物がぶつかったり、キャリッジが動いたりすると模様くずれの原因になります。 ・ ぬっている途中で刺しゅう枠を外したり、セットしたりするときには注意してください。キャリッジが動いてしまった場合は、電源を入れ直します。 ミシンを止めたときの状態をミシンが記憶しており、正しい位置に戻ります。		－
デザインが正しく作成されていない。 ・ 伸縮性のある布や毛羽立った布を使用するときと同様に、デザインを伸ばして補正したり下張りを使用する必要があります。		－
セットした刺しゅう枠のサイズを正しく認識しない		
台枠のつまみボルトがゆるんでいる。		P. 20
刺しゅう枠の原点位置が横にずれる		
台枠のつまみボルトがゆるんでいる。		P. 20
上糸のぬい目が浮く（ルーピングの発生）		
上糸調子が弱い。 		－
・ 押えの穴に上糸を通した後、手で糸を引いて糸調子を確認します。迷う場合は浮き目が発生していない他の針棒と比較してみましょう。		
糸調子つまみのしめ込み量に見合った糸調子になっていない。 ・ 糸調子が出ていない場合は、糸調子つまみの前後にあるサブテンションの糸調子皿に、糸のワックスやゴミが入って糸調子皿が浮いている場合がありますので、掃除します。		P. 177
糸調子皿付近で糸が正しく通されていない。 ・ 糸調子皿を掃除してください。 上糸を通し直し、糸を引いてみて糸調子皿が回転することを確認してください。		P. 178
糸の品質が悪い。 ・ ほかの糸に替えてぬってみましょう。糸を替えて問題なければ、糸品質に原因があります。品質の良い糸と交換します。		－

こんなとき		
	原因・対処のしかた	参照ページ
ぬっているときの音が高いガタガタと音がする		
	釜の部分に糸くずが巻きこまれている。	P. 175
	上糸の通し方がまちがっている。	P. 84
	釜に傷がある。 ・ 釜を交換します。	※
	注油が不足している。	P. 180
自動糸通しができない		
	針が正しい位置にない。 ・ 針棒移動キーを押して、糸通しをしたい針棒を縫製位置に移動します。	P. 88
	本機純正の針を使っていない。	P. 178
	針の取り付け方がまちがっている。	P. 178
	自動針穴糸通し装置の糸通し用のフックが曲がっている。	※
糸調子が合わない		
	上糸の通し方がまちがっている。	P. 84
	下糸セットのしかたがまちがっている。	P. 37
	下糸の糸調子が合っていない。	P. 118
	回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。	P. 178
刺しゅうを始めたとき、上糸が針から外れる		
	糸切り後に針穴に残る上糸の長さが短い。 ・ 設定画面で、糸切り後に残る上糸の長さを [糸切り長く] に設定します。	P. 125
刺しゅうを始めたとき、上糸が下糸に届かない		
	下糸がない、ポピンから下糸が送られない、または送られた糸が短すぎる。 ・ ポピンを正しくセットします。	P. 37
糸が切れていないのに、糸切れエラーになりミシンが停止する		
	回転調子皿にかかっている糸が外れ、回転調子皿にある糸センサーが糸送りを感知できず、糸切れエラーが起きてミシンが停止した。 ・ 回転調子皿に正しく糸をかけます。再度糸をかけ直しても糸切れエラーが起きる場合は、センサーが破損している可能性があります。	P. 178 ※
糸が擦り切れる		
	回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。	P. 178
渡り糸が長い		
	回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。	P. 178
布に針による傷か穴がある		
	針がとがっていない ・ 針を交換します。針がとがっていないと布を押し上げ、布に傷がつきます。	P. 178
	布が弱すぎる。 ・ 弱い布は、針が通るだけで破損することがあります。布の表面に接着芯を使用します。	－

こんなとき		
原因・対処のしかた		参照ページ
布にしわが寄っている		
糸調子が強すぎる。 ・布の種類と使用する糸に応じて、糸調子を調節します。特にポリエステル製の糸は、糸調子を強くすると伸びやすくなります。縫製が終わると、糸が元に戻りぬいしわの原因となります。		P. 119
枠の取り付け方が正しくない。 ・伸縮性のない織物などは、枠をきつめに取り付けます。取り付け方が弱いと布にこぶができることがあります。やわらかいニット地には、安定した裏張りを使得しっかりと伸ばし、枠を取り付けます。布を伸ばしすぎると、枠を外したときにしわが入ることがあります。		－
縦ぬいが長すぎる。 ・全体ぬい、または多数列の縦ぬいでデザインし直します。		－
針がとがっていない。 ・針を交換します。針がとがっていないと布を押し下げ、布に傷がつきます。		P. 178
デザインが細かすぎる。 ・特定部分のぬい目が多くなりすぎると、布にしわが入ることがあります。5～10%程度ぬい目の数を減らします。		P. 125
液晶画面が見にくい		
液晶が明るすぎる、または暗すぎる。 ・画面の明るさを調整をします。		－
厚手の布地に刺しゅうするとき、正しく布地を刺しゅう枠に張れない		
布の厚みで、布地が外枠と内枠の間ですべてしまう。 ・マスキングテープやバイアステープを外枠に巻いてください。テープの摩擦で、布地がすべりにくくなります。		－
液晶画面のカメラ画像がぶれる		
温度が低いところでミシンを使用した。 ・温度が低いところでミシンを使用すると、カメラ画像がぶれることがあります。これは故障ではありません。電源を入れて、そのまま少し時間をおいてから、内蔵カメラを使用してください。		－
刺しゅう位置合わせシールを検知しない		
外からの日光やライトがミシンに入っている。 ・外からの光を遮断してください。		－
スキャンした画像がとても明るいまたはとてもほんやりしている		
外からの日光やライトがミシンに入っている。 ・外からの光を遮断してください。		－
スキャン画像やカメラ画像にずれが生じる		
テーブルの取り付け設定項目を正しく設定していない。 ・本機のソフトウェアはテーブルの取り付け設定項目に応じてスキャン画像やカメラ画像の補正を行います。適切な設定項目を選択してください。		P. 76
厚みがある布地を使用するときに、ミシンで布地の厚さを確認していない。 ・厚さ2mm以上の布地をスキャンするときや、カメラで位置合わせをするときは、はじめに〔布厚チェック〕をしてください。		P. 76

注意

- このミシンには、糸切れ確認装置が付いています。上糸が通されていない状態で、ミシンロック解除後スタート/ストップスイッチを押しても、ミシンは正常に作動しません。
- 使用中に停電が発生した場合
 - ・ 電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。
 - ・ 再度、使用する場合は、手順に従って正しく行ってください。(P. 21)



エラーメッセージ

ミシンが正しく準備できていない状態でスタート/ストップスイッチを押したときや、まちがった操作をしたときは、ミシンは停止し、ブザーとエラーメッセージでお知らせします。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

表示中のメッセージは、を押すか、対処をしてから を押すと消えます。エラーメッセージが再度表示される場合は、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。

	エラーメッセージ	対処
1	24 V 電源電圧が高すぎます。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
2	24 V 電源電圧が低すぎます。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
3	40 V 電源電圧が高すぎます。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
4	40 V 電源電圧が低すぎます。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
5	E E P R O M エラー	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
6	PC と通信ができていません。USB ケーブルの接続を確認して下さい。	USB 接続での Link モードでパソコンからのデータを呼び出せないときに表示されます。ミシンの電源を切り、USB 接続を確認してください。USB コードを確実に接続して、電源を入れ直します。(P. 133)
7	USB メディアエラー	USB メディアを正常に読み込めなかったときや USB メディアが破損しているときに表示されます。  を押して、もう一度操作してください。
8	USB メディアが入っていません。USB メディアを入れてください。	ミシンに USB メディアが差し込まれていない状態で、USB メディアから模様の呼び出しや記憶をするときに表示されます。USB メディアを差し込んでください。 差し込んだ USB メディアが使用できないときに表示されます。使用可能な USB メディアについて詳しくは、ブラザーのサポートサイト (http://s.brother/cpbah/) でご確認ください。
9	X 軸原点位置を検出できません。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
10	Y 軸原点位置を検出できません。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
11	安全装置が働きました。糸がからんでいませんか？針が曲がっていませんか？	糸がからむ、針が曲がるなどの異常が発生したときに表示されます。ミシンは異常を検知して止まります。糸が正しくかかっているか (P. 84)、針が曲がっていないかを確認してください。
12	一定時間 PC からの通信がありません。USB/無線 LAN の接続を確認し、PC から模様を送信してください。	無線 LAN 接続での Link モードでパソコンからのデータを呼び出せないときに表示されます。パソコンとミシンが無線 LAN 接続されていることを確認し、電源を入れ直します。(P. 133)
13	位置合わせマークを認識する事ができませんでした。	刺しゅう位置合わせマークを認識できないときに表示されます。選択したエリアに、刺しゅう位置合わせシールが貼ってあるかどうかを確認してください。問題が改善されない場合は、シールの位置を変えてください。
14	位置合わせマークをはがして下さい。	ミシンが刺しゅう位置合わせマークを認識したときに表示されます。刺しゅう位置合わせシールをはがし、  を押して操作を続けてください。
15	糸切りエラー	針板まわり (移動刃、固定刃、糸保持板) に糸くずやほこりなどがたまっているときに表示されます。針板まわりの掃除をしてください。(P. 176)
16	糸立てアンテナを立てて下さい。	糸案内支持棒が折りたたまれたままのときに表示されます。糸案内を準備してください。(P. 19)
17	色の変更が元に戻ります。よろしいですか？	糸色変更中に、  が押されたときに表示されます。

	エラーメッセージ	対処
18	上糸または、下糸が切れていないか確認して下さい。	糸調子が強いときに表示されます。上糸調子と下糸調子を確認し、調整してください。(P. 118)
		上糸が切れたり、糸が糸調子つまみや糸案内から外れたりしているときに表示されます。上糸の通し方を確認して、正しくセットし直してください。(P. 84)
		回転調子皿に糸くずやほこりがたまっているときに表示されます。糸調子ダイヤルのつまみを外し、中のフェルトに付着している糸くずやほこりを取り除いてください。(P. 178)
		下糸が切れたり、下糸がなくなったりしたときに表示されます。下糸があること、ボビンから下糸が約 50mm 出ていることを確認してください。下糸がないときは新しい下糸をセットしてください。(P. 33)
		その他の理由で表示される場合があります。P.183「上糸が切れる」または P.184「下糸が切れる」を参照してください。  を押すと、ぬい目を戻したり、進めたりすることができます。(P. 95)
19	書き込みに失敗しました。	USB メディアに 100 個以上の内蔵カメラの画像や設定画面の画像を保存しようとしたときに表示されます。この場合は、USB メディアから画像を削除するか、別の USB メディアを使用してください。
20	カメラ機能中はこのキーは使えません。	 を押してカメラモードにしたとき、使用できないキーを押したときに表示されます。  を押して、カメラモードを解除してください。
21	この刺しゅう枠でぬうことはできません。大きい枠に取り替えて下さい。	台枠のつまみボルトがゆるんでいるときに表示されます。付属の 3 ウェイドライバーで、2 本のつまみボルトをしっかりと締め直してください。(P. 67)
		セットしている刺しゅう枠が小さいときに表示されます。使用可能な刺しゅう枠を確認して、大きい枠をセットし直してください。(P. 64)
22	このファイルは使用できません。	マシンに対応していない形式のファイルを読み込もうとしたときに表示されます。対応するファイル形式の一覧を確認してください。(P. 192)
23	この模様は使えません。	このマシン用にダウンロードされたものではない模様を呼び出そうとしたときに表示されます。
24	この模様はデータ容量の制限を超えているため使えません。	模様のステッチが多すぎて使用できないときに表示されます。50 万ステッチを超えている模様は表示できません。刺しゅうソフトを使用して、ステッチの数を減らしてください。
25	この模様を組み合わせることはできません。	分割模様を、別の模様組み合わせようとしたときに表示されます。
26	これ以上模様の組み合わせができません。	模様を 101 個以上組み合わせようとしたときに表示されます。模様の組み合わせは 100 個までです。
27	時刻を設定してください。	日時が設定されていないときに表示されます。日時を設定してください。(P. 22)
28	刺しゅうを停止しました。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
29	受信コマンドエラー	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
30	主軸エンコーダー信号エラー	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
31	主軸エンコーダーのコネクタが外れています。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
32	主軸回転数が異常です。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
33	主軸の回転方向が異常です。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
34	主軸モータの電流値が異常です。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。

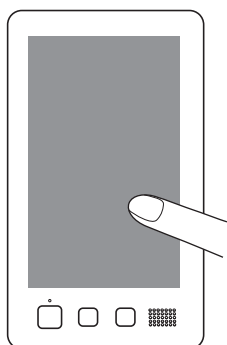
	エラーメッセージ	対処
35	通信タイムアウトエラー	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
36	定期点検の時期になりました。	ミシンがメンテナンスを必要としているときに表示されます。(P. 181)
37	特別な模様が含まれているため、外部メモリーには保存できません。本体メモリーに保存してください。	コピープロテクトがかかっている模様を USB メディアまたはパソコンに保存しようとしたときに表示されます。著作権法により、再生または編集が違法となる模様は USB メディアやパソコンに保存することはできません。このメッセージが表示されたときは、ミシン本体のメモリーに模様を保存してください。
38	縫い始め・縫い終わりの位置を設定できません。	設定したぬい始め位置でぬうことができないときに表示されます。ぬい始め位置を変更するか、枠を移動して縫製位置を変更してください。(P. 128)
39	パネル側で通信エラーが発生しました。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
40	針穴系通しエラー	自動針穴系通し装置が正常に動作しなかったときに表示されます。自動針穴系通し装置に糸がからんでいる場合は、糸を取り除いてから、  を押します。
41	針穴系通し装置のフックが針穴に入っています。	自動針穴系通し装置で糸を通して途中、他の操作をしたときに表示されます。糸通しボタンを押して糸通しを完了してから、次の作業を行ってください。(P. 87)
42	針棒ケースの位置が正しくありません。	針棒ケースの停止位置が正しくないときに表示されます。  を押すと、自動復帰します。
43	針棒ケースの移動を途中停止しました。	針棒ケースが移動中に停止したときに表示されます。  を押すと、自動復帰します。
44	針棒ケースの原点位置を検出できません。	針棒ケースが開始位置に移動できなかったときに表示されます。  を押すと、自動復帰します。
45	針棒ケースモータがロックしました。	針棒ケースモーターがロックされたときに表示されます。  を押すと、自動復帰します。
46	ピッカーエラー	ピッカー (P. 33) が正常に動作しなかったときに表示されます。ピッカーに糸がからんでいる場合は、糸を取り除いてから、  を押します。
47	プーリーの位置が正しくありません。	針の停止位置が正しくないのときに表示されます。プーリーの印が真上にくるように回してから、  を押します。
48	縫製エリアから模様がはみ出します。位置を変更してスキャンし直して下さい。	刺しゅう位置合わせシールが刺しゅう枠の近くまたは縫製範囲外にあり、内蔵カメラで模様の位置合わせができないときに表示されます。刺しゅう位置合わせシールの位置を変更して、位置合わせを再度行ってください。
49	縫製画面に進んで、ロック解除キーを押してください。	縫製画面または縫製設定画面以外の画面が表示されているときに糸切りスイッチを押したときに表示されます。縫製画面または縫製設定画面に進んでください。
50	ボーダー模様の組み合わせが解除されます。よろしいですか？	繰り返し模様（ボーダー模様）を縫製設定画面で回転しようとしたときに表示されます。
51	マークが見つかりませんでした。枠を元の向きに戻して下さい。	別売のジャンボ枠用の模様をぬうとき、刺しゅう位置合わせマークを検出できないときに表示されます。P.146「別売のジャンボ枠で刺しゅうする」の手順  から操作し直してください。
52	ミシン側で通信エラーが発生しました。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
53	ミシン制御プログラムがリセットしました。	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
54	メイン基板電源 OFF	この画面が表示されたときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。
55	文字の配列ができません。	文字数が多くて曲線の配列ができないときに表示されます。文字数を少なくしてください。

	エラーメッセージ	対処
56	模様が刺しゅうの縫製範囲からはみ出します。これ以上組み合わせるときは、模様を回転して、追加入力してください。	刺しゅう枠に収まらない縦長の模様を呼び出したときに表示されます。模様を90度回転してください。
57	模様のデータが読めません。データが壊れている可能性があります。電源を入れ直して下さい。	破損した模様データや他社製のデータ作成ソフトウェアで作成されたデータを呼び出そうとしたときに表示されます。ミシンを正常な状態に戻すため、電源を入れ直してください。
58	模様を選んでください。	刺しゅう模様が選択されていない状態で、スタート/ストップスイッチが押されたときに表示されます。
59	容量が不足しています。模様を消去しますか？	ミシン本体のメモリーがいっぱいで模様が記憶できないときに表示されます。不要な模様を削除してください。
60	容量が不足しています。模様を消去するか、USB メディアを交換してください。	USB メディアのメモリーがいっぱいで模様が記憶できないときに表示されます。模様を消去するか、USB メディアを交換してください。
61	レジューム記憶を呼び出しますか？	刺しゅうが完了していない状態で電源が切れ、再び電源が入ったときに表示されます。刺しゅうを再開するときは、  を押してください。電源が切られる前の縫製画面が表示されたら、ぬい目を戻して刺しゅうを再開してください。(P. 99)
62	ロック解除キーを押してミシンロックを解除して下さい。	ロック解除をせずに糸切りスイッチを押したときに表示されます。  ロックを押してから、糸切りしてください。
63	ワイパーエラー	糸が糸切り糸かけのミゾに通っていないときに表示されます。糸をミゾに正しく通してください。
		針板まわり（移動刃、固定刃、糸保持板）に糸くずやほこりなどがたまっているときに表示されます。針板まわりの掃除をしてください。(P. 176)
		ワイパーに糸がからんでいるときに表示されます。からんでいる糸を取り除いてください。
64	枠移動エラー	この画面が表示されたときは、より大きな刺しゅう枠に変更するか、編集画面に戻って模様の位置を移動してください。
65	枠をはみ出します。この機能は使用できません。	フォントサイズが大きなフォントに文字模様を変更する際に、刺しゅう枠からはみ出るときに表示されます。
66	枠をはみ出します。これ以上は入力できません。	文字模様の入力が刺しゅう枠の幅を超えたときに表示されます。

キーを押しても反応しないときは

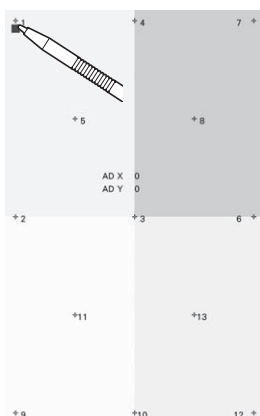
画面上のキーを押しても変化がない（入力できない）場合や、キーがずれている場合は、次の手順で画面の調整をしてください。

- 1 画面（どの部分でもよい）を押しながら、電源スイッチを入れ直します。



- 次の画面が表示されるまでずっと画面を押し続けてください。
- スタート／ストップスイッチが赤色に点灯します。
→ 次の画面が表示されます。

- 2 画面の四隅と中央に表示されている 13 の十字ポイントを、付属のタッチペンを使って 1 から 13 の順で軽く押していきます。



⚠ 注意



- 必ず付属のタッチペンを使用して調整してください。シャープペンシル、ドライバーなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。

- 3 調整が成功すると、画面に [SUCCESS] と表示されます。これを確認して調整は完了です。

- ポイントのいずれかが正しく押されずに調整に失敗すると、最後の 13 を押したときチャイム音が鳴って、画面に [ERROR] と表示されます。もう一度、画面に表示された数字から順に丁寧にポイントを押し直してください。

💡 お願い

- 調整をしてもキー入力ができない場合、または調整ができない場合は、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。

- 4 調整が終わったら、電源スイッチを入れ直します。

仕様

項目	仕様	
製品質量	41.8kg	
本体寸法	幅 561mm× 奥行 589mm× 高さ 790mm	
ぬい速度	速度／最大：毎分 1,000 針、最小：毎分 400 針 枠の種類によっては、最大が毎分 600 針になります。	
定格電圧／消費電力	100V (50-60Hz) / 116W	
釜型	垂直全回転釜	
釜寸法	標準サイズ	
針	HA130EBBR / #11	
針数	10 本	
糸調子	手動	
糸切り	あり／上糸・下糸	
糸センサー	あり／上糸・下糸	
自動針穴糸通し	あり	
ミシンとパソコンの接続	対応インターフェース	USB ^{*1} / Wireless LAN ^{*2}
	対応機種	USB ポート標準装備の IBM PC またはその互換機
	対応 OS	Microsoft Windows 7、Windows 8.1、Windows 10
メモリー	刺しゅう模様	10MB
	ミシンへ取り込むことができる画像（マイデザインセンター）	100MB
データの種類	刺しゅう模様 ^{*3}	.pes .phc .phx .dst .pen
	マイデザインセンターで読み込むことができるデータ	.jpg .png .bmp
データのサイズ	刺しゅう模様	ヨコ 360mm× タテ 200mm まで
	表示できる .pes ファイル	50 万針まで
		色替え 127 回まで
使用可能な USB デバイス／メディアの種類 ^{*4}	刺しゅう模様	刺しゅうデータを USB メディアへ記憶したり、USB メディアへ記憶した模様データを呼び出したりすることができます。使用できる USB メディアは次のとおりです。 • USB フラッシュドライブ（USB フラッシュメモリー） 呼び出しのみが可能な刺しゅうデータ • USB 外付け CD/DVD ドライブ USB メモリーカードリーダー／ライターで、次の USB メディアを使用することもできます。 • SD カード • コンパクトフラッシュ • メモリースティック • スマートメディア • マルチメディアカード（MMC） • XD ピクチャーカード

項目	仕様		
[エコモード]、[電源オフサポートモード] の条件	[エコモード]	設定可能な時間	[OFF]、10 ～ 120 (分)
		スタート/ストップスイッチ	緑色の点滅
		停止する機能	ミシンライト、画面表示
		復帰後	停止前の動作から再開します。
	[電源オフサポートモード]	設定できる時間	[OFF]、1～12 (時間)
		スタート/ストップスイッチ	緑色のゆっくりした点滅
		停止する機能	全機能
		復帰後	エラーメッセージが表示されます。 ミシンの電源を切り、入れ直し再起動してください。
スクリーンセーバーに対応している画像ファイル	ファイル形式		JPEG 形式 (.jpg)
	ファイルサイズ		1 ファイル最大 2MB
	解像度		タテ 1280 × ヨコ 1200 ピクセル以下 (タテ 1280 × ヨコ 800 ピクセルより大きいときは、縮小表示されます。)
	設定できるファイル数		5 ファイルまで
再生できる動画	MP4 形式		Video-H.264 / MPEG-4 AVC、Audio-AAC
	サイズ		タテ 1280 × ヨコ 800 ピクセル以下 (タテ 450 × ヨコ 800 ピクセルより大きいときは、縮小表示されます。)
	最大ファイルサイズ		100MB

- *1 パソコンの「リムーバブルディスク」にフォルダーを作成しないでください。「リムーバブルディスク」のフォルダー内に刺しゅうデータを記憶した場合、ミシンで模様データを表示することはできません。
- *2 無線接続は IEEE802.11n/g/b 規格に準拠し、2.4GHz 帯を使用します。
WPA/WPA2 エンタープライズの無線接続はできません。
- *3 当社正規のデータ作成ソフトウェアまたは本機で保存された模様以外のデータを扱うと、本機が誤作動するおそれがあります。ミシンを使用して任意の拡張子を持つファイルを保存すると、そのファイルは .phx データファイルとして保存されます。
.dst データは、模様を一覧する画面にファイル名で表示されます (実際のイメージは表示されません)。ファイル名の文字数によっては、すべてのファイル名が表示されないことがあります。
タジマフォーマット (.dst) データには、具体的な糸色の情報がないため、当社指定の糸色順で表示されます。画面を確認し、お好みの糸色に変更してください。
- *4 市販の USB メディアを使用できますが、本機で使用できない USB メディアもあります。詳しくは、ブラザーのサポートサイト (<http://s.brother/cpbah/>) でご確認ください。
- * 使用する USB デバイス/メディアの種類によって、USB デバイスを本機の USB ポートに直接差し込むか、USB メディアリーダー/ライターのカابلを本機の USB ポートに接続してください。
- * 仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

⚠ 注意



- 当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用する際は、糸密度が細かすぎる場合や3回以上の重ねぬいをする場合があります。糸切れや針折れが発生するおそれがあります。そのような場合は、当社正規のデータ作成ソフトウェア (刺しゅう PRO など) で、刺しゅうデータを修正してご使用ください。

ミシンのソフトウェアをアップグレードする

USB メディアを使用して、ミシンにインストールされているソフトウェアをアップグレードすることができます。アップグレード情報については、お買い上げの販売店または「PR/VR 専用ダイヤル」にお問い合わせいただくか、ブラザーのサポートサイト (<http://s.brother/cubai/>) で今後掲載される情報を参照してください。

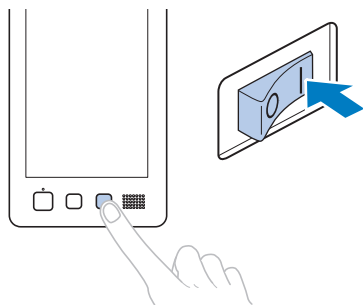
ウェブサイトまたは次の手順に従って、ファイルをダウンロードしてください。USB を使用して、アップグレード/更新ソフトウェア (*****.upf) をダウンロードできます。

🔔 お願い

- USB メディアを使用してソフトウェアをアップグレードする場合は、今回のアップグレードに使用する USB アップグレードファイル以外のデータが保存されていないことを確認してください。

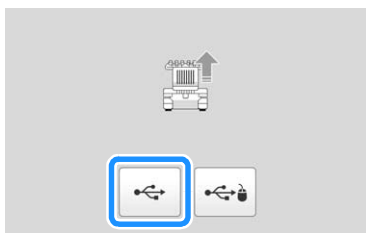
USB メディアを使用したアップグレード手順

- 1 自動針穴糸通しスイッチを押しながら、電源を入れます。

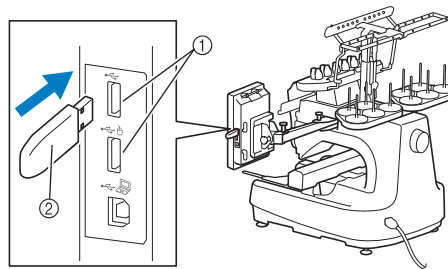


→ 以下の画面が液晶画面に表示されます。

- 2  を押します。



- 3 ミシンの USB ポートに USB メディアを差し込みます。メディアには、アップグレードファイル以外のデータが入っていない状態にしてください。



- ① USB ポート
② USB メディア

🔔 お願い

- USB メディアを差し込むと、アクセスランプが点滅します。メディアの認識には5、6秒かかります。(この時間は、USB メディアによって異なります)。

- 4  を押します。



→ アップグレードファイルがダウンロードされます。



💡 お願い

- エラーが発生すると、赤い文字のエラーメッセージが表示されます。ダウンロードが成功すると、次のメッセージが表示されます。



- 5 USB メディアを取り外し、ミシンの電源を一旦切ってから再び入れます。

索引

AC アダプター	A	35
DST 設定	D	124
Link (リンク)	L	133
T シャツ	T	64
USB ポート	U	
USB メディアをつなぐ		131
パソコンをつなぐ		132
マウスをつなぐ		31
アプリケーションファベット	あ	45
アプリケーション模様		102
一時停止	い	90
糸替え		120
ポーズ位置指定		120
一時的針棒設定キー		91、121
糸		84
糸案内		11、85
糸案内ピン		11
糸案内を組み立てる		19
移動キー		48、72
糸替え表示		91
糸切りスイッチ		12、90
糸切り設定キー		50
糸こま		84
簡単交換		94
糸こま交換マーク		91、93
糸印		54
糸立台		11、20
糸調子つまみ		11、119
糸通し		
上糸設定		83
下糸		33
針穴		87
糸残り量		125
糸残り量の設定		24
糸道上		11
糸道上糸調子つまみ		119
糸道中		11
糸密度		51
糸密度キー		48、51
イメージキー		48、72
色替え数		71
上糸	う	83、84
液晶画面 (タッチパネル)	え	12、23
エラーメッセージ		187
大きさキー	お	48
大きさ (縦)		47
大きさ (横)		47
回転キー	か	48、72

回転角度	47
回転調子皿	85
ガイド表示	124
確認する	
糸こま交換	93
仕上がりイメージ	62
針棒と糸色	83
釜	175
釜カバー／釜	11
カラーシャッフル	58
換気口	11
カントンフリース	63
き	
基本手順	33
キャリッジ	11
キャンバス地	63
キルトサッシ	106
く	
繰り返し模様（ボーダー模様）	52
グループ化	47
こ	
コーデウロイ	64
ゴルフシャツ	63
さ	
削除	
小ピッチのステッチ	125
削除キー	48
サテンジャケット	63
左右反転キー	48
し	
仕上がりイメージ	62
刺しゅう位置合わせシール	80、111、115、147
刺しゅう糸	84
刺しゅうキー	72
刺しゅうシート	66
刺しゅうする	89
基本操作	89
小さい布地にぬう	66
斜めに繰り返す	128
ベースラインを決めてぬう	130
文字をつなげる	129
刺しゅう模様	
選び方	39
編集	47
刺しゅう枠	
種類	69
取り付け方	67
刺しゅうを再開する	99
下糸案内	11
下糸を準備する	35
しつけぬい	101
自動止めぬい	73
自動針穴糸通しスイッチ	12、87
自動針穴糸通し装置	87
ジャンプコード	124
ジャンボ枠	146
手動糸色割付	61
手動針棒設定	24、122
仕様	192
小ピッチ削除	24、125
シルク	64
す	
スウェットシャツ	64

スキャン	158
スタート/ストップスイッチ	12、89
ステッチシミュレーター画面	62
スピーカー	12

せ

設置	17
接着芯	63
選択	
刺しゅう模様	39、46

そ

操作パネル	11、12、18
掃除する	
糸道	177
釜	175
画面	175
注油	180
針板まわり	176
ボビンケース	177
本体表面	175
メンテナンスメッセージ	181

た

台枠	
取り付け方	20
台枠について	68
タオル地	63
タジマフォーマット	124
タッチペンホルダー	11
ためしキー	72

ち

中心からの距離（縦）	47
中心からの距離（横）	47
注油する	180
調整する	
カメラ画像	76
画面	191
スキャン結果	76
操作パネル	18
調節する	
脚	18

っ

筒物用テーブル	76
---------	----

て

停止予約キー	91、120
適応枠表示	47、64、71
デニム	63
電源コード	22、35
電源コードジャック	11
電源スイッチ	11、22

と

途中からぬい直す	97
止めぬいキー	72、73
トラブルチェック	182
ドレスシャツ（織物）	63

な

内蔵カメラ	11、77、110
内蔵ソフトのアップグレード	194
USB メディアを使う	194

に

日時設定	22、23
ニット	64

ぬ

ぬい順数	91
ぬい順表示	91
ぬい始め/終わり位置設定キー	72、128

ぬい目戻る/進むキー	91、95、97
ぬい目を戻してぬう	95、97
布厚チェック	24、76
布地を張る	64
布/接着芯の適合表	63

ね

ネーム刺しゅう	137
ネームモード	137

は

バージョン	25
背景画像表示	75
配色キー	48、56、58
始めからぬい直す	95、97
肌着やシルク	64
針	
糸通し	87
針数	91
針棒/枠移動キー	23
針棒キー	83、91
針棒ケース	11
針棒をロックする	82
針もとライト	11

ふ

フーリー	11
付属品	12
部分表示	91
分割模様	141

へ

別売品	15
変更する	
位置合わせシールの位置	115
糸色設定	124
糸色表示	124
糸密度	51
ガイド表示	124
しつけ距離	126
模様の色	56
編集	47
始めまたは途中からぬいたいときは	97
編集画面	47
編集キー	72
編集終了キー	48

ほ

帽子	63
帽子枠	70
縫製位置	
合わせる	75
縫製画面	83、91
縫製最高速度設定キー	91
縫製時間	91
縫製設定画面	71
ボビンケース	33、177
取り出し方	33

ま

マイデザインセンター	149
マグネット原反枠	54、109

め

綿の敷布	63
------	----

も

文字をつなげる	129
戻るキー	91
モニタリングアプリ	31
模様選択キー	48
模様の大きさ	47、71
模様表示エリア	23
模様を組み合わせる	46

模様をつなぐ	110
り	
利用規約	3
リンク (Link 機能)	133
れ	
レベル座	11
連続刺しゅう (1 色)	122
ろ	
ロック解除キー	91
わ	
ワイドテーブル	76、143
渡り糸切り	124





ブラザーのサポートサイト「<http://s.brother/cvbal/>」で、使い方動画をご覧いただけます。



My Stitch Monitorはミシンの動作状況がわかるモバイルアプリです。ダウンロードするにはGoogle PlayまたはApp Storeにアクセスしてください。



Google Play



App Store



必ず最新のソフトウェアをインストールしてください。
最新バージョンでは、様々な機能向上を行っています。

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR専用ダイヤル」にお問い合わせください。

■ 保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「PR/VR専用ダイヤル」にご相談ください。

■ PR/VR専用ダイヤル

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合はお買い上げの販売店または「PR/VR専用ダイヤル」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

PR/VR専用ダイヤル Tel:0570-550-265

お問い合わせ窓口 <https://s.brother/crgka/>

受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00

休業日: 土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日



- 「PR/VR専用ダイヤル」は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。ミシン背面の定格ハリマーク（銀色シール）の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「PR/VR専用ダイヤル」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。

<http://www.brother.co.jp/>

ブラザーのサポートサイトでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。

<http://s.brother/cpbah/>



本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また保証の対象となりませんのでご注意ください。

This machine is made for use in Japan only. We can not recommend using it overseas it may violate the Telecommunications Regulations that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk will void your warranty.

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

884-T15/T16



XH5047-101①